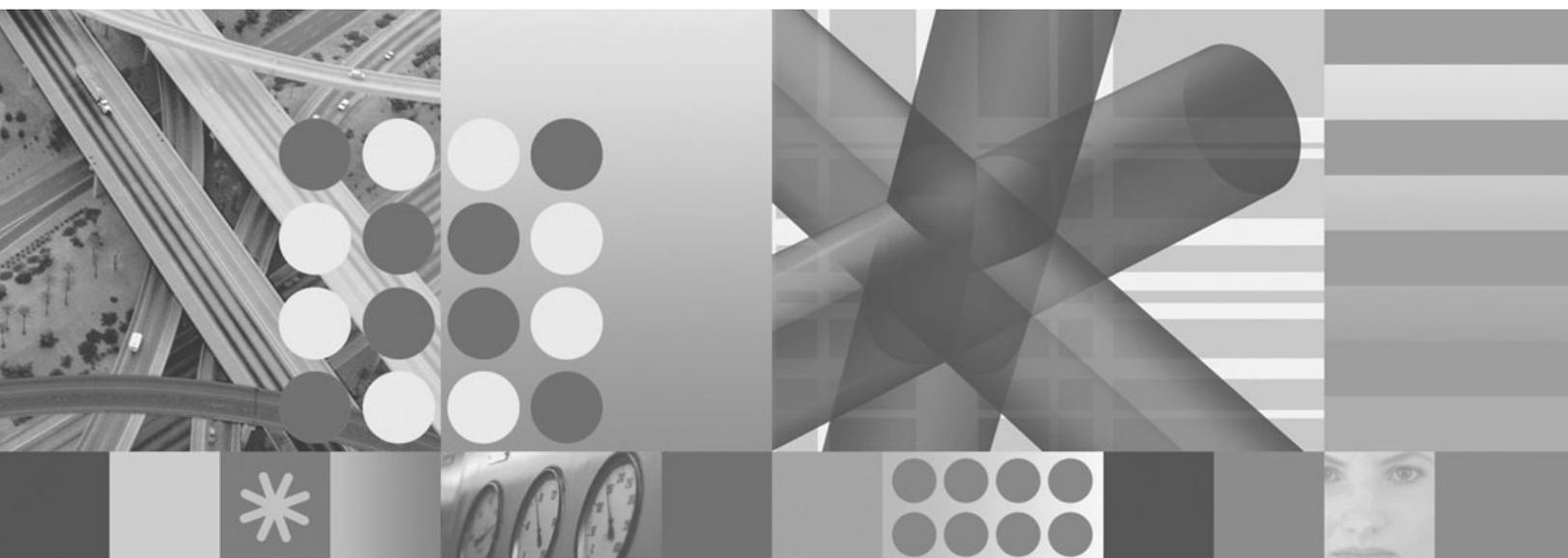




インストール: マイグレーション・ガイド



インストール: マイグレーション・ガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、261ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Tivoli NetView for z/OS (製品番号 5697-ENV) バージョン 5 リリース 4、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本書は、SC88-9320-02 の改訂版です。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC31-8873-04
Tivoli® IBM Tivoli NetView for z/OS
Version 5 Release 4
Installation: Migration Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2009.12

© Copyright International Business Machines Corporation 2001, 2009.

目次

図	xii
本書について	xiii
対象読者	xiii
資料	xiii
IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリー	xiii
関連資料	xv
オンライン用語集へのアクセス	xvi
NetView for z/OS オンライン・ヘルプの使用	xvii
LookAt によるメッセージの説明の検索	xvii
マニュアルへのオンライン・アクセス	xviii
マニュアルのご注文	xviii
アクセシビリティ	xviii
Tivoli 技術研修	xviii
ダウンロード	xviii
問題解決のサポート	xix
本書で使用される規則	xix
書体の規則	xx
オペレーティング・システムに依存する変数およびパス	xx
構文図	xx
第 1 章 NetView V5R4 プログラムでの新機能、変更された機能、または削除された機能	1
自動化	1
IP 管理	2
シスプレックス管理およびシステム管理	5
エンタープライズ統合	6
その他の機能強化	7
除去された機能	8
ライブラリーの変更点	9
第 2 章 マイグレーションの準備	11
概要	11
ハードウェア要件およびソフトウェア要件	11
インストール・パッケージ	11
古い NetView リリースを実行しながら新しい NetView リリースをインストールする方法	12
マイグレーション・プロセス	13
データ・セットの統合	14
MVS システムの準備	15
UNIX システム・サービスの準備	21
NetView プログラムの準備	23
グラフィカル NetView コンポーネントの準備	28
RODM および GMFHS	29
NetView 管理コンソール	29
SNA トポロジー・マネージャー	29
MultiSystem Manager	29
AON コンポーネントの準備	30
シスプレックス IP スタック・マネージャーからのマイグレーション	30
V5R2 または V5R3 データ・モデルによるシスプレックス IP スタック・マネージャーの開始	31
V5R2 および V5R3 シスプレックス IP スタック・マネージャー・データの NetView V5R4 での表示	31
NetView Web サーバーからのマイグレーション	32

	DSICMDS 関数によって参照される HTML ファイルのマイグレーション	32
	NVSP.SOASRVRI.PDS からの相対位置にあるデータ・ソースの使用	32
	DD 名またはデータ・セット名の指定によるデータのソースのマイグレーション	33
	データの送信	33
	DSIPARM および DSICLD メンバーのマイグレーションに関するその他の考慮事項	34
第 3 章 Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 からのマイグレーション		35
	Unattended フィーチャーまたは Procedural フィーチャーのマイグレーション	37
	新規サンプル	38
	VTAM アドレス・スペース	43
	A01APPLS (CNMS0013)	43
	CNMNET (CNMSJ008)	44
	NetView アドレス・スペース	44
	AAUPRMLP	44
	BNJMBDST	44
	CNMEALUS	45
	CNMEMSUS	45
	CNMPROC (CNMSJ009)	45
	CNMPSSI (CNMSJ010)	48
	CNMSIHTA	48
	CNMSTYLE	49
	DSIAMLTD	53
	DSICCDEF	53
	DSICMD	53
	DSICTMOD	54
	DSIDMN	55
	DSIILGCF	55
	DSILUCTD	55
	DSIOPF	55
	DSIREXCF	58
	DSIRSHCF	58
	DSIRTTTD	59
	DSIRXPRM	59
	DSISPN	59
	DSITBL01	59
	DSITPCPF	60
	DSITCPRF	61
	DSIWBMEM	61
	DSIZVLSR	61
	DUIFPMEM	61
	DUIIGHB	61
	FKXCFG01	62
	FLBSYSDA	62
	FLCSAINP	62
	RODM アドレス・スペース	63
	EKGLOADP	63
	EKGSII01	64
	EKGXRODM	64
	GMFHS アドレス・スペース	65
	CNMGMFHS (CNMSJH10)	65
	CNMSJH12	66
	DUIGINIT	66
	イベント/自動化サービス・アドレス・スペース	66
	IHSAEVNT	66
	IHSAINIT	67
	その他の考慮事項	69

BROWSE 機能	69
NetView リソース・マネージャー	69
UNIX システム・サービス	69
パラメーター・ファイルでのシンボリック変数の使用	71
パラメーター・ファイルでのデータ REXX の使用	72
TCP/IP 管理	73
MVS コマンド管理	73
セキュリティの機能強化	74
1 バイト・コンソール ID	74

第 4 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 からのマイグレーション . . . 77

新規サンプル	79
VTAM アドレス・スペース	83
A01APPLS (CNMS0013)	83
CNMNET (CNMSJ008)	84
NetView アドレス・スペース	84
CNMEALUS	84
CNMEMSUS	84
CNMPROC (CNMSJ009)	85
CNMPSSI (CNMSJ010)	87
CNMSAF2	87
CNMSCAT2	89
CNMSIHTA	89
CNMSTYLE	90
DSIAUTB	92
DSICMD	92
DSIOPF	94
DSITBL01	96
DSIZVLSR	97
DSIW3PRF	97
DUIFPMEM	97
FKXCFG01	97
RODM アドレス・スペース	98
EKGLOADP	98
EKGSII01	99
EKGXRODM	99
GMFHS アドレス・スペース	99
CNMGMFHS (CNMSJH10)	99
CNMSJH12	100
DUIGINIT	100
イベント/自動化サービス・アドレス・スペース	100
IHSAEVNT	101
IHSAINIT	102
その他の考慮事項	103
BROWSE 機能	103
NetView リソース・マネージャー	104
UNIX システム・サービス	104
NetView Web アプリケーション	105
DVIPA サポート	105
パラメーター・ファイルでのシンボリック変数の使用	105
TCP/IP 管理	106
MVS コマンド管理	106
セキュリティの機能強化	107
1 バイト・コンソール ID	108

第 5 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 からのマイグレーション 109

新規サンプル	110
VTAM アドレス・スペース	114
A01APPLS (CNMS0013)	114
CNMNET (CNMSJ008)	115
NetView アドレス・スペース	115
CNMCMENT	115
CNMCMSYS	115
CNMEALUS	115
CNMEMSUS	116
CNMSAF2	116
CNMSCAT2	117
CNMPOLCY	117
CNMPROC (CNMSJ009)	118
CNMPSSI (CNMSJ010)	118
CNMSIHS	119
CNMSTYLE	119
DSIAUTB	120
DSIOPF	121
DSITBL01	123
DSIZVLSR	124
DSIW3PRF	124
RODM アドレス・スペース	124
EKGLOADP	124
EKGSII01	125
EKGXRODM	125
GMFHS アドレス・スペース	125
CNMGMFHS (CNMSJH10)	125
CNMSJH12	125
イベント/自動化サービス・アドレス・スペース	126
IHSAEVNT	126
IHSAINIT	127
その他の考慮事項	128
UNIX システム・サービス	128
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents	129
NetView Web アプリケーション	131
IPv6 サポート	131
MVS コマンド管理	131
パスワード・フレーズのサポート	132
1 バイト・コンソール ID	133

第 6 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 からのマイグレーション 135

新規サンプル	136
VTAM アドレス・スペース	140
A01APPLS (CNMS0013)	140
CNMNET (CNMSJ008)	140
NetView アドレス・スペース	141
CNMCMSYS	141
CNMCMENT	141
CNMEALUS	141
CNMEMSUS	141
CNMIPMGT	141
CNMPOLCY	141
CNMPROC (CNMSJ009)	142
CNMPSSI (CNMSJ010)	143
CNMSAF2	143
CNMSCAT2	144

	CNMSIHS	146
	CNMSTYLE	146
	DSIAUTB	148
	DSIOPF	148
	DSITBL01	150
	DSIZVLSR	151
	EZLCMENT	151
	FKXCMENT	152
	RODM アドレス・スペース	152
	EKGLOADP	152
	EKGXRODM	152
	GMFHS アドレス・スペース	152
	CNMGMFHS (CNMSJH10)	153
	CNMSJH12	153
	イベント/自動化サービス・アドレス・スペース	153
	IHSAEVNT	153
	IHSAINIT	154
	その他の考慮事項	155
	UNIX システム・サービス	156
	Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents	157
	NetView Web アプリケーション	160
	NetView 管理コンソール	160
	MVS コマンド管理	160
	パスワード・フレーズのサポート	161
	1 バイト・コンソール ID	162
第 7 章 NetView の開始の準備		163
	NetView およびサブシステム・アプリケーション・プロシージャの変更	163
	NetView 開始プロシージャの変更	163
	NetView プログラムに対する TCP/IP の定義	164
	CNMSTYLE メンバーの更新	165
	CNMSTYLE メンバーのカスタマイズ	165
	%INCLUDE メンバーの使用	166
	シンボリック変数の使用法	167
	STYLEVAR の使用法	168
	NetView コンポーネントの活動化	168
	セキュリティーの設定	172
	NetView プログラムの開始時に自動的に実行するコマンドの指定	172
	NetView サブシステム・インターフェースの開始	173
	NetView コンポーネントの初期設定値の指定	173
	アクティブ CNMSTYLE メンバー名のリスト作成	174
	レポート生成プログラムの使用	174
第 8 章 マイグレーションの検査		183
第 9 章 グラフィックスのマイグレーション		185
	NGMF から NetView Management Console へのマイグレーション	185
	NetView 管理コンソールのトポロジー・サーバーおよびコンソールのマイグレーション	186
付録 A. Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 への変更		187
	NetView V5R1 での変更点の要約	187
	インストールおよびパッケージの変更	187
	NetView Web アプリケーション	188
	TCP/IP および SNMP 管理	189
	グラフィックスの機能強化	189

	セキュリティの機能強化	190
	その他の機能強化	191
	ヘルプ・パネル	191
	新規ヘルプ・パネル	191
	削除されたヘルプ・パネル	192
	コマンド・リスト	195
	新規コマンド・リスト	195
	削除されたコマンド・リスト	196
	メッセージ	197
	新規メッセージ	197
	変更されたメッセージ	201
	削除されたメッセージ	203
	サンプル	204
	新規サンプル	204
	削除されたサンプル	204

付録 B. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 への変更 207

	NetView V5R2 での変更点の要約	207
	インストールおよびパッケージの変更	207
	NetView Web アプリケーション	209
	TCP/IP および SNMP 管理	210
	NetView 管理コンソール	211
	セキュリティの機能強化	211
	ユーザビリティの向上	212
	追加変更	212
	コマンド・リスト	213
	新規コマンド・リスト	213
	削除されたコマンド・リスト	214
	メッセージ	214
	新規メッセージ	214
	変更されたメッセージ	218
	削除されたメッセージ	220
	サンプル	220
	新規サンプル	221
	削除されたサンプル	221

付録 C. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 への変更 223

	NetView V5R3 での変更点の要約	223
	ネットワーキングおよび自動化	223
	ユーザビリティの向上	224
	エンタープライズ統合	225
	保守容易性	225
	コマンド・リスト	225
	新規コマンド・リスト	226
	削除されたコマンド・リスト	226
	メッセージ	226
	新規メッセージ	226
	変更されたメッセージ	227
	削除されたメッセージ	228
	サンプル	228
	新規サンプル	228
	削除されたサンプル	228

付録 D. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 から Tivoli NetView for	
z/OS バージョン 5 リリース 4 への変更	229
コマンド・リスト	229
新規コマンド・リスト	229
削除されたコマンド・リスト	230
メッセージ	230
新規メッセージ	230
変更されたメッセージ	232
削除されたメッセージ	233
サンプル	234
新規サンプル	234
削除されたサンプル	234
コマンドの変更点	234
新規のコマンド	234
変更されたコマンド	235
削除されたコマンド	236
Enterprise Management Agent の変更点	237
Tivoli Common Reporting を使用したレポートの変更点	244
付録 E. SEC=BY が必要ない AON CMDDEF ステートメント	245
CNMCMENT	245
EZLCMENT	245
FKVCMENT	246
FKXCMENT	247
付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション	249
付録 G. IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの間の違い	259
特記事項	261
プログラミング・インターフェース	262
商標	262
索引	265



1.	NetView V1R4 初期化フロー	36		6.	CNMSTYLE レポートの最初のセクション	177
2.	NetView V5R4 初期化フロー	37		7.	NetView 機能に関する情報	179
3.	NetView V5R4 初期化フロー	78		8.	auxInitCmd ステートメントとユーザー定義ス テートメント	180
4.	NetView V5R4 初期化フロー	110				
5.	NetView V5R4 初期化フロー	136		9.	データ REXX ステートメント	181

本書について

IBM® Tivoli® NetView® for z/OS® 製品の高度な機能により、マルチプラットフォームおよびマルチベンダーの複合ネットワークとシステムを一元的に管理して、高レベルの可用性を維持することができます。この資料 (*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: マイグレーション・ガイド) では、前のリリースの NetView プログラムから基本機能をマイグレーションすることに関する情報を提供しています。また、NetView Graphic Monitoring Facility (NGMF) から NetView 管理コンソールへのマイグレーションと、無人機能、手続き機能、および NetView システム・サービスからのマイグレーションに関する手順についても説明しています。

対象読者

この資料の対象読者は、前のリリースから現行リリースに NetView プログラムをマイグレーションするシステム・プログラマー、ネットワーク計画者、およびシステム設計者です。

資料

このセクションには、IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリーの資料や関連文書がリストされています。また、Tivoli オンライン資料へのアクセス方法と、Tivoli の資料の注文方法についても説明します。

IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリー

以下の資料は、IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリーにあります。

- 「アドミニストレーション・リファレンス」(SC88-9305) では、システム管理で必要とされる NetView プログラム定義ステートメントについて説明しています。
- 「アプリケーション・プログラマーズ・ガイド」(SC88-9306) では、NetView プログラム間インターフェース (PPI) と、NetView アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) の使用方法を説明しています。
- 「オートメーション・ガイド」(SC88-9304) では、自動化された操作を使用してシステムとネットワークの効率性およびオペレーターの生産性を改善する方法を説明しています。
- 「*Command Reference Volume 1 (A-N)*」(SC31-8857) および「*Command Reference Volume 2 (O-Z)*」(SC31-8858) では、ネットワークとシステム操作およびコマンド・リストとコマンド・プロシージャーで使用可能な NetView コマンドについて説明しています。
- 「カスタマイズ・ガイド」(SC88-9309) では、NetView 製品のカスタマイズ方法を説明し、関連情報の資料を掲載しています。
- 「データ・モデル・リファレンス」(SC88-9312) では、Graphic Monitor Facility ホスト・サブシステム (GMFHS)、SNA トポロジー・マネージャー、およびマルチシステム・マネージャー・データ・モデルに関する情報を提供しています。

- 「インストール: 追加コンポーネントの構成」(SC88-9321) では、基本機能以外の NetView 機能の構成方法を説明しています。
- 「*Installation: Configuring Graphical Components*」(SC31-8875) では、NetView グラフィック・コンポーネントのインストールおよび構成方法を説明しています。
- 「インストール: *Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent* の構成」(SC88-4669) では、NetView for z/OS Enterprise Management Agent のインストールおよび構成方法を説明しています。
- 「インストール: 概説」(SC88-9319) では、基本 NetView 機能のインストールおよび構成方法を説明しています。
- 「インストール: マイグレーション・ガイド」(SC88-9320) では、NetView 製品の現行リリースによって提供される新機能と、前のリリースからの基本機能のマイグレーションについて説明しています。
- 「IP 管理」(SC88-8188) では、NetView 製品を使用して IP ネットワークを管理する方法を説明しています。
- 「*Messages and Codes Volume 1 (AAU-DSI)*」(SC31-6965) および「*Messages and Codes Volume 2 (DUI-IHS)*」(SC31-6966) では、NetView 製品のメッセージ、NetView 異常終了コード、NetView メッセージに含まれるセンス・コード、および総称アラート・コード・ポイントについて説明しています。
- 「プログラミング: アセンブラー」(SC88-8186) では、アセンブラー言語を使用して NetView 製品の出口ルーチン、コマンド・プロセッサ、およびサブタスクを作成する方法について説明しています。
- 「プログラミング: パイプ」(SC88-9311) では、NetView パイプラインを使用して NetView のインストールをカスタマイズする方法について説明しています。
- 「プログラミング *PL/I* および *C*」(SC88-8187) では、*PL/I* または *C* を使用して NetView 製品のコマンド・プロセッサとインストール・システム出口ルーチンを作成する方法について説明しています。
- 「プログラミング: *REXX* および *NetView* コマンド・リスト言語」(SC88-9310) では、再構造化拡張実行プログラム言語 (*REXX*[™]) または *NetView* コマンド・リスト言語を使用して NetView 製品のコマンド・リストを作成する方法について説明しています。
- 「リソース・オブジェクト・データ・マネージャーおよび *GMFHS* プログラマーズ・ガイド」(SC88-9313) では、非 SNA ネットワークを *RODM* に定義する方法や、ネットワーク自動化とアプリケーション・プログラミングで *RODM* を使用する方法など、NetView リソース・オブジェクト・データ・マネージャー (*RODM*) について説明しています。
- 「セキュリティー・リファレンス」(SC88-9317) では、NetView 環境で許可検査を実装する方法について説明しています。
- 「*SNA* トポロジー・マネージャーインプリメンテーション・ガイド」(SC88-9315) では、サブエリア、Advanced Peer-to-Peer Networking[®]、および TN3270 リソースの管理に使用可能な、NetView *SNA* トポロジー・マネージャーの計画および実装について説明しています。
- 「*Troubleshooting Guide*」(GC27-2507) では、NetView 製品の使用時に発生する可能性がある問題の文書化、診断、および解決に関する情報を提供しています。

- 「チューニング・ガイド」(SC88-9316)では、NetView 製品とネットワーク環境の特定のパフォーマンス目標を達成するのに役立つチューニング情報を提供しています。
- 「*User's Guide: Automated Operations Network*」(GC31-8851)では、イベント・ドリブン・ネットワーク自動化によってシステムとネットワークの効率性を向上させる NetView Automated Operations Network (AON) コンポーネントの使用方法について説明しています。また、AON コンポーネントの自動化操作機能の調整方法と拡張方法についても説明しています。
- 「*ユーザーズ・ガイド: NetView*」(GC88-9300)では、NetView 製品を使用して複合的なマルチベンダーのネットワークおよびシステムを一元的に管理する方法を説明しています。
- 「*NetView 管理コンソールユーザーズ・ガイド*」(GC88-9303)では、NetView 製品の NetView 管理コンソール・インターフェースについての情報を提供しています。
- 「*User's Guide: Web Application*」(SC32-9381)では、NetView Web アプリケーションを使用して複合的なマルチベンダーのネットワークおよびシステムを一元的に管理する方法について説明しています。
- 「*Licensed Program Specifications*」(GC31-8848)では、NetView 製品のライセンス情報を提供しています。
- 「*Program Directory for IBM Tivoli NetView for z/OS US English*」(GI10-3194)には、IBM Tivoli NetView for z/OS 製品のインストールに関連付けられた資料と手順に関する情報が掲載されています。
- 「*Program Directory for IBM Tivoli NetView for z/OS Japanese*」(GI10-3210)には、IBM Tivoli NetView for z/OS製品のインストールに関連付けられた資料と手順に関する情報が掲載されています。
- 「*IBM Tivoli NetView for z/OS V5R4 Online Library*」(SK2T-6175)には、NetView for z/OS ライブラリーにある資料が含まれています。資料は、PDF、HTML、および BookManager® 形式で用意されています。

関連資料

以下の資料では、IBM Tivoli Monitoring 製品で使用できるエージェントに共通の情報を提供しています。

- 「*Quick Start Guide*」(GI11-8918)では、z/OS での OMEGAMON® XE モニター・エージェントのインストールおよびセットアップについて要約しています。
- 「*共通計画および構成ガイド*」(SC88-5837)には、z/OS で動作する Tivoli Management Services コンポーネントと z/OS で動作する OMEGAMON XE モニター・エージェントに共通の計画および構成タスクに関する説明が含まれています。
- 「*Upgrade Guide*」(SC23-9745)には、OMEGAMON XE V4.2.0 製品の完全なアップグレードと段階的アップグレードに関する説明が含まれています。
- 「*End-to-End Response Time Feature Reference*」(SC27-2303)には、数種類の OMEGAMON XE 製品に応答時間データを配信するエンドツーエンド応答時間機能に関する説明と参照情報が含まれています。

- 「*Reports for Tivoli Common Reporting*」(SC27-2304) では、Tivoli Common Reporting ツールを使用して、Tivoli Enterprise Portal ポータルに表示され、Tivoli Data Warehouse データベースに保管されるデータからレポートを作成する方法について説明しています。

製品の追加情報は、NetView for z/OS Web サイトで見つけることができます。

<http://www.ibm.com/software/tivoli/products/netview-zos/>

NetView ブリッジ機能について詳しくは、「*Tivoli NetView for OS/390 Bridge Implementation*」(SC31-8238-03) (V1R4 ライブラリーでのみ選択可能) を参照してください。

オンライン用語集へのアクセス

「*Tivoli ソフトウェア用語集*」には、Tivoli ソフトウェアと関連した多数の技術用語の定義が含まれています。Tivoli ソフトウェア用語集 は、次の Tivoli ソフトウェア・ライブラリーの Web サイトから入手できます。

<http://publib.boulder.ibm.com/tividd/glossary/tivoliglossarymst.htm>

IBM Terminology Web サイトは、IBM 製品ライブラリーの用語を 1 箇所にまとめた便利なサイトです。以下に示す Web アドレスで Terminology Web サイトにアクセスできます。

<http://www.ibm.com/software/globalization/terminology/>

NetView for z/OS の用語および定義のリストについては、IBM Terminology Web サイトを参照してください。このライブラリーでは、以下の用語が使用されています。

NetView

以下の製品の場合:

- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 4
- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3
- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2
- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1
- Tivoli NetView for OS/390® バージョン 1 リリース 4

MVS™ z/OS オペレーティング・システムの場合

MVS エレメント

z/OS オペレーティング・システムの BCP エレメントの場合

CNMCMD

CNMCMD メンバーと、%INCLUDE ステートメントを使用してその中に組み込まれるメンバーの場合

CNMSTYLE

CNMSTYLE メンバーと、%INCLUDE ステートメントを使用してその中に組み込まれるメンバーの場合

PARMLIB

SYS1.PARMLIB および連結シーケンスの他のデータ・セットの場合

特に断りがない限り、プログラムに言及する場合は、そのプログラムの最新のバージョンとリリースを指します。バージョンのみが示される場合は、そのバージョンのすべてのリリースを指します。

パーソナル・コンピューターまたはワークステーションを使用することについて言及する場合は、プログラマブル・ワークステーションであればすべて使用できます。

NetView for z/OS オンライン・ヘルプの使用

インストール済み環境と構成に応じて、以下の種類の NetView for z/OS メインフレーム・オンライン・ヘルプが用意されています。

- 一般ヘルプおよびコンポーネント情報
- コマンド・ヘルプ
- メッセージ・ヘルプ
- センス・コード情報
- 推奨処置

LookAt によるメッセージの説明の検索

LookAt は、表示される IBM メッセージのほとんどと、一部のシステム異常終了およびコードに関する説明を検索するために使用できるオンライン機能です。LookAt では、ほとんどの場合に該当メッセージの説明が直接的に表示されるため、従来の方法よりも速く必要な情報を検索することができます。

以下の場所から LookAt を使用することにより、z/OS のエレメントとフィーチャー、z/VM[®]、VSE/ESA[™]、および AIX[®] と Linux[®] システムのクラスターに関する IBM メッセージの説明を検索できます。

- インターネット。LookAt Web サイト (<http://www.ibm.com/systems/z/os/zos/bkserv/lookat/>) から IBM メッセージの説明に直接アクセスできます。
- ご使用の z/OS TSO/E ホスト・システム。ご使用の z/OS または z/OS.e システムでコードをインストールし、TSO/E コマンド行 (例えば、TSO/E プロンプト、ISPF、または OMVS を実行する z/OS UNIX[®] System Services) から LookAt を使用して、IBM メッセージの説明にアクセスできます。
- ご使用の Microsoft[®] Windows[®] ワークステーション。LookAt は、「z/OS Collection」(SK3T-4269) または「z/OS and Software Products DVD Collection」(SK3T-4271) から直接インストールし、インストールされた Windows グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) から使用することができます。Windows 版の LookAt をインストールしたディレクトリーからは、引き続きコマンド・プロンプト (DOS コマンド行とも呼ばれる) 版を使用できます。
- ご使用のワイヤレス・ハンドヘルド・デバイス。ワイヤレス・アクセス機能とインターネット・ブラウザを搭載したハンドヘルド・デバイスにより、<http://www.ibm.com/systems/z/os/zos/bkserv/lookat/lookatm.html> から LookAt モバイル版を利用できます。

ホスト・システムまたは Microsoft Windows ワークステーションに LookAt をインストールするためのコードは、以下のロケーションから入手できます。

- z/OS Collection (SK3T-4269) の CD。
- z/OS and Software Products DVD Collection (SK3T-4271)。

- LookAt Web サイト。「ダウンロード」をクリックし、プラットフォーム、リリース、コレクション、およびロケーションを選択します。詳しい情報は、ダウンロード・プロセス時に入手できる LOOKAT.ME ファイルに記載されています。

マニュアルへのオンライン・アクセス

資料 DVD「*IBM Tivoli NetView for z/OS V5R4 Online Library*」(SK2T-6175)には、製品ライブラリーにある資料が含まれています。資料は、PDF、HTML、および BookManager 形式で用意されています。ドキュメンテーションの利用方法については、DVD 上の README ファイルを参照してください。

IBM は、この製品を含む他のすべての Tivoli 製品の資料を、入手可能になり次第、および更新された場合にはいつでも、Tivoli インフォメーション・センター Web サイト (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/tivihelp/v3r1/index.jsp>) に掲載します。

注: レターサイズ以外の用紙に PDF 文書を印刷する場合は、「ファイル」→「印刷」ウィンドウで、Adobe® Reader でレターサイズのページをローカル用紙に印刷できるようにするオプションを設定してください。

マニュアルのご注文

日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは <http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。製品では標準のショートカット・キーとアクセラレーター・キーが使用されており、これらはオペレーティング・システムによって文書化されます。詳しくは、ご使用のオペレーティング・システムが提供する資料を参照してください。

詳しくは、「ユーザーズ・ガイド: *NetView*」の付録『アクセシビリティ』を参照してください。

Tivoli 技術研修

以下は英語のみの対応となります。Tivoli 技術研修については、IBM Tivoli 研修 Web サイト (<http://www.ibm.com/software/tivoli/education>) を参照してください。

ダウンロード

以下の NetView for z/OS サポート Web サイトから、クライアントとエージェント、NetView 製品のデモンストレーション、および数種類のフリー NetView アプリケーションをダウンロードできます。

<http://www.ibm.com/software/sysmgmt/products/support/IBMTivoliNetViewforzOS.html>

「IBM Tivoli for NetView for z/OS support」 ペインで「Download」をクリックし、ダウンロード対象を検索するか選択することができるページに移動します。

これらのアプリケーションは、以下のタスクで使用できます。

- カスタマイズ・パラメーターと初期化ステートメントを前のリリースから CNMSTUSR メンバーに、およびコマンド定義を前のリリースから CNMCMDU メンバーにマイグレーションする
- 自動化テーブルの統計情報を取得し、その統計を自動化テーブルのリストとマージする
- ジョブ入力サブシステム (JES) ジョブの状況を表示するか、指定された JES ジョブを取り消す
- プログラム間インターフェース (PPI) を使用して NetView プログラムにアラートを送信する
- PPI を使用して MVS コマンドを送受信する
- タイム・シェアリング・オプション (TSO) コマンドを送信し、応答を受信する

問題解決のサポート

IBM ソフトウェアに問題が発生した場合、迅速に解決する必要があります。IBM は、必要なサポートをユーザーに提供するために以下の方法を用意しています。

オンライン

IBM Software Support サイト (<http://www.ibm.com/software/support/probsub.html>) に移動し、指示に従ってください。

IBM Support Assistant

IBM Support Assistant (ISA) は、IBM ソフトウェア製品に関する質問および問題を解決するのに役立つフリーのローカル・ソフトウェア保守ワークベンチです。ISA により、サポート関連の情報と保守ツールに素早くアクセスし、問題を判別することができます。ISA ソフトウェアをインストールするには、<http://www.ibm.com/software/support/isa/> にアクセスしてください。

トラブルシューティング情報

NetView for z/OS 製品の問題解決について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS Troubleshooting Guide*」を参照してください。NetView for z/OS 製品の追加サポートは、Yahoo の NetView ユーザー・グループ (<http://groups.yahoo.com/group/NetView/>) で得られます。このサポートの対象は NetView for z/OS ユーザーに限定されており、登録する必要があります。このフォーラムは、質問に答え、ガイダンスを与える NetView 開発者がモニターしています。コードに関する問題が見つかったら、解決策を得るため正式な問題管理レコード (PMR) を開くよう求められます。

本書で使用される規則

本書では、特別な用語とアクション、オペレーティング・システムに依存するコマンドとパス、およびコマンド構文に関して、いくつかの規則を適用しています。

書体の規則

本書では、以下のような書体の規則を使用しています。

太字

- 太字にしないと、周囲のテキストと見分けがつけにくい小文字のコマンドおよび大/小文字混合のコマンド
- インターフェース・コントロール (チェック・ボックス、プッシュボタン、ラジオ・ボタン、スピン・ボタン、フィールド、フォルダー、アイコン、リスト・ボックス、リスト・ボックス内の項目、複数列のリスト、コンテナ、メニュー選択、メニュー名、タブ、プロパティ・シート)、ラベル (「ヒント:」、および「オペレーティング・システムの考慮事項:」など)
- 本文中のキーワードおよびパラメーター

イタリック

- 引用 (例: 資料、ディスク、および CD のタイトル)
- テキスト内で定義されている語 (例: 非交換回線は、*Point-to-Point* 回線と呼ばれます)
- 語および文字の強調 (語の例: 「制限節を導くには語 *that* を使用します」
文字の例: 「LUN アドレスは、文字 *L* で始める必要があります」)
- テキスト中の新規用語 (定義リスト内を除く): ビュー は、データが入っているワークスペース内のフレームです。
- 指定する必要がある変数および値: ... ここで、*myname* が表すものは...

モノスペース

- 例およびコード例
- 周囲のテキストと見分けがつけにくいファイル名、プログラミングのキーワード、およびその他のエレメント
- ユーザー宛てのメッセージ・テキストおよびプロンプト
- ユーザーが入力する必要があるテキスト
- 引数またはコマンド・オプションの値

オペレーティング・システムに依存する変数およびパス

ワークステーションのコンポーネントの場合、この資料では、環境変数の指定とディレクトリーの表記において UNIX の規則に従います。

Windows コマンド行を使用する場合、環境変数では \$変数 を %変数% に置き換え、ディレクトリーのパスではスラッシュ (/) をそれぞれ円記号 (¥) に置き換えます。環境変数の名前は、Windows と UNIX で必ずしも同じではありません。例えば、Windows 環境の %TEMP% は UNIX 環境の \$TMPDIR に相当します。

注: Windows システムで bash シェルを使用している場合は、UNIX 規則を使用できません。

構文図

水平線 (メインパス) に従い、左から右、上から下に向かって構文図を見てください。このセクションでは、構文図での構文要素の表記方法を説明します。

シンボル

構文図では、以下のシンボルを使用しています。

- ▶▶ コマンド構文の先頭をマークします。
- ▶ コマンド構文が続くことを示します。
- | コマンド構文の断片または一部の開始および終わりをマークします。
- ◀◀ コマンド構文の終わりをマークします。

パラメーター

構文図では、以下のタイプのパラメーターを使用しています。

- 必須** 必須パラメーターはメインパス上に表示します。
- オプション** オプション・パラメーターはメインパスの下に表示します。
- デフォルト** デフォルト・パラメーターはメインパスの上に表示します。パラメーターの説明では、デフォルト・パラメーターに下線が付けられています。

構文図では、強調表示、大括弧、または中括弧を使用していません。構文図において、主構文線に対する要素の相対位置は、要素が必須なのか、オプションなのか、またはデフォルト値なのかを示します。

パラメーターは、キーワードまたは変数に分類されます。キーワードは大文字で表記されます。ユーザーが指定する名前または値を表す変数は小文字で表記され、斜体で表示されるか、NetView ヘルプおよび BookManager の資料では異なる色で表示されます。

以下の例では、**USER** コマンドが必須のキーワード・パラメーター、*user_id* が必須の変数パラメーター、*password* がオプションの変数パラメーターです。

▶▶ — **USER** — *user_id* — *password* — ▶▶

句読点と括弧

コロンの、セミコロン、コンマ、負符号 (-)、および一重と二重の両方の引用符など、構文図で示されているすべての句読点を含める必要があります。

オペランドに複数の値がある場合、一般にそれらの値は、括弧で囲んでコンマで区切ります。単一の値の場合は一般に、括弧を省略できます。詳細については、xxiii ページの『複数のオペランドまたは値』を参照してください。

キーワードと変数を区切るためにコマンドで定位置コンマが必要な場合、定位置コンマは、キーワードまたは変数の前に置きます。

コマンドの例を示す場合は、定位置オペランドが存在しないことを示すためにもコンマを使用します。例えば、2 番目のコンマはオプションのオペランドが使用されていないことを示します。

COMMAND_NAME *opt_variable_1*,, *opt_variable_3*

末尾の定位置コンマを指定する必要はありません。末尾の定位置コンマと非定位置コンマは、無視されるか、またはコマンドが拒否されます。後ろにコンマがあるかどうかの各コマンド状態の制限により、コマンドは拒否されます。

省略形

コマンドおよびキーワードの省略形は、各コマンドの説明の後の同義語テーブルにリストしています。

構文例

このセクションでは、構文要素のさまざまな使用例を示します。

必須の構文要素: 必須のキーワードと変数は、メイン構文線上に表示します。必須のキーワードと変数をコーディングする必要があります。

▶— REQUIRED_KEYWORD — *required_variable* —▶

相互に排他的な必須キーワードまたは変数が複数あり、選択可能な場合は、それらを英数字順で縦に積み重ねて示します。

▶— [REQUIRED_OPERAND_OR_VALUE_1
REQUIRED_OPERAND_OR_VALUE_2] —▶

オプションの構文要素: オプションのキーワードと変数は、メイン構文線の下に表示します。オプションのキーワードと変数は、コーディングしないことを選択できます。

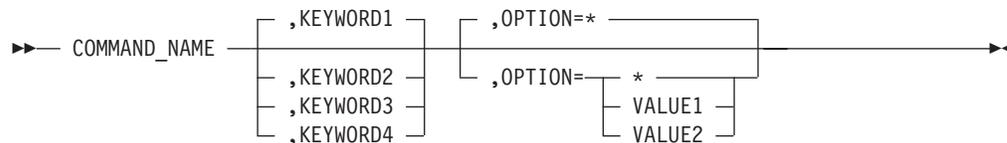
▶— [OPTIONAL_OPERAND] —▶

相互に排他的なオプションのキーワードまたは変数が複数あり、選択可能な場合は、それらをメイン構文線の下に英数字順で縦に積み重ねて示します。

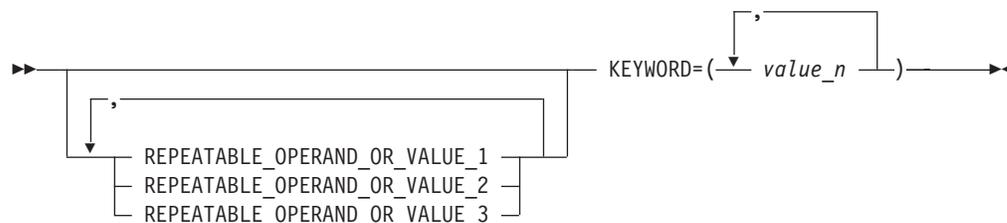
▶— [OPTIONAL_OPERAND_OR_VALUE_1
OPTIONAL_OPERAND_OR_VALUE_2] —▶

デフォルトのキーワードと値: デフォルトのキーワードと値は、次のいずれかの方法でメイン構文線の上に示します。

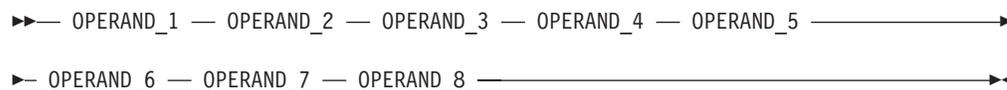
- デフォルト・キーワードは、メイン構文線の上のみ示します。このキーワードを指定するか、デフォルトにすることができます。以下の構文例では、デフォルト・キーワード **KEYWORD1** をメイン構文線の上に、オプションのキーワードの残りをメイン構文線の下に示しています。
- オペランドのデフォルト値がある場合は、そのオペランドをメイン構文線の上下両方に示します。メイン構文線の下に値は、オペランドを指定する場合には、デフォルト値または示されている別の値も指定しなければならないことを示します。オペランドを指定しない場合は、メイン構文線の上にあるデフォルト値が使用されます。以下の構文例では、メイン構文線の上下にオペランド **OPTION=*** のデフォルト値が示されています。



複数のオペランドまたは値: 一群のオペランドまたは値の上にある左に戻る矢印は、複数選択が可能か、または 1 つの値を繰り返すことができることを示しています。



1 行より長い構文: 図が 1 行より長い場合は、続きのある各行が 1 つの矢印で終わり、次の行の先頭が 1 つの矢印で始まります。



構文断片: 構文図によっては、構文の長い、複雑な、または繰り返されるセクションを表すために使用する構文断片が含まれています。構文断片は、メインの構文図に続きます。各構文断片名は大/小文字混合で、メインの構文図と断片の見出しに表示されます。以下の構文例は、Fragment1 と Fragment2 という名前の 2 つの断片が存在する構文図を示しています。



Fragment1

`KEYWORD_A=valueA` - `KEYWORD_B` - `KEYWORD_C`

Fragment2

`KEYWORD_D` - `KEYWORD_E=valueE` - `KEYWORD_F`

第 1 章 NetView V5R4 プログラムでの新機能、変更された機能、または削除された機能

インストール・システムが小規模なものであっても、大規模な分散エンタープライズを管理する場合であっても、NetView はすべてのプラットフォーム上で効率的なシステムおよびネットワーク管理能力を提供します。このリリースでの新機能、変更された機能、または削除された機能について、以下のトピックで説明します。

- 『自動化』
- 2 ページの『IP 管理』
- 5 ページの『シスプレックス管理およびシステム管理』
- 6 ページの『エンタープライズ統合』
- 8 ページの『除去された機能』
- 9 ページの『ライブラリーの変更点』

以前の NetView リリースの機能についての比較情報は、IBM Tivoli NetView for z/OS Web サイトを参照してください。

自動化

表 1. 自動化の機能強化

機能	説明	追加情報
イベント/自動化サービス	ターゲット受信先への EIF イベントの送信を確認する確認済みアラート・アダプター・サービスおよび確認済みメッセージ・アダプター・サービスを追加しました。	<ul style="list-style-type: none">• <i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成</i>• <i>IBM Tivoli NetView for z/OS カスタマイズ・ガイド</i>
NetView MVS コマンド改訂	NetView コマンド改訂機能を使用すると、MVS コマンドの検査、変更、または削除 (取り消し) を行うことができます。WTOR 要求に対する応答の取得、他の MVS コマンドに対する応答の取得、ファイルの読み取りなど、NetView アドレス・スペースへの転送が要求される複雑な変更を行うことができます。 既存の MVS コマンド管理機能は、マイグレーションのためにのみ、引き続きサポートされますが、非推奨とみなされます。	<ul style="list-style-type: none">• <i>IBM Tivoli NetView for z/OS オートメーション・ガイド</i>

表 1. 自動化の機能強化 (続き)

機能	説明	追加情報
SMF タイプ 30 レコードの自動化	MVS IEFACRT SMF インストール・システム出口は、ジョブまたはジョブ・ステップが終了したときに、それが正常終了か異常終了かに関係なく、システムからの制御を受け取ります。NetView プログラムには、プログラム間インターフェース (PPI) を介してデータを受信先に渡すサンプルの IEFACRT 出口 (CNMSMF3E) が用意されていて、受信先では、NetView 自動化機能を使用して処理できるデータを格納したメッセージが発行されます。これにより、異常終了したジョブに対する対応を迅速で一貫性のあるものにすることができます。	IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成

IP 管理

表 2. IP 管理の機能強化

機能	説明	追加情報
DVIPA およびディスカバリー・マネージャー用の Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent ワークスペース	<p>ユーザーが DVIPA の問題および分散 DVIPA の問題を診断するのに役立つように、新規および変更済みの DVIPA ワークスペースが提供されます。</p> <p>TCP/IP スタック、IP インターフェース、Telnet サーバーおよびポート、NetView アプリケーション、OSA、および HiperSockets™ アダプターを使用して、ユーザーが問題を診断するのに役立つように、ディスカバリー・マネージャーによって収集されたデータを表示する新規および変更済みのワークスペースが提供されます。</p>	<p>変更のリストについては、237 ページの『Enterprise Management Agent の変更点』を参照してください。インストール情報については、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成」を参照してください。</p>
ディスカバリー・マネージャー	<p>ディスカバリー・マネージャーは、シスプレックス、z/OS イメージ、TCP/IP スタック、IP インターフェース、OSA、HiperSockets、NetView、および Telnet サーバーの各データを収集して、NetView 管理コンソールおよび NetView for z/OS Enterprise Management Agent に表示します。3270 TCP/IP スタック、IP インターフェース、Telnet サーバー、OSA、HiperSockets、および NetView アプリケーションの各コマンドもリアルタイムで提供します。</p>	IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成

表 2. IP 管理の機能強化 (続き)

機能	説明	追加情報
分散 DVIPA 統計	ワークロードが分散 DVIPA ターゲットに分散される状況の評価に役立つために、分散 DVIPA 統計が収集されます。この情報は、問題の判別や履歴の傾向分析を行うために、DVIPA データ収集が実行されて情報がデータ・セットに記録されるたびに収集されます。統計のロギングは、NetView の初期化時に開始することも、DVIPALOG コマンドを動的に発行することによって開始することもできます。CNMSDVST サンプル・コマンドを使用すると、統計データ・セット内のデータを表示できます。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理</i>
DVIPA のイベント・ベースの更新	サンプリングの他に、NetView プログラムでは、イベントを使用して DVIPA 情報を更新できます。この場合には、変更が発生すると更新が行われます。このようなイベントには、z/OS Communications Server の DVIPA SNMP トラップ、z/OS Communications Server の VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル更新、および一部の z/OS Communications Server シスプレックス・モニタリング・メッセージがあります。 注: VIPADYNAMIC TCPIP プロファイル更新に対するイベントは、V1R11 以降の z/OS Communications Server を必要とします。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成</i>
IP パケットのトレースおよび表示	パケット・トレース・インターフェースでは、AON コンポーネントが必要なくなりました。トレース機能は、IP パケット・トレースの管理機能を提供します。表示機能は、IP パケットの取り込みおよび表示機能を提供します。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理</i>
OSA パケットのトレースおよび表示	パケット・トレース・インターフェースは、メニュー方式の OSA パケット・トレース機能および表示機能を提供するように更新されました。トレース機能は、OSA パケット・トレースの管理機能を提供します。表示機能は、OSA パケットの取り込みおよび表示機能を提供します。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理</i>

表 2. IP 管理の機能強化 (続き)

機能	説明	追加情報
マルチシステム・マネージャー IBM Tivoli Network Manager エージェント	IBM Tivoli Network Manager のマルチシステム・マネージャー・エージェントは、IBM Tivoli Network Manager によってディスカバーされたネットワーク・リソースおよび関係について、Tivoli Network Manager トポロジー・データベースから IP トポロジー情報を抽出し、その情報をリソース・オブジェクト・データ・マネージャー (RODM) に読み込みます。これにより、メインフレームおよびエンタープライズの IP リソースをセントラル・サイトから一元管理できます。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理</i>
NetView 管理コンソールによる IPv6 での通信のサポート	NetView 管理コンソールは、IPv6 での通信をサポートします。NetView製品によって提供される他の IP 機能との整合性を確保するため、NetView 管理コンソールのウィンドウ、メッセージ、およびヘルプでは、「IP セッション」という用語は、「IP 接続」に変更されました。	186 ページの『NetView 管理コンソールのトポロジー・サーバーおよびコンソールのマイグレーション』
AON 機能	以下の機能は、AON コンポーネントから基本の NetView プログラムに移動しました。 <ul style="list-style-type: none"> • ACTMON • 侵入検出 • IP コンポーネント・トレース • IP トレース • IPMAN • IPSTAT • NVSNMP 	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成</i>

シスプレックス管理およびシステム管理

表 3. シスプレックス管理およびシステム管理の機能強化

機能	説明	追加情報
シスプレックス管理 およびシステム管理	<p>シスプレックス環境を管理する複雑さが増大すると、単一制御点からの管理が必要になります。 NetView プログラムは、高可用性のシスプレックス管理機能を提供することで、複雑なシステムの対話を緩和し、運用上の効果を最大限まで高めます。ご使用のシスプレックスに関する情報の管理と表示に使用するために、マスター NetView プログラムが自動的に使用可能になります。障害が発生した場合にシスプレックスをモニターできる別の NetView プログラムへの自動フェイルオーバーも用意されています。この強力な管理機能とともに、シスプレックスおよびシステム・リソース (シスプレックス、カップリング・ファシリティー、z/OS イメージ、TCP/IP スタック、IP インターフェース、動的仮想 IP アドレス (DVIPA)、Telnet サーバーおよびポート、中央演算処理装置複合システム、論理区画、オープン・システム・アダプター (OSA)、HiperSockets アダプターなど) のモニターを使用できます。</p> <p>マスター NetView プログラムは、シスプレックスの外部にあるシステム、および別のシスプレックスに対して管理機能を提供できます。この NetView プログラムは、エンタープライズ NetView プログラムとして知られています。エンタープライズ NetView プログラムが、シスプレックスの外部にあるシステムを管理するには、追加の構成が必要です。DVIPA 情報は、シスプレックス管理に限定されています。</p>	IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理
XCF サービス	<p>XCF サービスは、シスプレックス内部にある他の NetView プログラムを自動的に認識するために使用されます。この認識により、NetView プログラムは、障害が発生した場合に別の NetView プログラムにフェイルオーバーすることができます。</p> <p>XCF サービスを使用することにより、シスプレックス内部にある他の NetView プログラムからのデータを収集および処理するマスター NetView プログラムが実装されて、単一制御点が提供されます。</p>	IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成

エンタープライズ統合

表 4. エンタープライズ統合

機能	説明	追加情報
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent	NetView V5R4 製品では、NetView for z/OS Enterprise Management Agent (NetView エージェント) が別個の機能変更 ID (FMID) になり、基本の NetView プログラムのインストールから除去されました。新規の FMID では、IBM Tivoli Monitoring V6.2.1 Interim Fix 3 以降をベースとして使用します。SMP/E を使用してインストール・プログラムを実行する場合、NetView エージェントは、IBM Tivoli Monitoring ターゲット・ライブラリーにインストールされます。	Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent のプログラム・ディレクトリー
MultiSystem Manager IBM Tivoli Network Manager 機能	IBM Tivoli Network Manager 機能により、IBM Tivoli Network Manager 製品により、ローカルに識別され、管理されているリソースに関する情報が転送されます。この情報が RODM に保管されたら、NetView オペレーターは、これらのネットワーク・リソースを NetView 管理コンソールで表示および管理できます。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS ユーザーズ・ガイド</i> : <i>NetView</i>
Tivoli Common Reporting	NetView エージェントのワークスペース内では、リアルタイム・データと履歴カル・データの両方を使用できます。履歴カル・データ収集機能が構成されて使用可能化され、データが収集されて Tivoli Data Warehouse に送信されたら、Tivoli Common Reporting ツールを使用してレポートを作成できます。NetView プログラムは、このツールで使用できる履歴カル・レポートを提供します。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成</i>

その他の機能強化

表 5. その他の機能強化

機能	説明	追加情報
CLOSE コマンドおよびメッセージ自動化	CNMSTYLE メンバーの <code>endcmd.close.leeway</code> ステートメントを使用すると、NetView プログラムに CLOSE IMMED、CLOSE STOP、または MVS STOP (P) コマンドを入力後、コマンドの実行を続行できる期間を指定できます。これにより、ユーザー作成コードの複雑なクリーンアップ活動が完了できます。余裕期間の間、メッセージ自動化機能はアクティブなままですが、新規のコマンドをキューに入れることはできません。	<ul style="list-style-type: none"> • <i>IBM Tivoli NetView for z/OS オートメーション・ガイド</i> • <i>IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス</i>
NetView Web サービス・ゲートウェイ	NetView Web サービス・ゲートウェイは、コマンドを発行し、応答を受け取るためのオープン・インターフェースを NetView プログラムに提供します。通信については SOAP が使用され、トランスポート・メカニズムとしては HTTP または HTTPS が使用されます。	<ul style="list-style-type: none"> • <i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成</i> • <i>IBM Tivoli NetView for z/OS アプリケーション・プログラマーズ・ガイド</i>
グローバル KEEP	グローバル KEEP 機能は、NetView PIPE KEEP 機能の既存の機能を強化および拡張します。ユーザーは、この機能を使用して、NetView メッセージのリポジトリ (保持データ) の作成、削除、変更、およびアクセスを行います。名前空間は、保持データに対して 255 バイトの ID を付けられるように拡張されました。さらに、任意の正規タスクから、特別に指定された保持データにアクセスできます。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS プログラミング: パイプ</i>
セキュリティー - パスワード・フレーズのサポート	パスワードの代わりにパスワード・フレーズを使用できます。パスワード・フレーズには 100 文字までの長さの句を使用できるため、サインオン保護の強度を向上させることができます。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS セキュリティー・リファレンス</i>

除去された機能

表 6. 除去された機能

機能	説明	追加情報
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent ワークスペース	以下の 3 つのワークスペースが、推奨されなくなりました。 <ul style="list-style-type: none"> DVIPA ディストリビューター・ターゲット ポート別 DVIPA ワークロード フィルターに掛けられた DVIPA ディストリビューター・ターゲット 	これらのワークスペースの変更点について詳しくは、237 ページの『Enterprise Management Agent の変更点』を参照してください。
Tivoli Common Reporting を使用した Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent レポート	DVIPA ワークロード・レポートが推奨されなくなりました。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成</i>
NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent	以下のバージョンの NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent が、除去されました。 <ul style="list-style-type: none"> NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0 NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent バージョン 5.2.5 NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.3 	<ul style="list-style-type: none"> 109 ページの『第 5 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 からのマイグレーション』 135 ページの『第 6 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 からのマイグレーション』
Web アプリケーションでの SNMP 機能	NetView Web アプリケーションから SNMP 機能が除去されました。	160 ページの『NetView Web アプリケーション』
NetView 管理コンソールでの SNMP 機能	Web アプリケーションから除去された SNMP 機能は、NetView 管理コンソールから起動できなくなりました。	160 ページの『NetView 管理コンソール』
マルチシステム・マネージャー LAN Network Manager のサポート	この販売中止製品のサポートは除去されました。	
LPDA	この販売中止ハードウェアのサポートは除去されました。	

ライブラリーの変更点

表7. ライブラリーの変更点

資料	説明	追加情報
マルチシステム・マネージャー ユーザーズ・ガイド	このマニュアルはライブラリーから除去され、このマニュアルの記載情報は他のマニュアルに移動されました。	マルチシステム・マネージャーのインストールおよび構成: <i>IBM Tivoli NetView for z/OS Installation: Configuring Graphical Components</i> マルチシステム・マネージャーの IP エージェント: <i>IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理</i> マルチシステム・マネージャーの使用: <i>IBM Tivoli NetView for z/OS NetView 管理コンソールユーザーズ・ガイド</i>
<i>Automated Operations Network</i> カスタマイズ・ガイド	このマニュアルは、「 <i>IBM Tivoli NetView for z/OS User's Guide: Automated Operations Network</i> 」と結合されました。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS User's Guide: Automated Operations Network</i>
IP 管理	IP 管理のために NetView for z/OS プログラムを使用することに関するこの新マニュアルが、ライブラリーに追加されました。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理</i>
OMEGAMON XE 共有資料	OMEGAMON XE 共有資料は、NetView インフォメーション・センターで利用できます。これらの資料は、Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent のインストール時に役立ちます。	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成</i>

第 2 章 マイグレーションの準備

本書では、NetView V5R4 プログラムへのマイグレーションのための情報を提供します。インストールを始めるにあたり、NetView プログラム・ディレクトリーを先にお読みください。

その他の情報源

- NetView プログラムをインストールするために必要な手順について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 概説」を参照してください。
- 既存の NetView プログラムと同じ LPAR に NetView プログラムをインストールする場合は、本書の手順を実行するときに「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」の『同じ LPAR 内での複数の NetView の実行』を参照してください。

Tivoli NetView for OS/390 V1R3 より前のリリースからマイグレーションを行う場合は、新規ユーザーとしてインストールしてください。「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 概説」を参照してください。

概要

以下の作業によりマイグレーションを行います。

1. NetView プログラム・ディレクトリーを参考に、NetView プログラムを、SMP/E を使用して配布テープからインストールする。
2. ご使用の z/OS システムに、現行の NetView リリースのために必要な追加の準備を行う。
3. 現行の NetView リリースに行われた変更を組み込むため、既存の NetView インストール・システムを変更する。
4. NetView プログラムの基本機能をテストして、マイグレーションを検査する。

本書は、最小限の時間で、NetView プログラムのマイグレーションおよび検査を行うことを目的として作成されています。

ハードウェア要件およびソフトウェア要件

インストールのためのハードウェア要件およびソフトウェア要件の詳細情報と包括的リストについては、NetView プログラム・ディレクトリーを参照してください。

インストール・パッケージ

インストール・パッケージの内容についての詳細は、NetView プログラム・ディレクトリーを参照してください。

マイグレーションの概要

ワークステーション・ベースの NetView コードは、次の 2 つの形式で提供されま
す。

- CD または DVD
- Tivoli Web サイト

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent (NetView エージェント) は、
NetView for z/OS V5R3 のコンポーネントとして使用可能でした。 NetView for
z/OS V5R4 以降は、SMP/E でインストール可能な独立した FMID としてパッケージ
化されるようになりました。 NetView エージェントのインストールの詳細につい
ては、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS
Enterprise Agent の構成*」を参照してください。

古い NetView リリースを実行しながら新しい NetView リリースをイン ストールする方法

V5R4 へのマイグレーションを計画して実施するとき、実動システムとして古い
バージョンの NetView プログラムを実行させておく場合は、以下の処置を行うと
マイグレーションが容易になります。

- このパッケージをカスタムビルト製品デリバリー・オファリング
(CBPDO, 5751-CS3) として注文した場合は、既存の NetView リリースに使用さ
れているものとは別個の SMP グローバル・ゾーンおよびターゲット・ゾーンに
V5R4 ファイルをインストールできます。
- 2 つの完全 NetView プログラムを並行して実行することを計画している場合を除
き、マイグレーションが完了した後、古い NetView リリースを削除することをお
勧めします。
- V5R4 のインストール時に SCNMLPA1 にコピーされるモジュールは、以下の製
品と後方互換性があります。
 - Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3
 - Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2
 - Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1
 - Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4

SCNMLPA1 内のモジュールは前の NetView リリースと後方互換性がありますが
が、SCNMLPA1 を最新の状態に保つために、現行リリースのこれらのモジュー
ルのコピーで稼働することをお勧めします。したがって、SCNMLPA1 の旧のコ
ピーを削除して、SCNMLPA1 の V5R4 のコピーを LPALST に配置してくださ
い。このときには z/OS システムを再始動する必要があるため、このアクティビ
ティは都合の良い時間にスケジュールしてください。

- NETVIEW.V5R4M0.SCNMLNK1 内の ISTIECCE ロード・モジュールは、
NetView リリース V1R4 の ISTIECCE モジュールとは互換性がありません。
VTAM[®] 始動プロシージャの VTAMLIB DD ステートメントに正しいレベルの
このモジュールが組み込まれていることを確認してください。前のバージョンの
ISTIECCE モジュールを使用した場合やこのモジュールが正しいライブラリーに
入っていない場合、ステータス・モニターの初期化に失敗したり、その他の予期
しない結果になることがあります。

- NetView V5R4 プログラムへマイグレーションするときに、以前の (既存の) NetView リリースの LNKLST モジュールにアクセスする方法を決定してください。新規リリースへのマイグレーション中に、STEPLIB データ・セット連結を使用して、両方のリリースの NetView LNKLST ライブラリーにアクセスすることも、マイグレーション元の NetView プログラムのライブラリーに対して STEPLIB データ・セット連結を使用しているとき、PROGxx PARMLIB メンバーを使用して、NetView V5R4 ライブラリーにアクセスすることもできます。

2 つのリリースの NetView プログラム、 NetView 管理コンソール、および RODM を 1 つの実動システムで実行するためのサポートが用意されています。2 つの NetView リリースを同じシステムで実行する方法については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」の『同じ LPAR 内での複数の NetView の実行』を参照してください。

マイグレーション・プロセス

プロセス内の以降のセクションに概説された手順に従って、NetView プログラムの現行リリースにマイグレーションします。これらのステップは、新規ユーザーのためのインストール・プロセスの高水準の概説であり、環境が準備されたこと、および NetView プログラムが正しくインストールされたことを確認するためのチェックリストとして利用できます。現行の NetView リリースのために準備される環境は、以下のとおりです。

- MVS システム
- UNIX システム・サービス

NetView プログラム用にこれらの環境を準備した後のマイグレーション手順は、次のようにグループ化されます。

- 基本 NetView 機能
- グラフィカル NetView 機能
- 拡張 NetView 構成

このマイグレーション・プロセスを始める前に、ご使用の NetView ライブラリーのバックアップ・コピーを作成しておいてください。

データ・セットの統合

前のリリースの AON、イベント自動化サービス (E/AS)、および RODM データ・セットが NetView データ・セットに統合されました。

表 8. データ・セットの統合

統合時のリリース	以前のデータ・セット名	V5R4 データ・セット名
V5R2	AEKGCAS1	ACNMSAMP
	AEKGLUTB	ACNMSAMP
	AEKGMOD1	ACNMLINK
	AEKGPL1	ACNMPNL1
	AEKGSMP1	ACNMSAMP
	AEZLCLST	ACNMCLST
	AEZLINST	ACNMSAMP
	AEZLLINK	ACNMLINK
	AEZLPNU	ACNMPNL1
	AEZLSAMP	ACNMSAMP
	SEKGCAS1	CNMSAMP
	SEKGLNK1	SCNMLNKN
	SEKGLUTB	CNMSAMP
	SEKGMOD1	CNMLINK
	SEKGMOD2	CNMLINK
	SEKGPL1	CNMPNL1
	SEKGSMP1	CNMSAMP
	SEZLCLST	CNMCLST
	SEZLINST	CNMSAMP
	SEZLLINK	CNMLINK
SEZLPNU	CNMPNL1	
SEZLSAMP	CNMSAMP	
V5R4	ACNMUXLK	ACNMLINK
	ACNMUXMS	ACNMSAMP または ADUIMSG1
	SCNMUXLK	CNMLINK
	SCNMUXMS	CNMSAMP または SDUIMSG1

注:

1. V5R2 では、SCNMLNKN は新しいデータ・セット名です。
2. RODM データ・セットの AEKGLANG と SEKGLANG は統合されませんでした。
3. E/AS データ・セットの ACNMUXCL と SCNMUXCL は統合されませんでした。

MVS システムの準備

MVS を NetView V5R4 プログラム用に更新するには、以下のステップを行う必要があります。以下は、新規インストールに必要な基本ステップと同じです。これらのステップの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 概説」を参照してください。

SYS1.PARMLIB のメンバーを更新するには、表 9 を参照してください。

表 9. SYS1.PARMLIB メンバー

メンバー名	お勧めする更新
COUPLExx	<p>自動リスタート・マネージャー (ARM) 結合データを識別するために、以下の DATA ステートメントを XCF に追加します。</p> <pre>DATA TYPE(ARM) PCOUPLE(primary-dsname) ACOUPLE(alternate-dsname)</pre> <p>プライマリーおよび代替 ARM 結合データ・セットを作成した後、それらを初期化します。</p> <p>このシステムをシスプレックスに追加し、NetView プログラムが XCF サービスを使用できるようにする場合は、「<i>z/OS MVS</i> シスプレックスのセットアップ」を参照してください。</p>
PROGxx または IEAAPFxx	<p>これらがまだ許可されていない場合、ご使用の VTAM および NetView 始動プロシージャの STEPLIB、VTAMLIB、および NCPLOAD 連結に組み込まれているすべてのライブラリーを許可してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VTAM 始動プロシージャ: CNMSJ008 (CNMNET) • NetView 始動プロシージャ: CNMSJ009 (CNMPROC) • NetView サブシステム・インターフェース (SSI) 始動プロシージャ: CNMSJ010 (CNMPSSI) • RODM 始動プロシージャ: EKGXRODM • GMFHS 始動プロシージャ: CNMSJH10 (CNMGMFHS) • イベント/自動化サービス 始動プロシージャ: IHSAEVNT <p>以下の NetView ライブラリーが許可済みであることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NETVIEW.V5R4M0.SCNMLNK1 • NETVIEW.V5R4M0.SCNMLPA1 • NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK • NETVIEW.V5R4M0.SCNMLNKN <p>日本語版プログラムの V5R4 をインストールする場合は、NetView データ・セットの SCNMMJPN を許可してください。このデータ・セットは CNMPROC の STEPLIB にあります。</p> <p>Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent を使用する計画の場合は、以下の追加ライブラリーを許可してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RKANMOD • RKANMODL • RKANMODU • STEPLIB DDNAME と、CANSNA および CANSDSST 開始済みタスクの RKANMODL DDNAME に連結されたランタイム・ライブラリー

マイグレーションの概要

表 9. SYS1.PARMLIB メンバー (続き)

メンバー名	お勧めする更新
PROGxx または IEAAPFxx (続き)	<p>REXX 環境について、次のいずれかのライブラリーが APF 許可されていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • REXX/370 ランタイム・ライブラリー: SEAGLPA • REXX 代替ライブラリー: SEAGALT <p>Web サービス・ゲートウェイを使用する予定の場合は、以下のライブラリーが APF 許可であることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML ツールキット・ランタイム・ライブラリー: SIXMLOD1 • GSKit ランタイム・ライブラリー: SIEALNKE <p>注: SETPROG APF コマンドを使用すると、APF 許可ライブラリーのリストを動的に更新することができます。</p> <p>以下のデータ・セットは、NetView V5R4 では使用されなくなりました。他の理由で使用されているのでなければ、除去してかまいません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SCNMUXLK • SEKGMOD1 • SEKGMOD2 • SEZLLINK • SEKGLNK1 • SEKGSMP1
IEAIPsxx	<p>ワークロード・マネージャーについて、JCL でディスパッチング優先順位を指定することはできなくなりました。システムは、JCL EXEC ステートメントの DPRTY キーワードを無視します。DPRTY パラメーターが認識されるが無視される際、警告メッセージは発行されません。</p>
IEASYMxx	<p>TCP/IP アプリケーション名、RODM 名、およびネットワーク ID を含む、NetView プログラム用のユーザー定義のシステム・シンボルを識別するため、SYSDEF ステートメントを追加します。</p> <p>これらのシンボリック変数を設定すると、TCP/IP ポートなどの一部のデフォルト・パラメーターを変更する必要がある場合を除き、多数の NetView 初期化メンバーを変更するという作業を軽減できます。</p> <p>例えば、次のシンボリック変数を定義することができます (これらは、デフォルトの NetView シンボル名です)。</p> <pre>SYSDEF SYMDEF(&CNMTCPN='tcpip_name') SYSDEF SYMDEF(&CNMRODM='rodm_name') SYSDEF SYMDEF(&CNMNETID='network_id')</pre> <p>これらのシンボリック変数を使用する初期化メンバーは、21 ページの表 11 に示されています。</p> <p>サンプル A01APPLS (CNMS0013) を使用する場合、&CNMDOMN シンボルを NetView ドメインに設定することができます。このシンボルを設定しない場合は、&CNMDOMN を NetView ドメインに置換してください。</p> <p>注: NetView for z/OS Enterprise Management Agent はまた、更新する必要がある場合には、システム・シンボリックもサポートします。「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成」を参照してください。</p>

表 9. SYS1.PARMLIB メンバー (続き)

メンバー名	お勧めする更新
IEASYSxx	<p>NetView プログラムの ASID の最大数および置換 ASID を指定します。V5R3 以降、NetView for z/OS Enterprise Management Agent の LPAR ごとに、1 つまたは 2 つのアドレス・スペースが追加されました。z/OS Tivoli Enterprise Monitoring Server を実行する場合は、2 つ追加されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> MAXUSER を、ある任意の時点で使用したい ASID の数に設定します。 RSVNONR を、置換値にする値に設定します。 <p>注: MAXUSER、RSVNONR、および RSVSTRT の値の合計が、32767 を超えてはなりません。MAXUSER を小さい値にする場合は、必ず、RSVNONR にはかなり大きい値を指定してください。</p> <p>自動リスタート・マネージャー (ARM) またはワークロード・マネージャー (WLM) 用の DATA ステートメントが含まれている COUPLExx メンバーを識別するために、COUPLE システム・パラメーターを追加します。ARM または WLM サポートのために PLEXCFG=MONOPLEX または PLEXCFG=MULTISYSTEM を追加します。</p> <p>このシステムをシスプレックスに追加し、NetView プログラムが XCF サービスを使用できるようにする場合は、「z/OS MVS シスプレックスのセットアップ」を参照してください。</p> <p>ARM サポートを使用している場合は、COUPLE システム・パラメーターを使用して、DATA ステートメントが含まれている COUPLExx メンバーを識別します。</p> <p>ご使用の環境に該当する PLEXCFG オペランドを設定してください。</p>
IEFSSNxx	<p>NetView および RODM のサブシステム名が定義されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> RODM サブシステム名 (EKGX がデフォルトです) 4 文字の NetView サブシステム名 (CNMP がデフォルトです) <p>IEFSSNxx で NetView サブシステム名を配置する場所を決定する前に、以下の条件を考慮してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> IEFSSNxx でほかのサブシステム名の前に NetView サブシステム名を配置すると、NetView サブシステムは、他のサブシステムによって変更を受けることなくすべての MVS システムのメッセージとコマンドを受け取ります。 IEFSSNxx で、NetView サブシステム名を他のサブシステム名の後に配置すると、NetView サブシステムが受信するすべての MVS メッセージおよびコマンドは、NetView サブシステムより前にリストされた他のサブシステムによって行われる変更の影響を受けます。
IKJTSOxx	<p>NetView for z/OS Enterprise Management Agent を使用する計画の場合は、次のように許可プログラム (AUTHPGM) セクションに KPDDSCO プログラムを追加してください。</p> <p>AUTHPGM NAMES(KPDDSCO,pgm2,...)</p>

マイグレーションの概要

表9. SYS1.PARMLIB メンバー (続き)

メンバー名	お勧めする更新
PROGxx または LNKLSTxx	<p>NetView JCL メンバー (例えば、開始プロシージャー) のいずれかで、STEPLIB DD ステートメントの代わりに LINKLST を使用している場合は、SYS1.PARMLIB データ・セットの PROGxx メンバーを更新して、SYS1.LINKLIB データ・セットに対する拡張として以下のプログラム・ライブラリーを組み込んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK • NETVIEW.V5R4M0.SCNMLNKN <p>SCNMLNKN データ・セットは、RODM トレース、MVS コマンド出口、および (UNIX および TSO コマンド・サーバーが使用する) DSIPHONE に使用されます。SCNMLNKN データ・セットは、NetView プログラムのサンプル内では参照されません。これらのサンプルの JCL では、SCNMLNKN データ・セットが PROGxx メンバーに組み込まれていない場合、STEPLIB DD ステートメントで SCNMLNKN データ・セットを指定する必要があります。</p> <p>以下のデータ・セットは、NetView V5R4 では使用されなくなりました。他の理由で使用されているのでなければ、除去してかまいません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SCNMUXLK • SEKGMOD1 • SEKGMOD2 • SEZLLINK • SEKGLNK1 • SEKGSMP1 <p>注: Tivoli Management Services インフラストラクチャーを使用する z/OS 製品の Take Action セキュリティー・ソリューションを使用している場合は、LNKLSTxx に NetView CNMLINK データ・セットをコーディングするだけでは不十分です。Tivoli Enterprise Monitoring Server または z/OS エージェントの RKANMODL DD ステートメントの NetView CNMLINK データ・セットに連結する必要もあります。Take Action セキュリティーについては、「<i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> インストール: <i>Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent</i> の構成」を参照してください。</p>
PROGxx EXIT	<p>CNMSMF3E サンプルを IEFACRT 出口ルーチンとして使用する予定の場合は、以下のステートメントを PROGxx メンバーに追加して、CNMSMF3E サンプルを IEFACRT 出口に関連付けてください。</p> <pre>EXIT ADD EXITNAME(SYS.IEFACRT) MODNAME(CNMSMF3E)</pre> <p>IEFACRT 出口には複数の出口ルーチンを定義できるため、PROGxx メンバーの SYS.IEFACRT 出口に複数の EXIT ステートメントが存在する可能性があります。</p>
LOADxx	<p>必要であれば、ユーザー定義のシステム変数に使用する IEASYMxx メンバーを識別するため、IEASYM ステートメントを追加します。</p>

表 9. SYS1.PARMLIB メンバー (続き)

メンバー名	お勧めする更新
LPALSTxx	<p>SCNMLPA1 データ・セットを組み込みます。V5R4 と同じシステムで前の NetView リリースを実行する場合、V5R4 SCNMLPA1 を LPALSTxx に追加します。LPALSTxx に、前の NetView SCNMLPA1 が組み込まれていないことを確認します。</p> <p>LPALSTxx メンバーに指定されているデータ・セットは、APF 許可である必要や、システム・マスター・カタログに登録されている必要がなくなりました。SCNMLPA1 データ・セットがユーザー・カタログにカタログされている場合、SCNMLPA1 データ・セットが置かれているパットの 1 文字から 6 文字の VOLSER を (データ・セット名の直後に括弧で囲んで) 指定します。例えば、次のように指定します。</p> <p>NETVIEW.V5R4M0.SCNMLPA1(<i>volser</i>)</p>
MPFLSTxx	<p>コマンド改訂機能として MVS コマンド出口 DSIRVCEX の使用を予定している場合は、SYS1.PARMLIB の MPFLSTxx メンバーに次のステートメントを追加してください。</p> <p>.CMD USEREXIT(DSIRVCEX)</p> <p>現在 MVS コマンド管理機能を使用していて、NetView コマンド改訂機能への移行時に引き続き使用する場合は、次のステートメントを使用します。</p> <p>.CMD USEREXIT(DSIRVCEX,DSIMCAEX)</p> <p>NetView コマンド改訂機能について詳しくは、「IBM Tivoli NetView for z/OS オートメーション・ガイド」を参照してください。</p>
SCHEDxx	<p>NetView プログラムが、MVS ストレージ・キー 8 で実行されることを確認してください。以下の NetView プログラム用の SCHEDxx ステートメントが使用されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハードウェア・モニター (NPDA) を伴わない NetView プログラム、NetView JCL PROC において PGM=DSIMNT の場合 PPT PGMNAME(DSIMNT) NOSWAP KEY(8) • ハードウェア・モニター (NPDA) を伴う NetView プログラム、NetView JCL PROC において PGM=BNJLINTX の場合 PPT PGMNAME(BNJLINTX) NOSWAP KEY(8) • RODM プログラム、RODM JCL PROC において PGM=EKGTC000 の場合 PPT PGMNAME(EKGTC000) NOSWAP NOCANCEL • NetView GMFHS プログラム、GMFHS JCL PROC において PGM=DUIFT000 の場合 PPT PGMNAME(DUIFT000) NOSWAP KEY(8) <p>NetView プログラムの SSI アドレス・スペースと NetView for z/OS Enterprise Management Agent は、それ自体をスワップ不能にできます。</p>

マイグレーションの概要

表 9. SYS1.PARMLIB メンバー (続き)

メンバー名	お勧めする更新
SMFPRMxx	<p>タイプ 37 (ハードウェア・モニター) およびタイプ 39 (セッション・モニター) SMF レコードが、収集されるようにセットアップされていることを確認します。</p> <p>V5R4 では、CNMSMF3E サンプルを IEFACRT 出口ルーチンとして使用する予定の場合、タイプ 30 の SMF レコードが収集の対象としてセットアップされていることと、SYS 指定の EXITS オペランドに IEFACRT 出口が含まれていることを確認してください。</p> <p>注: 監視プログラム呼び出し命令 (SVC) 番号の使用は、NetView プログラムではサポートされなくなりました。SVC 番号を使用していた場合、次のステートメントを削除してください。</p> <p>LOGSVC nnn</p> <p>前のリリースの NetView プログラムをすでに実行していない場合は、対応する SVC を LPALIB から削除できます。</p>

表 10 に、各種の NetView アドレス・スペースによって作成されるデータ・スペースを示します。ご使用のインストール済み環境のデータ・スペースのサイズを IEFUSI 出口を使用して制限する場合は、表 10 に示す機能を活動化するとき調整が必要になる場合があります。

表 10. NetView プログラムによって作成されるデータ・スペース

アドレス・スペース	作成されるデータ・スペース
NetView	<ul style="list-style-type: none"> NetView プログラムにより、CNMPROC 開始プロシーチャーの TRSIZE パラメーターを介して管理される内部トレース・データ・スペースが、初期化時に作成されます。 V5R2 では、TCP/IP 接続管理 (TCPCONN) 機能により、ご使用のシステムの TCP/IP スタックごとにデータ・スペースが作成されます。 V5R2 では、IP パケット・トレース (PKTS) 機能により、ご使用のシステムの TCP/IP スタックごとにデータ・スペースが作成されます。 V5R4 では、OSA パケット・トレース (OPKT) 機能により、ご使用のシステムの TCP/IP スタックごとにデータ・スペースが作成されます。 V5R4 では、DISCOVERY タワーが CNMSTYLE メンバーで使用可能になっている場合、リアルタイム SMF データ・ネットワーク管理インターフェース (SYSTCPSM) により、ご使用のシステムの TCP/IP スタックごとにデータ・スペースが作成されます。
RODM	<p>RODM により、3 つのデータ・スペースが作成されて使用されます。RODM は、初期設定時に 2 ギガバイトのデータ・スペースを割り振ります。</p>
NetView for z/OS Enterprise Management Agent	<p>V5R3 では、NetView for z/OS Enterprise Management Agent により、通信相手の NetView プログラムごとにデータ・スペースが作成され、CNMSTYLE メンバーの NACMD.PERSIST ステートメントの値が 0 より大きい場合は、2 番目のデータ・スペースも作成されます。</p>

シンボリック変数を使用する初期化メンバーを、表 11 に示します。

表 11. 初期化メンバーで使用されるシンボリック変数

メンバー	タスク	TCP/IP 名	RODM 名	NETID
		&CNMTCPN	&CNMRODM	&CNMNETID
CNMSTYLE	NetView の初期化	X	X	X
DUIGINIT	GMFHS (グラフィックス)		X	
FLBSYSD	SNA トポロジー・マネージャー		X	

注: ジョブ CNMSJBUP (23 ページの表 13 を参照) を実行した後、シンボル置換を行うために、代替メソッドとしてデータ・セット NETVIEW.V5R4USER.INSTALL でサンプル CNMSJM12 を使用することができます。CNMSJM12 により、NetView メンバー内のシンボリック変数が置換されます。

その他の考慮事項は、以下のとおりです。

- NetView V5R4 プログラムは、REXX ランタイム・ライブラリーまたは REXX 代替ライブラリーにアクセスできる必要があります。
- NetView コンポーネント (例えば、マルチシステム・マネージャーおよび AON) および基本 NetView 機能のいくつかは、REXX で作成されたコードを実行します。NetView プログラムにはまた、データ REXX 関数を使用する複数のパーツも含まれています。データ・ファイルに REXX 命令および関数を組み込むには、データ REXX 関数を使用します。NetView プログラムを初期化するには、システムが NetView アドレス・スペース用に初期化する言語プロセッサ環境の最大数を調整する必要がある場合があります。NetView プログラム用の言語プロセッサ (REXX) 環境の詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。
- System Automation for z/OS と NetView プログラムの AON コンポーネントを同じアドレス・スペースで実行する場合は、ワークロード・マネージャーを使用可能にしてください。詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

UNIX システム・サービスの準備

NetView V5R4 用に UNIX システム・サービスを更新するには、以下のステップが必要です。MVS NetView コンポーネントを V5R4 にアップグレードする場合は、UNIX システム・サービスの NetView コンポーネントも V5R4 にアップグレードしてください。

注:

1. NetView プログラムによる UNIX システム・サービスの構成ファイルへのアクセス方法上の理由から、NetView プログラムでは 1 つのバージョンの構成ファイルしか実行できません。
2. 複数の NetView プログラムを 1 つの LPAR の下で実行している場合は、これらの NetView プログラムの 1 つからのみ CNMEUNIX プログラムにアクセスすることができます。これは、PPI 受信側が CNMEUNIX プログラムに指定されているためです。

マイグレーションの概要

以下は、新規インストールに必要な基本ステップと同じです。これらのステップの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

1. SYS1.PARMLIB 内のメンバー BPXPRMxx を更新して、UNIX システム・サービスのパラメーターを指定します。
2. CNMSJ032 ジョブにより、ご使用の z/OS UNIX システム・サービス環境にディレクトリーが作成され、アプリケーション・ファイルおよび MIB ソース・ファイルがコピーされます。CNMSJ032 ジョブを実行する前に、このジョブ・プロファイルのコメントを確認し、必要に応じて変更してください。
3. 必要であれば、z/OS UNIX システム・サービスの環境変数を更新します。
4. 既存の RACF® 定義を検討します。詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* セキュリティー・リファレンス」を参照してください。
5. UNIX コマンド・サーバーを使用可能にします。
6. イベント/自動化サービス 始動プロシージャー IHSAEVNT を確認します。
7. インストール後、関連エンジン/共通イベント・インフラストラクチャー・インターフェースの開始ジョブ CNMSJZCE を見直します。

NetView プログラムでは、NetView プログラム・ディレクトリーに記述されている z/OS UNIX システム・サービスに相対的な位置の、階層ファイル・システム (HFS) データ・セットまたは zSeries® ファイル・システム (zFS) データ・セットを使用します。NetView プログラムにより、以下のディレクトリーが割り振られます。

```
./usr/lpp/netview/v5r4/bin
./usr/lpp/netview/v5r4/mibs
./usr/lpp/netview/v5r4/lib
./usr/lpp/netview/v5r4/samples
./usr/lpp/netview/v5r4/samples/at-tls
./usr/lpp/netview/v5r4/samples/properties
./usr/lpp/netview/v5r4/www
./usr/lpp/netview/v5r4/www/img
```

構成が完了すると、NetView V5R4 USS は表 12 のディレクトリーを使用します。

表 12. UNIX システム・サービスで使用されるディレクトリー構造

ディレクトリー	説明
/usr/lpp/netview/v5r4/bin	実行可能ファイル
/usr/lpp/netview/v5r4/mibs	管理情報ベース (MIB) ファイル
/etc/netview/mibs	ユーザー定義の MIB および NetView V5R4 に含まれていない MIB 用
/etc/netview/v5r4	アプリケーション・ファイル
/etc/netview/v5r4/properties	アプリケーション・ファイル
/tmp/netview/v5r4	アプリケーション・ファイル
/tmp/netview/v5r4/logs	アプリケーション・ファイル
/var/netview/v5r4/rulefiles	アプリケーション・ファイル

NetView MIB コレクションは、/usr/lpp/netview/v5r4/mibs ディレクトリーにあります。NetView プログラムは、出荷時点では /etc/netview/mibs/ ディレクトリーでユーザー定義の MIB を探します。ユーザー定義の MIB を別の場所に配置する場合は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーの

COMMON.CNMSNMP.MIBPATH ステートメントを更新して、MIB の場所を反映する必要があります。NetView プログラムで提供される MIB コレクションの詳細については、/usr/lpp/netview/v5r4/mibs/ ディレクトリーの README.mibs ファイルを参照してください。

注: NetView マイグレーションの一環として z/OS システムを V1.10 以上にアップグレードした場合は、CNMSJ032 サンプルを実行して、MIB ファイルを /etc/netview/mibs にコピーするようにしてください。MIB ファイルのコピーについて詳しくは、CNMSJ032 サンプルのコメントを参照してください。

NetView プログラムの準備

NetView V5R4 にマイグレーションする際には、表 13 のステップを検討してください。以下は、新規インストールに必要な基本ステップと同じです。これらのステップで注記されているのは、マイグレーションするユーザーに影響する変更です。詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 概説」を参照してください。

警告: CNMSJBUP を実行した後、すべての NetView インストール JCL と関連メンバーは、NETVIEW.V5R4USER.INSTALL データ・セットにあります。このデータ・セットからのみ作業を行ってください。NETVIEW.V5R4M0.CNMSAMP から作業を継続した場合、表 13 で説明されているインストール JCL を実行しているときに、予期しない結果になることがあります。

表 13. インストール JCL

メンバー	説明
CNMSJBUP	NETVIEW.V5R4M0.CNMSAMP のインストール JCL メンバーを、データ・セット NETVIEW.V5R4USER.INSTALL にコピーします。 注: NetView サンプル・ライブラリー全体はコピーされません。データ・セット NETVIEW.V5R4M0.CNMSAMP で変更が必要な可能性のあるメンバーのサブセットのみがコピーされます。
CNMSJ001	ICF カタログを作成し、ALIAS 名 NETVIEW を、NetView データ・セットの高位修飾子として定義します。NetView プログラム・ディレクトリーのインストール時にこの別名を定義しておらず、かつ、この高位修飾子を使用する予定の場合は、このジョブを実行してください。

マイグレーションの概要

表 13. インストール JCL (続き)

メンバー	説明
CNMSJ002	<p>区分データ・セットを割り振ります。</p> <p>インストールする NetView ドメインごとに V5R4 ユーザー・データ・セットのセットを割り振り、そのドメインのユーザー・データ・セットからカスタマイズされたメンバーをすべて、この V5R4 データ・セットにコピーします。</p> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. このジョブで提供されたコメント内のシンボリック変数を検討します。必要であれば、ご使用のシステムに合わせて、&UNIT および &SER JCL 変数を変更してください。 2. インストールする NetView ドメイン名に一致するように、&DOMAIN JCL 変数を変更します。 3. V1R4 では、以下のデータ・セットは不要になりました。 <ul style="list-style-type: none"> • NETVIEW.VxRxUSER.&domain.USER.PROFILE • NETVIEW.VxRxUSER.&domain.VIEW.OUTPUT 4. V5R1 より、SEZLPNLU ユーザー・データ・セットは使用されなくなりました。代わりに、NETVIEW.V5R4USER.&domain.CNMPNL1 を使用してください。前に SEZLPNLU データ・セットのパネルをカスタマイズした場合は、それらの変更を CNMPNL1 のパネルにマイグレーションしてください。 5. V5R2 では、ユーザー NETVIEW.VxRxUSER.&domain.CNMCLST データ・セットは、カスタマイズされたコマンド・リストと REXX 実行可能プログラムで使用するために用意されています。 6. V5R4 では、分散 DVIPA 統計を収集するために、以下のデータ・セットが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> • NETVIEW.V5R4USER.CNM01.CNMDVIPP • NETVIEW.V5R4USER.CNM01.CNMDVIPS <p>これらのデータ・セットがその容量いっぱいになったときのデータ損失を防止するには、データ・セットに対してデフォルトのサイズ割り振りを使用します。これらのデータ・セットに書き込まれるデフォルトのレコード数は、CNMSTYLE メンバーに指定されています。</p>
CNMSJ000	<p>NetView インストール JCL および NetView サンプルの、デフォルトの NetView ドメイン (CNM01)、サブエリア (01)、および VSAM 割り振りボリューム (CPDLB2) を変更します。変更されたサンプルは、以下のデータ・セットに配置されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NETVIEW.V5R4USER.&domain.DSIPARM • NETVIEW.V5R4USER.INSTALL • NETVIEW.V5R4USER.&domain.VTAMLST <p>CNMSJ000 メンバー内に VSAM ボリューム・シンボル (V1、V2、など) に対する NOVOLSER の値を指定すると、関連付けられているコンポーネントに VSAM クラスタを割り振る IDCAMS メンバーからボリューム・パラメーターが除去されます。</p>

表 13. インストール JCL (続き)

メンバー	説明
CNMSJ003	<p>NetView プロシージャを PROCLIB へ、AON メンバーをユーザー DSIPARM およびユーザー CNMPNL1 データ・セットへ、サンプル・ネットワーク VTAM メンバーをユーザー VTAMLST データ・セットにコピーします。</p> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PROCLIB 内の既存のメンバーを上書きしないように、CNMSJ003 を実行する前に CNMSJ10 を検討して、変更を実行します。その後、CNMSJ003 内の //PDS2 EXEC ステートメントをアンコメントします。 2. V5R4 では、NetView for z/OS Enterprise Management Agent のコピー手順は必要なくなりました。

|
|

表 13. インストール JCL (続き)

メンバー	説明
CNMSJ004	<p>VSAM クラスターを割り振ります。</p> <p>NetView V5R4 用に新規 VSAM クラスターを割り振ることを検討してください。</p> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tivoli NetView V1R3 より前のリリースからマイグレーションする場合は、最適のパフォーマンスを得るために、すべての VSAM クラスターを再割り振りしてください。 2. 必要であれば、NetView ログを再定義します。パスワード、および 1 次ログと 2 次ログの切り替えも含め、再定義してください。 3. RODM 用 VSAM クラスターの割り振りについては、「<i>IBM Tivoli NetView for z/OS Installation: Configuring Graphical Components</i>」を参照してください。 4. V5R2 では、TCP/IP 接続管理にとって DSITCONP および DSITCONS VSAM クラスターは新規です。 5. V5R2 では、AON 用 VSAM クラスターはデフォルトで CNMSJ004 に割り振られます。 6. V5R2 または V5R3 からマイグレーションする場合は、DSITCONP および DSITCONS VSAM クラスターの割り振りパラメーターが変更されているため、これらのクラスターを新たに割り振ってください。 注: CISZ が 22528 で割り振られていた既存の DSITCONP および DSITCONS VSAM クラスターを引き続き使用する場合は、このサイズのバッファーを、DSIZVLSR モジュールに定義されている VSAM バッファー DATA プールに含めるようにしてください。 7. デフォルトの DSIZVLSR モジュールは、(ICF カタログを使用した) 3390 DASD の使用を基本にしています。使用する DSIZVLSR モジュールのコピーがご使用のクラスター定義と互換性のあることを確認してください。デフォルトの制御インターバル・サイズ (CISZ) 値またはデフォルトのバッファー数をバッファー・サイズごとに変更する場合は、CNMSJM01 サンプル・ジョブを使用して、DSIZVLSR モジュールのコピーをアセンブルし、ユーザー・ライブラリーにリンク・エディットします。DSIZVLSR モジュールの詳細については、「<i>IBM Tivoli NetView for z/OS チューニング・ガイド</i>」を参照してください。CNMSJM01 サンプルの実行については、「<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成</i>」を参照してください。

追加のインストールの注意点は、以下のとおりです。

1. System Automation for z/OS を使用して V5R4 NetView プログラムを実行するには、APAR OA10721 を適用してください。この APAR は、System Automation コマンド定義をメンバー INGCMD に提供します。これらのコマンド定義は、メンバー AOFCMD0 を置換します。既存の NetView 環境に

AOFCMD0 が含まれている場合は、NetView 初期化中の競合を避けるために、AOFCMD0 に対する参照をすべて除去してください。

2. ユーザー作成のすべての NetView コードを再アセンブルまたは再コンパイルします。

NetView プログラムで実行されるアプリケーションを作成している場合は、そのコードを SCNMMAC1 データ・セットで再コンパイルしてください。詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS カスタマイズ・ガイド*」および「*IBM Tivoli NetView for z/OS プログラミング: アセンブラー*」を参照してください。

3. MESSAGE カテゴリはサポートされなくなりました。メッセージ転送は、ユーザーや、AON などのアプリケーション・プログラムによって行われます。以前含まれていた NetView メッセージ転送サンプルは、マイグレーション後も引き続き動作します。これらのサンプルの一部は、NetView の初期化の際に設定される、以下の共通グローバル変数に依存します。

&DIALTIME

VARY NET,DIAL コマンドを処理するアラート転送コマンド・リストが、データ処理を続行するまでに、コマンドからの応答を待つ最大時間。

&WAITTIME

VARY NET,DIAL 以外のコマンドを処理するアラート転送コマンド・リストが、データ処理を続行するまでに、コマンドからの応答を待つ最大時間。

&RETRYTIM

リンク局が無効状態であるためにダイヤル呼び出しが失敗した場合に、メッセージ転送コマンド・リストが、リンク局のダイヤル呼び出しの間に待つ時間。

&LNKdomid

リモート・ドメイン (*domid*) に関連付けられたリンク局名。この変数は、SETADIAL コマンドを使用して設定できます。

&CDRMdomid

リモート・ドメイン (*domid*) に関連付けられた CDRM 名。この変数は、SETADIAL コマンドを使用して設定できます。

以下のコマンドにより、&LNKdomid 変数および &CDRMdomid 変数を設定できます。このホストが交換回線で通信するそれぞれのホスト (リモート・ドメイン) ごとに 1 つコーディングしてください。

SETADIAL *domid linkid cdrmid*

ここで、

domid このホストと交換回線で通信するリモート・ドメインの 1 から 5 文字の名前。

linkid リモート・ドメインに関連付けられた 1 から 8 文字のクロスドメイン・リンク局名。

cdrmid リモート・ドメインに関連付けられた 1 から 8 文字のクロスドメイン CDRM 名。

マイグレーションの概要

4. ネットワーク全体に NetView プログラムが配布された後、ノードを漸次マイグレーションして、RMTCMD コマンドおよび LU 6.2 セッションを使用するようにします。

複数 CMC または複数フォーカル・ポイントのエンタープライズでは、すべての CMC またはフォーカル・ポイントを、RMTCMD コマンドおよび LU 6.2 セッションを使用するように更新してから、拡張複数コンソール・サポート (EMCS) コンソールを使用するためにこれらのノードをマイグレーションしてください。また、分散自動化を使用するネットワークでは、メッセージを交換するすべての NetView プログラムを、RMTCMD コマンドおよび LU 6.2 セッションを使用するように更新してから、EMCS コンソールを使用するためにそれらのプログラムをマイグレーションしてください。両方の場合とも、可能な場合、強調表示や DOM 情報などの MDB データを失わないようにするため、EMCS コンソールを使用する前に、RMTCMD コマンドおよび LU 6.2 セッションへのマイグレーションを完了してください。

5. VIEW コマンド・プロセッサは、ユーザー作成プログラムからフルスクリーン・パネルを表示するために使用されます。VIEW は、パネルに定義された変数の値を、呼び出し側プロシージャのローカル・ディクショナリーから検索しようとします。グローバル変数からの更新を必要とする既存のパネルがある場合には、ローカル変数から VIEW 呼び出しを分離する必要がある場合があります。これを行うには、REXX DROP または PROCEDURE ステートメントか、あるいは PIPE VAR を使用します。詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS カスタマイズ・ガイド*」を参照してください。

グラフィカル NetView コンポーネントの準備

グラフィックス・コンポーネントは、CNMSTYLE メンバーの TOWER ステートメントによって活動化されます。TOWER ステートメントを CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにコピーし、グラフィックスも含め、使用するコンポーネントからアスタリスク (*) を除去してください。

(%INCLUDE ステートメントを使用して) CNMSTYLE メンバーに含まれるメンバーに対する変更の一部は、変更内容を有効にするために NetView プログラムの再始動が必要です。このため、使用を予定しているグラフィックス機能についての CNMSTYLE メンバーの更新はすべて、このインストールの一環として同時に行うようにしてください。

以下は、NetView V5R4 プログラムのグラフィックス機能を更新するために必要なステップです。

- 29 ページの『RODM および GMFHS』
- 29 ページの『NetView 管理コンソール』
- 29 ページの『SNA トポロジー・マネージャー』
- 29 ページの『MultiSystem Manager』

これらのステップの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS Installation: Configuring Graphical Components*」を参照してください。

RODM および GMFHS

RODM および GMFHS 機能を現行リリースにマイグレーションする場合は、以下の点を考慮してください。

1. サンプル・ジョブ CNMSJ004 を実行したときに、RODM ログおよびチェックポイント・データベースの NetView VSAM クラスタが定義されました (23 ページの表 13 を参照)。

注: チェックポイント機能を使用しており、なおかつ RODM への保管を予想している推定オブジェクト数が、前にサポートされていた最大サポート数である約 524,000 個を超える場合は、RODM チェックポイント・データ・セットのサイズを増加することを検討してください。

2. RODM 始動プロシージャ EKGXRODM を、ご使用の環境に合致するように更新します。
3. RODM 定義メンバー EKG CUST を更新します。
4. DSIQTSKI の RODM DSIQTSK タスクの初期化値を検討します。
5. GMFHS 始動プロシージャ CNMGMFHS を、ご使用の環境に合致するように更新します。
6. 必要に応じて、DUIGINIT の GMFHS 定義ステートメントを更新します。
7. メンバー DUISFP、DUIFPMEM、および DUIIGHB の状況フォーカル・ポイントの初期化値を検討します。

NetView 管理コンソール

NetView 管理コンソール をマイグレーションする場合は、以下の点を考慮してください。

1. NetView 管理コンソール トポロジー・サーバー構成を見直します。
2. NetView 管理コンソール トポロジー・コンソール構成を見直します。
3. NetView 3270 管理コンソール用の NetView 管理コンソール を構成します。

SNA トポロジー・マネージャー

SNA トポロジー・マネージャーをマイグレーションする場合は、初期化ファイル FLBSYSD、FLBOSIDS、FLBSRT、および FLBEXV を検討します。

MultiSystem Manager

MultiSystem Managerをマイグレーションする場合は、以下の点を考慮します。

1. マルチシステム・マネージャー・エージェントを使用可能にするには、CNMSTYLE メンバーで次のステートメントを見つけます。

```
TOWER.MSM = ITNM IP OPN TMR
```

アスタリスク (*) が前に付いているエージェント名は使用不可です。

TOWER.MSM ステートメントを CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにコピーし、使用するエージェントを使用可能にする必要性に応じて、アスタリスクを除去または追加します。TOWER.MSM ステートメントが使用可能な場合は、FLCSOPF (オペレーター・プロファイル用に使用される) の %INCLUDE ステートメントも使用可能となっています。

マイグレーションの概要

2. MultiSystem Manager・エージェントを現行レベルにアップグレードします。
3. Tivoli 管理リージョン・エージェントまたは IP エージェントの場合は、イベント/自動化サービス 初期化メンバー IHSAEFCFG を確認してください。
4. IBM Tivoli Network Manager エージェントの場合は、SNMP トラップ・レシーバー・タスクが確実に構成され、アクティブになっているようにします。
5. MultiSystem Manager初期化ファイル (NetView V5R1 より前は FLCSAINP として提供) を確認します。
6. 必要であれば、追加の NetView DSRB を割り振ります。
7. 指定されている REXX 環境の数を見直します。詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。
8. NetView RATE および AUTORATE ステートメントと、RUNCMD タイムアウト値の設定を見直します。
9. NetView クロスドメイン環境のセットアップを検討します。

AON コンポーネントの準備

AON に以下の変更を加えます。

- TOWER CNMSTYLE ステートメントを CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにコピーし、AON 機能の前にあるアスタリスク (*) を除去します。これにより、AON コンポーネントのすべてが使用可能になります。
- サブタワー・ステートメントで、使用しないすべての AON 機能の前にアスタリスクを追加します。

```
TOWER.AON = SNA TCP
```

IP 機能の場合、AON TCP サブタワーと IPMGMT タワーを同時に使用することはできません。

- (オプション) AON/SNA 用の STATMON ステートメントを定義します。
- TCP390 ステートメントは、AON 構成メンバー EZLCFG01、FKXCFG01、および FKVCFG01 から NetView ベース・ポリシー・メンバー CNMPOLCY に移動します。
- AON 制御ファイルを更新します。
- AON ポリシー定義を検討します。
- 完全 AON 自動化を使用しない場合は、最低限の AON 機能を使用可能にします。

シスプレックス IP スタック・マネージャーからのマイグレーション

機能が追加されたため、既存のシスプレックス IP スタック・マネージャー機能の代わりに新規のディスカバリー・マネージャー機能を使用してください。ディスカバリー・マネージャーについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

V5R2 または V5R3 データ・モデルによるシスプレックス IP スタック・マネージャーの開始

カスタマイズした V5R2 または V5R3 データ・モデルを V5R4 NetView データ・モデルにマイグレーション中に、RODM に読み込まれている既存の V5R2 または V5R3 データ・モデルを使用してシスプレックス IP スタック・マネージャーを開始できます。これを行うには、CNMSTYLE メンバーの DISCOVERY.STMODEL ステートメントを変更して、使用しているデータ・モデルである V5R2 または V5R3 バージョンを指定し、INITSTM コマンドを発行します。この手順は、V5R4 データ・モデルへのカスタマイズ更新中の一時的手段として用意されています。新規の NetView V5R4 機能 (ディスカバリー・マネージャー、MultiSystem Manager ネットワーク・マネージャーなど) は、データ・モデルの V5R4 バージョンを使用することに注意してください。V5R2 または V5R3 データ・モデルを読み込み済みでマイグレーション中は、これらの新機能を開始しないでください。

INITSTM コマンドを使用してシスプレックス IP スタック・マネージャーを開始すると、デフォルトの自動タスク名が、ディスカバリー・マネージャーが使用するのと同じ自動タスクである AUTOAON に変更されることに注意してください。

V5R2 および V5R3 シスプレックス IP スタック・マネージャー・データの NetView V5R4 での表示

シスプレックス IP スタック・マネージャーのリソース・ディスカバリー機能を NetView V5R2 または NetView V5R3 プログラムで使用し、NetView V5R4 プログラムへのマイグレーション時に、引き続きこの情報をマスターの V5R4 で参照する場合は、APAR OA29938 に対する修正プログラムを該当の V5R2 および V5R3 システムに適用します。この APAR に対する修正プログラムをリソース・ディスカバリーの中核 NetView プログラムに適用すると、このプログラムへ他の V5R2 または V5R3 NetView プログラムから転送されたデータは、マスターの NetView V5R4 プログラムに渡されます。APAR に対する修正プログラムを V5R4 マスター・プログラムの中核 NetView プログラムに適用する必要があるのは、すべてのシステムからデータを受信して、それを中核 NetView プログラムに転送する場合に限られます。

V5R4 マスター NetView プログラムで、シスプレックス IP スタック・マネージャーのリソース情報を V5R2 または V5R3 システムから受信する場合は、以下のオプションを検討してください。

- APAR OA29938 に対する修正プログラムをすべての V5R2 または V5R3 NetView プログラムに適用し、ある 1 つの NetView プログラムを、マスター NetView プログラムになる V5R4 にマイグレーションすること。
- APAR OA29938 に対する修正プログラムを、自プログラムのデータを V5R4 マスター NetView プログラムに転送する中核 NetView プログラムに適用し、次に、ある 1 つの NetView プログラムを、マスター NetView プログラムになる V5R4 にマイグレーションすること。マイグレーションの対象である NetView プログラムが中核システムである場合は、V5R2 または V5R3 システムからデータを収集して V5R4 マスター NetView プログラムに転送するために、別の中核 NetView プログラムをセットアップできます。

マイグレーションの概要

NetView V5R4 ディスカバリー・マネージャーのリソース情報は、下位レベルの NetView プログラムでは表示できないことに注意してください。

この NetView を V5R4 のマスター NetView プログラムにする場合は、APAR OA29938 に対する修正プログラムが適用済みで、データをこのマスター NetView プログラムに転送する V5R2 または V5R3 NetView プログラムごとに ENT.SYSTEMS ステートメントを追加してください。 ENT.SYSTEMS ステートメントの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス*」を参照してください。

NetView Web サーバーからのマイグレーション

NetView Web サーバーを使用してアクセスする一部のデータ・ソースは、Web サービス・ゲートウェイ機能にマイグレーションできます。これには、DSICMDS 関数によって参照される、動的に生成された HTML ファイルや、NetView Web サーバーにより提供されるその他のデータ・ソースがあります。

DSICMDS 関数によって参照される HTML ファイルのマイグレーション

DSICMDS 関数によって参照される、動的に生成された既存の HTML ファイルを Web サービス・ゲートウェイ機能で使用するには、次のいずれかの URL で既存の HTML ファイルを指定します。

- `http://yournvhhost:port/?DSICMDS=command`
- `https://yournvhhost:port/?DSICMDS=command`

ここで、*command* は、発行対象の NetView コマンドを指定しています。コマンド内に空白がある場合は、コマンドが正しく構文解析されるために、正符号 (+) として指定する必要があります。 NetView Web サービスにより、コマンドを発行する前に、正符号が空白に変更されます。ブラウザ・セッションで DSICMDS 関数を初めて使用する場合は、コマンドの実行元の NetView オペレーター ID およびパスワードを入力することを要求されます。オペレーター ID およびパスワードは、`bas64` でエンコードされています。 HTTPS セッションを使用すると、パスワードが平文として送信されずに済みます。

NVSP.SOASRVR1.PDS からの相対位置にあるデータ・ソースの使用

CNMSTYLE メンバーの NVSP.SOASRVR1.PDS ステートメントで定義されたベース URL からの相対位置にあるデータ・ソースを表示できます。この URL は、USS ディレクトリーまたは MVS 区分データ・セット (PDS) のいずれでもかまいません。 セキュリティー確保のため、これらのファイルが RACF などの SAF 製品によって保護されていることと、正しいレベルのファイル許可が設定されていることを確認してください。

例 1: USS ディレクトリーの使用

CNMSTYLE メンバーには、以下のステートメントが含まれています。

```
(NVSOA)NVSP.SOASRVR1.PDS = /usr/xyz
```

この場合、リソース `/ust/xyz/resource` にアクセスするには、以下のいずれかの URL を使用します。

- `http://yournvhos:port/resource`
- `https://yournvhos:port/resource`

例 2: PDS の使用

CNMSTYLE メンバーには、以下のステートメントが含まれています。

```
(NVS0A)NVSP.SOASRV1.PDS = USER.INIT
```

この場合、リソース「USER.INIT(RESOURCE)」にアクセスするには、以下のいずれかの URL を使用します。

- `http://yournvhos:port/resource`
- `https://yournvhos:port/resource`

DD 名またはデータ・セット名の指定によるデータのソースのマイグレーション

PDS にあるデータ・ソースを表示するには、その DD 名またはデータ・セット名とメンバー名を一緒に指定します。

例 1: DD 名の使用

CNMPNL1 データ・セットのメンバー `panel_name` を表示するには、以下のいずれかの URL を使用します。

- `http://yournvhos:port/DD/CNMPNL1/panel_name`
- `https://yournvhos:port/DD/CNMPNL1/panel_name`

例 2: データ・セット名の使用

USER.INIT データ・セットのメンバー `member_name` を表示するには、以下のいずれかの URL を使用します。

- `http://yournvhos:port/DSN/USER.INIT/member_name`
- `https://yournvhos:port/DSN/USER.INIT/member_name`

データの送信

HTML `<form>` タグには、送信をクリックしたときのデータの送信先を定義する URL を指定するために使用できる `action` 属性があります。 `action` 属性には `/znavsoa/dsicmds` を使用します。

`<form>` タグ内では、最初の `<input>` タグは、フォームを処理するとき使用するコマンドを定義する隠しタグにする必要があります。以下に例を示します。

```
<form method="post" name="NetView"
  action="/znavsoa/dsicmds" />

  <INPUT TYPE=HIDDEN VALUE="?mytest" NAME="COMMAND">
  <h3>This form sends an e-mail to IBM. </h3>
  Name:<br>
  <input type="text" name="name"
    value="yourname" size="20"><br>
  <br>Mail:<br>
  <input type="text" name="mail"
```

マイグレーションの概要

```
value="yourmail" size="20">
<br>
Comment:<br>
<input type="text" name="comment"
value="yourcomment" size="40">
<br><br>
<input type="submit" value="Send">
<input type="reset" value="Reset">
<hr>
</form>
```

DSIPARM および DSICLD メンバーのマイグレーションに関するその他の考慮事項

既存の DSIPARM および DSICLD メンバーに、ユーザーが追加した変更が含まれている場合、NetView インストール時に作成されるコピーを使用するのではなく、既存のメンバーに新規リリース用の変更を追加できます。詳細については、以下のいずれかのトピックを参照してください。

- 35 ページの『第 3 章 Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 からのマイグレーション』
- 77 ページの『第 4 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 からのマイグレーション』
- 109 ページの『第 5 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 からのマイグレーション』
- 135 ページの『第 6 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 からのマイグレーション』

必要な変更をすべて行った後、163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』に進んでください。

第 3 章 Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 からのマイグレーション

この章では、NetView プログラムを Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 からマイグレーションする場合に、NetView プログラムをマイグレーションして実動システムとして実行する方法について説明します。マイグレーション情報は、V1R4 の初期リリースに組み込まれている NetView コンポーネントに基づいています。ご使用のシステムのメンテナンス情報を確認して、この章に説明されているいくつかの変更を既に行っているかどうかを確認してください。

V5R4 の内容を V1R4 NetView 定義に追加するか、または V1R4 のカスタマイズを NetView プログラムに付属するデフォルトの V5R4 メンバーに追加できます。いずれの場合も、NETVIEW.V5R4USER.CNM01.DSIPARM などの、適切なユーザー割り振りデータ・セットに、カスタマイズされたメンバーを配置します。NETVIEW.V5R4M0.DSIPARM など、SMP/E 管理のデータ・セットのメンバーはカスタマイズしないでください。

NetView 定義メンバーをマイグレーションする際に、使用方法に影響を及ぼす可能性のある要因が幾つかあります。ネットワークのサイズや複雑さ、従う必要のあるセキュリティ・ポリシー、および業務の中で確立された慣習などのすべての要因が、お客様のマイグレーションに最適の方法は何かということに影響を与える可能性があります。この後のチェックリストに、本書で概説し、NetView ライブラリー内のその他の各文書で説明されているマイグレーション方法の資料の詳細を示します。ご自分に最適のマイグレーション方法を選択してください。

V1R4 定義をマイグレーションするには、以下のステップを実行してください。

1. サンプル・ジョブ CNMSJ002 を実行して、V5R4 ユーザー・データ・セットの新規セットを割り振ります。23 ページの表 13 の手順を完了している場合、これはすでに行われています。
2. CNMSJMIG サンプル・ジョブを実行して、V1R4 DSIPARM データ・セット内のさまざまなメンバーのステートメントを新規の CNMSTYLE フォーマットに変換します。詳しくは 249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。
3. CNMSJMIG サンプル・ジョブを実行して、V1R4 DSICMD メンバーのステートメントを CNMCMD メンバーの新規のステートメント・フォーマットに変換します。詳しくは 249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。
4. NetView ドメインごとに、固有の &NV2I 値 (xx) を定義します。
5. CNMSJMIG ジョブを実行した場合は、CNMSTUSR メンバーから作成されたドメイン固有のステートメントをすべて CxxSTGEN メンバーに移動します。ここで、xx は、前のステップで定義したローカル・シンボリック変数 &NV2I の値です。
6. CNMSTYLE メンバーのカスタマイズされた V1R4 コピーを確認します。V1R4 CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものをすべて

NetView V1R4 からのマイグレーション

CxxSTGEN メンバーに移動し、V1R4 CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものをすべて CNMSTUSR メンバーに移動します。その場合には、これらの変更内容の一部が CNMSJMIG ジョブによって追加済みの場合があるため注意してください。V1R4 CNMSTYLE メンバーを V5R4 ユーザー DSIPARM データ・セットにコピーしないでください。

7. 本章の CNMSTYLE 情報と、NetView プログラムに付属する V5R4 CNMSTNXT メンバーを見直してください。CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものを CxxSTGEN メンバーに配置し、CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものを CNMSTUSR メンバーに配置します。V5R4 デフォルトの CNMSTYLE メンバーは変更しないでください。
8. 本章の残りの情報を確認し、変更されたメンバーのみを V5R4 ユーザー・データ・セットに配置して、該当する V1R4 NetView 定義メンバーと JCL プロシージャをマイグレーションします。

図 1 は、NetView V1R4 の初期化フローを示し、37 ページの図 2 は、NetView V5R4 初期化フローを示しています。DSIPARM メンバーに変更を行うときには、この新しい初期化フローを覚えておいてください。

NetView 初期化フロー

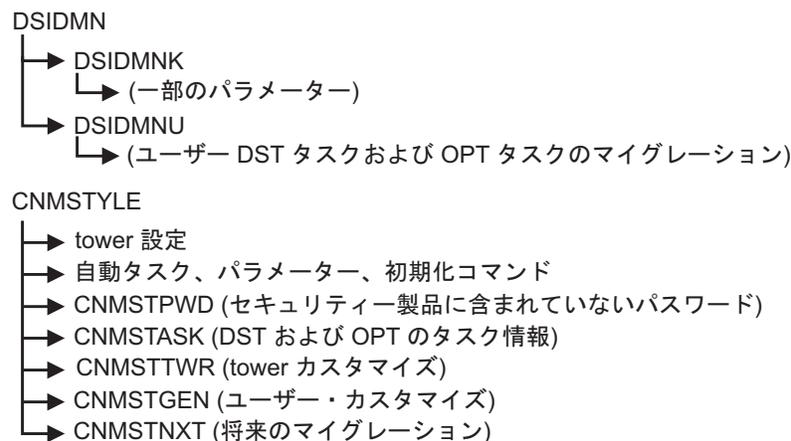


図 1. NetView V1R4 初期化フロー

NetView 初期化フロー

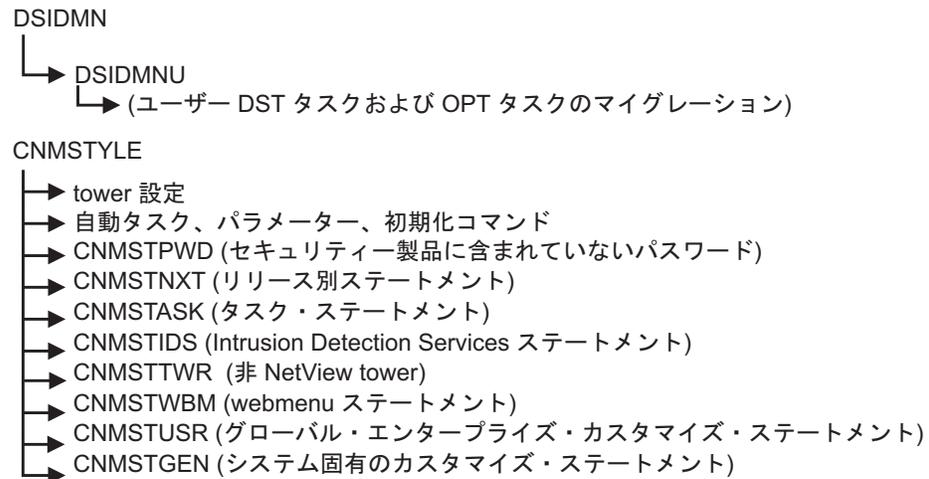


図 2. NetView V5R4 初期化フロー

この章を読み終えた後は、163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』に進んでください。

必要な情報

パネル、コマンド、メッセージ、およびサンプルなどの変更

参照先

- 187 ページの『付録 A. Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 への変更』
- 207 ページの『付録 B. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 への変更』

Unattended フィーチャーまたは Procedural フィーチャーのマイグレーション

NetView の Unattended オプションおよび Procedural オプションは使用できなくなりました。以前に Unattended オプションまたは Procedural オプションを使用して NetView プログラムをインストールした場合は、以下の手順に従って、NetView V5R4 プログラムにマイグレーションしてください (Graphical Enterprise オプション)。

Graphical Enterprise NetView プログラムへのマイグレーションでは、いずれのグラフィカル機能も実行する必要はありません。ただし、NetView の Graphical Enterprise オプションを活動化するために必要な追加のインストール・ステップがいくつかあります。活動化させないグラフィカル機能にのみ適用されるとしてマークされている特定のインストール・ステップは、スキップしてかまいません。ただし、ある時点においてグラフィカル機能をアクティブにすることを決定した場合には、必要なすべての設定が完了されているようにこのインストール・ステップを改定する必要があることに留意してください。

NetView V1R4 からのマイグレーション

表 14 に、V1R4 Graphical Enterprise オプションで使用可能であった機能で、現在 NetView V5R4 プログラムで使用可能な機能を示します。

表 14. 使用可能な新規機能

機能	Procedural	Unattended
GMFHS	•	•
NetView 管理コンソール	•	•
MultiSystem Manager	•	•
SNA トポロジー・マネージャー	•	•
AON		•

RODM は、Unattended および Procedural レベルの NetView プログラムで使用可能ですが、大半は、Graphical Enterprise オプションで使用可能なグラフィカル機能によって使用されるため、Unattended または Procedural の NetView プログラムでは活動化されていない可能性があります。

新規サンプル

表 15 に、マイグレーション時に見直す新規のサンプルを示します。

表 15. 新規サンプルのリスト

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMCMD	同様	NetView コマンドの NetView コマンド定義	DSIPARM
		<p>CMDDEF ステートメントでは、コマンドの定義を指定します。いくつかの CMDDEF ステートメントはコマンド同義語 (CMDSYN) を持っています。これらのステートメントでは、コマンドの同義語を指定します。</p> <p>この定義は、端末アクセス機能 (TAF) 用と VTAM プログラム用のクロスドメイン・ログオン定義および CMDDEF ステートメント (および同義語) も提供します。</p> <p>CNMS6 で始まる名前のファイルは、NETVIEW.V5R4M0.CNMSAMP に組み込まれています。このファイルを CNMCMD に組み込んでおくと、配布テープにも組み込まれている自動化コマンド・リストを使用できます。</p>	
CNMCMDO	同様	製品固有の定義済みコマンドのコマンド定義	DSIPARM
CNMCMDU	同様	ユーザー定義コマンドのコマンド定義	DSIPARM
CNMCMENT	同様	NetView コマンド定義	DSIPARM
CNMCMSYS	同様	NetView コマンド定義	DSIPARM
CNMIPMGMT	同様	NetView IP 管理用の自動化ポリシー	DSIPARM
CNMPOLCY	同様	NetView の自動化ポリシー	DSIPARM

表 15. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSAF2	同じ	NetView オペレーターおよびコマンドの RACF 定義を設定します。	CNMSAMP
CNMSBAK1	同じ	バックアップ・コマンド権限テーブル	DSIPARM
CNMSCAT2	同様	サンプル・コマンド権限テーブル	DSIPARM
CNMSCBEA	同様	Common Base Event 自動化テーブル・アクションを使用して共通基本イベント Event XML 文書を作成する方法を示す自動化サンプル	DSIPARM
CNMSCBET	同様	共通基本イベント XML エlementを定義するためのテンプレート・ファイル	DSIPARM
CNMSCM	同様	TCP/IP スタックの SNMP コミュニティ名	DSIPARM
CNMSDCA	同様	COLLECTL コマンドにより管理されるデータ収集自動タスクの制御に役立つ自動化ステートメントを提供します。	CNMSAMP
CNMSDDCR	同様	分散 DVIPA 接続ルーティング情報を表示します。 DVIPDDCR コマンド出力 (BNH815I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVCG	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる z/OS Communications Server VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル更新の自動化テーブル・メンバー。変更された VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル・ステートメントにより、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSDVDS	同様	マスター NetView プログラムでの DVIPA データ・ディスカバリー (再ディスカバリーを含む) および分散 DVIPA 統計に使用される自動化テーブル・メンバー。これにより、DSIIF003I (DVIPA 再ディスカバリー)、DSIIF004I (DVIPA データ転送)、DSIIF006I (DVIPA データ要求)、および BNH867I (分散 DVIPA 統計レコード) の各メッセージが処理されます。	CNMSAMP
CNMSDVIP	同様	このサンプルは、DVIPA 定義と状況データを表示します。DVIPSTAT コマンド出力 (BNH846I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVPC	同様	DVIPA 接続を表示します。DVIPCONN コマンド出力 (BNH849I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP

表 15. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSDVPH	同様	分散 DVIPA サーバーの正常性情報を表示します。 DVIPHLTH コマンド出力 (BNH814I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVST	同様	分散 DVIPA 統計データ・セットのデータを表示します。	CNMSAMP
CNMSDVTP	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる DVIPA SNMP トラップ自動化の自動化テーブル・メンバー。この自動化により、z/OS Communications Server DVIPA トラップが受信されたことが検出され、その結果、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSEMAA	同様	NetView for z/OS Enterprise Management Agent 用の自動化テーブル・メンバー	DSIPARM
CNMSEPTL	同様	リソース・ディスカバリー用の自動化テーブルのサンプル	DSIPARM
CNMSHIPR	同様	HiperSockets の構成情報および状況情報を表示します。 HIPERSOC コマンド出力 (BNH598I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSIFST	同様	IP インターフェースを表示します。 IFSTAT コマンド出力 (BNH498I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSJCRG	同様	CNMSTYLE レポート生成プログラム・サンプル・ジョブ	CNMSAMP
CNMSJMIG	同様	CNMSTYLE マイグレーション・ツール・サンプル・ジョブ	CNMSAMP
CNMSJZCE	同様	イベント・コリレーション・エンジンのサンプル始動ジョブ	CNMSAMP
CNMSMF3A	同様	BNH874I メッセージの発行時に自動化テーブルによって呼び出されるサンプル・コマンド・リスト。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMF3E	同様	自動化のために、タイプ 30 の SMF レコードを処理し、プログラム間インターフェース (PPI) を介して NetView プログラムに送信する IEFACRT SMF 出口のサンプル。	CNMSAMP
CNMSMF3F	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定するサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP

表 15. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSMF3R	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定する PPI 受信側のサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMRT1	同様	メッセージ改訂テーブル	DSIPARM
CNMSMSIP	同様	CP-MSU を IP を介して送信します。	CNMSAMP
CNMSNVST	同様	NetView アプリケーション情報を表示します。NVSTAT コマンド出力 (BNH495I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSOSAP	同様	OSA チャネルおよびポートの情報を表示します。OSAPORT コマンド出力 (BNH597I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSPAN2	同様	サンプル NetView スパン・テーブル	DSIPARM
CNMSPLEX	同様	このサンプルは、DVIPA シスプレックス・ディストリビューター・データを表示します。DVIPPLEX コマンド出力 (BNH847I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSSMON	同様	このサンプルは、z/OS Communications Server のシスプレックス・モニタリング・メッセージの自動化を提供し、DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれます。	CNMSAMP
CNMSSTAC	同様	このサンプルは、TCP/IP スタック構成と状況データを表示します。STACSTAT コマンド出力 (BNH845I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTARG	同様	このサンプルは、分散 DVIPA ターゲット・データを表示します。DVIPTARG コマンド出力 (BNH813I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTIDS	同様	Intrusion Detection Services (IDS) 初期化ステートメントを組み込みます。	DSIPARM
CNMSTNST	同様	このサンプルは、Telnet サーバーに関する構成情報および状況情報を表示します。TELNSTAT コマンド出力 (BNH496I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTPST	同様	このサンプルは、Telnet サーバー・ポートに関する構成情報および状況情報を表示します。TNPTSTAT コマンド出力 (BNH497I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP

表 15. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
	CNMSTUSR	同様	DSIPARM
	CNMSTWBM	同様	DSIPARM
	CNMSVPRT	同様	CNMSAMP
	CNMSXCFA	同様	DSIPARM
	DSIAUTB	同様	DSIPARM
	DSIAUTBU	同様	DSIPARM
	DSIPROFG	同様	DSIPRF
	DSIPROFN	同様	DSIPRF
	DSIW3PRF	同様	DSIPARM
	DSIZCETB	同様	DSIPARM
	EKG51100	同じ	CNMSAMP
	EKG61100	同じ	CNMSAMP
	EZLCMENT	同様	DSIPARM
	FKVCMET	同様	DSIPARM
	FKXCMENT	同様	DSIPARM
	FKXIPMTB	同様	DSIPARM
	FKXOPFIP	同様	DSIPARM

表 15. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
FLCAINP	同じ	サンプル初期化ファイル ご自分のサイト用の 1 つ以上のMultiSystem Managerの初期化ファイルを作成する場合に、このファイルをテンプレートとして使用することができます。 このファイルを名前変更する場合には、INITTOPO コマンドを発行する際にそのファイル名を指定します。 FLCAINP には、他のMultiSystem Manager初期化ファイルを組み込むための %INCLUDE ステートメントの使用法の例も含まれています。	DSIPARM
IHSABCDS		IHSABCDS サンプルには、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのクラス定義ステートメントのサンプルが含まれています。	SCNMUXCL
IHSABCFG		IHSABCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANCFG		IHSANCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANFMT		IHSANFMT サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターの書式仕様ステートメントのサンプルを提供します。	SCNMUXCL

VTAM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、VTAM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

A01APPLS (CNMS0013)

このメンバーには、NetView プログラム用にコーディングされたアプリケーション (APPL) メジャー・ノードが含まれています。

VTAMLST データ・セットを再割り振りおよび再コピーしなかった場合、次の変更を A01APPLS に加えてください。

- SYS1.PARMLIB メンバー IEASYMxx にドメイン ID (システム変数 &CNMDOMN) を設定するか、A01APPLS (CNMS0013) 内の &CNMDOMN のすべての オカレンスを現行のドメイン ID に変更してください。

NetView V1R4 からのマイグレーション

- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、複数の並行 NetView オペレーターのタスクを定義する APPL ステートメントを、ワイルドカード文字 (??) を使用して 1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
&CNMDDMN.0?? APPL AUTH=(NVPACE,SPO,ACQ,PASS),PRTCT=&CNMDDMN., X  
EAS=4,MODETAB=AMODETAB,DLOGMOD=DSILGMOD
```

- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、TAF APPL ステートメントを、LU 名に続くワイルドカード文字 (??) を使用して、1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
TAF010?? APPL MODETAB=AMODETAB,EAS=9, X  
DLOGMOD=M3767
```

他のアプリケーション (TAF など) での使用のために定義する APPL 名は、端末ログオン APPL と同じ命名方式で定義してはなりません (例えば、3 文字の接尾のあるドメイン名)。同じ命名方式を使用すると、これらのアプリケーション名が NetView プログラムにより端末ログオンのために使用される可能性があり、その場合には、アプリケーション名が、定義された目的に使用できなくなります。

CNMNET (CNMSJ008)

CNMNET (CNMSJ008) は、VTAM プログラムの開始プロシージャです。

次のようにして、PROCLIB 内の CNMNET を変更します。

- NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
- NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。

NetView アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、NetView アドレス・スペースの変更点をリストしています。

AAUPRMLP

DSIPARM データ・セットの AAUPRMLP メンバーには、セッション・モニターの初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。AAUPRMLP メンバーの V5R4 コピーを使用し、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの NLDM ステートメントを更新して、以前 AAUPRMLP メンバーに指定されていた値を反映させてください。NetView 製品に含まれている AAUPRMLP メンバーのバージョンは変更しないでください。

BNJMBDST

BNJMBDST ハードウェア・モニター初期化メンバーを変更した場合は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにその変更をマイグレーションしてください。ほとんどの BNJMBDST ステートメントには、関連付けられているステートメント (NPDA.DSRBO、NPDA.ALERTFWD など) が CNMSTYLE メンバー内にあります。

DST メンバー (例えば、XITCI) に適用される BNJMBDST ステートメントには、関連した CNMSTYLE ステートメントはありません。この場合は、これらのステートメントをデータ REXX バージョンの BNJMBDST メンバーに追加してください。REXX プログラムがこれらのステートメントを REXX ステートメントとして解釈せずに、NetView データ行として戻せるように、ステートメントを必ず引用符で囲んでください。

CNMEALUS

CNMEALUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、アラート情報にユーザー・データを追加し、そのアラート情報をイベント/自動化サービスのアラート・アダプターまたは確認済みアラート・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMEMSUS

CNMEMSUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージ情報にユーザー・データを追加し、そのメッセージ情報をイベント/自動化サービスのメッセージ・アダプターまたは確認済みメッセージ・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMPROC (CNMSJ009)

CNMPROC (CNMSJ009) は、NetView プログラム用の始動プロシージャです。

PROCLIB 内の CNMPROC に以下の変更を行います。

1. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
3. AON VSAM データ・セットはサイズが増加したため、マイグレーション中に再割り振りしてください。VSAM データ・セットの割り振りについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 概説*」を参照してください。また、VSAM クラスタ名の前接頭部が NETVIEW.&domain に変更された点にも注意してください。
4. デフォルトの領域サイズは、98304 K バイトに増大しました。NetView 製品に対して、既存のデフォルト領域サイズ (32768 K バイト) を使用している場合は、次のように領域サイズ値を増やしてください。

```
//      REG=98304,          ** REGION SIZE(IN K) FOR NETVIEW
```

実行するコンポーネントによっては、領域サイズをさらに増やす必要がある場合があります。詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS チューニング・ガイド*」を参照してください。

5. SQ1 ステートメントの後に次の REXX ステートメントを追加して、REXX ライブラリーの高位修飾子を指定します。

```
//      REXX='EAG.V1R4M0',  ** REXX DSN HIGH LEVEL QUALIFIER
```

6. 以下の TRSIZE ステートメントとコメントを NV2I ステートメントの後に追加して、トレース・テーブル・サイズの指定をできるようにします。

NetView V1R4 からのマイグレーション

```
//      NV2I='',
//      TRSIZE=4000
//*
//*          ** INTERNAL TRACE TABLE SIZE - Number
//*          ** of pages to be allocated for the
//*          ** NetView Internal Trace table. The
//*          ** trace table is located in a data
//*          ** space, so the value can be up to
//*          ** 524286. If no value is specified,
//*          ** the default of 4000 is used. If
//*          ** a value of 0 is passed, internal
//*          ** trace is not started early. Trace
//*          ** options in CNMSTYLE take effect
//*          ** even if trace is not started early.
//*
```

7. NetView EXEC ステートメントに、以下のようにして、&TRSIZE 変数を追加します。

```
|
|      //NETVIEW EXEC PGM=&PROG,TIME=1440,
|      //      REGION=&REG.K,
|      //      PARM=(&BFSZ.K,&SLSZ,
|      //      ' &DOMAIN','&DOMAINPW','&ARM','&SUBSYM','&NV2I','&TRSIZE'),
|      //      DPRTY=(13,13)
```

8. STEPLIB 連結から以下の DD ステートメントを除去してください。

```
//      DD  DSN=&SQ1..SEKGMOD1,DISP=SHR
```

9. STEPLIB 連結で以下の DD ステートメントを変更します (SEAGLMD を SEAGLPA に変更します)。

```
/* YOU WILL NEED ACCESS TO EITHER THE REXX/370 RUNTIME LIBRARY
/* OR THE REXX ALTERNATE LIBRARY AS FOLLOWS:
/*
/* - IF YOU HAVE THE REXX/370 LIBRARY ON YOUR SYSTEM BUT SEAGLPA
/* IS NOT ACCESSIBLE FROM THE PAGEABLE LINK PACK AREA (PLPA),
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT THE "SEAGLPA" LINE BELOW.
/*
/*      OR
/*
/* - IF YOU HAVE THE REXX ALTERNATE LIBRARY ON YOUR SYSTEM,
/* BUT SEAGALT IS NOT ACCESSIBLE FROM THE PLPA OR LINKLST,
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT THE "SEAGALT" LINE BELOW.
/*
/* WHEN YOU UNCOMMENT EITHER OF THE LINES BELOW, MAKE SURE
/* THAT THE DSN ACTUALLY MATCHES THE NAME ON YOUR SYSTEM.
/* IN ADDITION, MAKE SURE THAT THE DATASET IS APF-AUTHORIZED.
/*
/*      DD  DSN=&REXX..SEAGLPA,DISP=SHR
/*      DD  DSN=&REXX..SEAGALT,DISP=SHR
```

注: REXX/370 ランタイム・ライブラリーか REXX 代替ライブラリーが必要です。

10. Web サービス・ゲートウェイ機能を使用する予定の場合、XML ツールキットおよび GSKit ライブラリーの DD ステートメントのコメントを外してください。

```
/******
/*
/* IF YOUR ARE STARTING NETVIEW WEB SERVICES SERVER THEN
/* YOU WILL NEED ACCESS TO BOTH IBM XML AND GSK TOOL RUN TIME
/* LIBRARIES
/*
/* - IF YOU HAVE THESE LIBRARIES ON YOUR SYSTEM
/* BUT THEY ARE NOT ACCESSIBLE FROM THE PLPA OR LINKLST,
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT LINES BELOW.
/*
```

```

/* WHEN YOU UNCOMMENT EITHER OF THE LINES BELOW, MAKE SURE
/* THAT THE DSN ACTUALLY MATCHES THE NAME ON YOUR SYSTEM.
/* IN ADDITION, MAKE SURE THAT THE DATASET IS APF-AUTHORIZED.
/*      QIXM='IXM.V1R8M0', ** IBM XML TOOLKIT RUNTIME LIB.
/*      QGSK='SYS1',      ** IBM GSK TOOLKIT RUNTIME LIB.
/*      DD  DSN=&QGSK..SIEALNKE,DISP=SHR
/*      DD  DSN=&QIXM..SIXMLOD1,DISP=SHR
/*

```

11. STEPLIB 連結から以下のステートメントを除去してください。

```
//      DD  DSN=&SQ1..SEZLLINK,DISP=SHR
```

12. NetView プログラムで Language Environment® (LE) HLL プログラムの実行を予定していて、LE ランタイム・ライブラリーを LNKLSTxx にインストールしていない場合、CNMPROC の STEPLIB のライブラリー名が正しいことと、コメントが外されていることを確認してください。

13. DSICLD DD ステートメントを更新して、以下のユーザー・データ・セットを追加します。

```
//DSICLD DD  DSN=&Q1..&DOMAIN..CNMCLST,DISP=SHR
//      DD  DSN=&SQ1..CNMCLST,DISP=SHR
//      DD  DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

DSICLD 連結から以下の DD ステートメントを除去してください。

```
//      DD  DSN=&SQ1..SEZLCLST,DISP=SHR
```

14. CNMPNL1 連結から以下のステートメントを除去してください。

```
//      DD  DSN=&SQ1..SEKGPNL1,DISP=SHR
/* COMMENT THE FOLLOWING LINE OUT IF YOU WILL NOT BE USING AON INFORM
/* POLICY, TIMER COMMAND, CGED COMMAND OR DM COMMAND.
//      DD  DSN=&Q1..&DOMAIN..SEZLPNLU,DISP=SHR
//      DD  DSN=&SQ1..SEZLPNLU,DISP=SHR
:
/* UNCOMMENT THE SEKGPNL2 DEFINITION STATEMENT FOR A JAPANESE
/* SYSTEM WITH RODM
/*      DD  DSN=&SQ1..SEKGPNL2,DISP=SHR
```

CNMPNL1 連結を、以下のように更新します。

```
//CNMPNL1 DD  DSN=&Q1..&DOMAIN..CNMPNL1,DISP=SHR
/* JAPANESE ONLINE HELP DATASET (PANELS)
/*      DD  DSN=&SQ1..SCNMPNL2,DISP=SHR
/* ENGLISH ONLINE HELP DATASET (PANELS)
//      DD  DSN=&SQ1..CNMPNL1,DISP=SHR
```

15. 以下の TCP 接続 VSAM データベースを追加します。

```
//DSITCONP DD  DSN=&VQ1..&DOMAIN..DSITCONP,
//      DISP=SHR,AMP='AMORG'
//DSITCONS DD  DSN=&VQ1..&DOMAIN..DSITCONS,
//      DISP=SHR,AMP='AMORG'
```

16. 分散 DVIPA 統計を収集する予定の場合は、以下のデータ・セットを追加します。

```
//CNMDVIPP DD  DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPP,DISP=SHR
//CNMDVIPS DD  DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPS,DISP=SHR
```

17. EZLSTAT DD ステートメントを次のように更新します。

```
/*EZLSTAT DD  DSN=&VQ1..&DOMAIN..STATS,
/*      DISP=SHR,AMP='AMORG,BUFNI=10,BUFND=5'
```

18. EZLPSWD DD ステートメントを更新します。

```
//*EZLPSWD DD DSN=&VQ1..&DOMAIN..PASSWORD,
//* DISP=SHR,AMP='AMORG,BUFNI=10,BUFND=5'
```

19. AON ログ DD ステートメントを更新します。

```
//*EZLLOGP DD DSN=&VQ1..&DOMAIN..LOGP,
//* DISP=SHR,AMP='AMORG,BUFNI=10,BUFND=5'
//*EZLLOGS DD DSN=&VQ1..&DOMAIN..LOGS,
//* DISP=SHR,AMP='AMORG,BUFNI=10,BUFND=5'
```

20. 以下の TCP/IP 変換データ・セット情報を追加し、ご使用のインストール環境の必要に応じて、ステートメントを更新します。

```
//*
/*****
/* If you are using the TCP/IP translate data set TCPXLBIN,
/* specify the appropriate data set name and uncomment the
/* following DD statement to prevent dynamic allocation
/* messages from being issued each time the data set is needed.
/*
/**CNMXLBIN DD DISP=SHR,DSN=datasetprefix.STANDARD.TCPXLBIN
/*
/* For more information please see your IP Configuration Guide.
```

CNMPSSI (CNMSJ010)

CNMPSSI (CNMSJ010) は、NetView サブシステム・アドレス・スペースを始動します。

PROCLIB 内の CNMPSSI に以下の変更を加えてください。

1. システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. MSGIFAC のデフォルト値が SYSTEM から SSIEXT に変更されました。z/OS v1r8 以降、QUESSI、QSSIAT、および USESSI 値はサポートされなくなりました。

```
// MSGIFAC='SSIEXT', ** SSI/EXTENDED CONSOLE OVERRIDE SWITCH
```

3. 以下のステートメントを P4000BUF パラメーターの後に追加して、経路コードを設定します。これらのステートメントを追加する場合は、P4000BUF=0 ステートメントの後にコンマを追加してください。

```
// ROUTECDE=1 ** Route code to be used for WTOs issued
/** ** by the SSI address space. Messages
/** ** that may be issued before this parm
/** ** is processed will use route code 1
/** ** regardless of the value set here.
```

4. NetView EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECD 変数を追加します。

```
//NETVIEW EXEC PGM=&PROG,TIME=1440,REGION=&REG.K,
// PARM=(&MBUF,&CBUF,'&DSIG','&MSGIFAC','&PPIOPT','&ARM',
// '&PFXREG',&P256BUF,&P4000BUF,&ROUTECD),DPRTY=(13,13)
```

CNMSIHS

CNMSIHS 自動化テーブルのサンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージおよびアラート・データを次のようなさまざまなイベント/自動化サービス・アダプターに送信するために、メッセージおよびアラートを自動化する方法の例を示します。

- メッセージ・アダプター

- 確認済みメッセージ・アダプター
- アラート・アダプター
- 確認済みアラート・アダプター
- Alert-to-trap アダプター

CNMSTYLE

DSIPARM データ・セットの CNMSTYLE メンバーは、NetView の初期設定時に使用されます。変更は、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの CNMSTYLE ステートメントに対して行います。CNMSTYLE ステートメントの変更については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 概説」を参照してください。CNMSTYLE メンバーは、NetView 初期化プロセスを簡素化するように設計されています。

NETVIEW.V5R4USER.INSTALL データ・セットの CNMSJMIG サンプル・ジョブを使用して、以前のリリースからの初期化メンバー (CNME1034 コマンド・リスト、一部の DSIPARM メンバーなど) を CNMSTUSR メンバーにマイグレーションできます。詳しくは、249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。このため、MVScmdMgt タワーは除去されました。

以下の TOWER が追加されました。

- DISCOVERY - シスプレックス、z/OS システム、カップリング・ファシリティ、TCP/IP スタック、TCP/IP サブプレックス、および NetView アプリケーションのディスカバリーを使用可能にします
- DVIPA - 動的仮想 IP アドレス (DVIPA) 定義と状況データの収集を使用可能にします
- IPMGT - IP 管理を使用可能にします
- NLDM - セッション・モニターを使用可能にします
- NPDA - ハードウェア・モニターを使用可能にします
- NVSOA - Web サービス・ゲートウェイ機能を使用可能にします
- TARA - 4700 サポート・ファシリティを使用可能にします
- TCPIPCOLLECT - z/OS Communications Server からの TCP/IP 接続トレース・データおよびパケット・トレース・データの収集を使用可能にします
- TEMA - NetView プログラムが Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent と通信できるようにします

以下のサブタワーが除去されました。

- AON LAN
- マルチシステム・マネージャー ATM 機能 (ATM)、LAN ネットワーク・マネージャー (LNM)、NetFinity (NTF)、および Novell NetWare (NVL)

マルチシステム・マネージャーの IBM Tivoli Network Manager 機能に ITNM サブタワーが追加されました。

NetView V1R4 からのマイグレーション

CNMSTYLE メンバーは、DSIPARM データ・セットのメンバーにある一部の定義ステートメントと、CNME1034 コマンド・リストによって実行されるすべての初期化を置き換えます。

表 16. CNMSTYLE ステートメントの古い DSIPARM ステートメントとの関係

CNMSTYLE ステートメント	DSIPARM ステートメント またはコマンド	NetView メンバー
DB2SEC=RRS	DB2RRS	DSIDMNK
DEFAULTS.*	DEFAULTS	CNME1034
FLC_DEF_NETW_VIEW	DEF_NETW_VIEW	FLCSAINP
FLC_EXCEPTION_VIEW_FILE	EXCEPTION_VIEW_FILE	FLCSAINP
FLC_RODMINT	RODMINT	FLCSAINP
FLC_RODMNAME	RODMNAME	FLCSAINP
FLC_RODMRETRY	RODMRETRY	FLCSAINP
FLC_RUNCMDRETRY	RUNCMDRETRY	FLCSAINP
FLC_TCPNAME	TCPNAME	FLCSAINP
FLC_TN3270_FILE	TN3270_FILE	FLCSAINP
GHB.TCPANAME	TCPANAME	DUIIGHB
IPLOG	パラメーター	DSILGCF
LOADEXIT	LOADEXIT	DSIDMNK
LUC.*	パラメーター	DSILUCTD
MCON.*	パラメーター	DSITPCPF
MSMdefault	DEF_AUTOTASK	FLCSAINP
MVSPARM.*	MVSPARM	DSIDMNK
NLDM.*	パラメーター	<ul style="list-style-type: none"> • AAUPRMLP • DSIAMLTD
NPDA.ALERTFWD	ALERTFWD	DSIDMNK
REXEC.*	パラメーター	DSIREXCF
RRD	RRD	DSIDMNK
RSH.*	パラメーター	DSIRSHCF
RTT.*	パラメーター	DSIRTTTD
SECOPTS.*	OPTIONS	DSIDMNK
TAMEL.*	パラメーター	DUIFPMEM
transTbl	TRANSTBL	DSIDMNK
VTAMCP.USE	VTAMCP	DSIDMNK
WEB.*	パラメーター	DSIWBMEM

CNMSTYLE メンバーには、含まれているステートメントのタイプについての説明コメントが含まれています。それらのコメントを読み、デフォルトを検討してください。

以下のデフォルトが変更されました。

表 17. CNMSTYLE ステートメント

デフォルト	前のデフォルト	現行のデフォルト
NCCF トレース 注: 初期化中にプロセッサ使用率の著しい増加に気付いた場合は、TRACE オプションを変更するか、または NetView の初期化が完了した後でトレースを開始することができます。	オフ	オン、MODE=INT
LOGONPW	CMDMDL コメント化	CMDDEF 使用可能
ASSIGN	STATGRP が指定するもの: • NETOP1 • NETOP2	STATGRP が指定するもの: • NETOP1 • NETOP2 • AUTO1 OPERGRP が指定するもの: • OPER1 • OPER2 • OPER3 • OPER4 • OPER5 • OPER6
MEMSTOR	CNME1034 でコメント化 事前定義の組み込みリストまたは除外リストなし	使用可能 事前定義の組み込みリスト: • CNMPNL1.CNMKWIND • CNMPNL1.CNMBROWS • DSIOOPEN.CNMKEYS • DSICLD.CNME1505 • DSICLD.CNME1096 DVIPA tower が使用可能である場合: • DSICLD.FKXEDVPT • DSICLD.FKXEDVPA • DSICLD.FKXEDVP1 • DSICLD.FKXEDVP2 • DSICLD.FKXEDVP3 • DSICLD.FKXEXLAT 事前定義の除外リスト: • DSIPARM.DSIOPF • DSIPARM.DSIOPFU • DSILIST.* • *.USERMEM

表 17. CNMSTYLE ステートメント (続き)

デフォルト	前のデフォルト	現行のデフォルト
MVSPARM.MSGIFAC	SYSTEM	SSIEXT MSGIFAC のデフォルト値は SSIEXT です。z/OS v1r8 以降、QUESSI、QSSIAT、および USESSI 値はサポートされなくなりました。
HLEENV	CNME1034 でコメント化	CNMSTYLE メンバーにあり、PL/I 用と C 用の 2 つの環境を初期化します。
HLEENV キーワード	PHEAP=4096	PHEAP=131072
	PSTACK=4096	PSTACK=131072
DEFAULTS コマンド・キーワード	CMD=HIGH	CMD=LOW
	STRTSERV=SBMTJOB	STRTSERV=STRTPROC
自動的に開始されるタスク: <ul style="list-style-type: none"> • &DOMAIN.LUC • &DOMAIN.VMT • AAUTCNMI • AAUTSKLP • BNJDSE36 • BNJDSERV • BNJMNPD • DSIAMLUT • DSIAOPT • DSICRTR • DSIGDS • DSIKREM • DSIQTSK • DSIROVS • DSITRACE 	CNME1034 には、これらのタスクを開始する STARTCNM ALL コマンドが組み込まれていました。	これらのタスクは、自動的に開始しなくなったことを示す INIT=N が指定されて、CNMSTYLE メンバーに含まれています。

注: SECOPTS.COMDAUTH ステートメントの場合、NetView プログラムは、マイグレーション・モードでのみ SCOPE オプションをサポートします。現在、コマンドの有効範囲セキュリティ定義 (マッチングする OPCLASS ステートメントがある、DSICMD 内の CMDCLASS、KEYCLASS、VALCLASS ステートメント) を使用している場合、SECMIGR コマンドを使用して同等のコマンド権限テーブルのステートメントにそれらを変換することができます。SCOPE オプションを使用して NetView プログラムを初期化する場合は、既存の有効範囲セキュリティ定義を変換するために SECMIGR コマンドを使用します。変換されたテーブルは最初の DSIPARM データ・セットに書き込まれ、有効になります。変換されたコマンド権限テーブルを DSIPARM データ・セットに書き込む権限が PPT にあることを確認してください。

CNMSTNXT

CNMSTNXT メンバーには、新規、変更、または削除されたステートメントが含まれています。ステートメントは、NetView 製品のバージョンとリリース・レベルに

応じてグループ化されます。CNMSTNXT メンバーのステートメントを確認し、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーを必要に応じて更新してください。

必要な情報

CNMSTYLE ステートメント

参照先

IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス

DSIAMLTD

DSIPARM データ・セットの DSIAMLTD メンバーには、セッション・モニターの初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。V5R4 DSIAMLTD メンバーを使用し、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの NLDM ステートメントを更新して、マイグレーション元のシステム上の DSIAMLTD メンバーに指定されている値を反映させてください。データ REXX バージョンの DSIAMLTD メンバーは変更しないでください。

DSICCDEF

DSICCDEF に変更を加えた場合は、DSICCDEF の現行コピーを、V5R4 で配布された DSICCDEF サンプルとマージしてください。z/OS V1R4 が最小必要要件であるため、VTAM DISPLAY および MODIFY コマンドは、CCDEF サポートを必要としません。VTAM は、肯定のストリーム終了標識を提供します。

DSICMD

DSICMD メンバーのコマンド定義ステートメントは、CNMCMD メンバーの新規コマンド定義によって置換されました。NetView 初期化では、マイグレーションのために引き続き DSICMDU メンバーを読み取ります。CNMSJMIG サンプル・ジョブを使用して、DSICMD メンバーを新規の CNMCMD フォーマットにマイグレーションできます。詳しくは、249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。

NetView 初期化の前に、DSICMDU メンバーの定義を新規フォーマットに変換しないと、DSICMDU メンバーに含まれた情報が変換され、PPT のもとで NetView KEEP に 2 時間保管されます。この間に、NetView PIPE コマンドを使用して、これらの変換済みのコマンド定義を検索することができます。以下の例は、表示のためにこれらの定義を検索する 1 つの方法を示したものです。

```
/PPT: PIPE KEEP DSICMDU | CONS
```

類似の PIPE コマンドを使用して、変換済み定義を DSIPARM データ・セットの CNMCMDU メンバーに書き込むこともできます。

注: DSICMDU のデータ REXX ステートメントはすでに処理されているため、DSICMDU KEEP には存在しません。

CNMCMSYS メンバーまたは CNMCMENT メンバー内に見つかったコマンド定義と重複する DSICMDU メンバー内のコマンド定義は、後者によりオーバーライドされます。NetView 内部コマンド・セット内のコマンドと重複する DSICMDU メンバー内のコマンド定義は、エラーと見なされます。

NetView V1R4 からのマイグレーション

DSICMDU メンバーから定義をマイグレーションするには、以下のステップを実行します。

1. テスト環境で NetView を開始し、重複コマンド定義に関する DSI234I メッセージがないか注意します。
2. マイグレーション済みの DSICMDU コマンド定義を NetView KEEP から検索して、それを CNMCMDU に保管します。次に例を示します。

```
/PPT: PIPE KEEP DSICMDU | QSAM (DSN) user.dsiparm(CNMCMDU)
```

ここで、*user.dsiparm* は、マイグレーション済みコマンド定義ステートメントを配置するデータ・セットを指定します。

注: また、サンプル CNMSJMIG を使用して、NetView V5R4 を開始する前に、DSICMDU 定義をマイグレーションすることもできます。

3. NetView 初期化中に気付いた重複コマンド定義を変更するために、CNMCMDU 定義を更新します。

CNMCMDU の CMDDEF ステートメントを使用して、CNMCMSYS または CNMCMENT のコマンド定義をすべて変更します。

DSICMENT

DSIPARM の DSICMENT メンバーは、CNMCMENT によって置換されました。幾つかの AON コマンド定義ステートメントから SEC=BY を除去することができます。これらのステートメントのリストについては、245 ページの『付録 E. SEC=BY が必要ない AON CMDDEF ステートメント』を参照してください。

DSICMSYS

DSIPARM データ・セットの DSICMSYS メンバーは、CNMCMSYS メンバーによって置き換えられました。

CNMCMSYS メンバーに、CNME1500 コマンド・リスト用の CMDMDL ステートメントは含まれません。このため、READYRMT 別名 (コマンド) は定義されなくなりました。CNME1500 メンバーは、引き続き使用可能です。

EZLCMD

DSIPARM の EZLCMD メンバーは、EZLCMENT によって置換されました。幾つかの AON コマンド定義ステートメントから SEC=BY を除去することができます。これらのステートメントのリストについては、245 ページの『付録 E. SEC=BY が必要ない AON CMDDEF ステートメント』を参照してください。

FKXCMD

DSIPARM メンバー FKXCMD は、FKXCMENT によって置換されました。幾つかの AON コマンド定義ステートメントから SEC=BY を除去することができます。これらのステートメントのリストについては、245 ページの『付録 E. SEC=BY が必要ない AON CMDDEF ステートメント』を参照してください。

DSICTMOD

DSICTMOD は、サンプル・ジョブ CNMS0055 を使用して更新できる、NetView 定数モジュールです。V5R4 で配布された DSICTMOD モジュールを使用してくだ

さい。現行リリースの CNMS0055 を更新した場合は、それらの変更を CNMS0055 の V5R4 バージョンにマージし、アセンブルするために実行依頼し、変更を DSICTMOD モジュールにリンク・エディットします。

共通グローバル変数のデフォルト数は、300 から 400 変数へと増加されました。

DSIDMN

DSIDMN メンバーに設定されているパラメーターは、CNMSTYLE メンバーにマイグレーション済みです。既存のステートメントを除去しない場合、DSIDMN 処理時にそれらのステートメントは無視されます。

ユーザー定義の TASK ステートメントは、引き続きサポートされます。これらのステートメントは、CNMSTYLE メンバーに追加することもできます。CNMSTYLE TASK ステートメントについては、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* アドミニストレーション・リファレンス」を参照してください。

DSIDMN メンバーに対して以下の変更が行われました。

1. EXCMDSEC はサポートされなくなりました。EXCMD コマンド関連のキーワードおよび値の権限を検討して、適切なセキュリティが保たれていることを確認してください。詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* セキュリティー・リファレンス」を参照してください。
2. MVSPARM ステートメントの MSGIFAC キーワードのデフォルト値が SYSTEM から SSIEXT に変更され、CNMSTYLE メンバーの MVSPARM.MSGIFAC ステートメントで指定するようになりました。

注: DSIDMNK メンバー内にあったステートメントは、CNMSTYLE メンバーに配置されました。DSIDMNK メンバーは除去されました。

DSIILGCF

DSIPARM データ・セットの DSIILGCF メンバーは、IP ログの初期化値を定義します。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの IPLOG ステートメントを更新して、以前 DSIILGCF メンバーに指定されていた値を反映させてください。

DSILUCTD

DSIPARM データ・セットの DSILUCTD メンバーには、CNM データ転送タスクの初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYL メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが組み込まれています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの LUC ステートメントを更新して、マイグレーション元のシステム上の DSILUCTD に指定されている値を反映させてください。

DSIOPF

DSIOPF メンバーは大幅に変更されたため、V5R4 バージョンの DSIOPF メンバーを使用してください。インストールされている NetView プログラムのレベル、

NetView V1R4 からのマイグレーション

CNMSTYLE メンバーによって使用可能にされたタワー、またはその両方に基づいて、オペレーター定義を条件に応じて定義するために、データ REXX ロジックが追加されました。

以下の情報は、NetView V1R4 以降に DSIOPF に対して行われた変更を強調したものです。オペレーター定義をマイグレーションするときには、特にセキュリティーに関して、以下の新規、変更、および削除済みオペレーター定義のリストを検討してください。

FKWOPF %INCLUDE メンバーを除去します。

以下のオペレーター定義が除去されました。

```
AUTOATMA      OPERATOR      PASSWORD=AUTOATMA
               PROFILEN      FLCSPRFB
AUTOATM1      OPERATOR      PASSWORD=AUTOATM1
               PROFILEN      FLCSPRFB
AUTOEWA       OPERATOR      PASSWORD=AUTOEWA
               PROFILEN      FLCSPRFB
AUTOEW1       OPERATOR      PASSWORD=AUTOEW1
               PROFILEN      FLCSPRFB
AUTONWA       OPERATOR      PASSWORD=AUTONWA
               PROFILEN      FLCSPRFB
AUTONW1       OPERATOR      PASSWORD=AUTONW1
               PROFILEN      FLCSPRFB
FLBGMGR       OPERATOR      PASSWORD=FLBGMGR
               PROFILEN      FLBGMMPR
```

以下のオペレーター定義では、プロファイル名が DSIPROFD から DSIPROFG に変更されました。

```
AUTO2         OPERATOR      PASSWORD=AUTO2
               PROFILEN      DSIPROFG
DBAUTO1       OPERATOR      PASSWORD=DBAUTO1
               PROFILEN      DSIPROFG
DBAUTO2       OPERATOR      PASSWORD=DBAUTO2
               PROFILEN      DSIPROFG
DSIWEB        OPERATOR      PASSWORD=WEBSERV
               PROFILEN      DSIPROFG
DSIMCAOP      OPERATOR      PASSWORD=CMDAUTO
               PROFILEN      DSIPROFG
```

以下のステートメントが追加されました。

```
%>IF TOWER('IPMGT') & ~TOWER('AON') THEN
  %INCLUDE FKWOPFIP
```

これは、AON タワーがアクティブでない場合の IPMAN 機能用オペレーター定義の条件付きインクルードです。

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 18. DSIOPF に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
NetView Web アプリケーション DVIPA サポートの自動タスク	AUTDVIPA	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTDVIPA DSIPROFC
分散 DVIPA 統計の自動タスク	DVIPSTAT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DVIPSTAT DSIPROFC

表 18. DSIOPF に追加されたオペレーター定義 (続き)

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
DVIPA イベントとデータの転送の自動タスク	DVIPAUTO	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DVIPAUTO DSIPROFC
コマンド改訂に対する NETVONLY アクションを管理する自動タスク	MVSCMDS	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=MVSCMDSL DSIPROFC
DVIPA の定義と状況の自動タスク	AUTOCT1	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT1 DSIPROFN
DVIPA シスプレックス・ディストリビューター、分散ターゲット、およびサーバー正常性の自動タスク	AUTOCT2	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT2 DSIPROFN
DVIPA 接続の自動タスク	AUTOCT3	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT3 DSIPROFN
VIPA 経路および分散 DVIPA 接続経路指定の自動タスク	AUTOCT4	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT4 DSIPROFN
OSA チャンネルとポートの自動タスク	AUTOCT5	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT5 DSIPROFN
Telnet サーバーと Telnet サーバー・ポートの自動タスク	AUTOCT6	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT6 DSIPROFN
NetView アプリケーションの自動タスク	AUTOCT7	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT7 DSIPROFN
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent の自動タスク	AUTONALC AUTODC1 AUTODC2 AUTODC3 AUTODC4	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTONALC DSIPROFC PASSWORD=AUTODC1 DSIPROFN PASSWORD=AUTODC2 DSIPROFN PASSWORD=AUTODC3 DSIPROFN PASSWORD=AUTODC4 DSIPROFN
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent で使用されるコマンドを実行するために使用される自動タスク	NATEP1 NATEP2 SYSADMIN	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=NATEP1 DSIPROFC PASSWORD=NATEP2 DSIPROFC PASSWORD=SYSADMIN DSIPROFC
TCP 接続	DSIIPCHK	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DSIIPCHK DSIPROFC
IP 管理サービス (AUTIPMGT) の自動タスク	AUTIPMGT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTIPMGT DSIPROFC
XCF サービスの自動タスク	AUTOXCF AUTOXDSC AUTOEDAT	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOXCF DSIPROFC PASSWORD=AUTOXDSC DSIPROFC PASSWORD=AUTOEDAT DSIPROFC
Communications Server への NMI ソケットを開くための自動タスク	AUTOTCPC AUTOPKTS AUTOOPKT AUTOTCPS	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOTCPC DSIPROFG PASSWORD=AUTOPKTS DSIPROFG PASSWORD=AUTOOPKT DSIPROFG PASSWORD=AUTOTCPS DSIPROFG

表 18. DSIOPF に追加されたオペレーター定義 (続き)

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
SMF 30 レコードを受信するための自動タスク	AUTOSMF3	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOSMF3 DSIPROFC
NetView Web サービス・ゲートウェイの自動タスク	AUTONVSP	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTONVSP DSIPROFC

DSIOPFU

V1R4 DSIOPFU メンバーに定義したすべてのオペレーター定義を、V5R4 バージョンにコピーしてください。

オペレーター定義を条件に応じて DSIOPFU メンバーに定義するために、データ REXX ロジックを追加できます。データ REXX ファイル内の最初のステートメントは、/*%DATA*/ か /*%LOGIC*/ でなければなりません。コメントは同一行か、後続行に続けて指定することができます。最初の列のブランクは、直前のステートメントの継続を示します。データ REXX について詳しくは、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

FKXOPFIP

FKXOPFIP メンバーは、IPMGT タワーが使用可能にされたときに使用されます。このメンバーは、AON コンポーネントが使用可能な場合は使用されません。このため、オペレーター定義は、EZLOPF メンバーおよび FKXOPF メンバー内の定義と重複します。

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 19. FKXOPFIP に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
IP 管理サービスの自動タスク	AUTIPMx	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTIPMx EZLPRFAO

DSIREXCF

DSIREXCF データ・セットの DSIREXCF メンバーは、REXEC サーバーの初期化値を定義します。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの REXEC ステートメントを更新して、以前 DSIREXCF メンバーに指定されていた値を反映させてください。データ REXX バージョンの DSIREXCF メンバーは変更しないでください。

DSIRSHCF

DSIPARM データ・セットの DSIRSHCF メンバーは、RSH サーバーの初期化値を定義します。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの RSH ステートメントを更新して、以前 DSIRSHCF メンバーに指定されていた値を反映させてください。データ REXX バージョンの DSIRSHCF メンバーは変更しないでください。

DSIRTTTD

DSIPARM データ・セットの DSIRTTTD メンバーには、TCP/IP アラート受信先の初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの RTT ステートメントを更新して、DSIRTTTD メンバーに以前指定した値を反映させてください。データ REXX バージョンの DSIRTTTD メンバーは変更しないでください。

DSIRXPRM

DSIRXPRM には、新規の REXX 環境を確立するために必要な REXX 初期化パラメーターが含まれています。サンプル・ジョブ CNMSJM11 を使用して DSIRXPRM を更新します。V5R4 バージョンの DSIRXPRM を使用します。現行リリースの CNMSJM11 を更新した場合には、変更を V5R4 バージョンの CNMSJM11 にマージし、それを実行して、変更を DSIRXPRM モジュールにアセンブルおよびリンク・エディットします。

DSISPN

DSISPN メンバーは廃止されました。

SECMIGR マイグレーション・ツールを使用して、既存の VTAMLST 定義および DSISPN 定義を NetView スパン・テーブルの項目に変換します。SECMIGR ツールは、このスパン・テーブルを作成し、既存の制御スパン定義をスパン・テーブルのステートメントに変換し、それらをスパン・テーブルに読み込みます。NetView プログラムの初期化の準備ができたなら、NetView スパン・テーブルの名前を CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーの SECOPTS.SPANAUTH ステートメントに指定することで、そのテーブルを読み込みます。スパン・テーブルの例については、CNMSPAN2 サンプルを参照してください。

DSITBL01

DSITBL01 メンバーには、サンプルの自動化テーブル定義が含まれています。自動化を開始するための %INCLUDE ステートメントの一部とそれに関連付けられているステートメントは、CNMSTYLE メンバーのエントリーに置き換えられました。DSITBL01 メンバーを変更した場合は、変更内容を V5R4 DSITBL01 メンバーとマージしてください。変更を行った後、NetView 自動化テーブルを番号付けし直してください。NetView 自動化テーブルがメッセージを処理し、一致を見つけて、コマンドまたはコマンド・リストを実行する結果になると、NetView ログ・ファイルに CNM493I メッセージが書き込まれます。CNM493I メッセージには、一致した自動化テーブル・エントリーの行番号が含まれます。

NetView 製品で提供されるいくつかのメッセージは、V5R4 プログラムで変更されます。これらのメッセージは付録にリストされています。そのリストを検討し、ご使用の自動化テーブルに必要な変更を加えてください。

基本自動化テーブル名が DSITBL01 でない場合は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーを更新して、ご使用の自動化テーブルの AUTOCMD ステート

NetView V1R4 からのマイグレーション

メントを含めてください。AUTOCMD ステートメントについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* アドミニストレーション・リファレンス」を参照してください。

メッセージ自動化は、いくつかのディスカバリー・マネージャー・リソースが開始および停止するときに情報を更新するために使用されます。これらのイベントに対する CNMSEPTL 自動化サンプル・メンバーを追加してください。CNMSEPTL メンバーは、DISCOVERY タワーが使用可能にされるときに含まれます。

```
* Load local resource discovery table
%>IF tower('DISCOVERY') THEN
%INCLUDE CNMSEPTL
```

DVIPA 自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
* Include the following DVIPA samples:
* CNMSDVDS - Automation for forwarding information to the master NetView
* CNMSDVTP - Samples for automating z/OS Communications Server SNMP
*           DVIPA traps
* CNMSDVCG - Samples for automating z/OS Communications Server DVIPA
*           configuration updates
* CNMSSMON - Samples for automating z/OS Communications Server
*           sysplex autonomic messages
%>IF tower('DVIPA') THEN
%>do;
    %INCLUDE CNMSDVDS
    %INCLUDE CNMSDVTP
    %INCLUDE CNMSDVCG
    %INCLUDE CNMSSMON
%>end;
```

XCF シスプレックス・サポート用には、以下のステートメントを追加します。

```
** Load statements that relate to the z/OS sysplex master function.
%INCLUDE CNMSXCF
```

COLLCTL コマンド自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** COLLCTL command AUTOMATION *****
%INCLUDE CNMSDCA
```

CNMSMF3E サンプルを使用する SMF タイプ 30 レコードの自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** SMF 30 RECORD AUTOMATION *****
IF MSGID = 'BNH874I' THEN
    EXEC(CMD('CNMSMF3A')) NETLOG(Y) SYSLOG(N);
```

SMF タイプ 30 レコードの自動化について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

DSITPCPF

DSIPARM データ・セットの DSITPCPF メンバーは、DSITCPIP タスクの初期化値を定義します。これらの値は、TCP/IP と NetView 3270 management console との間の通信で使用されます。DSITPCPF メンバーには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの MCON ステートメントを更新して、DSITPCPF メンバーに以前指定した値を反映させてください。データ REXX バージョンの DSITPCPF メンバーは変更しないでください。

DSITCPRF

DSIPRF データ・セットの DSITCPRF メンバーは、TCP/IP オペレーターのセキュリティ・プロファイルを定義します。HTTP サーバー・セッションの暗号鍵を定義するために、WEB_SERVER ステートメントが追加されました。

```
WEB_SERVER: default default
```

DSIWBMEM

DSIPARM データ・セットの DSIWBMEM メンバーは、Web サーバーの初期化値を定義します。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されるようになりました。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの WEB ステートメントを更新して、以前 DSIWBMEM メンバーに指定されていた値を反映させてください。データ REXX バージョンの DSIWBMEM メンバーは変更しないでください。

DSIZVLSR

DSIZVLSR モジュールは、VSAM LSR パフォーマンス・オプションおよび DSR パフォーマンス・オプションで使用されるバッファ・プールを定義します。CNMSJM01 サンプル・ジョブを使用して、DSIZVLSR モジュールを更新してください。V5R4 で配布された DSIZVLSR モジュールを使用してください。前に CNMSJM01 ジョブを更新した場合は、その変更内容を CNMSJM01 ジョブの V5R4 バージョンにマージしてからこのジョブを実行し、変更内容をアセンブルして DSIZVLSR モジュールにリンク・エディットしてください。

DSIZVLSR モジュールに対して以下の変更が行われました。

- デフォルトの STRNO 値は 30 から 40 に増加しました。
- TCPCONN コマンドをサポートするために DSITCONT タスクに割り振られた新規の VSAM クラスタに対して、新規のバッファが索引とデータ・バッファ・プールに追加されました。

DUIFPMEM

DSIPARM データ・セットの DUIFPMEM メンバーには、CNMTAMEL タスク用の TCP/IP 初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの TAMEL ステートメントを更新して、DUIFPMEM メンバーに以前指定した値を反映させてください。データ REXX バージョンの DUIFPMEM メンバーは変更しないでください。

DUIIGHB

DSIPARM データ・セットの DUIIGHB メンバーには、DUIDGHB タスクの初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの GHB ステートメントを更新して、DUIIGHB メンバーに以前指定した値を反映させてください。データ REXX バージョンの DUIIGHB メンバーは変更しないでください。

FKXCFG01

DSIPARM データ・セットの FKXCFG01 メンバーには、AON コンポーネントの構成情報が含まれています。

TCP390 ポリシー情報は、FKXCFG01 メンバーから CNMPOLCY メンバーに移動されました。ご使用の V1R4 FKXCFG01 メンバーの TCP390 ステートメントはすべて V5R4 CNMPOLCY メンバーに移動してください。他の AON 構成メンバー (EZLCFG01 メンバー、FKVCFG01 メンバーなど)、およびユーザーが含めたすべての追加メンバーを調べて、その他の TCP390 ステートメントを検索してください。すべての TCP390 ステートメントを CNMPOLCY メンバーに移動してください。

(Web アプリケーションのみ) DVIPA データをスタックから収集する場合は、DVIPADAT キーワードを TCP390 ステートメントに追加して、値を Y (はい) に設定してください。

FLBSYSDA

DSIPARM データ・セットの FLBSYSDA メンバーは、APPN アカウンティング・マネージャーの初期化メンバーです。このメンバーは除去されました。

FLCSAINP

FLCSAINP メンバーは廃止されました。

V1R4 では、FLCSAINP メンバーは MultiSystem Manager のサンプル初期化ファイルでした。FLCSAINP メンバーを変更し、FLCAINP または別の固有の名前に名前変更することができます。V5R4 では、FLCAINP メンバーは、MultiSystem Manager の初期化時に実行する GETTOPO ステートメントを指定するために使用されます。その他の MultiSystem Manager 初期化定義はすべて、CNMSTYLE メンバーにマイグレーションされました。

V5R4 の場合、既存の FLCAINP (または他の固有の名前を付けたメンバー) を使用して、以下の更新を行います。

1. 初期化定義 (GETTOPO ステートメント以外) に変更を加えていた場合は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにその変更をマイグレーションします。
2. CNMSTYLE メンバーにマイグレーションした定義 (GETTOPO 以外のステートメント) を削除します。
3. すべての GETTOPO ATMxxx ステートメントを削除します。
4. すべての GETTOPO LNMxxx ステートメントを削除します。
5. すべての GETTOPO NETFxxx ステートメントを削除します。
6. すべての GETTOPO NWCPxxx ステートメントを削除します。
7. すべての START_DISCOVERY ステートメントを削除します。

FLCAINP メンバーについての詳細は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS Installation: Configuring Graphical Components*」を参照してください。

RODM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、RODM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

EKGLOADP

EKGLOADP はサンプル RODM ロード・プロシージャ JCL です。

EKGLOADP に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. ROUTECODE パラメーターを設定するには、以下のステートメントを PROC ステートメントの COPIES パラメーターの後に追加します。このパラメーターを追加する場合、COPIES=1 パラメーターの後にコンマを 1 つ追加してください。

```
//          ROUTECDE=1
```

3. NetView EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECD 変数を追加します。

```
//LOADRODM EXEC PGM=EKGLTLM,  
//          PARM=('OPERATION=&OPER,LOAD=&LOAD,NAME=&RODMNAME',  
// 'LISTLEVEL=&LISTL,SEVERITY=&SEVERITY,ROUTECD=&ROUTECD')
```

ROUTECD パラメーターの追加の結果、EKGLOADP の呼び出し時に &ROUTECD を指定するために、JCL プロシージャ EKGLLOAD を更新する必要もあります。

4. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、STEPLIB データ・セット連結から次のステートメントを除去します。

```
//STEPLIB DD DSN=&SQ1..SEKGMOD1,DISP=SHR
```

5. 次の DD ステートメントを STEPLIB データ・セット連結に追加します。

```
//STEPLIB DD DSN=&SQ1..CNMLINK,DISP=SHR
```

6. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..SEKGLUTB,DISP=SHR
```

以下のように変更します。

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

7. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを

```
//EKGIN2 DD DSN=&SQ1..SEKGCAS1,DISP=SHR
```

以下のように変更します。

```
//EKGIN2 DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

EKGS101

EKGS101 は、RODM ログおよびチェックポイント・データベースを割り振るために使用されます。このサンプルは、サンプル・ジョブ CNMSJ004 によって使用されます。

RODM によってサポートされる最大数に満たない数のウィンドウに対して RODM チェックポイント・データ・セットを割り振っており、RODM データ・キャッシュに保管を予想しているオブジェクトの推定数が以前の最大サポート数 (約 524,000 オブジェクト) を超えている場合は、RODM チェックポイント・データベースのサイズを増加することを検討してください。

EKGXRODM

EKGXRODM は RODM 始動プロシージャです。

EKGXRODM に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
3. 以下の ROUTECDE パラメーターを SUBSYM パラメーターの後に追加します。

```
//      SUBSYM=*SUBSYM,      ** SYMBOL SUBSTITUTION OPTION
//      ROUTECDE=1           ** ROUTE CODE FOR WTO/WTOR
```

4. START EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECDE 変数を追加します。

```
//START EXEC PGM=EKGTC000,REGION=0K,TIME=1440,
// PARM='&TYPE,&NAME,&INIT,&CLRSSB,&CUST,&ARM,&SUBSYM,&ROUTECDE'
```

5. RODM コンポーネントを使用しており、なおかつ前のリリースからマイグレーションしている場合は、STEPLIB データ・セット連結にある以下のステートメントを

```
//      DD DSN=&SQ1..SEKGMOD1,DISP=SHR
//      DD DSN=&SQ1..SEKGMOD2,DISP=SHR
```

以下のように置換します。

```
//      DD DSN=&SQ1..CNMLINK,DISP=SHR
```

6. EKGUCUST DD ステートメントは、ユーザー DSIPARM データ・セットを組み込むように変更されました。

```
//EKGUCUST DD DSN=&Q1..CNM01.DSIPARM,DISP=SHR
//      DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

7. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..SEKGLUTB,DISP=SHR
```

以下のように変更します。

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

8. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを

```
//EKGIN1 DD DSN=&SQ1..SEKGSMP1(EKGIN1),DISP=SHR
```

以下のように変更します。

```
//EKGIN1 DD DSN=&SQ1..CNMSAMP(EKGIN1),DISP=SHR
```

9. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを

```
//EKGIN2 DD DSN=&SQ1..SEKGCAS1,DISP=SHR
```

以下のように変更します。

```
//EKGIN2 DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

10. LNKLSTxx または PROGxx で、Language Environment for OS/390 ランタイム・ライブラリーをインストールしていない場合は、EKGXRODM の STEPLIB のライブラリー名が正しいこと、およびアンコメントされていることを確認します。PL/I または C/C++ のランタイム・ライブラリーは使用されなくなったため、これらのライブラリー用の DD ステートメントを除去してください。

GMFHS アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、GMFHS アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMGMFHS (CNMSJH10)

CNMGMFHS (CNMSJH10) は GMFHS 始動プロシージャです。

CNMGMFHS に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
3. 以下の ROUTECDE パラメーターを SUBSYM パラメーターの後に追加します。

```
//          SUBSYM=*SUBSYM, ** SYMBOL SUBSTITUTION
//          ROUTECDE=1    ** ROUTE CODE FOR ALL WTO'S
```

4. STEP1 EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECDE 変数を追加します。

```
//STEP1 EXEC PGM=&PROG,REGION=&REG,TIME=1440,
// PARM='&AGGRST,RESWS=&RESWS,DOMAIN=&DOMAIN,ARM=&ARM,SUBSYM=&SUBSYM, *
//          ROUTECDE=&ROUTECDE'
```

5. RODM コンポーネントを使用していて、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを除去します。

```
//STEPLIB DD DSN=&SQ1..SEKGMOD1,DISP=SHR
```

6. RODM コンポーネントを使用しており、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合には、次のステートメントを

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..SEKGLUTB,DISP=SHR
```

以下のように変更します。

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

CNMSJH12

CNMSJH12 は、サンプル GMFHS/SNA トポロジー・マネージャーのデータ・モデル・ロード・ジョブです。変更された点が多いため、新規のサンプル・ジョブを使用してください。

DUIGINIT

DUIGINIT は、GMFHS 用の初期化メンバーです。このメンバーには、GMFHS ホスト・メインタスク用の初期化ステートメントが含まれています。これらのステートメントは、GMFHS の初期化の際に読み取られるシステム制御定数です。ご使用のシステムでシンボリック置換が使用可能になっている場合は、DUIGINIT でシンボルを使用できます。SYS1.PARMLIB のメンバー IEASYMxx でシンボルが定義されていることを確認してください。

DOMAIN ステートメントは、デフォルトの DUIGINIT メンバーでコメント化されています。好ましい方法は、DOMAIN シンボリック変数を GMFHS 開始プロシージャ (CNMGMFHS) で使用することです。NetView 製品で提供されている DUIGINIT メンバーに指定されているデフォルト値が、ご使用の環境で受け入れ可能な場合は、デフォルトの DUIGINIT メンバーの使用を検討してください。

イベント/自動化サービス・アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点を示します。

IHSAEVNT

IHSAEVNT サンプルは、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースを開始します。PROCLIB 内の IHSAEVNT メンバーに以下の変更を加えてください。

1. 以下のコメントを追加します。

```

/** 4. There are additional keywords and values which may be
/** specified in the PARM string, which a) are not in the
/** style of a UNIX System Services shell command parameter and
/** b) do not have procedure keyword definitions in this sample
/** procedure. They are described as follows.
/**
/** CMSGCFG=value
/**
/** CMSGCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/** containing configuration parameters for the confirmed
/** message adapter task, MESSAGEC. If the value is provided,
/** it must be a valid partitioned data set member name.
/** If the keyword is omitted or is given no value, the
/** default value is IHSANCFG.
/**
/** CALRTCFG=value
/**
/** CALRTCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/** containing configuration parameters for the confirmed
/** alert adapter task, ALERTC. If the value is provided,
/** it must be a valid partitioned data set member name.
/** If the keyword is omitted or is given no value, the
/** default value is IHSABCFG.
/**

```

- NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
- C/C++ ランタイム・ライブラリーは使用されなくなったため、このライブラリー用の DD ステートメントを除去します。
- 以下の ROUTECDE パラメーターを OUTSIZE パラメーターの後に追加します。

```
//          ROUTECDE=1,    ** ROUTE CODE FOR ALL WTO'S
```

- SCNMUXLK データ・セットは、CNMLINK データ・セットで置き換えられました。STEPLIB DD ステートメントの変更方法の例については、表 20 を参照してください。

表 20. STEPLIB DD ステートメント

既存のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V1R4M0.SCNMUXLK,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK,DISP=SHR

- IHMSG1 DD ステートメントに指定されていた SCNMUXMS データ・セットは、SDUIMSG1 データ・セットで置き換えられました。IHMSG1 DD ステートメントの変更方法の例については、表 21 を参照してください。

表 21. IHMSG1 DD ステートメント

既存のステートメント:
//IHMSG1 DD DSN=NETVIEW.V1R4M0.SCNMUXMS,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//IHMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.SDUIMSG1,DISP=SHR

- 以下の &ROUTECDE 変数を &OUTSIZE 変数の後に追加します。

```
INITFILE=&INITFILE OUTSIZE=&OUTSIZE ROUTECDE=&ROUTECDE
```

- 次の出力データ・セットを追加します。

```
/** EAS OUTPUT DATASETS
//IHSN DD SYSOUT=A
//IHSB DD SYSOUT=A
:
//IHSNS DD SYSOUT=A
//IHSBS DD SYSOUT=A
:
//IHSNSTD DD SYSOUT=A
//IHSBSTD DD SYSOUT=A
```

IHSAINIT

IHSAINIT サンプルは、イベント/自動化サービスの初期化ファイルです。確認済みアラート・アダプターおよび確認済みメッセージ・アダプターをサポートするために、このサンプルに情報が追加されました。確認済みアラート・アダプター・サービスおよび確認済みメッセージ・アダプター・サービスがイベント/自動化サービスによって自動的に開始されるのを防ぐための、NOSTART ステートメントが含まれました。

NetView V1R4 からのマイグレーション

```
# The following keywords are supported:
#   MSGCFG - Specifies the confirmed message adapter configuration file
#   ALRTCFG - Specifies the confirmed alert adapter configuration file
#
# The syntax for each keyword follows:
#   MSGCFG=confirm_message_config_file
#   ALRTCFG=confirm_alert_config_file
#   TRACE TASK=task_designator LEVEL=trace_level IP=on_or_off
#
#   confirm_message_config_file - Specifies the name of the confirmed message
#   adapter configuration file. If not prefaced with the
#   escape character (\), this is the name of a member of
#   the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#   name. If E/AS is an MVS started task, the default
#   value of this keyword is IHSANCFG. If E/AS is started
#   in a UNIX System Services shell, the default value is
#   /etc/netview/confirm_message_adpt.conf.
#
#   confirm_alert_config_file - Specifies the name of the confirmed alert
#   adapter configuration file. If not prefaced with the
#   escape character (\), this is the name of a member of
#   the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#   name. If E/AS is an MVS started task, the default
#   value of this keyword is IHSABCFG. If E/AS is started
#   in a UNIX System Services shell, the default value is
#   /etc/netview/confirm_alert_adpt.conf.
#
#   output_destination - specifies the location where the trace and error
#   messages will be logged. The values are:
#   SYSOUT - Specifies a system output file. When started by an MVS startup
#   procedure, the primary and secondary files for each task are:
#
#           IHSN and IHSNS for the MESSAGEC task
#           IHSB and IHSBS for the ALERTC task
#
#           When started under UNIX System Services, the default primary and
#           secondary file names for each task are:
#
#           cmessagep.err and cmessages.err for the MESSAGEC task
#           calertp.err and calerts.err for the ALERTC task
#
#   task_designator - is one of the following:
#   MESSAGEC - Specifies the confirmed message adapter task
#   ALERTC   - Specifies the confirmed alert adapter task
#
#   Note : CONTROL is not valid on the NOSTART statement. ALL does not
#   include CONTROL for the NOSTART statement
#
#   on_or_off - is one of the following:
#   ON        - Specifies that data sent or received using TCP/IP
#   will be traced. Additional information for the
#   z/OS UNIX C/C++ socket functions used may appear.
#   OFF       - Specifies that no tracing of data or socket
#   functions will be done. This is the default.
#
# Confirmed Message Adapter Configuration File
#MSGCFG=IHSANCFG
#MSGCFG=\etc/netview/confirm_message_adpt.conf
#
# Confirmed Alert Adapter Configuration File
#ALRTCFG=IHSABCFG
#ALRTCFG=\etc/netview/confirm_alert_adpt.conf
#
# Tasks not started at initialization (example)
NOSTART TASK=MESSAGEC
NOSTART TASK=ALERTC
#
# Confirmed Message Adapter Task
```

```
#TRACE TASK=MESSAGEC LEVEL=OFF
#
# Confirmed Alert Adapter Task
#TRACE TASK=ALERTC LEVEL=OFF
```

その他の考慮事項

以下の機能に対する変更を考慮してください。

- 『BROWSE 機能』
- 『NetView リソース・マネージャー』
- 『UNIX システム・サービス』
- 71 ページの『パラメーター・ファイルでのシンボリック変数の使用』
- 72 ページの『パラメーター・ファイルでのデータ REXX の使用』
- 73 ページの『TCP/IP 管理』
- 73 ページの『MVS コマンド管理』
- 74 ページの『セキュリティーの機能強化』
- 74 ページの『1 バイト・コンソール ID』

BROWSE 機能

LBHOURLY と呼ばれる新しい DEFAULTS 設定で、毎時の統計メッセージ CNM154I、CNM155I、および CNM156I をネットワーク・ログに送るかどうかを制御します。前のリリースでは、送信を阻止するオプションはなく、これらの毎時の統計メッセージは、自動的にネットワーク・ログに送られました。LBHOURLY のデフォルト設定は、CNMSTYLE メンバーの DEFAULTS.LBHOURLY ステートメントによって設定されているとおり NO です。これらの毎時の統計メッセージを引き続きネットワーク・ログに記録するには、DEFAULTS.LBHOURLY ステートメントを CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーに追加し、その値を YES に設定してください。

NetView リソース・マネージャー

NetView Resource Manager の自動タスクがカスタマイズできるようになった結果、V5R2 以降のレベルのホストから以前のリリースのマネージャー・ホストへ状況を転送した場合、それが機能するのは、NetView Resource Manager の自動タスクが AUTONRM である場合のみになります。ただし、V1R4 レベルのホストから V5R2 以降のレベルのマネージャーへは、引き続き状況を転送できます。V5R2 以降での NetView Resource Manager の自動タスク名には、上方向へのマイグレーションが機能するための制限はありません。

UNIX システム・サービス

次のセクションでは、NetView V1R4 から NetView V5R4 で変更された、ディレクトリ、構成ファイル、および機能を説明します。また、21 ページの『UNIX システム・サービスの準備』のセクションも検討してください。

NetView MIB コレクションは、`/usr/lpp/netview/mibs/` ディレクトリーから `/usr/lpp/netview/v5r4/mibs/` ディレクトリーに移動されました。

NetView V1R4 からのマイグレーション

以下の構成ファイルは、NetView V1R4 に存在したものですが、NetView V5R4 では使用されなくなりました。

- /etc/netview/fkxcm ¹
- /etc/netview/ipdiscovery.conf
- /etc/netview/nv390mibs.def
- /etc/netview/nv390srcv.conf
- /etc/netview/snmp.conf
- /var/netview/properties/JdnServerProperties.txt
- /var/netview/properties/startup/config.properties
- /var/netview/properties/startup/node.def
- /var/netview/properties/startup/pollobj.def
- /var/netview/properties/startup/resource.def
- /var/netview/properties/startup/template.def
- /var/netview/properties/startup/view.def

Web サービス・ゲートウェイ機能によって使用される Web リソース・ファイルは、次のディレクトリーにあります。

/usr/lpp/netview/v5r4/www/

ご使用の環境に合わせてファイルを更新するには、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。WSDL ファイルは、プロキシとクライアント間の接続を自動的に生成します。

表 22. Web サービス・ゲートウェイ・ファイル

ファイル名	目的	変更内容
znvsoatx.htm	テキスト・ベースの Web サービス・クライアント。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降または Mozilla 2.0.014 以降を使用すると機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、 <OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。
znvsoa.htm	Web サービス・クライアントのグラフィック版。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降を使用した場合にのみ機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、 <OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。
znvwsdl.wsd1	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwsdl1.wsd1	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwsdl2.wsd1	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。

以下の機能は、NetView V5R4 の UNIX システム・サービスでは使用できなくなりました。

- z/OS および OS/390 上の UNIX システム・サービスで以前に稼働していた TCP/IP ディスカバリー・サンプル。²
- NVSNMP コマンドの -jsnmp オプション
- Java™ Application Server (JAS)

UNIX システム・サービス環境において、以下に示すサービスの開始、停止、および状況検査を行うために用意されている Java Application Server。

- SNMPSRVC³
- POLLSRVC³
- MIBSRVC³
- LOADMIB³

注:

1. 重複していないコミュニティ名はすべて、fkxcm から DSIPARM メンバー CNMSCM にコピーされます。
2. このサンプルは、NetView for z/OS Web ページ (<http://www.ibm.com/software/tivoli/products/netview-zos/>) からダウンロードできます。製品では、Linux on zSeries の TCP/IP ディスカバリー機能に置き換えられました。
3. これらのサービスは、NetView Web アプリケーションの 1 つのフィーチャーとして出荷されている SNMP サーバーを通じて使用することができます。

パラメーター・ファイルでのシンボリック変数の使用

NetView プログラムでは、表 23 に示すシステム変数が使用されます。このシステム変数は、DSIPARM データ・セットの以下のメンバーに対して、SYS1.PARMLIB データ・セット内に定義されています。

- CNMSTYLE
- DUIGINIT
- FLBSYSD

表 23. 初期化メンバーで使用されるシンボリック変数

メンバー	タスク	TCP/IP 名	RODM 名	NETID
		&CNMTCPN	&CNMRODM	&CNMNETID
CNMSTYLE	NetView の初期化	X	X	X
DUIGINIT	GMFHS (グラフィックス)		X	
FLBSYSD	SNA トポロジー・マネージャー		X	

&DOMAIN は、追加の NetView ユーザー・シンボリック変数であり、以下のパラメーター・ファイルで使用されます。

- CNMSCBET
- CNMSMRT1
- CNMSTASK
- CNMSTGEN

- CNMSTPWD
- CNMSTUSR
- CNMSTYLE
- DSIAMIAT
- DSIAMII
- DSITBL01
- DSIVPARM
- FKXWHTML
- FLBSYSD

パラメーター・ファイルでのデータ REXX の使用

データ REXX を使用すると、REXX スタイルのロジックを NetView データ・セット・メンバーにコーディングすることができます。例えば、データ REXX では、CNMSTYLE メンバー内の設定値に基づいて、条件に応じたファイルの組み込み、およびパラメーターへの値の割り当てが可能です。

NetView プログラムは、以下のパラメーター・ファイルでデータ REXX を使用します。

- AAUPRMLP
- BNJMBDST
- CNMNEWS
- CNMSTASK
- CNMSTTWR
- CxtSTGEN
- DSIAMLTD
- DSICMDU (データ REXX サポート)
- DSIDMN
- DSILGCF
- DSILUCTD
- DSIOPF
- DSIREXCF
- DSIRSHCF
- DSIRTTTD
- DSITBL01
- DSITPCPF
- DSIUINIT
- DSIWBMEM
- DUIFPMEM
- DUIIGHB
- EZLCFG01
- EZLDSIAO
- FKVCFG01
- FKVISTAO
- FKVTABLE
- FLBAUT
- HELPMAP (CNMS1048)

TCP/IP 管理

以下の機能は変更されました。

- ACTMON
- IP トレース
- IPMAN
- IPSTAT
- ping
- Tracerte

MVS コマンド管理

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。

以下のマイグレーション上の注意事項を考慮してください。

- ご使用のシステムの MVS コマンド改訂機能へのマイグレーションが終了するまでは、MVS コマンド管理機能を引き続き使用できます。2 つの機能は共存可能です。2 つの機能を同じコマンドで同時に動作させないことを確保してください。これを行う 1 つの方法は、MVS コマンド改訂機能をテスト・モードで活性化することです。
- MVS コマンド改訂機能のインストール手順については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」を参照してください。
- 現在の MVS コマンド管理アクションを確認し、コマンド改訂テーブルを作成します。この実行方法について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS オートメーション・ガイド*」を参照してください。
- コマンド改訂テーブルおよびメッセージ改訂テーブルでは、上位の UPON ステートメントを使用して、その他すべてのステートメントをグループ化できます。コマンド改訂ステートメントおよびメッセージ改訂ステートメントは、同じメンバー内に配置できます。

メッセージ改訂テーブルの UPON(ALWAYS) アクションは、UPON(OTHERMSG) アクションで置き換えられます。メッセージ改訂テーブル内にあるすべての UPON(ALWAYS) アクションを、UPON(OTHERMSG) アクションに変更してください。UPON(ALWAYS) アクションはマイグレーションのためにサポートされていますが、コマンドおよびメッセージのアクションが同じソース・メンバー内に存在してもかまわないため、混乱が生じる可能性があります。

- SSI.ReviseTable CNMSTYLE ステートメントの参照先のメンバーが変更されないかぎり、このステートメントのアクションは変わりません。コマンド改訂に関連した新規の UPON ステートメントが CNMSTYLE メンバー内またはその組み込みメンバー内にある場合は、コマンド改訂テーブルが作成されます。
- (オプション) REVISMSG コマンドは、REVISE MSG コマンドで置き換えられます。REVISMSG コマンドを発行するすべての箇所で、REVISE MSG コマンドへの変更を検討してください。構文情報については、オンライン・ヘルプまたは「*IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 1 (A-N)*」を参照してください。

定義されている verb が REVISMSG である場合、REVISE コマンドではデフォルトで MSG 処理が実行されるため、この手順はオプションです。REVISMSG コマンド引数は、REVISE コマンドによりサポートされています。

- すべての MVS コマンド管理アクションが、コマンド改訂テーブルを使用して十分に実装されていることがレポートまたはテストで示されたら、MVS コマンド管理機能を使用不可にします。これには、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーから MVScmdMgt タワーを削除することも含まれます。

セキュリティの機能強化

NetView プログラムは、大/小文字混合のパスワードおよびパスワード・フレーズをサポートします。

大/小文字混合パスワード

SAF 製品を使用してパスワード検査を行う場合は、大/小文字混合パスワード機能を使用できることがあります。詳しくは、*IBM Tivoli NetView for z/OS セキュリティー・リファレンス* を参照してください。

パスワード・フレーズ

NetView プログラムは、パスワード・フレーズによる許可をサポートします。

RACF などの SAF 製品を使用するすべての NetView 機能について、パスワードの代わりにパスワード・フレーズをセキュリティ検査のために使用できます。パスワードを受け付けるすべてのパネルは、パスワード・フレーズを受け付けるように更新されました。パスワード・フレーズは、9 文字から 100 文字までの長さの句にすることができます。

RACF 製品では、パスワード・フレーズに任意の有効な EBCDIC 文字を使用できます。z/OS 以外のシステムからアクセスされるユーザー ID にパスワード・フレーズを設定する場合は、そのシステムのパスワードを ASCII テキストとして入力します。必ずしもすべての EBCDIC 文字に ASCII に等価な文字があるわけではないため、EBCDIC パスワード・フレーズは、ASCII に等価な文字がある文字に制限してください。

パスワード・フレーズは、以下の環境ではサポートされていません。

- DSIOPF メンバーを使用するパスワード検査
- DSIEX12 インストール・システム出口を使用するログオン妥当性検査
- Tivoli Enterprise Portal のログイン。この制限のため、パスワード・フレーズを RACF 検査のために Tivoli Enterprise Monitoring Server に渡すことはできません。
- NetView 間タスク (NNT) を使用する機能

1 バイト・コンソール ID

z/OS V1R8 では、1 バイト・コンソール ID のサポートが除外されました。このため、NetView プログラムでは、NetView プログラムに対してコンソールを定義するときの、1 バイト・コンソール ID の使用はサポートされなくなりました。コンソール ID を使用する代わりに、2 文字から 8 文字までのコンソール名を使用してください。例えば、GETCONID、SETCONID、AUTOTASK の各コマンド、および

| CNMSTYLE メンバーの AUTOTASK.task.CONSOLE ステートメントで特定のコン
| ソールを参照するときに、コンソール名を使用します。

第 4 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 からのマイグレーション

この章では、NetView プログラムを Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 からマイグレーションする場合に、NetView プログラムをマイグレーションして実動システムとして実行する方法について説明します。マイグレーション情報は、V5R1 の初期リリースに組み込まれている NetView コンポーネントに基づいています。ご使用のシステムのメンテナンス情報を確認して、この章に説明されているいくつかの変更を既に行っているかどうかを確認してください。

V5R4 の内容を V5R1 NetView 定義に追加するか、または V5R1 のカスタマイズを NetView プログラムに付属するデフォルトの V5R4 メンバーに追加することができます。いずれの場合も、NETVIEW.V5R4USER.CNM01.DSIPARM などの、適切なユーザー割り振りデータ・セットに、カスタマイズされたメンバーを配置します。NETVIEW.V5R4M0.DSIPARM など、SMP/E 管理のデータ・セットのメンバーはカスタマイズしないでください。

NetView 定義メンバーをマイグレーションする際に、使用方法に影響を及ぼす可能性のある要因が幾つかあります。ネットワークのサイズや複雑さ、従う必要のあるセキュリティ・ポリシー、および業務の中で確立された慣習などのすべての要因が、お客様のマイグレーションに最適の方法は何かということに影響を与える可能性があります。この後のチェックリストに、本書で概説し、NetView ライブラリー内のその他の各文書で説明されているマイグレーション方法の資料の詳細を示します。ご自分に最適のマイグレーション方法を選択してください。

V5R1 定義をマイグレーションするには、以下のステップを実行してください。

1. サンプル・ジョブ CNMSJ002 を実行して、V5R4 ユーザー・データ・セットの新規セットを割り振ります。23 ページの表 13 の手順を完了している場合、これはすでに行われています。
2. CNMSJMIG サンプル・ジョブを実行して、V5R1 DSIPARM データ・セット内のさまざまなメンバーのステートメントを新規の CNMSTYLE フォーマットに変換します。詳しくは 249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。
3. CNMSJMIG サンプル・ジョブを実行して、V5R1 DSICMD メンバーのステートメントを CNMCMD メンバーの新規のステートメント・フォーマットに変換します。詳しくは 249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。
4. NetView ドメインごとに、固有の &NV2I 値 (xx) を定義します。
5. CNMSJMIG ジョブによって作成された CNMSTUSR メンバーから、ドメイン固有のステートメントを CxxSTGEN メンバーにすべて移動します。ここで、xx は、前のステップで定義したローカル・シンボリック変数 &NV2I の値です。
6. CNMSTYLE メンバーのカスタマイズされた V5R1 コピーを確認します。CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものをすべて CxxSTGEN メンバーに移動し、CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわ

たってカスタマイズしたものをすべて CNMSTUSR メンバーに移動します。その場合には、これらの変更内容の一部が CNMSJMIG ジョブによって追加済みの場合があるため注意してください。V5R1 CNMSTYLE メンバーを V5R4 ユーザー DSIPARM データ・セットにコピーしないでください。

7. この章の CNMSTYLE 情報と、NetView プログラムに含まれている V5R4 CNMSTNXT メンバーを確認します。V5R1 CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものを CxxSTGEN メンバーに配置し、V5R1 CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものを CNMSTUSR メンバーに配置します。V5R4 デフォルトの CNMSTYLE メンバーは変更しないでください。
8. 本章の残りの情報を確認し、変更されたメンバーのみを V5R4 ユーザー・データ・セットに配置して、該当する V5R1 NetView 定義メンバーと JCL プロシージャをマイグレーションします。

図3 は、NetView V5R4 初期化フローを示しています。DSIPARM メンバーに変更を行うときには、この新しい初期化フローを覚えておいてください。

NetView 初期化フロー

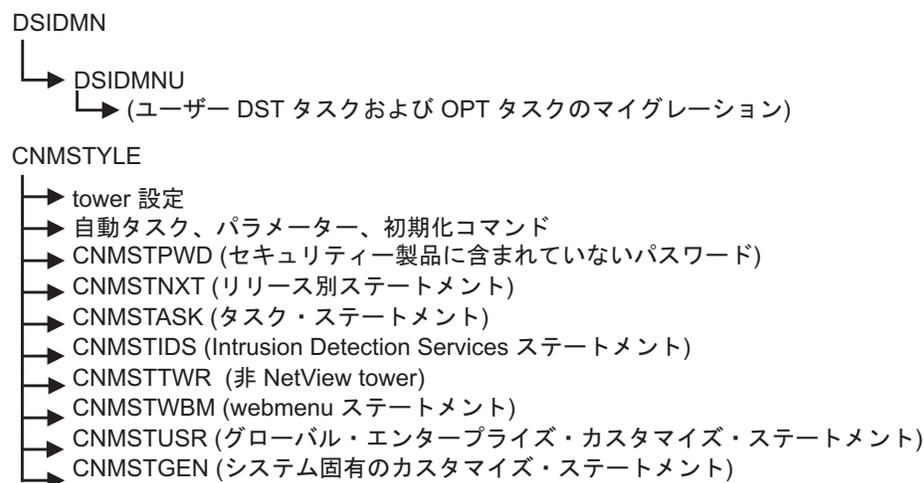


図3. NetView V5R4 初期化フロー

この章を読み終えた後は、163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』に進んでください。

必要な情報

パネル、コマンド、メッセージ、およびサンプルなどの変更

参照先

207 ページの『付録 B. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 への変更』

新規サンプル

表 24 に、マイグレーション時に見直す新規のサンプルを示します。

表 24. 新規サンプルのリスト

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMCMD	同様	NetView コマンドの NetView コマンド定義	DSIPARM
		<p>CMDDEF ステートメントでは、コマンドの定義を指定します。いくつかの CMDDEF ステートメントはコマンド同義語 (CMDSYN) を持っています。これらのステートメントでは、コマンドの同義語を指定します。</p> <p>この定義は、端末アクセス機能 (TAF) 用と VTAM プログラム用のクロスドメイン・ログオン定義および CMDDEF ステートメント (および同義語) も提供します。</p> <p>CNMS6 で始まる名前のファイルは、NETVIEW.V5R4M0.CNMSAMP に組み込まれています。このファイルを CNMCMD に組み込んでおくと、配布テープにも組み込まれている自動化コマンド・リストを使用できます。</p>	
CNMCMDO	同様	製品固有の定義済みコマンドのコマンド定義	DSIPARM
CNMCMDU	同様	ユーザー定義コマンドのコマンド定義	DSIPARM
CNMCMENT	同様	NetView コマンド定義	DSIPARM
CNMCMSYS	同様	NetView コマンド定義	DSIPARM
CNMIPMGT	同様	NetView IP 管理用の自動化ポリシー	DSIPARM
CNMPOLCY	同様	NetView の自動化ポリシー	DSIPARM
CNMSALRT	同様	SNMP トラップ・データをアラートに変換し、そのアラートを NetView アラート受信側に送信します。	CNMSAMP
CNMSCBEA	同様	Common Base Event 自動化テーブル・アクションを使用して共通基本イベント Event XML 文書を作成する方法を示す自動化サンプル	DSIPARM
CNMSCBET	同様	共通基本イベント XML エlementを定義するためのテンプレート・ファイル	DSIPARM
CNMSCM	同様	TCP/IP スタックの SNMP コミュニティー名	DSIPARM
CNMSDCA	同様	COLLECTL コマンドにより管理されるデータ収集自動タスクの制御に役立つ自動化ステートメントを提供します。	CNMSAMP

表 24. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSDDCR	同様	分散 DVIPA 接続ルーティング情報を表示します。 DVIPDDCR コマンド出力 (BNH815I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVCG	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる z/OS Communications Server VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル更新の自動化テーブル・メンバー。変更された VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル・ステートメントにより、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSDVDS	同様	マスター NetView プログラムでの DVIPA データ・ディスカバリー (再ディスカバリーを含む) および分散 DVIPA 統計に使用される自動化テーブル・メンバー。これにより、DSIIF003I (DVIPA 再ディスカバリー)、DSIIF004I (DVIPA データ転送)、DSIIF006I (DVIPA データ要求)、および BNH867I (分散 DVIPA 統計レコード) の各メッセージが処理されます。	CNMSAMP
CNMSDVIP	同様	このサンプルは、DVIPA 定義と状況データを表示します。 DVIPSTAT コマンド出力 (BNH846I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVPC	同様	DVIPA 接続を表示します。 DVIPCONN コマンド出力 (BNH849I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVPH	同様	分散 DVIPA サーバーの正常性情報を表示します。 DVIPHLTH コマンド出力 (BNH814I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVST	同様	分散 DVIPA 統計データ・セットのデータを表示します。	CNMSAMP
CNMSDVTP	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる DVIPA SNMP トラップ自動化の自動化テーブル・メンバー。この自動化により、z/OS Communications Server DVIPA トラップが受信されたことが検出され、その結果、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSEMAA	同様	NetView for z/OS Enterprise Management Agent 用の自動化テーブル・メンバー	DSIPARM
CNMSEPTL	同様	リソース・ディスカバリー用の自動化テーブルのサンプル	DSIPARM

表 24. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSHIPR	同様	HiperSockets の構成情報および状況情報を表示します。HIPERSOC コマンド出力 (BNH598I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSIFST	同様	IP インターフェースを表示します。IFSTAT コマンド出力 (BNH498I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSJCRG	同様	CNMSTYLE レポート生成プログラム・サンプル・ジョブ	CNMSAMP
CNMSJMIG	同様	CNMSTYLE マイグレーション・ツール・サンプル・ジョブ	CNMSAMP
CNMSJZCE	同様	イベント・コリレーション・エンジンのサンプル始動ジョブ	CNMSAMP
CNMSMF3A	同様	BNH874I メッセージの発行時に自動化テーブルによって呼び出されるサンプル・コマンド・リスト。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMF3E	同様	自動化のために、タイプ 30 の SMF レコードを処理し、プログラム間インターフェース (PPI) を介して NetView プログラムに送信する IEFACRT SMF 出口のサンプル。	CNMSAMP
CNMSMF3F	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定するサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMF3R	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定する PPI 受信側のサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMRTI	同様	メッセージ改訂テーブル	DSIPARM
CNMSMSIP	同様	CP-MSU を IP を介して送信します。	CNMSAMP
CNMSNVST	同様	NetView アプリケーション情報を表示します。NVSTAT コマンド出力 (BNH495I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSOSAP	同様	OSA チャネルおよびポートの情報を表示します。OSAPORT コマンド出力 (BNH597I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP

表 24. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSPLEX	同様	このサンプルは、DVIPA シスプレックス・ディストリビューター・データを表示します。DVIPPLEX コマンド出力 (BNH847I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSSMON	同様	このサンプルは、z/OS Communications Server のシスプレックス・モニタリング・メッセージの自動化を提供し、DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれます。	CNMSAMP
CNMSSTAC	同様	このサンプルは、TCP/IP スタック構成と状況データを表示します。STACSTAT コマンド出力 (BNH845I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTARG	同様	このサンプルは、分散 DVIPA ターゲット・データを表示します。DVIPTARG コマンド出力 (BNH813I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTIDS	同様	Intrusion Detection Services (IDS) 初期化ステートメントを組み込みます。	DSIPARM
CNMSTNST	同様	このサンプルは、Telnet サーバーに関する構成情報および状況情報を表示します。TELNSTAT コマンド出力 (BNH496I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTPST	同様	このサンプルは、Telnet サーバー・ポートに関する構成情報および状況情報を表示します。TNPTSTAT コマンド出力 (BNH497I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTUSR	同様	CNMSTYLE メンバーのカスタマイズ・メンバー: CNMSTYLE メンバーのステートメントをオーバーライドする追加または変更されたグローバル (エンタープライズ) 定義ステートメントを組み込みます。	DSIPARM
CNMSTWBM	同様	Web ブラウザー・ポートフォリオ定義を組み込みます。	DSIPARM
CNMSVPRT	同様	VIPA 経路に関する状況情報を表示します。VIPAROUT コマンド出力 (BNH824I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSXCFA	同様	XCF シスプレックス・サポートの自動化サンプル	DSIPARM
DSIPROFN	同様	NetView for z/OS Enterprise Management Agent データ収集自動タスク (AUTODC <i>n</i>) 用の自動化操作プログラム・プロファイル	DSIPRF

表 24. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
DSIZCETB	同様	イベント・コリレーション・エンジンの自動化テーブル・サンプル	DSIPARM
EKG51100	同じ	PL/I サンプル - 関数 (パスワード・フレーズと接続) EKG_ConnectLong	CNMSAMP
EKG61100	同じ	C サンプル - 関数 (パスワード・フレーズと接続) EKG_ConnectLong	CNMSAMP
EZLCMENT	同様	基本 AON コマンドの NetView コマンド定義	DSIPARM
FKVCMMENT	同様	AON/SNA コマンドの NetView コマンド定義	DSIPARM
FKXCMENT	同様	AON/TCP コマンドの NetView コマンド定義	DSIPARM
FKXIPMTB	同様	NetView IP 管理自動化の構成データ	DSIPARM
FKXOPFIP	同様	NetView IP 管理自動化のオペレーター定義	DSIPARM
IHSABCD S		IHSABCD S サンプルには、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのクラス定義ステートメントのサンプルが含まれています。	SCNMUXCL
IHSABCFG		IHSABCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANCFG		IHSANCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANFMT		IHSANFMT サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターの書式仕様ステートメントのサンプルを提供します。	SCNMUXCL

VTAM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、VTAM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

A01APPLS (CNMS0013)

このメンバーには、NetView プログラム用にコーディングされたアプリケーション (APPL) メジャー・ノードが含まれています。

VTAMLST データ・セットを再割り振りおよび再コピーしなかった場合、次の変更を A01APPLS に加えてください。

NetView V5R1 からのマイグレーション

- SYS1.PARMLIB メンバー IEASYMxx にドメイン ID (システム変数 &CNMDOMN) を設定するか、A01APPLS (CNMS0013) 内の &CNMDOMN のすべての オカレンスを現行のドメイン ID に変更してください。
- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、複数の並行 NetView オペレーターのタスクを定義する APPL ステートメントを、ワイルドカード文字 (??) を使用して 1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
&CNMDOMN.0?? APPL AUTH=(NVPACE,SPO,ACQ,PASS),PRTCT=&CNMDOMN., X  
EAS=4,MODETAB=AMODETAB,DLOGMOD=DSILGMOD
```

- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、TAF APPL ステートメントを、LU 名に続くワイルドカード文字 (??) を使用して、1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
TAF010?? APPL MODETAB=AMODETAB,EAS=9, X  
DLOGMOD=M3767
```

他のアプリケーション (TAF など) での使用のために定義する APPL 名は、端末ログオン APPL と同じ命名方式で定義してはなりません (例えば、3 文字の接尾のあるドメイン名)。同じ命名方式を使用すると、これらのアプリケーション名が NetView プログラムにより端末ログオンのために使用される可能性があり、その場合には、アプリケーション名が、定義された目的に使用できなくなります。

CNMNET (CNMSJ008)

CNMNET (CNMSJ008) は、VTAM プログラムの開始プロシーチャーです。

次のようにして、PROCLIB 内の CNMNET を変更します。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。

NetView アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、NetView アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMEALUS

CNMEALUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、アラート情報にユーザー・データを追加し、そのアラート情報をイベント/自動化サービスのアラート・アダプターまたは確認済みアラート・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMEMSUS

CNMEMSUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージ情報にユーザー・データを追加し、そのメッセージ情報をイベント/自動化サービスのメッセージ・アダプターまたは確認済みメッセージ・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMPROC (CNMSJ009)

CNMPROC (CNMSJ009) は、NetView プログラム用の始動プロシージャーです。

PROCLIB 内の CNMPROC に以下の変更を行います。

1. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
3. AON VSAM データ・セットはサイズが増加したため、マイグレーション中に再割り振りしてください。VSAM データ・セットの割り振りについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 概説*」を参照してください。また、VSAM クラスタ名の前接頭部が NETVIEW.&domain に変更された点にも注意してください。
4. デフォルトの領域サイズは、98304 K バイトに増大しました。NetView 製品に対して、既存のデフォルト領域サイズ (32768 K バイト) を使用している場合は、次のように領域サイズ値を増やしてください。

```
//      REG=98304,          ** REGION SIZE(IN K) FOR NETVIEW
```

実行するコンポーネントによっては、領域サイズをさらに増やす必要がある場合があります。詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS チューニング・ガイド*」を参照してください。

5. SQ1 ステートメントの後に次の REXX ステートメントを追加して、REXX ライブラリーの高位修飾子を指定します。

```
//      REXX='EAG.V5R1M0',  ** REXX DSN HIGH LEVEL QUALIFIER
```

6. 以下の TRSIZE ステートメントとコメントを NV2I ステートメントの後に追加して、トレース・テーブル・サイズの指定をできるようにします。

```
//      NV2I='',
//      TRSIZE=4000
//*                                     ** INTERNAL TRACE TABLE SIZE - Number
//*                                     ** of pages to be allocated for the
//*                                     ** NetView Internal Trace table. The
//*                                     ** trace table is located in a data
//*                                     ** space, so the value can be up to
//*                                     ** 524286. If no value is specified,
//*                                     ** the default of 4000 is used. If
//*                                     ** a value of 0 is passed, internal
//*                                     ** trace is not started early. Trace
//*                                     ** options in CNMSTYLE take effect
//*                                     ** even if trace is not started early.
//*
```

7. NetView EXEC ステートメントに、以下のようにして、&TRSIZE 変数を追加します。

```
//NETVIEW EXEC PGM=&PROG,TIME=1440,
//      REGION=&REG.K,
//      PARM=(&BFSZ.K,&SLSZ,
//            '&DOMAIN','&DOMAINPW','&ARM','&SUBSYM','&NV2I','&TRSIZE'),
//      DPRTY=(13,13)
```

8. STEPLIB 連結で以下の DD ステートメントを変更します (SEAGLMD を SEAGLPA に変更します)。

```

/* YOU WILL NEED ACCESS TO EITHER THE REXX/370 RUNTIME LIBRARY
/* OR THE REXX ALTERNATE LIBRARY AS FOLLOWS:
/*
/* - IF YOU HAVE THE REXX/370 LIBRARY ON YOUR SYSTEM BUT SEAGLPA
/* IS NOT ACCESSIBLE FROM THE PAGEABLE LINK PACK AREA (PLPA),
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT THE "SEAGLPA" LINE BELOW.
/*
/* OR
/*
/* - IF YOU HAVE THE REXX ALTERNATE LIBRARY ON YOUR SYSTEM,
/* BUT SEAGALT IS NOT ACCESSIBLE FROM THE PLPA OR LINKLST,
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT THE "SEAGALT" LINE BELOW.
/*
/* WHEN YOU UNCOMMENT EITHER OF THE LINES BELOW, MAKE SURE
/* THAT THE DSN ACTUALLY MATCHES THE NAME ON YOUR SYSTEM.
/* IN ADDITION, MAKE SURE THAT THE DATASET IS APF-AUTHORIZED.
/*
/*          DD  DSN=&REXX..SEAGLPA,DISP=SHR
/*          DD  DSN=&REXX..SEAGALT,DISP=SHR

```

注: REXX/370 ランタイム・ライブラリーか REXX 代替ライブラリーが必要です。

9. Web サービス・ゲートウェイ機能を使用する予定の場合、XML ツールキットおよび GSKit ライブラリーの DD ステートメントのコメントを外してください。

```

/******
/*
/* IF YOUR ARE STARTING NETVIEW WEB SERVICES SERVER THEN
/* YOU WILL NEED ACCESS TO BOTH IBM XML AND GSK TOOL RUN TIME
/* LIBRARIES
/*
/* - IF YOU HAVE THESE LIBRARIES ON YOUR SYSTEM
/* BUT THEY ARE NOT ACCESSIBLE FROM THE PLPA OR LINKLST,
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT LINES BELOW.
/*
/* WHEN YOU UNCOMMENT EITHER OF THE LINES BELOW, MAKE SURE
/* THAT THE DSN ACTUALLY MATCHES THE NAME ON YOUR SYSTEM.
/* IN ADDITION, MAKE SURE THAT THE DATASET IS APF-AUTHORIZED.
/*          QIXM='IXM.V1R8M0', ** IBM XML TOOLKIT RUNTIME LIB.
/*          QGSK='SYS1',      ** IBM GSK TOOLKIT RUNTIME LIB.
/*          DD  DSN=&QGSK..SIEALNKE,DISP=SHR
/*          DD  DSN=&QIXM..SIXMLOD1,DISP=SHR
/*

```

10. NetView プログラムで Language Environment (LE) HLL プログラムの実行を計画しており、LE ランタイム・ライブラリーを LNKLSTxx でインストールしなかった場合には、CNMPROC の STEPLIB に指定されているライブラリー名が正しいこと、およびアンコメントされていることを確認してください。

11. DSICLD DD ステートメントを更新して、以下のユーザー・データ・セットを追加します。

```

//DSICLD DD  DSN=&Q1..&DOMAIN..CNMCLST,DISP=SHR
//          DD  DSN=&SQ1..CNMCLST,DISP=SHR
//          DD  DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR

```

12. 以下の TCP 接続 VSAM データベースを追加します。

```

//DSITCONP DD  DSN=&VQ1..&DOMAIN..DSITCONP,
//             DISP=SHR,AMP='AMORG'
//DSITCONS DD  DSN=&VQ1..&DOMAIN..DSITCONS,
//             DISP=SHR,AMP='AMORG'

```

13. 分散 DVIPA 統計を収集する予定の場合は、以下のデータ・セットを追加します。

```
//CNMDVIPP DD DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPP,DISP=SHR
//CNMDVIPS DD DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPS,DISP=SHR
```

14. 以下の TCP/IP 変換データ・セット情報を追加し、ご使用のインストール環境の必要に応じて、ステートメントを更新します。

```
/*
*****
/* If you are using the TCP/IP translate data set TCPXLBIN,
/* specify the appropriate data set name and uncomment the
/* following DD statement to prevent dynamic allocation
/* messages from being issued each time the data set is needed.
/*
/*CNMXLBIN DD DISP=SHR,DSN=datasetprefix.STANDARD.TCPXLBIN
/*
/* For more information please see your IP Configuration Guide.
```

CNMPSSI (CNMSJ010)

CNMPSSI (CNMSJ010) は、NetView サブシステム・アドレス・スペースを始動します。

PROCLIB 内の CNMPSSI に以下の変更を加えてください。

1. システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. MSGIFAC のデフォルト値が SYSTEM から SSIEXT に変更されました。z/OS v1r8 以降、QUESSI、QSSIAT、および USESSI 値はサポートされなくなりました。

```
// MSGIFAC='SSIEXT', ** SSI/EXTENDED CONSOLE OVERRIDE SWITCH
```

3. 以下のステートメントを P4000BUF パラメーターの後に追加して、経路コードを設定します。これらのステートメントを追加する場合は、P4000BUF=0 ステートメントの後にコンマを追加してください。

```
// ROUTECDE=1 ** Route code to be used for WTOs issued
/** ** by the SSI address space. Messages
/** ** that may be issued before this parm
/** ** is processed will use route code 1
/** ** regardless of the value set here.
```

4. NetView EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECD 変数を追加します。

```
//NETVIEW EXEC PGM=&PROG,TIME=1440,REGION=&REG.K,
// PARM=(&MBUF,&CBUF,'&DSIG','&MSGIFAC','&PPIOPT','&ARM',
// '&PFXREG','&P256BUF,&P4000BUF,&ROUTECD),DPRTY=(13,13)
```

CNMSAF2

CNMSAMP データ・セットの CNMSAF2 メンバーには、NetView オペレーターとコマンドのサンプル RACF 定義が含まれています。

CNMSAF2 メンバーは大幅に変更されたため、V5R4 バージョンをベースとして使用し、V5R1 コピーに対して行ったインストール固有の変更内容をすべて上書きコピーします。

NetView V5R1 からのマイグレーション

NetView V5R1 以降に CNMSAF2 メンバーに対して行われたいくつかの主要な変更箇所を以下に示します。

- 以下のステートメントを SYSTSIN DD ステートメントの後に追加します。このステートメントは、&SLASH を RACF 変数として定義します。

```
//SYSTSIN DD *,DLM=@@
/*
/*****
/* The following three statements are needed to define &SLASH as      *
/* a RACF variable. This variable is needed because some NetView    *
/* resource names have the string '/' as part of the name. When    *
/* the RACF statements containing this string are executed in the    *
/* TSO/E background command environment, the '/' is treated as    *
/* the beginning of a comment causing the remainder of the RACF    *
/* statement to be ignored. This &SLASH RACF variable definition    *
/* makes it possible to code '&SLASH*' to prevent this string    *
/* from being treated as an opening comment delimiter and still    *
/* allow RACF to interpret the string as a '/' as intended.        *
/*****
SETROPTS CLASSACT(RACFVARS) GENERIC(RACFVARS) +
                                RACLIST(RACFVARS) LIST
RDEF RACFVARS &SLASH ADDMEM(/)
SETROPTS RACLIST(RACFVARS) REFRESH
/*****
```

- RDEF NETCMDS ステートメントおよび PE ステートメントは、以下の &SLASH 変数を使用します。

```
RDEF NETCMDS *.*.DSIPIINS.*.DSICLD&SLASH* UACC(NONE)
RDEF NETCMDS *.*.DSIPIINS.*.DSIPARM&SLASH* UACC(NONE)
RDEF NETCMDS *.*.DSIPIINS.*.DSIPRF&SLASH* UACC(NONE)
RDEF NETCMDS *.*.DSIPIINS.*.DSIVTAM&SLASH* UACC(NONE)
PE *.*.DSIPIINS.*.DSICLD&SLASH* +
    CLASS(NETCMDS) ID(NVOPS2) ACCESS(READ)
PE *.*.DSIPIINS.*.DSIPARM&SLASH* +
    CLASS(NETCMDS) ID(NVOPS2) ACCESS(READ)
PE *.*.DSIPIINS.*.DSIPRF&SLASH* +
    CLASS(NETCMDS) ID(NVOPS2) ACCESS(READ)
PE *.*.DSIPIINS.*.DSIVTAM&SLASH* +
    CLASS(NETCMDS) ID(NVOPS2) ACCESS(READ)
```

- 以下の自動タスクが追加されました。

表 25. 自動タスクの定義

機能	自動タスクの定義
コマンド改訂	ADDUSER MVSCMDS ALTUSER MVSCMDS NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
NetView for z/OS Enterprise Management Agent	ADDUSER AUTONALC ALTUSER AUTONALC NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER NATEP1 ALTUSER NATEP1 NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER NATEP2 ALTUSER NATEP2 NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER SYSADMIN ALTUSER SYSADMIN NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC1 ALTUSER AUTODC1 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC2 ALTUSER AUTODC2 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC3 ALTUSER AUTODC3 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC4 ALTUSER AUTODC4 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))

表 25. 自動タスクの定義 (続き)

機能	自動タスクの定義
DVIPA	ADDUSER DVIPAUTO ALTUSER DVIPAUTO NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER DVIPSTAT ALTUSER DVIPSTAT NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT1 ALTUSER AUTOCT1 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT2 ALTUSER AUTOCT2 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT3 ALTUSER AUTOCT3 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT4 ALTUSER AUTOCT4 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
ディスクバリエーション・マネージャー	ADDUSER AUTOCT5 ALTUSER AUTOCT5 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT6 ALTUSER AUTOCT6 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT7 ALTUSER AUTOCT7 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
TCP/IP	ADDUSER AUTOTCPC ALTUSER AUTOTCPC NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOPKTS ALTUSER AUTOPKTS NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOOPKT ALTUSER AUTOOPKT NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOTCPS ALTUSER AUTOTCPS NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
Web サービス・ゲートウェイ	ADDUSER AUTONVSP ALTUSER AUTONVSP NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
XCF サービス	ADDUSER AUTOXCF ALTUSER AUTOXCF NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOXDSC ALTUSER AUTOXDSC NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOEDAT ALTUSER AUTOEDAT NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))

CNMSCAT2

DSIPARM データ・セットの CNMSCAT2 メンバーには、サンプルのコマンド権限テーブルが含まれています。

CNMSCAT2 メンバーは大幅に変更されたため、V5R4 バージョンをベースとして使用し、V5R1 コピーに対して行ったインストール固有の変更内容をすべて上書きコピーします。

CNMSIHSA

CNMSIHSA 自動化テーブルのサンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージおよびアラート・データを次のようなさまざまなイベント/自動化サービス・アダプターに送信するために、メッセージおよびアラートを自動化する方法の例を示します。

- メッセージ・アダプター
- 確認済みメッセージ・アダプター

- アラート・アダプター
- 確認済みアラート・アダプター
- Alert-to-trap アダプター

CNMSTYLE

DSIPARM データ・セットの CNMSTYLE メンバーは、NetView の初期設定時に使用されます。変更は、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの CNMSTYLE ステートメントに対して行います。CNMSTYLE ステートメントの変更については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 概説*」を参照してください。CNMSTYLE メンバーは、NetView 初期化プロセスを簡素化するように設計されています。

NETVIEW.V5R4USER.INSTALL データ・セットの CNMSJMIG サンプル・ジョブを使用して、以前のリリースからの初期化メンバー (CNME1034 コマンド・リスト、一部の DSIPARM メンバーなど) を CNMSTUSR メンバーにマイグレーションできます。詳しくは、249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。このため、MVScmdMgt タワーは除去されました。

以下の TOWER が追加されました。

- DISCOVERY - シスプレックス、z/OS システム、カップリング・ファシリティ、TCP/IP スタック、TCP/IP サブプレックス、および NetView アプリケーションのディスカバリーを使用可能にします
- DVIPA - 動的仮想 IP アドレス (DVIPA) 定義と状況データの収集を使用可能にします
- IPMGT - IP 管理を使用可能にします
- NVSOA - Web サービス・ゲートウェイ機能を使用可能にします
- TCPIP COLLECT - z/OS Communications Server からの TCP/IP 接続トレース・データおよびパケット・トレース・データの収集を使用可能にします
- TEMA - NetView プログラムが Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent と通信できるようにします

マルチシステム・マネージャー NetFinity (NTF) サブタワーおよび LAN ネットワーク・マネージャー (LNM) サブタワーは除去されました。

マルチシステム・マネージャーの IBM Tivoli Network Manager 機能に ITNM サブタワーが追加されました。

CNMSTYLE メンバーは、DSIPARM データ・セットのメンバーにある一部の定義ステートメントと、CNME1034 コマンド・リストによって実行されるすべての初期化を置き換えます。

表 26. CNMSTYLE ステートメントの古い DSIPARM ステートメントとの関係

CNMSTYLE ステートメント	DSIPARM ステートメント またはコマンド	NetView メンバー
COMMON.CNMSTYLE. DVIPAINTVL	DVIPA	FKXCFG01
COMMON.CNMSTYLE. DVIPAMAX	MAXDVIPA	FKXCFG01
NPDA.PDFILTER	NPDA SRFILTER	CNME3004
TAMEL.USETCPIP	USETCPIP	DUIFPMEM
WEB.*	パラメーター	DSIWBMEM

CNMSTYLE メンバーには、含まれているステートメントのタイプについての説明コメントが含まれています。それらのコメントを読み、デフォルトを検討してください。

以下のデフォルトが変更されました。

表 27. CNMSTYLE ステートメント

デフォルト	前のデフォルト	現行のデフォルト
NCCF トレース 注: 初期化中にプロセッサ 使用率の著しい増加に気付 いた場合は、TRACE オプシ ョンを変更するか、または NetView の初期化が完了し た後でトレースを開始する ことができます。	オフ	オン、MODE=INT
MVSPARM.MSGIFAC	SYSTEM	SSIEXT MSGIFAC のデフォルト値は SSIEXT です。z/OS v1r8 以 降、QUESSI、QSSIAT、およ び USESSI 値はサポートされ なくなりました。
HLENV キーワード	PHEAP=4096	PHEAP=131072
	PSTACK=4096	PSTACK=131072
TOWER=DVIPA	FKXCFG01 の TCP390 ステ ートメントで使用可能	CNMSTYLE でコメント化

注: SECOPTS.COMDAUTH ステートメントの場合、NetView プログラムは、マイグレーション・モードでのみ SCOPE オプションをサポートします。現在、コマンドの有効範囲セキュリティ定義 (マッチングする OPCLASS ステートメントがある、DSICMD 内の CMDCLASS、KEYCLASS、VALCLASS ステートメント) を使用している場合、SECMIGR コマンドを使用して同等のコマンド権限テーブルのステートメントにそれらを変換することができます。SCOPE オプションを使用して NetView プログラムを初期化する場合は、既存の有効範囲セキュリティ定義を変換するために SECMIGR コマンドを使用します。変換されたテーブルは最初の

DSIPARM データ・セットに書き込まれ、有効になります。変換されたコマンド権限テーブルを DSIPARM データ・セットに書き込む権限が PPT にあることを確認してください。

必要な情報	参照先
CNMSTYLE ステートメント	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> アドミニストレーション・リファレンス
CNMSTYLE レポート	163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』

CNMSJCRG サンプルを使用して、CNMSTYLE ステートメントのレポートを作成できます。ステートメントは関数別に編成されます。report では、CNMSTYLE %INCLUDE メンバー・ステートメントもリストされます。この report を使用して、初期化ステートメントを分析することができます。

CNMSTNXT

CNMSTNXT メンバーには、新規、変更、または削除されたステートメントが含まれています。ステートメントは、NetView 製品のバージョンとリリース・レベルに応じてグループ化されます。CNMSTNXT メンバーのステートメントを確認し、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーを必要に応じて更新してください。

必要な情報	参照先
CNMSTYLE ステートメント	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> アドミニストレーション・リファレンス

DSIAUTB

DSIAUTB サンプルには、AUTBYPAS REXX 機能または CLIST 機能を使用するパーツがリストされています。このサンプルは変更しないでください。V5R4 バージョンを使用します。ご使用のシステム用にカスタマイズしたものは、DSIAUTBU メンバーに追加してください。

DSICMD

DSICMD メンバーのコマンド定義ステートメントは、CNMCMD メンバーの新規コマンド定義によって置換されました。NetView 初期化では、マイグレーションのために引き続き DSICMDU メンバーを読み取ります。CNMSJMIG サンプル・ジョブを使用して、DSICMD メンバーを新規の CNMCMD フォーマットにマイグレーションできます。詳しくは、249 ページの『付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション』を参照してください。

NetView 初期化の前に、DSICMDU メンバーの定義を新規フォーマットに変換しないと、DSICMDU メンバーに含まれた情報が変換され、PPT のもとで NetView KEEP に 2 時間保管されます。この間に、NetView PIPE コマンドを使用して、これらの変換済みのコマンド定義を検索することができます。以下の例は、表示のためにこれらの定義を検索する 1 つの方法を示したものです。

```
/PPT: PIPE KEEP DSICMDU | CONS
```

類似の PIPE コマンドを使用して、変換済み定義を DSIPARM データ・セットの CNMCMDU メンバーに書き込むこともできます。

注: DSICMDU メンバーのデータ REXX ステートメントはすでに処理済みであるため、DSICMDU KEEP には存在しません。

CNMCMSYS メンバーまたは CNMCMEMT メンバー内に見つかったコマンド定義と重複する DSICMDU メンバー内のコマンド定義は、後者によりオーバーライドされます。NetView 内部コマンド・セット内のコマンドと重複する DSICMDU メンバー内のコマンド定義は、エラーと見なされます。

DSICMDU メンバーから定義をマイグレーションするには、以下のステップを実行します。

1. テスト環境で NetView を開始し、重複コマンド定義に関する DSI234I メッセージがないか注意します。
2. マイグレーション済みの DSICMDU コマンド定義を NetView KEEP から検索し、それらを CNMCMDU に保管します。例えば、次のようにします。

```
/PPT: PIPE KEEP DSICMDU | QSAM (DSN) user.dsiparm(CNMCMDU)
```

ここで、*user.dsiparm* は、マイグレーション済みコマンド定義ステートメントを配置するデータ・セットを指定します。

注: また、サンプル CNMSJMIG を使用して、NetView V5R4 を開始する前に、DSICMDU 定義をマイグレーションすることもできます。

3. NetView 初期化中に気付いた重複コマンド定義を変更するために、CNMCMDU 定義を更新します。

CNMCMDU の CMDDEF ステートメントを使用して、CNMCMSYS または CNMCMEMT のコマンド定義をすべて変更します。

DSICMENT

DSIPARM の DSICMENT メンバーは、CNMCMEMT によって置換されました。

DSICMSYS

DSIPARM データ・セットの DSICMSYS メンバーは、CNMCMSYS メンバーによって置き換えられました。

CNMCMSYS メンバーに、CNME1500 コマンド・リスト用の CMDMDL ステートメントは含まれません。このため、READYRMT 別名 (コマンド) は定義されなくなりました。CNME1500 メンバーは、引き続き使用可能です。

EZLCMD

DSIPARM の EZLCMD メンバーは、EZLCMENT によって置換されました。

FKXCMD

DSIPARM メンバー FKXCMD は、FKXCMENT によって置換されました。

DSIOPF

NetView 製品で提供されている DSIOPF メンバーのバージョンを使用する場合、変更は必要ありません。V5R1 DSIOPF メンバーを変更していた場合は、行ったすべての変更内容を V5R4 バージョンにコピーします。

以下のステートメントが追加されました。

```
%>IF TOWER('IPMGT') & ~TOWER('AON') THEN
  %INCLUDE FKXOPFIP
```

これは、AON タワーがアクティブでない場合の IPMAN 機能用オペレーター定義の条件付きインクルードです。

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 28. DSIOPF に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
NetView Web アプリケーション DVIPA サポートの自動タスク	AUTDVIPA	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTDVIPA DSIPROFC
分散 DVIPA 統計の自動タスク	DVIPSTAT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DVIPSTAT DSIPROFC
DVIPA イベントとデータの転送の自動タスク	DVIPAUTO	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DVIPAUTO DSIPROFC
コマンド改訂に対する NETVONLY アクションを管理する自動タスク	MVSCMDS	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=MVSCMDSL DSIPROFC
DVIPA の定義と状況の自動タスク	AUTOCT1	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT1 DSIPROFN
DVIPA シスプレックス・ディストリビューター、分散ターゲット、およびサーバー正常性の自動タスク	AUTOCT2	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT2 DSIPROFN
DVIPA 接続の自動タスク	AUTOCT3	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT3 DSIPROFN
VIPA 経路および分散 DVIPA 接続経路指定の自動タスク	AUTOCT4	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT4 DSIPROFN
OSA チャンネルとポートの自動タスク	AUTOCT5	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT5 DSIPROFN
Telnet サーバーと Telnet サーバー・ポートの自動タスク	AUTOCT6	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT6 DSIPROFN
NetView アプリケーションの自動タスク	AUTOCT7	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT7 DSIPROFN
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent の自動タスク	AUTONALC AUTODC1 AUTODC2 AUTODC3 AUTODC4	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTONALC DSIPROFC PASSWORD=AUTODC1 DSIPROFN PASSWORD=AUTODC2 DSIPROFN PASSWORD=AUTODC3 DSIPROFN PASSWORD=AUTODC4 DSIPROFN

表 28. DSIOPF に追加されたオペレーター定義 (続き)

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent で使用されるコマンドを実行するために使用される自動タスク	NATEP1	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=NATEP1 DSIPROFC
	NATEP2	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=NATEP2 DSIPROFC
	SYSADMIN	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=SYSADMIN DSIPROFC
XCF サービスの自動タスク	AUTOXCF	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOXCF DSIPROFC
	AUTOXDSC	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOXDSC DSIPROFC
	AUTOEDAT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOEDAT DSIPROFC
Communications Server への NMI ソケットを開くための自動タスク	AUTOTCPC	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOTCPC DSIPROFG
	AUTOPKTS	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOPKTS DSIPROFG
	AUTOOPKT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOOPKT DSIPROFG
	AUTOTCPS	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOTCPS DSIPROFG
IP 管理サービス (AUTIPMGT) の自動タスク	AUTIPMGT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTIPMGT DSIPROFC
SMF 30 レコードを受信するための自動タスク	AUTOSMF3	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOSMF3 DSIPROFC
NetView Web サービス・ゲートウェイの自動タスク	AUTONVSP	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTONVSP DSIPROFC

以下のオペレーター定義が除去されました。

```
FLBGMGR      OPERATOR      PASSWORD=FLBGMGR
              PROFILEN      FLBGMMPR
```

DSIOPFU

V5R1 DSIOPFU メンバーに定義したすべてのオペレーター定義を、V5R4 バージョンにコピーしてください。

オペレーター定義を条件に応じて DSIOPFU に定義するために、データ REXX ロジックを追加できます。データ REXX ファイル内の最初のステートメントは、`/*%DATA*/` か `/*%LOGIC*/` でなければなりません。コメントは同一行か、後続行に続けて指定することができます。最初の列のブランクは、直前のステートメントの継続を示します。データ REXX について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

FKXOPFIP

FKXOPFIP メンバーは、IPMGT タワーが使用可能にされたときに使用されます。このメンバーは、AON コンポーネントが使用可能な場合は使用されません。このため、オペレーター定義は、EZLOPF メンバーおよび FKXOPF メンバー内の定義と重複します。

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 29. FKXOPFIP に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
IP 管理サービスの自動タスク	AUTIPMx	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTIPMx EZLPRFAO

DSITBL01

DSITBL01 メンバーには、サンプルの自動化テーブル定義が含まれています。自動化を開始するための %INCLUDE ステートメントの一部とそれに関連付けられているステートメントは、CNMSTYLE メンバーのエントリーに置き換えられました。DSITBL01 メンバーを変更した場合は、変更内容を V5R4 DSITBL01 メンバーとマージしてください。変更を行った後、NetView 自動化テーブルを番号付けし直してください。NetView 自動化テーブルがメッセージを処理し、一致を見つけて、コマンドまたはコマンド・リストを実行する結果になると、NetView ログ・ファイルに CNM493I メッセージが書き込まれます。CNM493I メッセージには、一致した自動化テーブル・エントリーの行番号が含まれます。

NetView 製品で提供されるいくつかのメッセージは、V5R4 プログラムで変更されました。これらのメッセージは付録にリストしてあります。そのリストを検討し、ご使用の自動化テーブルに必要な変更を加えてください。

基本自動化テーブル名が DSITBL01 でない場合は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーを更新して、ご使用の自動化テーブルの AUTOCMD ステートメントを含めてください。AUTOCMD ステートメントについて詳しくは、「IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス」を参照してください。

メッセージ自動化は、いくつかのディスカバリー・マネージャー・リソースが開始および停止するときに情報を更新するために使用されます。これらのイベントに対する CNMSEPTL 自動化サンプル・メンバーを追加してください。CNMSEPTL メンバーは、DISCOVERY タワーが使用可能にされるときに含められます。

```
* Load local resource discovery table
%>IF tower('DISCOVERY') THEN
%INCLUDE CNMSEPTL
```

DVIPA 自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
* Include the following DVIPA samples:
* CNMSDVDS - Automation for forwarding information to the master NetView
* CNMSDVTP - Samples for automating z/OS Communications Server SNMP
*           DVIPA traps
* CNMSDVCG - Samples for automating z/OS Communications Server DVIPA
*           configuration updates
* CNMSSMON - Samples for automating z/OS Communications Server
*           sysplex autonomics messages
%>IF tower('DVIPA') THEN
%>do;
    %INCLUDE CNMSDVDS
    %INCLUDE CNMSDVTP
    %INCLUDE CNMSDVCG
    %INCLUDE CNMSSMON
%>end;
```

XCF シスプレックス・サポート用には、以下のステートメントを追加します。

```
** Load statements that relate to the z/OS sysplex master function.
%INCLUDE CNMSXCFA
```

COLLCTL コマンド自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** COLLCTL command AUTOMATION *****
%INCLUDE CNMSDCA
```

CNMSMF3E サンプルを使用する SMF タイプ 30 レコードの自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** SMF 30 RECORD AUTOMATION *****
IF MSGID = 'BNH874I' THEN
  EXEC(CMD('CNMSMF3A')) NETLOG(Y) SYSLOG(N);
```

SMF タイプ 30 レコードの自動化について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

DSIZVLSR

DSIZVLSR モジュールは、VSAM LSR パフォーマンス・オプションおよび DSR パフォーマンス・オプションで使用されるバッファ・プールを定義します。CNMSJM01 サンプル・ジョブを使用して、DSIZVLSR モジュールを更新してください。V5R4 で配布された DSIZVLSR モジュールを使用してください。前に CNMSJM01 ジョブを更新した場合は、その変更内容を CNMSJM01 ジョブの V5R4 バージョンにマージしてからこのジョブを実行し、変更内容をアセンブルして DSIZVLSR モジュールにリンク・エディットしてください。

DSIZVLSR モジュールに対して以下の変更が行われました。

- デフォルトの STRNO 値は 30 から 40 に増加しました。
- TCPCONN コマンドをサポートするために DSITCONT タスクに割り振られた新規の VSAM クラスタに対して、新規のバッファが索引とデータ・バッファ・プールに追加されました。

DSIW3PRF

このサンプルには、TCP/IP セッションのプロパティが含まれています。

このサンプルは、DSIPRF メンバーから DSIPARM メンバーに移動されました。

DUIFPMEM

DSIPARM データ・セットの DUIFPMEM メンバーには、CNMTAMEL タスク用の TCP/IP 初期化ステートメントが含まれています。これには、CNMSTYLE メンバーから初期化値を取り出すためのロジックが格納されています。CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの TAMEL ステートメントを更新して、DUIFPMEM メンバーに以前指定した値を反映させてください。データ REXX パーソンの DUIFPMEM メンバーは変更しないでください。

FKXCFG01

DSIPARM データ・セットの FKXCFG01 メンバーには、AON コンポーネントの構成情報が含まれています。

NetView V5R1 からのマイグレーション

TCP390 ポリシー情報は、FKXCFG01 メンバーから CNMPOLCY メンバーに移動されました。ご使用の V5R1 FKXCFG01 メンバーの TCP390 ステートメントはすべて V5R4 CNMPOLCY メンバーに移動してください。他の AON 構成メンバー (EZLCFG01 メンバー、FKVCFG01 メンバーなど)、およびユーザーが含まれたすべての追加メンバーを調べて、その他の TCP390 ステートメントを検索してください。すべての TCP390 ステートメントを CNMPOLCY メンバーに移動してください。

(Web アプリケーションのみ) 以下の表に、変更された TCP390 DVIPA パラメーターを示します。

表 30. TCP390 DVIPA パラメーターの変更点

旧パラメーター	新規パラメーター/ステートメント
TCP390 DVIPA パラメーター	TCP390 DVIPADAT パラメーター
TCP390 MAXDVIPA パラメーター	COMMON.CNMSTYLE. CNMSTYLE の DVIPAMAX ステートメント

以前は、MAXDVIPA パラメーターは TCP/IP スタックごとに指定されていました。V5R2 以降、この値は、CNMSTYLE メンバー内の NetView ドメインごとに 1 度指定します。

RODM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、RODM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

EKGLOADP

EKGLOADP はサンプル RODM ロード・プロシージャ JCL です。

EKGLOADP に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. ROUTECODE パラメーターを設定するには、以下のステートメントを PROC ステートメントの COPIES パラメーターの後に追加します。このパラメーターを追加する場合は、COPIES パラメーターの後にコンマを追加してください。

```
//          ROUTECDE=1
```

3. NetView EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECDE 変数を追加します。

```
//LOADRODM EXEC PGM=EKGLDTLM,  
//          PARM=('OPERATION=&OPER,LOAD=&LOAD,NAME=&RODMNAME',  
// 'LISTLEVEL=&LISTL,SEVERITY=&SEVERITY,ROUTECODE=&ROUTECDE')
```

ROUTECODE パラメーターの追加の結果、EKGLOADP の呼び出し時に &ROUTECDE を指定するために、JCL プロシージャ EKGLLOAD を更新する必要があります。

EKGS101

EKGS101 は、RODM ログおよびチェックポイント・データベースを割り振るために使用されます。このサンプルは、サンプル・ジョブ CNMSJ004 によって使用されます。

RODM によってサポートされる最大数に満たない数のウィンドウに対して RODM チェックポイント・データ・セットを割り振っており、RODM データ・キャッシュに保管を予想しているオブジェクトの推定数が以前の最大サポート数 (約 524,000 オブジェクト) を超えている場合は、RODM チェックポイント・データベースのサイズを増加することを検討してください。

EKGXRODM

EKGXRODM は RODM 始動プロシージャです。

EKGXRODM に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
3. 以下の ROUTECDE パラメーターを SUBSYM パラメーターの後に追加します。

```
//      SUBSYM=*SUBSYM,      ** SYMBOL SUBSTITUTION OPTION
//      ROUTECDE=1           ** ROUTE CODE FOR WTO/WTOR
```

4. START EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECDE 変数を追加します。

```
//START EXEC PGM=EKGTC000,REGION=0K,TIME=1440,
// PARM='&TYPE,&NAME,&INIT,&CLRSSB,&CUST,&ARM,&SUBSYM,&ROUTECDE'
```

5. EKGUCUST DD ステートメントは、ユーザー DSIPARM データ・セットを組み込むように変更されました。

```
//EKGUCUST DD DSN=&Q1..CNM01.DSIPARM,DISP=SHR
//          DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

6. LNKLSTxx または PROGxx で、Language Environment for OS/390 ランタイム・ライブラリーをインストールしていない場合は、EKGXRODM の STEPLIB のライブラリー名が正しいこと、およびアンコメントされていることを確認します。PL/I または C/C++ のランタイム・ライブラリーは使用されなくなったため、これらのライブラリー用の DD ステートメントを除去してください。

GMFHS アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、GMFHS アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMGMFHS (CNMSJH10)

CNMGMFHS (CNMSJH10) は GMFHS 始動プロシージャです。

CNMGMFHS に以下の変更を加えてください。

NetView V5R1 からのマイグレーション

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
3. 以下の ROUTECDE パラメーターを SUBSYM パラメーターの後に追加します。

```
//          SUBSYM=*SUBSYM, ** SYMBOL SUBSTITUTION
//          ROUTECDE=1    ** ROUTE CODE FOR ALL WTO'S
```

4. STEP1 EXEC ステートメントに、以下のようにして、&ROUTECDE 変数を追加します。

```
//STEP1 EXEC PGM=&PROG,REGION=&REG,TIME=1440,
// PARM='&AGGRST,RESWS=&RESWS,DOMAIN=&DOMAIN,ARM=&ARM,SUBSYM=&SUBSYM, *
//          ROUTECDE=&ROUTECDE'
```

5. RODM コンポーネントを使用していて、かつ、前のリリースからマイグレーションする場合は、以下のステートメントを変更します。

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..SEKGLUTB,DISP=SHR
```

を次に変更します

```
//EKGLUTB DD DSN=&SQ1..CNMSAMP,DISP=SHR
```

CNMSJH12

CNMSJH12 は、サンプル GMFHS/SNA トポロジー・マネージャーのデータ・モデル・ロード・ジョブです。

CNMSJH12 ジョブが JES3 環境でエラーなしで確実に完了するように、REGION=0M 指定が追加されました。REGION=0M 指定は、JES 定義、および IEFUSI インストール・システム出口と IEALIMIT インストール・システム出口の影響を受けることがあります。

DUIGINIT

DUIGINIT は、GMFHS 用の初期化メンバーです。このメンバーには、GMFHS ホスト・メインタスク用の初期化ステートメントが含まれています。これらのステートメントは、GMFHS の初期化の際に読み取られるシステム制御定数です。ご使用のシステムでシンボリック置換が使用可能になっている場合は、DUIGINIT でシンボルを使用できます。SYS1.PARMLIB のメンバー IEASYMxx でシンボルが定義されていることを確認してください。

DOMAIN ステートメントは、デフォルトの DUIGINIT メンバーでコメント化されています。好ましい方法は、DOMAIN シンボリック変数を GMFHS 開始プロシージャ (CNMGFHS) で使用することです。NetView 製品で提供されている DUIGINIT メンバーに指定されているデフォルト値が、ご使用の環境で受け入れ可能な場合は、デフォルトの DUIGINIT メンバーの使用を検討してください。

イベント/自動化サービス・アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点を示します。

IHSAEVNT

IHSAEVNT は、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースを開始します。
PROCLIB 内の IHSAEVNT に以下の変更を加えてください。

1. 以下のコメントを追加します。

```

/* 4. There are additional keywords and values which may be
/* specified in the PARM string, which a) are not in the
/* style of a UNIX System Services shell command parameter and
/* b) do not have procedure keyword definitions in this sample
/* procedure. They are described as follows.
/*
/* CMSGCFG=value
/*
/* CMSGCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/* containing configuration parameters for the confirmed
/* message adapter task, MESSAGEC. If the value is provided,
/* it must be a valid partitioned data set member name.
/* If the keyword is omitted or is given no value, the
/* default value is IHSANCFG.
/*
/* CALRTCFG=value
/*
/* CALRTCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/* containing configuration parameters for the confirmed
/* alert adapter task, ALERTC. If the value is provided,
/* it must be a valid partitioned data set member name.
/* If the keyword is omitted or is given no value, the
/* default value is IHSABCFG.
/*

```

2. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
3. SCNMUXLK データ・セットは、CNMLINK データ・セットで置き換えられました。STEPLIB DD ステートメントの変更方法の例については、表 31 を参照してください。

表 31. STEPLIB DD ステートメント

既存のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R1M0.SCNMUXLK,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK,DISP=SHR

4. IHMSG1 DD ステートメントに指定されていた SCNMUXMS データ・セットは、SDUIMSG1 データ・セットで置き換えられました。IHMSG1 DD ステートメントの変更方法の例については、表 32 を参照してください。

表 32. IHMSG1 DD ステートメント

既存のステートメント:
//IHMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R1M0.SCNMUXMS,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//IHMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.SDUIMSG1,DISP=SHR

5. 以下の ROUTECDE パラメーターを OUTSIZE パラメーターの後に追加します。

```
//          ROUTECDE=1,    ** ROUTE CODE FOR ALL WTO'S
```

6. 以下の &ROUTECADE 変数を &OUTSIZE 変数の後に追加します。

```
INITFILE=&INITFILE OUTSIZE=&OUTSIZE ROUTECDE=&ROUTECADE
```

7. 次の出力データ・セットを追加します。

```
//*   EAS OUTPUT DATASETS
//IHSN   DD SYSOUT=A
//IHSB   DD SYSOUT=A
...
//IHSNS  DD SYSOUT=A
//IHSBS  DD SYSOUT=A
...
//IHSNSTD DD SYSOUT=A
//IHSBSTD DD SYSOUT=A
```

IHSAINIT

IHSAINIT サンプルは、イベント/自動化サービスの初期化ファイルです。 確認済みアラート・アダプターおよび確認済みメッセージ・アダプターをサポートするために、このサンプルに情報が追加されました。 確認済みアラート・アダプター・サービスおよび確認済みメッセージ・アダプター・サービスがイベント/自動化サービスによって自動的に開始されるのを防ぐための、NOSTART ステートメントが含められました。

```
# The following keywords are supported:
#   MSGCFG - Specifies the confirmed message adapter configuration file
#   CALRTCFG - Specifies the confirmed alert adapter configuration file
#
# The syntax for each keyword follows:
#   MSGCFG=confirm_message_config_file
#   CALRTCFG=confirm_alert_config_file
#   TRACE TASK=task_designator LEVEL=trace_level IP=on_or_off
#
#   confirm_message_config_file - Specifies the name of the confirmed message
#   adapter configuration file. If not prefaced with the
#   escape character (\), this is the name of a member of
#   the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#   name. If E/AS is an MVS started task, the default
#   value of this keyword is IHSANCFG. If E/AS is started
#   in a UNIX System Services shell, the default value is
#   /etc/netview/confirm_message_adpt.conf.
#
#   confirm_alert_config_file - Specifies the name of the confirmed alert
#   adapter configuration file. If not prefaced with the
#   escape character (\), this is the name of a member of
#   the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#   name. If E/AS is an MVS started task, the default
#   value of this keyword is IHSABCFG. If E/AS is started
#   in a UNIX System Services shell, the default value is
#   /etc/netview/confirm_alert_adpt.conf.
#
#   output_destination - specifies the location where the trace and error
#   messages will be logged. The values are:
#
#   SYSOUT - Specifies a system output file. When started by an MVS startup
#   procedure, the primary and secondary files for each task are:
#
#           IHSN and IHSNS for the MESSAGEC task
#           IHSB and IHSBS for the ALERTC task
#
#           When started under UNIX System Services, the default primary and
#           secondary file names for each task are:
#
#           cmessagep.err and cmessages.err for the MESSAGEC task
#           calertp.err and calerts.err for the ALERTC task
```

```

# task designator - is one of the following:
# MESSAGEC - Specifies the confirmed message adapter task
# ALERTC - Specifies the confirmed alert adapter task

# Note : CONTROL is not valid on the NOSTART statement. ALL does not
# include CONTROL for the NOSTART statement
#
# on_or_off - is one of the following:
# ON - Specifies that data sent or received using TCP/IP
# will be traced. Additional information for the
# z/OS UNIX C/C++ socket functions used may appear.
# OFF - Specifies that no tracing of data or socket
# functions will be done. This is the default.
#
# Confirmed Message Adapter Configuration File
#CMSGCFG=IHSANCFG
#CMSGCFG=/etc/netview/confirm_message_adpt.conf
#
# Confirmed Alert Adapter Configuration File
#CALRTCFG=IHSABCFG
#CALRTCFG=/etc/netview/confirm_alert_adpt.conf
#
# Tasks not started at initialization (example)
NOSTART TASK=MESSAGEC
NOSTART TASK=ALERTC
#
# Confirmed Message Adapter Task
#TRACE TASK=MESSAGEC LEVEL=OFF
#
# Confirmed Alert Adapter Task
#TRACE TASK=ALERTC LEVEL=OFF

```

その他の考慮事項

以下の機能に対する変更を考慮してください。

- 『BROWSE 機能』
- 104 ページの『NetView リソース・マネージャー』
- 104 ページの『UNIX システム・サービス』
- 105 ページの『NetView Web アプリケーション』
- 105 ページの『DVIPA サポート』
- 105 ページの『パラメーター・ファイルでのシンボリック変数の使用』
- 106 ページの『TCP/IP 管理』
- 106 ページの『MVS コマンド管理』
- 107 ページの『セキュリティーの機能強化』
- 108 ページの『1 バイト・コンソール ID』

BROWSE 機能

LBHOURLY と呼ばれる新しい DEFAULTS 設定で、毎時の統計メッセージ CNM154I、CNM155I、および CNM156I をネットワーク・ログに送るかどうかを制御します。前のリリースでは、送信を阻止するオプションはなく、これらの毎時の統計メッセージは、自動的にネットワーク・ログに送られました。LBHOURLY のデフォルト設定は、CNMSTYLE メンバーの DEFAULTS.LBHOURLY ステートメントによって設定されているとおり NO です。これらの毎時の統計メッセージを引き

NetView V5R1 からのマイグレーション

続きネットワーク・ログに記録するには、DEFAULTS.LBHOURLY ステートメントを CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーに追加し、その値を YES に設定してください。

NetView リソース・マネージャー

NetView Resource Manager の自動タスクがカスタマイズできるようになった結果、V5R2 以降のレベルのホストから以前のリリースのマネージャー・ホストへ状況を転送した場合、それが機能するのは、NetView Resource Manager の自動タスクが AUTONRM である場合のみになります。ただし、V5R1 レベルのホストから V5R2 以降のレベルのマネージャーへは、引き続き状況を転送できます。V5R2 以降での NetView Resource Manager の自動タスク名には、上方向へのマイグレーションが機能するための制限はありません。

UNIX システム・サービス

次のセクションでは、NetView V5R1 から NetView V5R4 で変更された、ディレクトリー、構成ファイル、および機能を説明します。また、21 ページの『UNIX システム・サービスの準備』のセクションも検討してください。

NetView MIB コレクションは、/usr/lpp/netview/v5r1/mibs/ ディレクトリーから /usr/lpp/netview/v5r4/mibs/ ディレクトリーに移動されました。CNMSTYLE メンバー内の MIBPATH ステートメントが現行リリースの MIB ディレクトリーをポイントしていることを確認してください。

Web サービス・ゲートウェイ機能によって使用される Web リソース・ファイルは、次のディレクトリーにあります。

```
/usr/lpp/netview/v5r4/www/
```

ご使用の環境に合わせてファイルを更新するには、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。WSDL ファイルは、プロキシとクライアント間の接続を自動的に生成します。

表 33. Web サービス・ゲートウェイ・ファイル

ファイル名	目的	変更内容
znvssoatx.htm	テキスト・ベースの Web サービス・クライアント。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降または Mozilla 2.0.014 以降を使用すると機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、<OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。
znvssoa.htm	Web サービス・クライアントのグラフィック版。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降を使用した場合にのみ機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、<OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。

表 33. Web サービス・ゲートウェイ・ファイル (続き)

ファイル名	目的	変更内容
znvwsdl.wsd1	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwsdl1.wsd1	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwsdl2.wsd1	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。

NetView Web アプリケーション

NetView Web アプリケーションの現行バージョンをアンインストールし、 NetView Web アプリケーションの V5R4 バージョンを再インストールします。詳しくは、 *netview_installation_dir/doc/znetview_webapp_readme_en.htm* ファイルと「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」マニュアルを参照してください。

DVIPA サポート

DVIPA サポートはもはや AON の機能ではありません。これは、基本 NetView プログラムの独立した機能です。このサポートを使用可能にするには、 CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバー内の DVIPA タワーのコメントを外してください。

デフォルトのポーリング間隔は、10 分から 1 時間に変更されました。このポーリング間隔は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバー内の COMMON.CNMSTYLE.DVIPAINTVL ステートメントを使用して変更することができます。

パラメーター・ファイルでのシンボリック変数の使用

NetView プログラムでは、表 34 に示すシステム変数が使用されます。このシステム変数は、DSIPARM データ・セットの以下のメンバーに対して、SYS1.PARMLIB データ・セット内に定義されます。

- CNMSTYLE
- DUIGINIT
- FLBSYSD

表 34. 初期化メンバーで使用されるシンボリック変数

メンバー	タスク	TCP/IP 名	RODM 名	NETID
		&CNMTCPN	&CNMRODM	&CNMNETID
CNMSTYLE	NetView の初期化	X	X	X
DUIGINIT	GMFHS (グラフィックス)		X	
FLBSYSD	SNA トポロジー・マネージャー		X	

&DOMAIN は、追加の NetView ユーザー・シンボリック変数であり、以下のパラメーター・ファイルで使用されます。

- CNMSCBET
- CNMSMRT1
- CNMSTASK
- CNMSTGEN
- CNMSTPWD
- CNMSTUSR
- CNMSTYLE
- DSIAMIAT
- DSIAMII
- DSITBL01
- DSIVPARM
- FKXWHTML
- FLBSYSD

TCP/IP 管理

以下の機能は変更されました。

- ACTMON
- IP トレース
- IPMAN
- IPSTAT
- ping
- Tracerte

MVS コマンド管理

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。

マイグレーション上の注意:

1. ご使用のシステムの MVS コマンド改訂機能へのマイグレーションが終了するまでは、MVS コマンド管理機能を引き続き使用できます。2 つの機能は共存可能です。2 つの機能を同じコマンドで同時に動作させないことを確保してください。これを行う 1 つの方法は、MVS コマンド改訂機能をテスト・モードで活性化することです。
2. MVS コマンド改訂機能のインストール手順については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。
3. 現在の MVS コマンド管理アクションを確認し、コマンド改訂テーブルを作成します。この実行方法について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* オートメーション・ガイド」を参照してください。
4. コマンド改訂テーブルおよびメッセージ改訂テーブルでは、上位の UPON ステートメントを使用して、その他すべてのステートメントをグループ化できます。コマンド改訂ステートメントおよびメッセージ改訂ステートメントは、同じメンバー内に配置できます。

メッセージ改訂テーブルの UPON(ALWAYS) アクションは、UPON(OTHERMSG) アクションで置き換えられます。メッセージ改訂テーブル内にあるすべての

UPON(ALWAYS) アクションを、UPON(OTHERMSG) アクションに変更してください。
UPON(ALWAYS) アクションはマイグレーションのためにサポートされていますが、コマンドおよびメッセージのアクションが同じソース・メンバー内に存在してもかまわないため、混乱が生じる可能性があります。

5. SSI.ReviseTable CNMSTYLE ステートメントの参照先のメンバーが変更されないかぎり、このステートメントのアクションは変わりません。コマンド改訂に関連した新規の UPON ステートメントが CNMSTYLE メンバー内またはその組み込みメンバー内にある場合は、コマンド改訂テーブルが作成されます。
6. (オプション) REVISMSG コマンドは、REVISE MSG コマンドで置き換えられます。REVISMSG コマンドを発行するすべての箇所で、REVISE MSG コマンドへの変更を検討してください。構文情報については、オンライン・ヘルプまたは「*IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 1 (A-N)*」を参照してください。

定義されている verb が REVISMSG である場合、REVISE コマンドではデフォルトで MSG 処理が実行されるため、この手順はオプションです。REVISMSG コマンド引数は、REVISE コマンドによりサポートされています。

7. すべての MVS コマンド管理アクションが、コマンド改訂テーブルを使用して十分に実装されていることがレポートまたはテストで示されたら、MVS コマンド管理機能を使用不可にします。これには、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーから MVScmdMgt タワーを削除することも含まれます。

セキュリティの機能強化

NetView プログラムは、大/小文字混合のパスワードおよびパスワード・フレーズをサポートします。

大/小文字混合パスワード

SAF 製品を使用してパスワード検査を行う場合は、大/小文字混合パスワード機能を使用できることがあります。詳しくは、*IBM Tivoli NetView for z/OS セキュリティ・リファレンス* を参照してください。

パスワード・フレーズ

NetView プログラムは、パスワード・フレーズによる許可をサポートします。RACF などの SAF 製品を使用するすべての NetView 機能について、パスワードの代わりにパスワード・フレーズをセキュリティ検査のために使用できます。パスワードを受け付けるすべてのパネルは、パスワード・フレーズを受け付けるように更新されました。パスワード・フレーズは、9 文字から 100 文字までの長さの句にすることができます。

RACF 製品では、パスワード・フレーズに任意の有効な EBCDIC 文字を使用できます。z/OS 以外のシステムからアクセスされるユーザー ID にパスワード・フレーズを設定する場合は、そのシステムのパスワードを ASCII テキストとして入力します。必ずしもすべての EBCDIC 文字に ASCII に等価な文字があるわけではないため、EBCDIC パスワード・フレーズは、ASCII に等価な文字がある文字に制限してください。

パスワード・フレーズは、以下の環境ではサポートされていません。

- DSIOPF メンバーを使用するパスワード検査

NetView V5R1 からのマイグレーション

- DSIEX12 インストール・システム出口を使用するログオン妥当性検査
- Tivoli Enterprise Portal のログイン。この制限のため、パスワード・フレーズを RACF 検査のために Tivoli Enterprise Monitoring Server に渡すことはできません。
- NetView 間タスク (NNT) を使用する機能

1 バイト・コンソール ID

z/OS V1R8 では、1 バイト・コンソール ID のサポートが除外されました。このため、NetView プログラムでは、NetView プログラムに対してコンソールを定義するときの、1 バイト・コンソール ID の使用はサポートされなくなりました。コンソール ID を使用する代わりに、2 文字から 8 文字までのコンソール名を使用してください。例えば、GETCONID、SETCONID、AUTOTASK の各コマンド、および CNMSTYLE メンバーの AUTOTASK.task.CONSOLE ステートメントで特定のコンソールを参照するときに、コンソール名を使用します。

第 5 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 からのマイグレーション

この章では、NetView プログラムを Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 からマイグレーションする場合に、NetView プログラムをマイグレーションして実動システムとして実行する方法について説明します。マイグレーション情報は、V5R2 の初期リリースに組み込まれている NetView コンポーネントに基づいています。ご使用のシステムのメンテナンス情報を確認して、この章に説明されているいくつかの変更を既に行っているかどうかを確認してください。

V5R4 の内容を V5R2 NetView 定義に追加するか、または V5R2 のカスタマイズを NetView プログラムに付属するデフォルトの V5R4 メンバーに追加できます。いずれの場合も、NETVIEW.V5R4USER.CNM01.DSIPARM などの、適切なユーザー割り振りデータ・セットに、カスタマイズされたメンバーを配置します。NETVIEW.V5R4M0.DSIPARM など、SMP/E 管理のデータ・セットのメンバーはカスタマイズしないでください。

NetView 定義メンバーをマイグレーションする際に、使用方法に影響を及ぼす可能性のある要因が幾つかあります。お客様のマイグレーションに最適の方法を検討する際には、ネットワークのサイズや複雑さ、従う必要のあるセキュリティ・ポリシー、および業務の中で確立された慣習などのすべての要因を考慮する必要があります。この後のチェックリストでは、本書で概説し、NetView ライブラリー内の他の文書でも説明されている、マイグレーション方法を詳細に説明しています。ご自分に最適のマイグレーション方法を選択してください。

V5R2 定義をマイグレーションするには、以下の手順で行います。

1. サンプル・ジョブ CNMSJ002 を実行して、V5R4 ユーザー・データ・セットの新規セットを割り振ります。23 ページの表 13 の手順を完了している場合、これはすでに行われています。
2. NetView ドメインごとに、固有の &NV2I 値 (xx) を定義します。
3. CNMSTYLE メンバーのカスタマイズされた V5R2 コピーを確認します。V5R2 CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものをすべて CxxSTGEN メンバーに移動し、V5R2 CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものをすべて CNMSTUSR メンバーに移動します。このときに、V5R2 CNMSTYLE メンバーを V5R4 ユーザー DSIPARM データ・セットにコピーしないでください。
4. 本章の CNMSTYLE 情報と、NetView プログラムに付属する V5R4 CNMSTNXT メンバーを見直してください。CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものを CxxSTGEN メンバーに配置し、CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものを CNMSTUSR メンバーに配置します。V5R4 デフォルトの CNMSTYLE メンバーは変更しないでください。

5. 本章の残りの情報を見直し、変更されたメンバーだけを V5R4 ユーザー・データ・セットに配置して、該当する V5R2 NetView 定義メンバーと JCL プロシージャをマイグレーションします。

図 4 は、NetView V5R4 初期化フローを示しています。DSIPARM メンバーに変更を行うときには、この新しい初期化フローを覚えておいてください。

NetView 初期化フロー

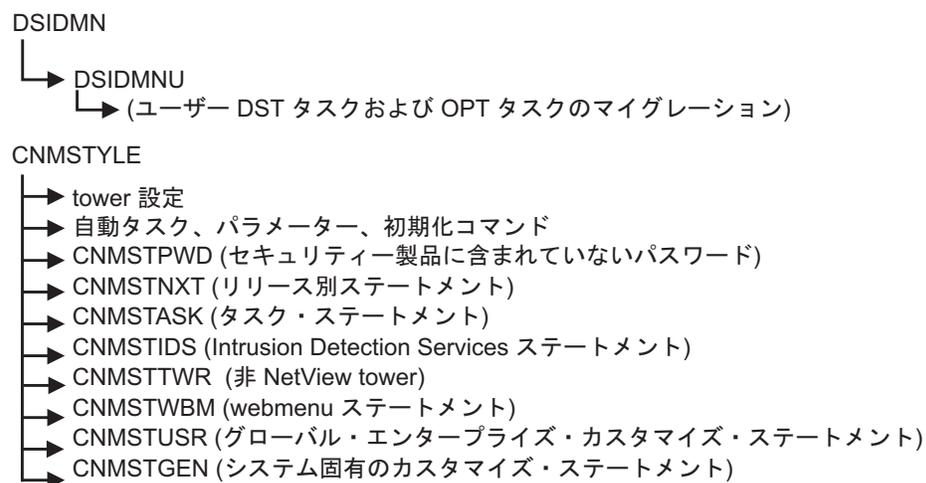


図 4. NetView V5R4 初期化フロー

この章を読み終えた後は、163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』に進んでください。

必要な情報

パネル、コマンド、メッセージ、およびサンプルなどの変更

参照先

223 ページの『付録 C. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 への変更』

新規サンプル

表 35 に、マイグレーション時に見直す新規のサンプルを示します。

表 35. 新規サンプルのリスト

配布形態	名前	説明	データ・セット名	
	CNMIPMGT	同様	NetView IP 管理用の自動化ポリシー	DSIPARM
	CNMSALRT	同様	SNMP トラップ・データをアラートに変換し、そのアラートを NetView アラート受信側に送信します。	CNMSAMP
	CNMSCRT1	同様	コマンド改訂テーブル	DSIPARM
	CNMSDCA	同様	COLLCTL コマンドにより管理されるデータ収集自動タスクの制御に役立つ自動化ステートメントを提供します。	CNMSAMP

表 35. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSDDCR	同様	分散 DVIPA 接続ルーティング情報を表示します。 DVIPDDCR コマンド出力 (BNH815I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVCG	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる z/OS Communications Server VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル更新の自動化テーブル・メンバー。変更された VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル・ステートメントにより、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSDVDS	同様	マスター NetView プログラムでの DVIPA データ・ディスカバリー (再ディスカバリーを含む) および分散 DVIPA 統計に使用される自動化テーブル・メンバー。これにより、DSIIF003I (DVIPA 再ディスカバリー)、DSIIF004I (DVIPA データ転送)、DSIIF006I (DVIPA データ要求)、および BNH867I (分散 DVIPA 統計レコード) の各メッセージが処理されます。	CNMSAMP
CNMSDVIP	同様	このサンプルは、DVIPA 定義と状況データを表示します。 DVIPSTAT コマンド出力 (BNH846I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVPC	同様	DVIPA 接続を表示します。 DVIPCONN コマンド出力 (BNH849I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVPH	同様	分散 DVIPA サーバーの正常性情報を表示します。 DVIPHLTH コマンド出力 (BNH814I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVST	同様	分散 DVIPA 統計データ・セットのデータを表示します。	CNMSAMP
CNMSDVTP	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる DVIPA SNMP トラップ自動化の自動化テーブル・メンバー。この自動化により、z/OS Communications Server DVIPA トラップが受信されたことが検出され、その結果、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSEMAA	同様	NetView for z/OS Enterprise Management Agent 用の自動化テーブル・メンバー	DSIPARM

表 35. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSHIPR	同様	HiperSockets の構成情報および状況情報を表示します。HIPERSOC コマンド出力 (BNH598I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSIFST	同様	IP インターフェースを表示します。IFSTAT コマンド出力 (BNH498I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSMF3A	同様	BNH874I メッセージの発行時に自動化テーブルによって呼び出されるサンプル・コマンド・リスト。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されません。	CNMSAMP
CNMSMF3E	同様	自動化のために、タイプ 30 の SMF レコードを処理し、プログラム間インターフェース (PPI) を介して NetView プログラムに送信する IEFACTRT SMF 出口のサンプル。	CNMSAMP
CNMSMF3F	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定するサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMF3R	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定する PPI 受信側のサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMSIP	同様	CP-MSU を IP を介して送信します。	CNMSAMP
CNMSNVST	同様	NetView アプリケーション情報を表示します。NVSTAT コマンド出力 (BNH495I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSOSAP	同様	OSA チャネルおよびポートの情報を表示します。OSAPORT コマンド出力 (BNH597I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSPLEX	同様	このサンプルは、DVIPA シスプレックス・ディストリビューター・データを表示します。DVIPPLEX コマンド出力 (BNH847I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSRVMC	同様	このサンプルは、コマンド改訂テーブルで 사용되는 NETVONLY アクション・コマンドの例を提供します。	DSIPARM

表 35. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSSMON	同様	このサンプルは、z/OS Communications Server のシスプレックス・モニタリング・メッセージの自動化を提供し、DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれます。	CNMSAMP
CNMSSTAC	同様	このサンプルは、TCP/IP スタック構成と状況データを表示します。STACSTAT コマンド出力 (BNH845I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTARG	同様	このサンプルは、分散 DVIPA ターゲット・データを表示します。DVIPTARG コマンド出力 (BNH813I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTNST	同様	このサンプルは、Telnet サーバーに関する構成情報および状況情報を表示します。TELNSTAT コマンド出力 (BNH496I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSTPST	同様	このサンプルは、Telnet サーバー・ポートに関する構成情報および状況情報を表示します。TNPTSTAT コマンド出力 (BNH497I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMTRAPI	同様	SNMP トラップ自動化タスクに必要な、データ・サービス・タスクの初期化パラメーターが含まれています。	DSIPARM
CNMSVPRT	同様	VIPA 経路に関する状況情報を表示します。VIPAROUT コマンド出力 (BNH824I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSXCFA	同様	XCF シスプレックス・サポートの自動化サンプル	DSIPARM
DSIPROFN	同様	NetView for z/OS Enterprise Management Agent データ収集自動タスク (AUTODCn) 用の自動化操作プログラム・プロファイル	DSIPRF
EKG51100	同じ	PL/I サンプル - 関数 (パスワード・フレーズと接続) EKG_ConnectLong	CNMSAMP
EKG61100	同じ	C サンプル - 関数 (パスワード・フレーズと接続) EKG_ConnectLong	CNMSAMP
FKXIPMTB	同様	NetView IP 管理自動化の構成データ	DSIPARM
FKXOPFIP	同様	NetView IP 管理自動化のオペレーター定義	DSIPARM

表 35. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
IHSABCD	IHSABCD	IHSABCD サンプルには、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのクラス定義ステートメントのサンプルが含まれています。	SCNMUXCL
IHSABCFG	IHSABCFG	IHSABCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANCFG	IHSANCFG	IHSANCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANFMT	IHSANFMT	IHSANFMT サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターの書式仕様ステートメントのサンプルを提供します。	SCNMUXCL

VTAM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、VTAM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

A01APPLS (CNMS0013)

このメンバーには、NetView プログラム用にコーディングされたアプリケーション (APPL) メジャー・ノードが含まれています。

VTAMLST データ・セットを再割り振りおよび再コピーしなかった場合、次の変更を A01APPLS に加えてください。

- SYS1.PARMLIB メンバー IEASYM_{xx} にドメイン ID (システム変数 &CNMDOMN) を設定するか、A01APPLS (CNMS0013) 内の &CNMDOMN のすべての オカレンスを現行のドメイン ID に変更してください。
- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、複数の並行 NetView オペレーターのタスクを定義する APPL ステートメントを、ワイルドカード文字 (??) を使用して 1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
&CNMDOMN.0?? APPL AUTH=(NVPAGE,SPO,ACQ,PASS),PRTCT=&CNMDOMN., X
EAS=4,MODETAB=AMODETAB,DLOGMOD=DSILGMOD
```

- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、TAF APPL ステートメントを、LU 名に続くワイルドカード文字 (??) を使用して、1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
TAF010?? APPL MODETAB=AMODETAB,EAS=9, X
DLOGMOD=M3767
```

他のアプリケーション (TAF など) での使用のために定義する APPL 名は、端末ログオン APPL と同じ命名方式で定義してはなりません (例えば、3 文字の接尾部のあるドメイン名)。同じ命名方式を使用すると、これらのアプリケーション名が

NetView プログラムにより端末ログオンのために使用される可能性があり、その場合には、アプリケーション名が、定義された目的に使用できなくなります。

CNMNET (CNMSJ008)

CNMNET (CNMSJ008) は、VTAM プログラムの開始プロシージャです。

次のようにして、PROCLIB 内の CNMNET を変更します。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。

NetView アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、NetView アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMCMENT

DSIPARM データ・セットの CNMCMENT メンバーには、サンプルの CMDDEF ステートメントが含まれています。このサンプルは変更しないでください。V5R4 バージョンを使用します。ご使用のシステム用にカスタマイズしたものは、CNMCMDU メンバーに追加してください。

CNMCMSYS

DSIPARM メンバーの CNMCMSYS には、サンプルの CMDDEF ステートメントが含まれています。

NetView Web サービス・サーバーを定義するには、以下のステートメントを追加します。

```
*-----*
* NetView SOA server *
*-----*
CMDDEF.DSISRV.R.MOD=DSISRV.R
CMDDEF.DSISRV.R.TYPE=R
CMDDEF.DSISAUT.R.MOD=DSISAUT.R
CMDDEF.DSISAUT.R.TYPE=R
CMDDEF.DSISAUT.R.ECHO=N
```

CNMEALUS

CNMEALUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、アラート情報にユーザー・データを追加し、そのアラート情報をイベント/自動化サービスのアラート・アダプターまたは確認済みアラート・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMEMSUS

CNMEMSUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージ情報にユーザー・データを追加し、そのメッセージ情報をイベント/自動化サービスのメッセージ・アダプターまたは確認済みメッセージ・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMSAF2

CNMSAMP データ・セットの CNMSAF2 メンバーには、NetView オペレーターとコマンドのサンプル RACF 定義が含まれています。

CNMSAF2 メンバーは大幅に変更されたため、V5R4 バージョンをベースとして使用し、V5R2 コピーに対して行ったインストール固有の変更内容をすべて上書きコピーします。

以下の自動タスクは削除されました。

- AUTOLNM1
- AUTOLNMA
- AUTONA
- AUTONF1
- AUTONFA

以下の自動タスクが追加されました。

表 36. 自動タスクの定義

機能	自動タスクの定義
コマンド改訂	ADDUSER MVSCMDS ALTUSER MVSCMDS NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
NetView for z/OS Enterprise Management Agent	ADDUSER AUTONALC ALTUSER AUTONALC NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER NATEP1 ALTUSER NATEP1 NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER NATEP2 ALTUSER NATEP2 NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER SYSADMIN ALTUSER SYSADMIN NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC1 ALTUSER AUTODC1 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC2 ALTUSER AUTODC2 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC3 ALTUSER AUTODC3 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTODC4 ALTUSER AUTODC4 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
DVIPA	ADDUSER DVIPAUTO ALTUSER DVIPAUTO NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER DVIPSTAT ALTUSER DVIPSTAT NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT1 ALTUSER AUTOCT1 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT2 ALTUSER AUTOCT2 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT3 ALTUSER AUTOCT3 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT4 ALTUSER AUTOCT4 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))

表 36. 自動タスクの定義 (続き)

機能	自動タスクの定義
ディスクバリエーション・マネージャー	ADDUSER AUTOCT5 ALTUSER AUTOCT5 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT6 ALTUSER AUTOCT6 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT7 ALTUSER AUTOCT7 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
TCP/IP	ADDUSER AUTOTCPC ALTUSER AUTOTCPC NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOPKTS ALTUSER AUTOPKTS NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOOPKT ALTUSER AUTOOPKT NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOTCPS ALTUSER AUTOTCPS NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
Web サービス・ゲートウェイ	ADDUSER AUTONVSP ALTUSER AUTONVSP NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
XCF サービス	ADDUSER AUTOXCF ALTUSER AUTOXCF NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOXDSC ALTUSER AUTOXDSC NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOEDAT ALTUSER AUTOEDAT NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))

CNMSCAT2

DSIPARM データ・セットの CNMSCAT2 メンバーには、サンプルのコマンド権限テーブルが含まれています。

CNMSCAT2 メンバーは大幅に変更されたため、V5R4 バージョンをベースとして使用し、V5R2 コピーに対して行ったインストール固有の変更内容をすべて上書きコピーします。

CNMPOLCY

DSIPARM メンバー CNMPOLCY には、NetView プログラムの自動化ポリシーが含まれています。

TCP390 ステートメントに関する注意:

1. (Web アプリケーションのみ) DVIPA データを表示するには、DVIPADAT キーワードを指定してください。
2. 多くの NetView コンポーネント (IPTRACE、NVSNNMP など) では、SNMP 照会を使用してデータを取得するため、正しいコミュニティ名を設定する必要があります。CNMPOLCY メンバー内で、管理対象の TCPIP スタックに対して定義されているのと同じコミュニティ名を使用するようにしてください。コミュニティ名について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理*」を参照してください。
3. IPSTAT キーワードは、TCP390 ステートメントから除去されました。

CNMPROC (CNMSJ009)

CNMPROC (CNMSJ009) は、NetView プログラム用の始動プロシージャーです。

PROCLIB 内の CNMPROC に以下の変更を行います。

1. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
3. デフォルトの領域サイズは、98304 K バイトに増大しました。NetView 製品に対して、既存のデフォルト領域サイズ (65536 K バイト) を使用している場合は、次のように領域サイズ値を増やしてください。

```
//          REG=98304,          ** REGION SIZE(IN K) FOR NETVIEW
```

実行するコンポーネントによっては、領域サイズをさらに増やす必要がある場合があります。詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS チューニング・ガイド*」を参照してください。

4. NetView プログラムで Language Environment (LE) HLL プログラムの実行を予定していて、LE ランタイム・ライブラリーを LNKLSTxx にインストールしていない場合、CNMPROC の STEPLIB のライブラリー名が正しいことと、コメントが外されていることを確認してください。
5. Web サービス・ゲートウェイ機能を使用する予定の場合、XML ツールキットおよび GSKit ライブラリーの DD ステートメントのコメントを外してください。

```

/*****
/*
/* IF YOUR ARE STARTING NETVIEW WEB SERVICES SERVER THEN
/* YOU WILL NEED ACCESS TO BOTH IBM XML AND GSK TOOL RUN TIME
/* LIBRARIES
/*
/* - IF YOU HAVE THESE LIBRARIES ON YOUR SYSTEM
/* BUT THEY ARE NOT ACCESSIBLE FROM THE PLPA OR LINKLST,
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT LINES BELOW.
/*
/* WHEN YOU UNCOMMENT EITHER OF THE LINES BELOW, MAKE SURE
/* THAT THE DSN ACTUALLY MATCHES THE NAME ON YOUR SYSTEM.
/* IN ADDITION, MAKE SURE THAT THE DATASET IS APF-AUTHORIZED.
/*          QIXM='IXM.V1R8M0', ** IBM XML TOOLKIT RUNTIME LIB.
/*          QGSK='SYS1',      ** IBM GSK TOOLKIT RUNTIME LIB.
/*          DD  DSN=&QGSK..SIEALNKE,DISP=SHR
/*          DD  DSN=&QIXM..SIXMLOD1,DISP=SHR
/*

```

6. 分散 DVIPA 統計を収集する予定の場合は、以下のデータ・セットを追加します。

```
//CNMDVIPP DD  DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPP,DISP=SHR
//CNMDVIPS DD  DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPS,DISP=SHR
```

CNMPSSI (CNMSJ010)

CNMPSSI (CNMSJ010) は、NetView サブシステム・アドレス・スペースを始動します。

PROCLIB 内の CNMPSSI に以下の変更を加えてください。

1. システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。

CNMSIHSА

CNMSIHSА 自動化テーブルのサンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージおよびアラート・データを次のようなさまざまなイベント/自動化サービス・アダプターに送信するために、メッセージおよびアラートを自動化する方法の例を示します。

- メッセージ・アダプター
- 確認済みメッセージ・アダプター
- アラート・アダプター
- 確認済みアラート・アダプター
- Alert-to-trap アダプター

CNMSTYLE

DSIPARM データ・セットの CNMSTYLE メンバーは、NetView の初期設定時に使用されます。変更は、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの CNMSTYLE ステートメントに対して行います。CNMSTYLE ステートメントの変更については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 概説*」を参照してください。CNMSTYLE メンバーは、NetView 初期化プロセスを簡素化するように設計されています。

CNMSTYLE メンバーは、DSIPARM データ・セットのメンバーにある一部の定義ステートメントと、CNME1034 コマンド・リストによって実行されるすべての初期化を置き換えます。

CNMSTYLE メンバーには、含まれているステートメントのタイプについての説明コメントが含まれています。そのコメントを読んで、デフォルト値を見直してください。

Tivoli NetView for z/OS ライブラリー内の資料にホストからアクセスするための URL とタイトルを定義する WEBSITE ステートメントが変更されました。CNMSTYLE サンプルを参照してください。

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。このため、MVScmdMgt タワーはコメント化されました。

以下の TOWER が追加されました。

- DISCOVERY - シスプレックス、z/OS システム、カップリング・ファシリティ、TCP/IP スタック、TCP/IP サブプレックス、および NetView アプリケーションのディスカバリーを使用可能にします
- IPMGT - IP 管理を使用可能にします
- NVSOA - Web サービス・ゲートウェイ機能を使用可能にします
- TEMA - NetView プログラムが Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent と通信できるようにします

NetView V5R2 からのマイグレーション

マルチシステム・マネージャー NetFinity (NTF) サブタワーおよび LAN ネットワーク・マネージャー (LNM) サブタワーは除去されました。

マルチシステム・マネージャーの IBM Tivoli Network Manager 機能に ITNM サブタワーが追加されました。

V5R4 マスター NetView プログラムの CNMSTYLE メンバー内にある ENT.SYSTEMS ステートメントで、APAR OA29938 に対する修正プログラムが適用されている NetView プログラムを定義します。ENT.SYSTEMS ステートメントの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス*」を参照してください。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent はサポートされなくなったため、以下の CNMSTYLE ステートメントは削除されました。

- function.autotask.NAOPER
- INIT.NACMD
- NACMD.AGENT
- NACMD.HOSTDEST
- NACMD.PORT
- NACMD.SRCNAME
- NACMD.TCPNAME

以下のデフォルトが変更されました。

表 37. CNMSTYLE ステートメント

デフォルト	前のデフォルト	現行のデフォルト
function.autotask.autoip	auto2	autoaon

CNMSTNXT

CNMSTNXT には、新規、変更、または削除されたステートメントが含まれています。ステートメントは、NetView 製品のバージョンとリリース・レベルに応じてグループ化されます。CNMSTNXT メンバーのステートメントを確認し、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーを必要に応じて更新してください。

必要な情報

CNMSTYLE ステートメント

参照先

IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス

DSIAUTB

DSIAUTB サンプルには、AUTBYPAS REXX 機能または CLIST 機能を使用するパーツがリストされています。このサンプルは変更しないでください。V5R4 バージョンを使用します。ご使用のシステム用にカスタマイズしたものは、DSIAUTBU メンバーに追加してください。

DSIOPF

NetView 製品で提供されている DSIOPF メンバーのバージョンを使用する場合、変更は必要ありません。V5R2 DSIOPF メンバーを変更していた場合は、行ったすべての変更内容を V5R4 バージョンにコピーします。

DSIOPF メンバーに対して、以下のステートメントが追加されました。

- AON タワーがアクティブでない場合の IPMAN 機能用オペレーター定義の条件付きインクルードです。

```
%>IF TOWER('IPMGT') & ~TOWER('AON') THEN
%INCLUDE FKXOPFIP
```

さらに、以下のオペレーター定義が追加されました。

表 38. DSIOPF に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent 自動タスク	AUTONALC	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTONALC DSIPROFC
	AUTODC1	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTODC1 DSIPROFN
	AUTODC2	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTODC2 DSIPROFN
	AUTODC3	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTODC3 DSIPROFN
	AUTODC4	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTODC4 DSIPROFN
分散 DVIPA 統計の自動タスク	DVIPSTAT	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=DVIPSTAT DSIPROFC
DVIPA イベントとデータの転送の自動タスク	DVIPAUTO	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=DVIPAUTO DSIPROFC
コマンド改訂に対する NETVONLY アクションを管理する自動タスク	MVSCMDS	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=MVSCMDSL DSIPROFC
DVIPA の定義と状況の自動タスク	AUTOCT1	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT1 DSIPROFN
DVIPA シスプレックス・ディストリビューター、分散ターゲット、およびサーバー正常性の自動タスク	AUTOCT2	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT2 DSIPROFN
DVIPA 接続の自動タスク	AUTOCT3	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT3 DSIPROFN
VIPA 経路および分散 DVIPA 接続経路指定の自動タスク	AUTOCT4	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT4 DSIPROFN
OSA チャンネルとポートの自動タスク	AUTOCT5	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT5 DSIPROFN
Telnet サーバーと Telnet サーバー・ポートの自動タスク	AUTOCT6	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT6 DSIPROFN
NetView アプリケーションの自動タスク	AUTOCT7	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOCT7 DSIPROFN
IP 管理サービス (AUTIPMGT) の自動タスク	AUTIPMGT	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTIPMGT DSIPROFC

表 38. DSIOPF に追加されたオペレーター定義 (続き)

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
XCF サービスの自動タスク	AUTOXCF	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOXCF DSIPROFC
	AUTOXDSC	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOXDSC DSIPROFC
	AUTOEDAT	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOEDAT DSIPROFC
Communications Server への NMI ソケットを開くための自動タスク (注 1 参照)	AUTOTCPC	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOTCPC DSIPROFG
	AUTOPKTS	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOPKTS DSIPROFG
	AUTOOPKT	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOOPKT DSIPROFG
	AUTOTCPS	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOTCPS DSIPROFG
SMF 30 レコードを受信するための自動タスク	AUTOSMF3	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTOSMF3 DSIPROFC
NetView Web サービス・ゲートウェイの自動タスク	AUTONVSP	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTONVSP DSIPROFC
注:			
1. CNMSTYLE メンバー内で function.autotask.TCPCONN.stckname ステートメントまたは function.autotask.PKTS.stckname ステートメントに対してオペレーターをすでに定義済みの場合は、AOTOTCPC オペレーターまたは AUTOPKTS オペレーターを追加する必要がない場合があります。			

DSIOPFU

V5R2 DSIOPFU メンバーに定義したすべてのオペレーター定義を、V5R4 バージョンにコピーしてください。

オペレーター定義を条件に応じて DSIOPFU に定義するために、データ REXX ロジックを追加できます。データ REXX ファイル内の最初のステートメントは、`/*%DATA*/` か `/*%LOGIC*/` でなければなりません。コメントは同一行か、後続行に続けて指定することができます。最初の列のブランクは、直前のステートメントの継続を示します。データ REXX について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

FKXOPFIP

FKXOPFIP メンバーは、IPMGT タワーが使用可能にされたときに使用されます。このメンバーは、AON コンポーネントが使用可能な場合は使用されません。このため、オペレーター定義は、EZLOPF メンバーおよび FKXOPF メンバー内の定義と重複します。

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 39. FKXOPFIP に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
IP 管理サービスの自動タスク	AUTIPMx	OPERATOR PROFILE	PASSWORD=AUTIPMx EZLPRFAO

DSITBL01

DSITBL01 メンバーには、サンプルの自動化テーブル定義が含まれています。自動化を開始するための %INCLUDE ステートメントの一部とそれに関連付けられているステートメントは、CNMSTYLE メンバーのエントリーに置き換えられました。DSITBL01 メンバーを変更した場合は、変更内容を V5R4 DSITBL01 メンバーとマージしてください。変更を行った後、NetView 自動化テーブルを番号付けし直してください。NetView 自動化テーブルがメッセージを処理し、一致を見つけて、コマンドまたはコマンド・リストを実行する結果になると、NetView ログ・ファイルに CNM493I メッセージが書き込まれます。CNM493I メッセージには、一致した自動化テーブル・エントリーの行番号が含まれます。

NetView 製品で提供されるいくつかのメッセージは、V5R4 プログラムで変更されます。これらのメッセージは付録にリストしてあります。そのリストを検討し、ご使用の自動化テーブルに必要な変更を加えてください。

基本自動化テーブル名が DSITBL01 でない場合は、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーを更新して、ご使用の自動化テーブルの AUTOCMD ステートメントを含めてください。AUTOCMD ステートメントについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス*」を参照してください。

AON タワーの下に IDS サブタワーが存在するかどうかを確認する、自動化テーブル内の IDS 条件ステートメントを、AON タワーまたは IPMGT タワーの下に IDS サブタワーが存在するかどうかを確認するように変更します。DSITBL01 メンバー内の条件ステートメントの変更方法の例については、表 40 を参照してください。

表 40. DSITBL01 条件ステートメント

<p>既存の条件ステートメント:</p> <pre>%>IF TOWER('AON.TCP.IDS') THEN</pre>
<p>更新後の条件ステートメント:</p> <pre>%>IF TOWER('AON.TCP.IDS') TOWER('IPMGT.IDS') THEN</pre>

メッセージ自動化は、いくつかのディスカバリー・マネージャー・リソースが開始および停止するときに情報を更新するために使用されます。これらのイベントに対する CNMSEPTL 自動化サンプル・メンバーを追加してください。CNMSEPTL メンバーは、DISCOVERY タワーが使用可能にされるときに含められます。

```
* Load local resource discovery table
%>IF tower('DISCOVERY') THEN
%INCLUDE CNMSEPTL
```

DVIPA 自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
* Include the following DVIPA samples:
* CNMSDVDS - Automation for forwarding information to the master NetView
* CNMSDVTP - Samples for automating z/OS Communications Server SNMP
*           DVIPA traps
* CNMSDVCG - Samples for automating z/OS Communications Server DVIPA
*           configuration updates
* CNMSSMON - Samples for automating z/OS Communications Server
*           sysplex autonomies messages
%>IF tower('DVIPA') THEN
%>do;
```

NetView V5R2 からのマイグレーション

```
|
|           %INCLUDE CNMSDVDS
|           %INCLUDE CNMSDVTP
|           %INCLUDE CNMSDVCG
|           %INCLUDE CNMSSMON
|
|>end;
```

XCF シスプレックス・サポート用には、以下のステートメントを追加します。

```
** Load statements that relate to the z/OS sysplex master function.
%INCLUDE CNMSXCFA
```

CNMSMF3E サンプルを使用する SMF タイプ 30 レコードの自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** SMF 30 RECORD AUTOMATION *****
IF MSGID = 'BNH874I' THEN
    EXEC(CMD('CNMSMF3A')) NETLOG(Y) SYSLOG(N);
```

SMF タイプ 30 レコードの自動化について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

DSIZVLSR

DSIZVLSR モジュールは、VSAM LSR パフォーマンス・オプションおよび DSR パフォーマンス・オプションで使用されるバッファ・プールを定義します。CNMSJM01 サンプル・ジョブを使用して、DSIZVLSR モジュールを更新してください。V5R4 で配布された DSIZVLSR モジュールを使用してください。前に CNMSJM01 ジョブを更新した場合は、その変更内容を CNMSJM01 ジョブの V5R4 バージョンにマージしてからこのジョブを実行し、変更内容をアセンブルして DSIZVLSR モジュールにリンク・エディットしてください。

DSIZVLSR モジュールに対して以下の変更が行われました。

- DSITCONT VSAM クラスターの DATA バッファ・プール内のバッファ・サイズが、22528 バイトから 26624 バイトに変更されました。

DSIW3PRF

このサンプルには、TCP/IP セッションのプロパティが含まれています。

このサンプルは、DSIPRF データ・セットから DSIPARM データ・セットに移動されました。

RODM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、RODM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

EKGLOADP

EKGLOADP メンバーには、サンプルの RODM 読み込みプロシージャ JCL が含まれています。

EKGLOADP に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。

EKGSJ101

EKGSJ101 メンバーは、RODM ログおよびチェックポイント・データベースを割り振るために使用されます。このサンプルは、CNMSJ004 サンプル・ジョブにより使用されます。

RODM によってサポートされる最大数に満たない数のウィンドウに対して RODM チェックポイント・データ・セットを割り振っており、RODM データ・キャッシュに保管を予想しているオブジェクトの推定数が以前の最大サポート数 (約 524,000 オブジェクト) を超えている場合は、RODM チェックポイント・データベースのサイズを増加することを検討してください。

EKGXRODM

EKGXRODM メンバーには、RODM 開始プロシージャーが含まれています。

EKGXRODM メンバーに以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
3. LNKLSTxx または PROGxx で、Language Environment for OS/390 ランタイム・ライブラリーをインストールしていない場合は、EKGXRODM の STEPLIB のライブラリー名が正しいこと、およびアンコメントされていることを確認します。PL/I または C/C++ のランタイム・ライブラリーは使用されなくなったため、これらのライブラリー用の DD ステートメントを除去してください。

GMFHS アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、GMFHS アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMGMFHS (CNMSJH10)

CNMGMFHS (CNMSJH10) は GMFHS 始動プロシージャーです。

CNMGMFHS に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。

CNMSJH12

CNMSJH12 は、サンプル GMFHS/SNA トポロジー・マネージャーのデータ・モデル・ロード・ジョブです。

CNMSJH12 ジョブが JES3 環境でエラーなしで確実に完了するように、REGION=0M 指定が追加されました。REGION=0M 指定は、JES 定義、および IEFUSI インストール・システム出口と IEALIMIT インストール・システム出口の影響を受けることがあります。

イベント/自動化サービス・アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点を示します。

IHSAEVNT

IHSAEVNT は、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースを開始します。PROCLIB 内の IHSAEVNT に以下の変更を加えてください。

1. 以下のコメントを追加します。

```

/* 4. There are additional keywords and values which may be
/* specified in the PARM string, which a) are not in the
/* style of a UNIX System Services shell command parameter and
/* b) do not have procedure keyword definitions in this sample
/* procedure. They are described as follows.
/*
/* CMSGCFG=value
/*
/* CMSGCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/* containing configuration parameters for the confirmed
/* message adapter task, MESSAGEC. If the value is provided,
/* it must be a valid partitioned data set member name.
/* If the keyword is omitted or is given no value, the
/* default value is IHSANCFG.
/*
/* CALRTCFG=value
/*
/* CALRTCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/* containing configuration parameters for the confirmed
/* alert adapter task, ALERTC. If the value is provided,
/* it must be a valid partitioned data set member name.
/* If the keyword is omitted or is given no value, the
/* default value is IHSABCFG.
/*

```

2. SCNMUXLK データ・セットは、CNMLINK データ・セットで置き換えられました。STEPLIB DD ステートメントの変更方法の例については、表 41 を参照してください。

表 41. STEPLIB DD ステートメント

既存のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R2M0.SCNMUXLK,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK,DISP=SHR

3. IHSMMSG1 DD ステートメントに指定されていた SCNMUXMS データ・セットは、SDUIMSG1 データ・セットで置き換えられました。IHSMMSG1 DD ステートメントの変更方法の例については、表 42 を参照してください。

表 42. IHSMMSG1 DD ステートメント

既存のステートメント:
//IHSMMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R2M0.SCNMUXMS,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//IHSMMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.SDUIMSG1,DISP=SHR

4. 次の出力データ・セットを追加します。

```

/*  EAS OUTPUT DATASETS
//IHSN  DD SYSOUT=A
//IHSB  DD SYSOUT=A
:
//IHSNS  DD SYSOUT=A
//IHSBS  DD SYSOUT=A
:
//IHSNSTD DD SYSOUT=A
//IHSBSTD DD SYSOUT=A

```

IHSAINIT

IHSAINIT サンプルは、イベント/自動化サービスの初期化ファイルです。確認済みアラート・アダプターおよび確認済みメッセージ・アダプターをサポートするために、このサンプルに情報が追加されました。確認済みアラート・アダプター・サービスおよび確認済みメッセージ・アダプター・サービスがイベント/自動化サービスによって自動的に開始されるのを防ぐための、NOSTART ステートメントが含まれました。

```

# The following keywords are supported:
#  MSGCFG - Specifies the confirmed message adapter configuration file
#  CALRTCFG - Specifies the confirmed alert adapter configuration file
#
# The syntax for each keyword follows:
#  MSGCFG=confirm_message_config_file
#  CALRTCFG=confirm_alert_config_file
#  TRACE TASK=task_designator LEVEL=trace_level IP=on_or_off
#
#  confirm_message_config_file - Specifies the name of the confirmed message
#                                adapter configuration file. If not prefaced with the
#                                escape character (\), this is the name of a member of
#                                the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#                                name. If E/AS is an MVS started task, the default
#                                value of this keyword is IHSANCFG. If E/AS is started
#                                in a UNIX System Services shell, the default value is
#                                /etc/netview/confirm_message_adpt.conf.
#
#  confirm_alert_config_file - Specifies the name of the confirmed alert
#                               adapter configuration file. If not prefaced with the
#                               escape character (\), this is the name of a member of
#                               the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#                               name. If E/AS is an MVS started task, the default
#                               value of this keyword is IHSABCFG. If E/AS is started
#                               in a UNIX System Services shell, the default value is
#                               /etc/netview/confirm_alert_adpt.conf.
#
#  output_destination - specifies the location where the trace and error
#                        messages will be logged. The values are:
#
#  SYSOUT - Specifies a system output file. When started by an MVS startup
#            procedure, the primary and secondary files for each task are:
#
#                IHSN and IHSNS for the MESSAGEC task
#                IHSB and IHSBS for the ALERTC task
#
#            When started under UNIX System Services, the default primary and
#            secondary file names for each task are:
#
#                cmessagep.err and cmessages.err for the MESSAGEC task
#                calertp.err and calerts.err for the ALERTC task
#
#  task_designator - is one of the following:
#  MESSAGEC - Specifies the confirmed message adapter task
#  ALERTC   - Specifies the confirmed alert adapter task
#
#  Note : CONTROL is not valid on the NOSTART statement. ALL does not

```

```
#           include CONTROL for the NOSTART statement
#
#   on_or_off - is one of the following:
#       ON      - Specifies that data sent or received using TCP/IP
#                will be traced.  Additional information for the
#                z/OS UNIX C/C++ socket functions used may appear.
#       OFF     - Specifies that no tracing of data or socket
#                functions will be done.  This is the default.
#
# Confirmed Message Adapter Configuration File
#CMSGCFG=IHSANCFG
#CMSGCFG=\etc/netview/confirm_message_adpt.conf
#
# Confirmed Alert Adapter Configuration File
#CALRTCFG=IHSABCFG
#CALRTCFG=\etc/netview/confirm_alert_adpt.conf
#
# Tasks not started at initialization (example)
NOSTART TASK=MESSAGEC
NOSTART TASK=ALERTC
#
# Confirmed Message Adapter Task
#TRACE TASK=MESSAGEC LEVEL=OFF
#
# Confirmed Alert Adapter Task
#TRACE TASK=ALERTC LEVEL=OFF
```

その他の考慮事項

以下の機能に対する変更を考慮してください。

- 『UNIX システム・サービス』
- 129 ページの『Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents』
- 131 ページの『NetView Web アプリケーション』
- 131 ページの『IPv6 サポート』
- 131 ページの『MVS コマンド管理』
- 132 ページの『パスワード・フレーズのサポート』
- 133 ページの『1 バイト・コンソール ID』

UNIX システム・サービス

このセクションでは、NetView V5R2 から NetView V5R4 で変更された、ディレクトリー、構成ファイル、および機能を説明します。また、21 ページの『UNIX システム・サービスの準備』のセクションも検討してください。

NetView MIB コレクションは、`/usr/lpp/netview/v5r2/mibs/` ディレクトリーから `/usr/lpp/netview/v5r4/mibs/` ディレクトリーに移動されました。CNMSTYLE メンバー内の MIBPATH ステートメントが V5R4 mib ディレクトリーをポイントしていることを確認してください。

Web サービス・ゲートウェイ機能によって使用される Web リソース・ファイルは、次のディレクトリーにあります。

```
/usr/lpp/netview/v5r4/www/
```

ご使用の環境に合わせてファイルを更新するには、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。WSDL ファイル

は、プロキシとクライアント間の接続を自動的に生成します。

表 43. Web サービス・ゲートウェイ・ファイル

ファイル名	目的	変更内容
znvsoatx.htm	テキスト・ベースの Web サービス・クライアント。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降または Mozilla 2.0.014 以降を使用すると機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、 <OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。
znvsoa.htm	Web サービス・クライアントのグラフィック版。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降を使用した場合にのみ機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、 <OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。
znvwSDL.wSDL	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwSDL1.wSDL	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwSDL2.wSDL	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents

以下のバージョンの NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent は、サポートされなくなりました。

- NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0
- NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent バージョン 5.2.5

既存のエージェントから Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent バージョン 5.4 に移行するためのマイグレーション・パスはありません。新規エージェントをインストールするには、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成」を参照してください。

マイグレーションに関する考慮事項:

1. 自動化で、または作成した EXEC で AGENT キーワードをコーディングしていた場合は、除去してください。このキーワードは、無効になりました。
2. IBM Tivoli Monitoring の既存のインストール済み環境をアップグレードする方法については、「IBM Tivoli Monitoring インストールおよび設定ガイド」および「IBM Tivoli OMEGAMON XE and Tivoli Management Services on z/OS Upgrade Guide」を参照してください。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン

5.2.0 の除去

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0 は、OMEGAMON バージョン 3.6.0 環境で稼働します。Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent 5.4 データ・ファイルを OMEGAMON バージョン 3.6.0 環境にインストールしないでください。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0 を除去するには、ご使用のインストール・システムに応じて、以下の手順を実行します。

Windows システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. 「コントロール パネル」で、「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent」を選択します。
4. 「Modify, Repair, or Remove the Program」ウィンドウで、「Remove」を選択します。

UNIX システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. \$CANDLEHOME/bin ディレクトリーで、次のシェル・スクリプトを発行します。

```
/uninstall.sh
```
3. アンインストールする製品の選択のプロンプトが出されます。「NetView for z/OS Agent」を選択します。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent バージョン 5.2.5 の除去

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent は、バージョン 6.1 の Tivoli Management Services コンポーネントとともに稼働します。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent を除去するには、ご使用のインストール・システムに応じて、以下の手順を実行します。

Windows システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. 「コントロール パネル」で、「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「IBM NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent」を選択します。
4. 「Modify, Repair, or Remove the Program」ウィンドウで、「Remove」を選択します。

UNIX または Linux システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. <install-dir>/bin ディレクトリーで、次のシェル・スクリプトを発行します。
/uninstall.sh
3. アンインストールする製品の選択のプロンプトが出されます。「**NetView for z/OS V5R2 Agent**」を選択します。

NetView Web アプリケーション

NetView Web アプリケーションの現行バージョンをアンインストールし、NetView Web アプリケーションの V5R4 バージョンを再インストールします。詳しくは、*netview_installation_dir/doc/znetview_webapp_readme_en.htm* ファイルと「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」マニュアルを参照してください。

IPv6 サポート

デフォルトでは、NetView プログラムは IPv4 と IPv6 の両アドレッシングをサポートします。ただし、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバー内の IPv6Env 環境ステートメントを使用して、NetView プログラムを 1 つのアドレッシング・ファミリーに限定することができます。IPv6Env ステートメントの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* アドミニストレーション・リファレンス」を参照してください。詳しくは、259 ページの『付録 G. IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの間の違い』も参照してください。

MVS コマンド管理

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。

マイグレーション上の注意:

1. ご使用のシステムの MVS コマンド改訂機能へのマイグレーションが終了するまでは、MVS コマンド管理機能を引き続き使用できます。2 つの機能は共存可能です。2 つの機能を同じコマンドで同時に動作させないことを確保してください。これを行う 1 つの方法は、MVS コマンド改訂機能をテスト・モードで活性化することです。
2. MVS コマンド改訂機能のインストール手順については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。
3. 現在の MVS コマンド管理アクションを確認し、コマンド改訂テーブルを作成します。この実行方法について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* オートメーション・ガイド」を参照してください。
4. コマンド改訂テーブルおよびメッセージ改訂テーブルでは、上位の UPON ステートメントを使用して、その他すべてのステートメントをグループ化できます。コマンド改訂ステートメントおよびメッセージ改訂ステートメントは、同じメンバー内に配置できます。

メッセージ改訂テーブルの UPON(ALWAYS) アクションは、UPON(OTHERMSG) アクションで置き換えられます。メッセージ改訂テーブル内にあるすべての

UPON(ALWAYS) アクションを、UPON(OTHERMSG) アクションに変更してください。
UPON(ALWAYS) アクションはマイグレーションのためにサポートされていますが、コマンドおよびメッセージのアクションが同じソース・メンバー内に存在してもかまわないため、混乱が生じる可能性があります。

5. SSI.ReviseTable CNMSTYLE ステートメントの参照先のメンバーが変更されないかぎり、このステートメントのアクションは変わりません。コマンド改訂に関連した新規の UPON ステートメントが CNMSTYLE メンバー内またはその組み込みメンバー内にある場合は、コマンド改訂テーブルが作成されます。
6. (オプション) REVISMSG コマンドは、REVISE MSG コマンドで置き換えられます。REVISMSG コマンドを発行するすべての箇所で、REVISE MSG コマンドへの変更を検討してください。構文情報については、オンライン・ヘルプまたは「*IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 1 (A-N)*」を参照してください。

定義されている verb が REVISMSG である場合、REVISE コマンドではデフォルトで MSG 処理が実行されるため、この手順はオプションです。REVISMSG コマンド引数は、REVISE コマンドによりサポートされています。

7. すべての MVS コマンド管理アクションが、コマンド改訂テーブルを使用して十分に実装されていることがレポートまたはテストで示されたら、MVS コマンド管理機能を使用不可にします。これには、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーから MVScmdMgt タワーを削除することも含まれます。

パスワード・フレーズのサポート

NetView プログラムは、パスワード・フレーズによる許可をサポートします。RACF などの SAF 製品を使用するすべての NetView 機能について、パスワードの代わりにパスワード・フレーズをセキュリティ検査のために使用できます。パスワードを受け付けるすべてのパネルは、パスワード・フレーズを受け付けるように更新されました。パスワード・フレーズは、9 文字から 100 文字までの長さの句にすることができます。

RACF 製品では、パスワード・フレーズに任意の有効な EBCDIC 文字を使用できます。z/OS 以外のシステムからアクセスされるユーザー ID にパスワード・フレーズを設定する場合は、そのシステムのパスワードを ASCII テキストとして入力します。必ずしもすべての EBCDIC 文字に ASCII に等価な文字があるわけではないため、EBCDIC パスワード・フレーズは、ASCII に等価な文字がある文字に制限してください。

パスワード・フレーズは、以下の環境ではサポートされていません。

- DSIOPF メンバーを使用するパスワード検査
- DSIEX12 インストール・システム出口を使用するログオン妥当性検査
- Tivoli Enterprise Portal のログイン。この制限のため、パスワード・フレーズを RACF 検査のために Tivoli Enterprise Monitoring Server に渡すことはできません。
- NetView 間タスク (NNT) を使用する機能

1 バイト・コンソール ID

z/OS V1R8 では、1 バイト・コンソール ID のサポートが除外されました。このため、NetView プログラムでは、NetView プログラムに対してコンソールを定義するときの、1 バイト・コンソール ID の使用はサポートされなくなりました。コンソール ID を使用する代わりに、2 文字から 8 文字までのコンソール名を使用してください。例えば、GETCONID、SETCONID、AUTOTASK の各コマンド、および CNMSTYLE メンバーの AUTOTASK.task.CONSOLE ステートメントで特定のコンソールを参照するときに、コンソール名を使用します。

第 6 章 Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 からのマイグレーション

この章では、NetView プログラムを Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 からマイグレーションする場合に、NetView プログラムをマイグレーションして実動システムとして実行する方法について説明します。この章で説明するマイグレーション情報は、V5R3 の初期リリースで提供されている NetView コンポーネントに基づいています。ご使用のシステムのメンテナンス情報を確認して、この章に説明されているいくつかの変更を既に行っているかどうかを確認してください。

V5R4 の内容を V5R3 NetView 定義に追加することも、V5R3 のカスタマイズを NetView プログラムで提供されるデフォルトの V5R4 メンバーに追加することもできます。いずれの場合も、NETVIEW.V5R4USER.CNM01.DSIPARM などの、適切なユーザー割り振りデータ・セットに、カスタマイズされたメンバーを配置します。NETVIEW.V5R4M0.DSIPARM など、SMP/E 管理のデータ・セットのメンバーはカスタマイズしないでください。

NetView 定義メンバーをマイグレーションする際に、使用方法に影響を及ぼす可能性のある要因が幾つかあります。ネットワークのサイズや複雑さ、従う必要のあるセキュリティ・ポリシー、および業務の中で確立された慣習などのすべての要因が、お客様のマイグレーションに最適の方法は何かということに影響を与える可能性があります。この後のチェックリストに、本書で概説し、NetView ライブラリー内のその他の各文書で説明されているマイグレーション方法の資料の詳細を示します。ご自分に最適のマイグレーション方法を選択してください。

V5R3 定義をマイグレーションするには、以下のステップを実行します。

1. サンプル・ジョブ CNMSJ002 を実行して、V5R4 ユーザー・データ・セットの新規セットを割り振ります。23 ページの表 13 の手順を完了している場合、これはすでに行われています。
2. NetView ドメインごとに、固有の &NV2I 値 (xx) を定義します。
3. CNMSTYLE メンバーのカスタマイズされた V5R3 コピーを確認します。V5R3 CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものをすべて CxxSTGEN メンバーに移動し、V5R3 CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものをすべて CNMSTUSR メンバーに移動します。V5R3 CNMSTYLE メンバーを V5R4 ユーザー DSIPARM データ・セットにコピーしないでください。
4. この章の CNMSTYLE 情報と、NetView プログラムに含まれている V5R4 CNMSTNXT メンバーを確認します。CNMSTYLE ステートメントをドメイン固有にカスタマイズしたものを CxxSTGEN メンバーに配置し、CNMSTYLE ステートメントをシステム全体にわたってカスタマイズしたものを CNMSTUSR メンバーに配置します。V5R4 デフォルトの CNMSTYLE メンバーは変更しないでください。

5. 本章の残りの情報を確認し、変更されたメンバーだけを V5R4 ユーザー・データ・セットに配置して、該当する V5R3 NetView 定義メンバーと JCL プロシージャをマイグレーションします。

図 5 は、NetView V5R4 初期化フローを示しています。DSIPARM メンバーに変更を行うときには、この新しい初期化フローを覚えておいてください。

NetView 初期化フロー

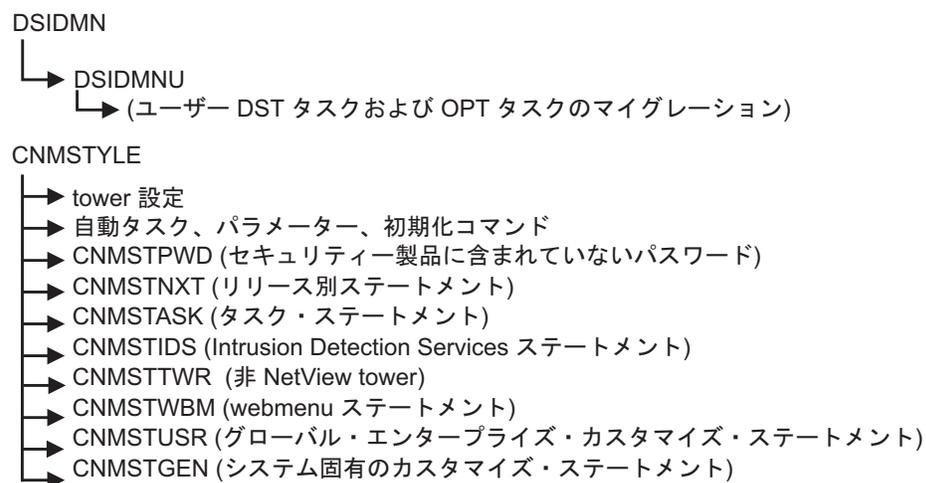


図 5. NetView V5R4 初期化フロー

この章を読み終えた後は、163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』に進んでください。

必要な情報

参照先

パネル、コマンド、メッセージ、およびサンプルなどの変更

223 ページの『付録 C. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 への変更』

新規サンプル

表 44 に、マイグレーション時に見直す新規のサンプルを示します。

表 44. 新規サンプルのリスト

配布形態	名前	説明	データ・セット名	
	CNMIPMGT	同様	NetView IP 管理用の自動化ポリシー	DSIPARM
	CNMSALRT	同様	SNMP トラップ・データをアラートに変換し、そのアラートを NetView アラート受信側に送信します。	CNMSAMP
	CNMSCRT1	同様	コマンド改訂テーブル	DSIPARM
	CNMSDCA	同様	COLLCTL コマンドにより管理されるデータ収集自動タスクの制御に役立つ自動化ステートメントを提供します。	CNMSAMP

表 44. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSDDCR	同様	分散 DVIPA 接続ルーティング情報を表示します。 DVIPDDCR コマンド出力 (BNH815I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVCG	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる z/OS Communications Server VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル更新の自動化テーブル・メンバー。変更された VIPADYNAMIC TCP/IP プロファイル・ステートメントにより、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSDVDS	同様	マスター NetView プログラムでの DVIPA データ・ディスカバリー (再ディスカバリーを含む) および分散 DVIPA 統計に使用される自動化テーブル・メンバー。これにより、DSIIF003I (DVIPA 再ディスカバリー)、DSIIF004I (DVIPA データ転送)、DSIIF006I (DVIPA データ要求)、および BNH867I (分散 DVIPA 統計レコード) の各メッセージが処理されます。	CNMSAMP
CNMSDVPH	同様	分散 DVIPA サーバーの正常性情報を表示します。 DVIPHLTH コマンド出力 (BNH814I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSDVST	同様	分散 DVIPA 統計データ・セットのデータを表示します。	CNMSAMP
CNMSDVTP	同様	DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれる DVIPA SNMP トラップ自動化の自動化テーブル・メンバー。この自動化により、z/OS Communications Server DVIPA トラップが受信されたことが検出され、その結果、この z/OS システムでの DVIPA 機能の再ディスカバリーがトリガーされます。	CNMSAMP
CNMSHIPR	同様	HiperSockets の構成情報および状況情報を表示します。 HIPERSOC コマンド出力 (BNH598I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSIFST	同様	IP インターフェースを表示します。 IFSTAT コマンド出力 (BNH498I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP

表 44. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSMF3A	同様	BNH874I メッセージの発行時に自動化テーブルによって呼び出されるサンプル・コマンド・リスト。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されません。	CNMSAMP
CNMSMF3E	同様	自動化のために、タイプ 30 の SMF レコードを処理し、プログラム間インターフェース (PPI) を介して NetView プログラムに送信する IEFACRTR SMF 出口のサンプル。	CNMSAMP
CNMSMF3F	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定するサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMF3R	同様	BNH874I メッセージのフォーマットを設定する PPI 受信側のサンプル。このサンプルは、SMF レコード・タイプ 30 の自動化のために使用されます。	CNMSAMP
CNMSMSIP	同様	CP-MSU を IP を介して送信します。	CNMSAMP
CNMSNVST	同様	NetView アプリケーション情報を表示しません。NVSTAT コマンド出力 (BNH495I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSOSAP	同様	OSA チャネルおよびポートの情報を表示します。OSAPORT コマンド出力 (BNH597I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSRVAR	同様	このサンプルは、NetView SSI に存在し、SETRVAR コマンドを使用して読み込まれるか照会される改訂変数テーブルの操作方法を示します。	CNMSAMP
CNMSRVMC	同様	このサンプルは、コマンド改訂テーブルで使用される NETVONLY アクション・コマンドの例を提供します。	DSIPARM
CNMSSMON	同様	このサンプルは、z/OS Communications Server のシスプレックス・モニタリング・メッセージの自動化を提供し、DVIPA タワーを使用可能にすると組み込まれます。	CNMSAMP
CNMSTNST	同様	このサンプルは、Telnet サーバーに関する構成情報および状況情報を表示します。TELNSTAT コマンド出力 (BNH496I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP

表 44. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
CNMSTPST	同様	このサンプルは、Telnet サーバー・ポートに関する構成情報および状況情報を表示します。TNPTSTAT コマンド出力 (BNH497I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSVPRT	同様	VIPA 経路に関する状況情報を表示します。VIPAROUT コマンド出力 (BNH824I メッセージ) を読み取り可能なフォーマットに設定します。	CNMSAMP
CNMSXCFA	同様	XCF シスプレックス・サポートの自動化サンプル	DSIPARM
EKG51100	同じ	PL/I サンプル - 関数 (パスワード・フレーズと接続)	CNMSAMP
		EKG_ConnectLong	
EKG61100	同じ	C サンプル - 関数 (パスワード・フレーズと接続)	CNMSAMP
		EKG_ConnectLong	
FKXIPMTB	同様	NetView IP 管理自動化の構成データ	DSIPARM
FKXOPFIP	同様	NetView IP 管理自動化のオペレーター定義	DSIPARM
FLCSITNM	同じ	FLCSITNM サンプルには、マルチシステム・マネージャー IBM Tivoli Network Manager エージェント用の GETTOPO 初期化ステートメントが含まれています。このステートメントは、マルチシステム・マネージャー初期化ファイルのサンプル (FLCAINP) に組み込まれています。	DSIPARM
FLCSPAUT	同じ	FLCSPAUT サンプルには、FLCAPAUT コマンド・リストの REXX ソース・コードが含まれています。このコマンド・リストは、IBM Tivoli Network Manager によって生成されたアラートを処理するために、NetView 自動化テーブルから呼び出されます。	CNMSAMP
IHSABCDS		IHSABCDS サンプルには、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのクラス定義ステートメントのサンプルが含まれています。	SCNMUXCL
IHSABCFG		IHSABCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みアラート・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL
IHSANCFG		IHSANCFG サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターのサンプル構成ファイルです。	SCNMUXCL

表 44. 新規サンプルのリスト (続き)

配布形態	名前	説明	データ・セット名
IHSANFMT		IHSANFMT サンプルは、イベント/自動化サービス確認済みメッセージ・アダプターの書式仕様ステートメントのサンプルを提供します。	SCNMUXCL

VTAM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、VTAM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

A01APPLS (CNMS0013)

このメンバーには、NetView プログラム用にコーディングされたアプリケーション (APPL) メジャー・ノードが含まれています。

VTAMLST データ・セットを再割り振りおよび再コピーしなかった場合、次の変更を A01APPLS に加えてください。

- SYS1.PARMLIB メンバー IEASYM_{xx} にドメイン ID (システム変数 &CNMDOMN) を設定するか、A01APPLS (CNMS0013) 内の &CNMDOMN のすべての オカレンスを現行のドメイン ID に変更してください。
- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、複数の並行 NetView オペレーターのタスクを定義する APPL ステートメントを、ワイルドカード文字 (??) を使用して 1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
&CNMDOMN.0?? APPL AUTH=(NVPACE,SPO,ACQ,PASS),PRTCT=&CNMDOMN., X
EAS=4,MODETAB=AMODETAB,DLOGMOD=DSILGMOD
```

- ステータス・モニター・プリプロセッサを使用していない場合は、TAF APPL ステートメントを、LU 名に続くワイルドカード文字 (??) を使用して、1 つの APPL ステートメントに置換することができます。例えば、次のようになります。

```
TAF010?? APPL MODETAB=AMODETAB,EAS=9, X
DLOGMOD=M3767
```

他のアプリケーション (TAF など) での使用のために定義する APPL 名は、端末ログオン APPL と同じ命名方式で定義してはなりません (例えば、3 文字の接尾部のあるドメイン名)。同じ命名方式を使用すると、これらのアプリケーション名が NetView プログラムにより端末ログオンのために使用される可能性があり、その場合には、アプリケーション名が、定義された目的に使用できなくなります。

CNMNET (CNMSJ008)

CNMNET (CNMSJ008) は、VTAM プログラムの開始プロシーチャーです。

次のようにして、PROCLIB 内の CNMNET を変更します。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。

- NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。

NetView アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、NetView アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMCMSYS

DSIPARM メンバーの CNMCMSYS には、サンプルの CMDDEF ステートメントが含まれています。

NetView Web サービス・サーバーを定義するには、以下のステートメントを追加します。

```

-----*
* NetView Web Services Server *
-----*
CMDDEF.DSISRV.R.MOD=DSISRV.R
CMDDEF.DSISRV.R.TYPE=R
CMDDEF.DSISAUT.R.MOD=DSISAUT.R
CMDDEF.DSISAUT.R.TYPE=R
CMDDEF.DSISAUT.R.ECHO=N

```

CNMCMENT

DSIPARM データ・セットの CNMCMENT メンバーには、サンプルの CMDDEF ステートメントが含まれています。このサンプルは変更しないでください。V5R4 バージョンを使用します。ご使用のシステム用にカスタマイズしたものは、CNMCMDDU メンバーに追加してください。

CNMEALUS

CNMEALUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、アラート情報にユーザー・データを追加し、そのアラート情報をイベント/自動化サービスのアラート・アダプターまたは確認済みアラート・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMEMSUS

CNMEMSUS REXX EXEC サンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージ情報にユーザー・データを追加し、そのメッセージ情報をイベント/自動化サービスのメッセージ・アダプターまたは確認済みメッセージ・アダプターに渡す方法の例を示します。

CNMIPMGT

DSIPARM メンバーの CNMIPMGT には、IP 管理ポリシー定義が含まれています。これは CNMPOLCY メンバーによってインクルードされます。

CNMPOLCY

DSIPARM データ・セットの CNMPOLCY メンバーには、NetView プログラムの自動化ポリシーが含まれています。

IP 管理については、次のステートメントを追加してください。

```
%>IF TOWER('IPMG1') & -TOWER('AON.TCP') THEN
%INCLUDE CNMIPMG1
```

TCP390 ステートメントに関する注意:

1. (Web アプリケーションのみ) DVIPA データを表示するには、DVIPADAT キーワードを指定してください。
2. 多くの NetView コンポーネント (IPTRACE、NVSNNMP など) では、SNMP 照会を使用してデータを取得するため、正しいコミュニティ名を設定する必要があります。CNMPOLCY メンバー内で、管理対象の TCPIP スタックに対して定義されているのと同じコミュニティ名を使用するようにしてください。コミュニティ名について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS IP 管理*」を参照してください。
3. IPSTAT キーワードは、TCP390 ステートメントから除去されました。

CNMPROC (CNMSJ009)

CNMPROC (CNMSJ009) は、NetView プログラム用の始動プロシージャーです。

PROCLIB 内の CNMPROC に以下の変更を行います。

1. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
3. デフォルトの領域サイズは、98304 K バイトに増大しました。NetView 製品に対して、既存のデフォルト領域サイズ (65536 K バイト) を使用している場合は、次のように領域サイズ値を増やしてください。

```
//          REG=98304,          ** REGION SIZE(IN K) FOR NETVIEW
```

実行するコンポーネントによっては、領域サイズをさらに増やす必要がある場合があります。詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS チューニング・ガイド*」を参照してください。

4. NetView プログラムで Language Environment (LE) HLL プログラムの実行を予定していて、LE ランタイム・ライブラリーを LNKLSTxx にインストールしていない場合、CNMPROC の STEPLIB のライブラリー名が正しいことと、コメントが外されていることを確認してください。
5. Web サービス・ゲートウェイ機能を使用する予定の場合、XML ツールキットおよび GSKit ライブラリーの DD ステートメントのコメントを外してください。

```
/******
/*
/* IF YOUR ARE STARTING NETVIEW WEB SERVICES SERVER THEN
/* YOU WILL NEED ACCESS TO BOTH IBM XML AND GSK TOOL RUN TIME
/* LIBRARIES
/*
/* - IF YOU HAVE THESE LIBRARIES ON YOUR SYSTEM
/* BUT THEY ARE NOT ACCESSIBLE FROM THE PLPA OR LINKLST,
/* THEN YOU MUST UNCOMMENT LINES BELOW.
/*
/* WHEN YOU UNCOMMENT EITHER OF THE LINES BELOW, MAKE SURE
/* THAT THE DSN ACTUALLY MATCHES THE NAME ON YOUR SYSTEM.
/* IN ADDITION, MAKE SURE THAT THE DATASET IS APF-AUTHORIZED.
/*          QIXM='IXM.V1R8M0', ** IBM XML TOOLKIT RUNTIME LIB.
```

```

|      /**      QGSK='SYS1',          ** IBM GSK TOOLKIT RUNTIME LIB.
|      /**      DD      DSN=&QGSK..SIEALNKE,DISP=SHR
|      /**      DD      DSN=&QIXM..SIXMLOD1,DISP=SHR
|      /**

```

6. 分散 DVIPA 統計を収集する予定の場合は、以下のデータ・セットを追加します。

```

|      //CNMDVIPP DD      DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPP,DISP=SHR
|      //CNMDVIPS DD      DSN=&VQ1.&DOMAIN.CNMDVIPS,DISP=SHR

```

CNMPSSI (CNMSJ010)

CNMPSSI (CNMSJ010) は、NetView サブシステム・アドレス・スペースを始動します。

PROCLIB 内の CNMPSSI に以下の変更を加えてください。

1. システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。

CNMSAF2

CNMSAMP データ・セットの CNMSAF2 メンバーには、NetView オペレーターとコマンドのサンプル RACF 定義が含まれています。

CNMSAF2 メンバーは大幅に変更されたため、V5R4 バージョンをベースとして使用し、V5R3 コピーに対して行ったインストール固有の変更内容をすべて上書きコピーします。

以下の自動タスクは削除されました。

- AUTODC5
- AUTODC6
- AUTODC7
- AUTOLNM1
- AUTOLNMA
- AUTONA
- AUTONF1
- AUTONFA

以下の自動タスクが追加されました。

表 45. 自動タスクの定義

機能	自動タスクの定義
コマンド改訂	ADDUSER MVSCMDS ALTUSER MVSCMDS NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))

表 45. 自動タスクの定義 (続き)

機能	自動タスクの定義
DVIPA	ADDUSER DVIPAUTO ALTUSER DVIPAUTO NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER DVIPSTAT ALTUSER DVIPSTAT NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT1 ALTUSER AUTOCT1 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT2 ALTUSER AUTOCT2 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT3 ALTUSER AUTOCT3 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT4 ALTUSER AUTOCT4 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
ディスクバリエーション・マネージャー	ADDUSER AUTOCT5 ALTUSER AUTOCT5 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT6 ALTUSER AUTOCT6 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOCT7 ALTUSER AUTOCT7 NETVIEW(IC(LOGPROF5) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
TCP/IP	ADDUSER AUTOTCPC ALTUSER AUTOTCPC NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOPKTS ALTUSER AUTOPKTS NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOOPKT ALTUSER AUTOOPKT NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOTCPS ALTUSER AUTOTCPS NETVIEW(IC(LOGPROF4) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
Web サービス・ゲートウェイ	ADDUSER AUTONVSP ALTUSER AUTONVSP NETVIEW(MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))
XCF サービス	ADDUSER AUTOXCF ALTUSER AUTOXCF NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOXDSC ALTUSER AUTOXDSC NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL)) ADDUSER AUTOEDAT ALTUSER AUTOEDAT NETVIEW(IC(LOGPROF2) MSGRECVR(NO) CTL(GLOBAL))

CNMSCAT2

DSIPARM メンバー CNMSCAT2 には、サンプル・コマンド権限テーブルが含まれています。

CNMSCAT2 メンバーに以下の変更を加えてください。

1. 次の GROUP NVOPS1 ステートメントを追加してください。

```
GROUP NVOPS1 AUTOCT1,AUTOCT2,AUTOCT3,AUTOCT4,AUTOCT5,AUTOCT6
GROUP NVOPS1 AUTOCT7,AUTOXDSC,DVIPAUTO,DVIPSTAT,AUTOEDAT
```

2. GROUP NVOPS1 ステートメントから AUTODC5、AUTODC6、および AUTODC7 の各自動タスクを除去し、MVSCMDS 自動タスクおよび AUTOXCF 自動タスクを追加してください。

```
GROUP NVOPS1 AUTODC2,AUTODC3,AUTODC4,MVSCMDS,AUTOXCF
```

3. 次の GROUP NVOPS2 ステートメントを変更して、MVSCMDS 自動タスクおよび AUTOXCF 自動タスクを追加してください。

```
GROUP NVOPS2 NETOP1,NETOP2,AUTO1,AUTO2,AUTDVIPA,MVSCMDS,AUTOXCF
```

4. 次の GROUP NVOPS2 ステートメントを追加してください。

```
GROUP NVOPS2 AUTOXDCS,AUTOEDAT
```

5. 次の GROUP NCONVGRP ステートメントを変更して、AUTOXCF 自動タスクを追加してください。

```
GROUP NCONVGRP AUTO1,NETOP1,NETOP2,OPER1,OPER2,OPER3,AUTOXCF
```

6. 次の GROUP NAOPS1 ステートメントから AUTONA タスクを削除してください。

```
GROUP NAOPS1 AUTONA,NETOP1,NETOP2,AUTO1,AUTO2,AUTONALC
```

7. 次の GROUP SOAOPS1 ステートメントを追加してください。

```
GROUP SOAOPS1 NETOP1,NETOP2,AUTO1,AUTO2,AUTONVSP
```

8. 次の PROTECT ステートメントを追加してください。

```
PROTECT      *.*.CNMEXCON
PROTECT      *.*.CNMEXPRC
PROTECT      *.*.DSISVR
PROTECT      *.*.DSISAUTH
PROTECT      *.*.CNME8206
PROTECT      *.*.CNME8206.START
PROTECT      *.*.CNME8206.STOP
PROTECT      *.*.CNME8206.LISTINFO
PROTECT      *.*.CNME8206.LSTSRVRS
PROTECT      *.*.CNME8250.START
PROTECT      *.*.CNME8250.STOP
PROTECT      *.*.CNME8260
PROTECT      *.*.DSIPIXCF
PROTECT      *.*.DSIPIXTB
PROTECT      *.*.DSISVR
PROTECT      *.*.DSISAUTH
PROTECT      *.*.REVISE
PROTECT      *.*.PLEXCTL
PROTECT      *.*.START.XCFGROUP.*
```

9. 次の PROTECT ステートメントを削除してください。

```
PROTECT      *.*.CNME7200
PROTECT      *.*.CNME7205
PROTECT      *.*.CNME7210
PROTECT      *.*.CNME7211
PROTECT      *.*.CNME7212
PROTECT      *.*.CNME7213
PROTECT      *.*.CNME7221
PROTECT      *.*.CNME7225
```

10. 次の PERMIT ステートメントを追加してください。

```
PERMIT NAOPS1 *.*.CNME8200
PERMIT NVOPS1 *.*.CNME8250.START
PERMIT NVOPS1 *.*.CNME8250.STOP
PERMIT NVOPS1 *.*.CNME8260
PERMIT NVOPS2 *.*.CNMEXCON
PERMIT NVOPS2 *.*.CNMEXPRC
PERMIT NVOPS2 *.*.DSIPIXCF
PERMIT NVOPS2 *.*.DSIPIXTB
PERMIT NVOPS2 *.*.REVISE
PERMIT NVOPS2 *.*.PLEXCTL
PERMIT NVOPS2 *.*.START.XCFGROUP.*
PERMIT SOAOPS1 *.*.CNME8206
PERMIT SOAOPS1 *.*.CNME8206.START
PERMIT SOAOPS1 *.*.CNME8206.STOP
PERMIT SOAOPS1 *.*.CNME8206.LISTINFO
PERMIT SOAOPS1 *.*.CNME8206.LSTSRVRS
PERMIT SOAOPS1 *.*.DSISVR
PERMIT SOAOPS1 *.*.DSISAUTH
```

11. 次の PERMIT ステートメントを削除してください。

```
PERMIT NAOPS1 *.*.CNME7200
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7205
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7210
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7211
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7212
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7213
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7221
PERMIT NAOPS2 *.*.CNME7225
```

CNMSIHSA

CNMSIHSA 自動化テーブルのサンプルが拡張されました。このサンプルでは、メッセージおよびアラート・データを次のようなさまざまなイベント/自動化サービス・アダプターに送信するために、メッセージおよびアラートを自動化する方法の例を示します。

- メッセージ・アダプター
- 確認済みメッセージ・アダプター
- アラート・アダプター
- 確認済みアラート・アダプター
- Alert-to-trap アダプター

CNMSTYLE

DSIPARM データ・セットの CNMSTYLE メンバーは、NetView の初期設定時に使用されます。変更は、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーの CNMSTYLE ステートメントに対して行います。CNMSTYLE ステートメントの変更については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 概説*」を参照してください。CNMSTYLE メンバーは、NetView 初期化プロセスを簡素化するように設計されています。

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。このため、MVScmdMgt タワーは除去されました。

以下の TOWER が追加されました。

- DISCOVERY - シスプレックス、z/OS システム、カップリング・ファシリティ、TCP/IP スタック、TCP/IP サブプレックス、および NetView アプリケーションのディスカバリーを使用可能にします
- IPMGT - IP 管理を使用可能にします
- NVSOA - Web サービス・ゲートウェイ機能を使用可能にします

マルチシステム・マネージャー LAN Network Manager (LNM) サブタワーが除去されました。

マルチシステム・マネージャーの IBM Tivoli Network Manager 機能に ITNM サブタワーが追加されました。

HiperSockets 構成および状況 (HIPERSOCKETS)、VIPA 経路および分散 DVIPA 接続経路指定 (DVROUT)、OSA チャネルおよびポート (OSA)、および Telnet サーバーおよびポート (TELNET) の各サブタワーが Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent に追加されました。

V5R4 マスター NetView プログラムの CNMSTYLE メンバー内にある ENT.SYSTEMS ステートメントで、APAR OA29938 に対する修正プログラムが適用されている NetView プログラムを定義します。ENT.SYSTEMS ステートメントの詳細については、「IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス」を参照してください。

WEB.NMC ステートメントが除去されました。V5R4 の NetView 管理コンソールは、Web アプリケーションによって提供される SNMP 機能を起動しなくなりました。必要に応じて、CNMSTUSR または CxxSTGEN を更新してください。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent はサポートされなくなったため、以下の CNMSTYLE ステートメントは削除されました。

- function.autotask.NAOPER
- INIT.NACMD
- NACMD.AGENT
- NACMD.HOSTDEST
- NACMD.PORT
- NACMD.SRCNAME
- NACMD.TCPNAME

「ポート別 DVIPA ワークロード」ワークスペースは、NetView for z/OS Enterprise Management Agent では非推奨になっているため、NACMD.ROWSDVTDWP ステートメントは削除されました。

DVIPA データ収集機能は、TEMA タワーから DVIPA タワーに移動しました。変更点については、表 46 を参照してください。

表 46. CNMSTYLE ステートメントの変更点 (DVIPA タワー)

V5R3 ステートメント	V5R4 ステートメント (置き換え)
function.autotask.NAPOLTSK7	function.autotask.COLTSK1
function.autotask.NAPOLTSK5	function.autotask.COLTSK2
function.autotask.NAPOLTSK6	function.autotask.COLTSK3
NACMD.INTDVDEF	DVIPA.INTDVDEF
NACMD.INTDVTAD	DVIPA.INTDVTAD
NACMD.INTDVCONN	DVIPA.INTDVCONN

新規、変更、または削除された CNMSTYLE ステートメントについては、『CNMSTNXT』を参照してください。

CNMSTNXT

CNMSTNXT メンバーには、新規、変更、または削除されたステートメントが含まれています。ステートメントは、NetView 製品のバージョンとリリース・レベルに応じてグループ化されます。CNMSTNXT メンバーのステートメントを確認し、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーを必要に応じて更新してください。

必要な情報

参照先

CNMSTYLE ステートメント

IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス

CNMSTWBM

NetView 製品に付属している CNMSTWBM メンバーのバージョンを使用する場合、変更は必要ありません。V5R3 CNMSTWBM メンバーを変更していた場合は、行ったすべての変更内容を V5R4 バージョンにコピーします。

V5R4 では、以下のステートメントが CNMSTWBM メンバーから除去されました。

- webmenu.mytasks.mibloadr (SNMP MIB の読み込みおよびアンロード)
- webmenu.mytasks.mib (MIB ブラウザーの起動)
- webmenu.mytasks.rtp (リアルタイム・ポーリング・プログラムの起動)
- webmenu.mytasks.clistart (SNMP コマンドの発行)

DSIAUTB

DSIAUTB サンプルには、AUTBYPAS REXX 機能または CLIST 機能を使用するパーツがリストされています。このサンプルは変更しないでください。V5R4 バージョンを使用します。ご使用のシステム用にカスタマイズしたものは、DSIAUTBU メンバーに追加してください。

DSIOPF

NetView 製品で提供されている DSIOPF メンバーのバージョンを使用する場合、変更は必要ありません。V5R3 DSIOPF メンバーを変更していた場合は、行ったすべての変更内容を V5R4 バージョンにコピーします。

DSIOPF メンバーに対して、以下のステートメントが追加されました。

- AON タワーがアクティブでない場合の IPMAN 機能用オペレーター定義の条件付きインクルードです。

```
%>IF TOWER('IPMGT') & -TOWER('AON') THEN
%INCLUDE FXKOPFIP
```

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 47. DSIOPF に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
分散 DVIPA 統計の自動タスク	DVIPSTAT	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DVIPSTAT DSIPROFC
DVIPA イベントとデータの転送の自動タスク	DVIPAUTO	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=DVIPAUTO DSIPROFC
コマンド改訂に対する NETVONLY アクションを管理する自動タスク	MVSCMDS	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=MVSCMDSL DSIPROFC
DVIPA の定義と状況の自動タスク	AUTOCT1	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT1 DSIPROFN

表 47. DSIOPF に追加されたオペレーター定義 (続き)

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
DVIPA シスプレックス・ディストリビューター、分散ターゲット、およびサーバー正常性の自動タスク	AUTOCT2	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT2 DSIPROFN
DVIPA 接続の自動タスク	AUTOCT3	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT3 DSIPROFN
VIPA 経路および分散 DVIPA 接続経路指定の自動タスク	AUTOCT4	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT4 DSIPROFN
OSA チャンネルとポートの自動タスク	AUTOCT5	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT5 DSIPROFN
Telnet サーバーと Telnet サーバー・ポートの自動タスク	AUTOCT6	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT6 DSIPROFN
NetView アプリケーションの自動タスク	AUTOCT7	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOCT7 DSIPROFN
XCF サービスの自動タスク	AUTOXCF AUTOXDSC AUTOEDAT	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOXCF DSIPROFC PASSWORD=AUTOXDSC DSIPROFC PASSWORD=AUTOEDAT DSIPROFC
Communications Server への NMI ソケットを開くための自動タスク (注 1 参照)	AUTOTCPC AUTOPKTS AUTOOPKT AUTOTCPS	OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOTCPC DSIPROFG PASSWORD=AUTOPKTS DSIPROFG PASSWORD=AUTOOPKT DSIPROFG PASSWORD=AUTOTCPS DSIPROFG
SMF 30 レコードを受信するための自動タスク	AUTOSMF3	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTOSMF3 DSIPROFC
NetView Web サービス・ゲートウェイの自動タスク	AUTONVSP	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTONVSP DSIPROFC
注: 1. CNMSTYLE メンバー内で function.autotask.TCPCONN.stckname ステートメントまたは function.autotask.PKTS.stckname ステートメントに対してオペレーターをすでに定義済みの場合は、AOTOTCPC オペレーターまたは AUTOPKTS オペレーターを追加する必要がない場合があります。			

次のステートメントを除去してください。

```

AUTONA      OPERATOR      PASSWORD=AUTONA
PROFILEN    DSIPROFC

AUTODC5     OPERATOR      PASSWORD=AUTODC5
            PROFILEN    DSIPROFN
AUTODC6     OPERATOR      PASSWORD=AUTODC6
            PROFILEN    DSIPROFN
AUTODC7     OPERATOR      PASSWORD=AUTODC7
            PROFILEN    DSIPROFN
    
```

DSIOPFU

V5R3 DSIOPFU メンバーに定義したすべてのオペレーター定義を、V5R4 バージョンにコピーしてください。

オペレーター定義を条件に応じて DSIOPFU メンバーに定義するために、データ REXX ロジックを追加できます。データ REXX ファイル内の最初のステートメントは、 /*%DATA*/ か /*%LOGIC*/ でなければなりません。コメントは同一行か、後続行に続けて指定することができます。最初の列のブランクは、直前のステートメントの継続を示します。データ REXX について詳しくは、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

FKXOPFIP

FKXOPFIP メンバーは、IPMGMT タワーが使用可能にされたときに使用されます。このメンバーは、AON コンポーネントが使用可能な場合は使用されません。このため、オペレーター定義は、EZLOPF メンバーおよび FKXOPF メンバー内の定義と重複します。

以下のオペレーター定義が追加されました。

表 48. FKXOPFIP に追加されたオペレーター定義

オペレーター定義	DSIOPF ステートメント		
IP 管理サービスの自動タスク	AUTIPMx	OPERATOR PROFILEN	PASSWORD=AUTIPMx EZLPRFAO

DSITBL01

DSITBL01 メンバーには、サンプルの自動化テーブル定義が含まれています。

NetView 製品で提供されるいくつかのメッセージは、V5R4 プログラムで変更されました。これらのメッセージは付録にリストされています。そのリストを検討し、ご使用の自動化テーブルに必要な変更を加えてください。

AON タワーの下に IDS サブタワーが存在するかどうかを確認する、自動化テーブル内の IDS 条件ステートメントを、AON タワーまたは IPMGMT タワーの下に IDS サブタワーが存在するかどうかを確認するように変更します。DSITBL01 メンバー内の条件ステートメントの変更方法の例については、表 49 を参照してください。

表 49. DSITBL01 条件ステートメント

既存の条件ステートメント:
<pre>%>IF TOWER('AON.TCP.IDS') THEN</pre>
更新後の条件ステートメント:
<pre>%>IF TOWER('AON.TCP.IDS') TOWER('IPMGMT.IDS') THEN</pre>

メッセージ自動化は、いくつかのディスカバリー・マネージャー・リソースが開始および停止するときに情報を更新するために使用されます。これらのイベントに対する CNMSEPTL 自動化サンプル・メンバーを追加してください。CNMSEPTL メンバーは、DISCOVERY タワーが使用可能にされるときに含められます。

```
* Load local resource discovery table
%>IF tower('DISCOVERY') THEN
%INCLUDE CNMSEPTL
```

DVIPA 自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
* Include the following DVIPA samples:
* CNMSDVDS - Automation for forwarding information to the master NetView
* CNMSDVTP - Samples for automating z/OS Communications Server SNMP
*           DVIPA traps
* CNMSDVCG - Samples for automating z/OS Communications Server DVIPA
*           configuration updates
* CNMSSMON - Samples for automating z/OS Communications Server
*           sysplex autonomic messages
%>IF tower('DVIPA') THEN
%>do;
  %INCLUDE CNMSDVDS
  %INCLUDE CNMSDVTP
  %INCLUDE CNMSDVCG
  %INCLUDE CNMSSMON
%>end;
```

XCF シスプレックス・サポート用には、以下のステートメントを追加します。

```
** Load statements that relate to the z/OS sysplex master function.
%INCLUDE CNMSXCFA
```

COLLCTL コマンド自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** COLLCTL command AUTOMATION *****
%INCLUDE CNMSDCA
```

CNMSMF3E サンプルを使用する SMF タイプ 30 レコードの自動化用には、以下のステートメントを追加します。

```
***** SMF 30 RECORD AUTOMATION *****
IF MSGID = 'BNH874I' THEN
  EXEC(CMD('CNMSMF3A')) NETLOG(Y) SYSLOG(N);
```

SMF タイプ 30 レコードの自動化について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

DSIZVLSR

DSIZVLSR モジュールは、VSAM LSR パフォーマンス・オプションおよび DSR パフォーマンス・オプションで使用されるバッファ・プールを定義します。CNMSJM01 サンプル・ジョブを使用して、DSIZVLSR モジュールを更新してください。V5R4 で配布された DSIZVLSR モジュールを使用してください。前に CNMSJM01 ジョブを更新した場合は、その変更内容を CNMSJM01 ジョブの V5R4 バージョンにマージしてからこのジョブを実行し、変更内容をアセンブルして DSIZVLSR モジュールにリンク・エディットしてください。

DSIZVLSR モジュールに対して以下の変更が行われました。

- DSITCONT VSAM クラスターの DATA バッファ・プール内のバッファ・サイズが、22528 バイトから 26624 バイトに変更されました。

EZLCMENT

いくつかのコマンド定義が EZLCMENT メンバーから CNMCMMENT メンバーに移動したため、これらのコマンドは IPMGT タワー処理で使用できるようになっています。

NetView V5R3 からのマイグレーション

ます。 NetView 製品で提供されている EZLCMENT メンバーおよび CNMCMENT メンバーのバージョンを使用する場合、変更は必要ありません。 V5R3 EZLCMENT メンバーを変更していた場合は、行ったすべての変更内容を V5R4 CNMCMDU メンバーに移動して、将来のマイグレーションが簡単になるようにします。

FKXCMENT

いくつかのコマンド定義が FKXCMENT メンバーから CNMCMENT メンバーに移したため、これらのコマンドは IPMGT タワー処理で使用できるようになっています。 NetView 製品で提供されている FKXCMENT メンバーおよび CNMCMENT メンバーのバージョンを使用する場合、変更は必要ありません。 V5R3 FKXCMENT メンバーを変更していた場合は、行ったすべての変更内容を V5R4 CNMCMDU メンバーに移動して、将来のマイグレーションが簡単になるようにします。

RODM アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、RODM アドレス・スペースの変更点をリストしています。

EKGLOADP

EKGLOADP はサンプル RODM ロード・プロシージャ JCL です。

EKGLOADP に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。

EKGXRODM

EKGXRODM は RODM 始動プロシージャです。

EKGXRODM に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。
3. LNKLST_{xx} または PROG_{xx} で、Language Environment for OS/390 ランタイム・ライブラリーをインストールしていない場合は、EKGXRODM の STEPLIB のライブラリー名が正しいこと、およびアンコメントされていることを確認します。 PL/I または C/C++ のランタイム・ライブラリーは使用されなくなったため、これらのライブラリー用の DD ステートメントを除去してください。

GMFHS アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、GMFHS アドレス・スペースの変更点をリストしています。

CNMGMFHS (CNMSJH10)

CNMGMFHS (CNMSJH10) は GMFHS 始動プロシージャーです。

CNMGMFHS に以下の変更を加えてください。

1. NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
2. NetView データ・セットについて、ユーザー定義のデータ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4USER を指していることを確認します。

CNMSJH12

CNMSJH12 は、サンプル GMFHS/SNA トポロジー・マネージャーのデータ・モデル・ロード・ジョブです。

CNMSJH12 ジョブが JES3 環境でエラーなしで確実に完了するように、REGION=0M 指定が追加されました。REGION=0M 指定は、JES 定義、および IEFUSI インストール・システム出口と IEALIMIT インストール・システム出口の影響を受けることがあります。

イベント/自動化サービス・アドレス・スペース

このセクションのサンプルは、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点を示します。

IHSAEVNT

IHSAEVNT は、イベント/自動化サービス・アドレス・スペースを開始します。PROCLIB 内の IHSAEVNT に以下の変更を加えてください。

1. 以下のコメントを追加します。

```

/** 4. There are additional keywords and values which may be
/** specified in the PARM string, which a) are not in the
/** style of a UNIX System Services shell command parameter and
/** b) do not have procedure keyword definitions in this sample
/** procedure. They are described as follows.
/**
/** CMSGCFG=value
/**
/** CMSGCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/** containing configuration parameters for the confirmed
/** message adapter task, MESSAGEC. If the value is provided,
/** it must be a valid partitioned data set member name.
/** If the keyword is omitted or is given no value, the
/** default value is IHSANCFG.
/**
/** CALRTCFG=value
/**
/** CALRTCFG provides the name of a member of the IHSSMP3 file
/** containing configuration parameters for the confirmed
/** alert adapter task, ALERTC. If the value is provided,
/** it must be a valid partitioned data set member name.
/** If the keyword is omitted or is given no value, the
/** default value is IHSABCFG.
/**

```

2. SCNMUXLK データ・セットは、CNMLINK データ・セットで置き換えられました。STEPLIB DD ステートメントの変更方法の例については、154 ページの表

50 を参照してください。

表 50. STEPLIB DD ステートメント

既存のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R3M0.SCNMUXLK,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//STEPLIB DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK,DISP=SHR

- IHMSG1 DD ステートメントに指定されていた SCNMUXMS データ・セットは、SDUIMSG1 データ・セットで置き換えられました。IHMSG1 DD ステートメントの変更方法の例については、表 51 を参照してください。

表 51. IHMSG1 DD ステートメント

既存のステートメント:
//IHMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R3M0.SCNMUXMS,DISP=SHR
更新後のステートメント:
//IHMSG1 DD DSN=NETVIEW.V5R4M0.SDUIMSG1,DISP=SHR

- NetView データ・セットについて、システム・データ・セットの高位修飾子が NETVIEW.V5R4M0 を指していることを確認します。
- 次の出力データ・セットを追加します。

```

/**  EAS OUTPUT DATASETS
//IHSN  DD SYSOUT=A
//IHSB  DD SYSOUT=A
.
.
//IHSNS  DD SYSOUT=A
//IHSBS  DD SYSOUT=A
.
.
//IHSNSTD DD SYSOUT=A
//IHSBSTD DD SYSOUT=A

```

IHSAINIT

IHSAINIT サンプルは、イベント/自動化サービスの初期化ファイルです。確認済みアラート・アダプターおよび確認済みメッセージ・アダプターをサポートするために、このサンプルに情報が追加されました。確認済みアラート・アダプター・サービスおよび確認済みメッセージ・アダプター・サービスがイベント/自動化サービスによって自動的に開始されるのを防ぐための、NOSTART ステートメントが含められました。

```

# The following keywords are supported:
#  CMSGCFG - Specifies the confirmed message adapter configuration file
#  CALRTCFG - Specifies the confirmed alert adapter configuration file
#
# The syntax for each keyword follows:
#  CMSGCFG=confirm_message_config_file
#  CALRTCFG=confirm_alert_config_file
#  TRACE TASK=task_designator LEVEL=trace_level IP=on_or_off
#
#      confirm_message_config_file - Specifies the name of the confirmed message
#                                     adapter configuration file. If not prefaced with the
#                                     escape character (\), this is the name of a member of
#                                     the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#                                     name. If E/AS is an MVS started task, the default
#                                     value of this keyword is IHSANCFG. If E/AS is started

```

```

#           in a UNIX System Services shell, the default value is
#           /etc/netview/confirm_message_adpt.conf.
#
# confirm_alert_config_file - Specifies the name of the confirmed alert
#                             adapter configuration file. If not prefaced with the
#                             escape character (\), this is the name of a member of
#                             the IHSSMP3 file. Otherwise, this is a complete file
#                             name. If E/AS is an MVS started task, the default
#                             value of this keyword is IHSABCFG. If E/AS is started
#                             in a UNIX System Services shell, the default value is
#                             /etc/netview/confirm_alert_adpt.conf.
# output_destination - specifies the location where the trace and error
#                       messages will be logged. The values are:
# SYSOUT - Specifies a system output file. When started by an MVS startup
#           procedure, the primary and secondary files for each task are:
#
#           IHSN and IHSNS for the MESSAGEC task
#           IHSB and IHSBS for the ALERTC task
#
#           When started under UNIX System Services, the default primary and
#           secondary file names for each task are:
#
#           cmessagep.err and cmessages.err for the MESSAGEC task
#           calertp.err and calerts.err for the ALERTC task
#
# task_designator - is one of the following:
#   MESSAGEC - Specifies the confirmed message adapter task
#   ALERTC   - Specifies the confirmed alert adapter task
#
# Note : CONTROL is not valid on the NOSTART statement. ALL does not
#        include CONTROL for the NOSTART statement
#
# on_or_off - is one of the following:
#   ON      - Specifies that data sent or received using TCP/IP
#             will be traced. Additional information for the
#             z/OS UNIX C/C++ socket functions used may appear.
#   OFF     - Specifies that no tracing of data or socket
#             functions will be done. This is the default.
#
# Confirmed Message Adapter Configuration File
#CMSGCFG=IHSANCFG
#CMSGCFG=\etc/netview/confirm_message_adpt.conf
#
# Confirmed Alert Adapter Configuration File
#CALRTCFG=IHSABCFG
#CALRTCFG=\etc/netview/confirm_alert_adpt.conf
#
# Tasks not started at initialization (example)
NOSTART TASK=MESSAGEC
NOSTART TASK=ALERTC
#
# Confirmed Message Adapter Task
#TRACE TASK=MESSAGEC LEVEL=OFF
#
# Confirmed Alert Adapter Task
#TRACE TASK=ALERTC LEVEL=OFF

```

その他の考慮事項

以下の機能に対する変更を考慮してください。

- 156 ページの『UNIX システム・サービス』
- 157 ページの『Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents』
- 160 ページの『NetView Web アプリケーション』
- 160 ページの『NetView 管理コンソール』

- 160 ページの『MVS コマンド管理』
- 161 ページの『パスワード・フレーズのサポート』
- 162 ページの『1 バイト・コンソール ID』

UNIX システム・サービス

このセクションでは、NetView V5R3 から NetView V5R4 で変更された、ディレクトリー、構成ファイル、および機能を説明します。また、21 ページの『UNIX システム・サービスの準備』のセクションも検討してください。

NetView MIB コレクションは、`/usr/lpp/netview/v5r3/mibs/` ディレクトリーから `/usr/lpp/netview/v5r4/mibs/` ディレクトリーに移動されました。CNMSTYLE メンバー内の MIBPATH ステートメントが V5R4 mib ディレクトリーをポイントしていることを確認してください。

表 52 の `at-tls` サンプル構成ファイルは、名前が変更され、`/usr/lpp/netview/v5r3/samples` ディレクトリーから `/usr/lpp/netview/v5r4/samples/at-tls` ディレクトリーに移動されました。

表 52. `at-tls` サンプル構成ファイル

V5R3 ファイル名	V5R4 ファイル名
<code>znetview_at-tls.conf</code>	<code>conf</code>
<code>znetview_at-tls.rules</code>	<code>rules</code>
<code>znetview_at-tls_keyring.db</code>	<code>keyring.db</code>
<code>znetview_at-tls_keyring.rdb</code>	<code>keyring.rdb</code>
<code>znetview_at-tls_keyring.sth</code>	<code>keyring.sth</code>
<code>znetview_at-tls_nmcSrvrCert.arm</code>	<code>nmcSrvrCert.arm</code>
<code>znetview_at-tls_pagent.env</code>	<code>pagent.env</code>
<code>znetview_at-tls_znvCert.arm</code>	<code>znvCert.arm</code>

Web サービス・ゲートウェイ機能によって使用される Web リソース・ファイルは、次のディレクトリーにあります。

`/usr/lpp/netview/v5r4/www/`

ご使用の環境に合わせてファイルを更新するには、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。WSDL ファイルは、プロキシとクライアント間の接続を自動的に生成します。

表 53. Web サービス・ゲートウェイ・ファイル

ファイル名	目的	変更内容
<code>znvsoatx.htm</code>	テキスト・ベースの Web サービス・クライアント。このファイルは、Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降または Mozilla 2.0.014 以降を使用すると機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。<SELECT> タグを検索し、<OPTION> <i>your.web.services.server</i> </OPTION> タグを変更します。

表 53. Web サービス・ゲートウェイ・ファイル (続き)

ファイル名	目的	変更内容
znvsoa.htm	Web サービス・クライアントのグラフィック版。 このファイルは、 Microsoft Internet Explorer バージョン 7 以降を使用した場合にのみ機能します。	ご使用の環境に合わせて URL を更新します。 <SELECT> タグを検索し、 <OPTION>your.web.services.server</OPTION> タグを変更します。
znvwSDL.wSDL	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwSDL1.wSDL	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。
znvwSDL2.wSDL	さまざまな出力形式に応じた Web サービス定義を出力します。	ご使用の環境に合わせて soap:address location を更新します。 <soap:address location= > タグを検索してください。

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents

以下のバージョンの NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent は、サポートされなくなりました。

- NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0
- NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent バージョン 5.2.5
- NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.3

既存のエージェントから Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent バージョン 5.4 に移行するためのマイグレーション・パスはありません。新規エージェントをインストールするには、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: *Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent* の構成」を参照してください。

マイグレーションに関する考慮事項:

1. 自動化で、または作成した EXEC で AGENT キーワードをコーディングしていた場合は、除去してください。このキーワードは、無効になりました。
2. IBM Tivoli Monitoring の既存のインストール済み環境をアップグレードすることについては、「*IBM Tivoli Monitoring* インストールおよび設定ガイド」を参照してください。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0 の除去

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0 は、OMEGAMON バージョン 3.6.0 環境で稼働します。Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent 5.4 データ・ファイルを OMEGAMON バージョン 3.6.0 環境にインストールしないでください。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン 5.2.0 を除去するには、ご使用のインストール・システムに応じて、以下の手順を実行します。

Windows システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. 「コントロール パネル」で、「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent」を選択します。
4. 「Modify, Repair, or Remove the Program」ウィンドウで、「Remove」を選択します。

UNIX システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. \$CANDLEHOME/bin ディレクトリーで、次のシェル・スクリプトを発行します。

```
/uninstall.sh
```
3. アンインストールする製品の選択のプロンプトが出されます。「NetView for z/OS Agent」を選択します。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent バージョン 5.2.5 の除去

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent を除去するには、ご使用のインストール・システムに応じて、以下の手順を実行します。

Windows システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. 「コントロール パネル」で、「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「IBM NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent」を選択します。
4. 「Modify, Repair, or Remove the Program」ウィンドウで、「Remove」を選択します。

UNIX または Linux システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. <install-dir>/bin ディレクトリーで、次のシェル・スクリプトを発行します。

```
/uninstall.sh
```
3. アンインストールする製品の選択のプロンプトが出されます。「NetView for z/OS V5R2 Agent」を選択します。

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent バージョン 5.3 の除去

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent は、Tivoli Management Services コンポーネントのバージョン 6.1 フィックスパック 5 またはそれ以降の FP1 フィックスパック適用済みバージョンで稼働します。

NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent を除去するには、ご使用のインストール・システムに応じて、以下の手順を実行します。

Windows システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. 「コントロール パネル」で、「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「IBM NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent」を選択します。
4. 「Modify, Repair, or Remove the Program」ウィンドウで、「Remove」を選択します。

UNIX または Linux システムの場合:

1. Tivoli Service Manager (「Tivoli Enterprise Monitoring Services の管理」ダイアログ) を含む、IBM Tivoli Monitoring コンポーネントを停止してください。
2. <install-dir>/bin ディレクトリーで、次のシェル・スクリプトを発行します。
/uninstall.sh
3. アンインストールする製品の選択のプロンプトが出されます。「NetView for z/OS V5R3 Agent」を選択します。

NetView for z/OS および Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent のバージョン

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent (NetView エージェント) には、Tivoli Management Services V6.2.1 Interim Fix 3 が必要です。現時点でこのレベルで実行していない場合は、以下のコンポーネントを V6.2.1 Interim Fix 3 レベルにアップグレードしてから NetView エージェントをインストールしてください。

- Tivoli Enterprise Portal デスクトップ・クライアント
- Tivoli Enterprise Portal Server
- ハブの Tivoli Enterprise Monitoring Server

NetView プログラムは、NetView エージェントのデータ・ソースです。このため、NetView プログラムと NetView エージェントの両方が V5R4 レベルである必要があります。

NetView エージェントをアップグレードする前に、「IBM Tivoli OMEGAMON XE and Tivoli Management Services on z/OS Upgrade Guide」を参照してください。

OMEGAMON XE V4.2 Monitoring Agent を対象に文書化されているアップグレード手順の一般的な順序は、NetView エージェントにも適用されます。

バージョン 5.4 の NetView エージェントの変更点のリストについては、237 ページの『Enterprise Management Agent の変更点』を参照してください。

NetView Web アプリケーション

NetView Web アプリケーションの現行バージョンをアンインストールし、NetView Web アプリケーションの V5R4 バージョンを再インストールします。詳しくは、*netview_installation_dir/doc/znetview_webapp_readme_en.htm* ファイルと「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」マニュアルを参照してください。

使用上の注意:

1. NetView Web アプリケーションは、ユーザー作成 HTML ファイルの GET メソッドおよび POST メソッドを引き続き処理します。POST メソッドを使用している場合、NetView Web アプリケーションは、POST メソッドを GET メソッドに変更してから処理します。GET メソッドの場合は、すべての関連データが URL の照会ストリング部分に配置され、ブラウザ・ウィンドウの上部に表示されます。HTML ファイルに、TITLE 要素を追加して、照会ストリングのデータの代わりに TITLE が表示されるようにできます。
2. SNMP MIB の読み込みおよびアンロード、MIB ブラウザーの起動、リアルタイム・ポーリング・プログラムの起動、および SNMP コマンドの発行の各タスクは、NetView Web アプリケーションから除去されました。以下のサーブレットのステートメントおよびマッピングが web.xml ファイルから除去されました。V5R3 以前のバージョンの web.xml ファイルを使用する場合、以下のステートメントは無視されます。
 - MIBServiceServlet
 - MIBLoaderServiceServlet
 - SnmpServiceServlet
 - CommandServiceServlet
 - DpmServiceServlet
 - InstanceServiceServlet

NetView 管理コンソール

Web アプリケーションから除去された SNMP 機能は、NetView 管理コンソールから起動できなくなりました。『NetView Web アプリケーション』を参照してください。また、186 ページの『NetView 管理コンソールのトポロジー・サーバーおよびコンソールのマイグレーション』も参照してください。

MVS コマンド管理

MVS コマンド管理機能は推奨されなくなり、MVS コマンド改訂機能に置き換えられました。

マイグレーション上の注意:

1. ご使用のシステムの MVS コマンド改訂機能へのマイグレーションが終了するまでは、MVS コマンド管理機能を引き続き使用できます。2 つの機能は共存可能です。2 つの機能を同じコマンドで同時に動作させないことを確保してください。これを行う 1 つの方法は、MVS コマンド改訂機能をテスト・モードで活動化することです。

2. MVS コマンド改訂機能のインストール手順については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」を参照してください。
3. 現在の MVS コマンド管理アクションを確認し、コマンド改訂テーブルを作成します。この実行方法について詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS オートメーション・ガイド*」を参照してください。
4. コマンド改訂テーブルおよびメッセージ改訂テーブルでは、上位の UPON ステートメントを使用して、その他すべてのステートメントをグループ化できます。コマンド改訂ステートメントおよびメッセージ改訂ステートメントは、同じメンバー内に配置できます。

メッセージ改訂テーブルの UPON(ALWAYS) アクションは、UPON(OTHERMSG) アクションで置き換えられます。メッセージ改訂テーブル内にあるすべての UPON(ALWAYS) アクションを、UPON(OTHERMSG) アクションに変更してください。UPON(ALWAYS) アクションはマイグレーションのためにサポートされていますが、コマンドおよびメッセージのアクションが同じソース・メンバー内に存在してもかまわないため、混乱が生じる可能性があります。

5. SSI.ReviseTable CNMSTYLE ステートメントの参照先のメンバーが変更されないかぎり、このステートメントのアクションは変わりません。コマンド改訂に関連した新規の UPON ステートメントが CNMSTYLE メンバー内またはその組み込みメンバー内にある場合は、コマンド改訂テーブルが作成されます。
6. (オプション) REVISMSG コマンドは、REVISE MSG コマンドで置き換えられます。REVISMSG コマンドを発行するすべての箇所で、REVISE MSG コマンドへの変更を検討してください。構文情報については、オンライン・ヘルプまたは「*IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 1 (A-N)*」を参照してください。

定義されている verb が REVISMSG である場合、REVISE コマンドではデフォルトで MSG 処理が実行されるため、この手順はオプションです。REVISMSG コマンド引数は、REVISE コマンドによりサポートされています。

7. すべての MVS コマンド管理アクションが、コマンド改訂テーブルを使用して十分に実装されていることがレポートまたはテストで示されたら、MVS コマンド管理機能を使用不可にします。これには、CNMSTUSR メンバーまたは CxxSTGEN メンバーから MVScmdMgt タワーを削除することも含まれます。

パスワード・フレーズのサポート

NetView プログラムは、パスワード・フレーズによる許可をサポートします。RACF などの SAF 製品を使用するすべての NetView 機能について、パスワードの代わりにパスワード・フレーズをセキュリティ検査のために使用できます。パスワードを受け付けるすべてのパネルは、パスワード・フレーズを受け付けるように更新されました。パスワード・フレーズは、9 文字から 100 文字までの長さの句にすることができます。

RACF 製品では、パスワード・フレーズに任意の有効な EBCDIC 文字を使用できます。z/OS 以外のシステムからアクセスされるユーザー ID にパスワード・フレーズを設定する場合は、そのシステムのパスワードを ASCII テキストとして入力しま

す。必ずしもすべての EBCDIC 文字に ASCII に等価な文字があるわけではないため、EBCDIC パスワード・フレーズは、ASCII に等価な文字がある文字に制限してください。

パスワード・フレーズは、以下の環境ではサポートされていません。

- DSIOPF メンバーを使用するパスワード検査
- DSIEX12 インストール・システム出口を使用するログオン妥当性検査
- Tivoli Enterprise Portal のログイン。この制限のため、パスワード・フレーズを RACF 検査のために Tivoli Enterprise Monitoring Server に渡すことはできません。
- NetView 間タスク (NNT) を使用する機能

1 バイト・コンソール ID

z/OS V1R8 では、1 バイト・コンソール ID のサポートが除外されました。このため、NetView プログラムでは、NetView プログラムに対してコンソールを定義するときの、1 バイト・コンソール ID の使用はサポートされなくなりました。コンソール ID を使用する代わりに、2 文字から 8 文字までのコンソール名を使用してください。例えば、GETCONID、SETCONID、AUTOTASK の各コマンド、および CNMSTYLE メンバーの AUTOTASK.task.CONSOLE ステートメントで特定のコンソールを参照するときに、コンソール名を使用します。

第 7 章 NetView の開始の準備

NetView プログラムを開始する際には、2 つの START プロシージャー、つまり、NetView アプリケーション用のプロシージャー (CNMPROC (CNMSJ009)) と NetView サブシステム用のプロシージャー (CNMPSSI (CNMSJ010)) を使用します。どちらを最初に開始してもかまいません。別の NetView プログラムを開始する場合は、別のサブシステム名を基にして始動プロシージャーの追加のペアを作成してください。

NetView およびサブシステム・アプリケーション・プロシージャーの変更

V5R4 サンプルで提供されている CNMPROC (CNMSJ009) および CNMPSSI (CNMSJ010) のコピーで、次の考慮事項について検討してください。

- PROCLIB メンバーおよび PROC ステートメントの名前は、NetView プログラムを実行するために定義した 4 文字のサブシステム名から始まらなければなりません。関連した CNMPSSI (CNMSJ010) 始動プロシージャーも同じサブシステム名から始まらなければなりません。CNMP は、サンプル・ネットワークで使用されます。

注: PROCLIB メンバー名が IEFSSN $_{xx}$ 内のエントリーと一致する場合は、START コマンドで SUB= パラメーターを使用して、MASTER サブシステム以外のサブシステムを指定してください。SYSIN および SYSOUT がサポートされないサブシステムを指定してください。

- 同じホストで NetView プログラムの別のコピーを開始する場合には、すでに開始したサブシステム名とは異なる 4 文字のサブシステム名から始まるプロシージャー名を使用してください。

注: SYS1.PARMLIB の IEFSSN $_{xx}$ メンバーに 4 文字のサブシステム名を必ず追加するようにしてください。

- ユーザーのインストール要件に合うように、サンプル CNMPSSI (CNMSJ010) プロシージャーのシンボリック・パラメーターを調整することができます。また、CNMSTYLE メンバーの SSI ステートメントを使用してこれらのパラメーターを調整することもできます。

NetView 開始プロシージャーの変更

CNMPROC (CNMSJ009) は、インストール時に区分データ・セットをロードした際に、PROCLIB にコピーされています。NetView 開始プロシージャー (CNMPROC) に以下の変更を行ってください。

- 1 つのシステムまたはシスプレックスで複数の NetView プログラムを実行する場合は、&NV2I の値を設定します。
- ローカル・デバイス・アラートに SVC76 インターフェースを使用しない場合、NetView を開始するプログラムの名前を変更します。
- NetView ディスパッチ優先順位が適切であることを確認します。

- 必要に応じて、領域サイズ、バッファ・サイズ、およびスロット・サイズを調整します。
- ユーザー定義のデータ・セットが組み込まれていることを確認します。
- SYSTCPD ステートメントで、ご使用の TCP/IP 制御データ・セットが指定されていることを確認します。

NetView プログラムに対する TCP/IP の定義

NetView プログラムには、TCP/IP に依存してリモート・アプリケーションと通信するサービスが数多くあります。TCP/IP と通信するために、これらのサービスはそれぞれ、TCP/IP MVS ソケット・ライブラリーと呼ばれるプログラム・ファンクション・ライブラリーを使用します。このため、NetView アプリケーションは MVS ソケット・アプリケーションとなります。

すべての MVS ソケット・アプリケーションは、TCP/IP 構成データを参照する必要があります。このデータにアクセスする方法は、実行している TCP/IP の z/OS バージョンによって定義されます。

NetView 開始プロシージャには、TCP/IP 構成データのロケーションを識別するためのサンプル SYSTCPD DD ステートメントが含まれています。SYSTCPD ステートメントは、NetView プログラムには必要ありませんが、MVS ソケット・アプリケーションが TCP/IP 構成データを見つけることができる必要があります。

NetView 開始プロシージャから z/OS TCP/IP データ・セットにアクセスする必要もあります。z/OS TCP/IP データ・セットが LNKLSTxx 連結に含まれていない場合は、次の z/OS TCP/IP データ・セット (APF 許可されている必要あり) を STEPLIB DD 連結に追加します。

SEZALOAD LINKLIB に連結するための実行可能ロード・モジュール

パフォーマンスを最適化するには、これらのデータ・セットを LNKLSTxx 連結から使用できるようにします。

NetView プログラムは、OMVS セグメントを持つ SAF ユーザー ID またはグループの下で実行する必要があります。NetView プログラムが TCP/IP 機能を利用できるようにするには、この条件は必須です。

使用上の注意:

1. NetView プログラムで提供される各 TCP/IP サービスについて、TCPname ステートメントを使用して CNMSTYLE メンバーにスタック親和性を指定します。NetView はこの名前を INITAPI ソケット呼び出しに指定することで、スタックとの親和性を設定します。
2. NetView アドレス・スペースの一部ではない NetView アプリケーションの中には、リモート・アプリケーションとの通信を TCP/IP に依存するものがあります。これらのアプリケーションのいくつかは、z/OS UNIX ソケット・ライブラリーを使用します。したがって、それらのアプリケーションは、z/OS UNIX ソケット・アプリケーションということになります。これらのアプリケーションが TCP/IP 構成データを参照する方法については、それぞれのアプリケーションの資料で説明されています。z/OS UNIX ソケット・アプリケーションの例には、イベント/自動化サービス と UNIX コマンド・サーバーがあります。

必要な情報

MVS ソケット・アプリケーション、
SYSTCPD DD ステートメント

参照先

z/OS Communications Server IP 構成ガイド

CNMSTYLE メンバーの更新

CNMSTYLE は、NetView の初期化中に使用される DSIPARM のメンバーです。NetView 初期化プロセスへの変更は、CNMSTUSR または CxxSTGEN で行われま
す。

CNMSTYLE のメンバー名は、NetView 始動プロシーチャーの &NV2I の値で制御
されます。NetView における &NV2I のデフォルト値は、NM です。 &NV2I (xx)
の値を指定すると、NetView は、初期化パラメーター用に DSIPARM 内の
CxxSTYLE を読み取ります。このメンバーが見つからない場合、NetView は代わり
に CNMSTYLE メンバーを読み取ります。組み込みメンバー CxxSTGEN も、
&NV2I に指定された xx の値を使用して解決されます。

DSIPARM 内のサンプル CNMSTYLE メンバーには、メンバーに組み込まれるステ
ートメントのタイプに関する記述コメントが含まれています。それらのコメントを
読み、デフォルトを検討してください。この後のセクションでは、幾つかの
NetView 機能についての追加の詳細情報を提供します。

必要な情報

CNMSTYLE 処理

参照先

*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール:
概説*

CNMSTYLE ステートメント

CNMSTYLE メンバー内のコメントおよび
「*IBM Tivoli NetView for z/OS* アドミニスト
レーション・リファレンス」

CNMSTYLE メンバーのカスタマイズ

CNMSTYLE メンバーをカスタマイズするには、グローバル (エンタープライズ) 変
更をメンバー CNMSTUSR メンバーに対して行い、次に変更した CNMSTUSR メン
バーをそれぞれの NetView システムにコピーします。

システム固有の変更は、%INCLUDE ステートメントを使用して CNMSTYLE メン
バーに組み込まれている CxxSTGEN メンバーに対して行うことができます (ここ
で、xx は &NV2I の値であり、初期値は NM に設定されています)。 CNMSTYLE
および CNMSTUSR メンバーのステートメントをオーバーライドするステートメン
トは、すべてこのメンバーにコーディングします。CxxSTGEN メンバー内で重複ス
テートメントが検出されると、それらのステートメントによって、CNMSTYLE お
よび CNMSTUSR メンバー内にある古い方のステートメントがオーバーライドされ
ます。 NV2I の値は、NetView 開始プロシーチャーで指定できます。

データ REXX は、%INCLUDE ステートメントを使用して CNMSTYLE メンバー
に組み込まれているメンバーで使用できます。データ REXX は、CNMSTYLE メン

バーではサポートされません。その代わりに、CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにタワー条件とサブタワー条件を定義して、CNMSTYLE メンバー内のステートメントを制御できます。

注: NetView プログラムの実行中に組み込みメンバーを変更した場合、その変更は、NetView プログラムをリサイクルしたときに有効になります。特定のタイプの変更 (例えば、ハードウェア・モニター、セッション・モニター、Web インターフェース、NetView リソース・マネージャー、ビジュアル BLDVIEWS、およびさまざまなグローバル変数の更新) の場合は、RESTYLE コマンドを使用して、NetView プログラムをリサイクルせずにこれらの変更を活動化できます。RESTYLE コマンドを使用して活動化できる変更のタイプについて詳しくは、NetView オンライン・ヘルプまたは「*IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 1 (A-N)*」を参照してください。

必要な情報	参照先
RESTYLE コマンド	NetView オンライン・ヘルプまたは「 <i>IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 2 (O-Z)</i> 」

%INCLUDE メンバーの使用

CNMSTYLE メンバー初期設定時に以下のメンバーが含まれます。

メンバー	使用法
CNMSTPWD	必要に応じて、このメンバーを使用して、VPD、VSAM、および ACB のパスワードを組み込むことができます。READSEC コマンドを使用すると、BROWSE コマンドで CNMSTPWD メンバーを表示できないように保護できます。
CNMSTNXT	リリースによって変更がある可能性のある CNMSTYLE ステートメントが含まれています。CNMSTNXT メンバーは、CNMSTYLE メンバー内ではコメント化されています。これは、文書化目的でのみ提供されています。
CNMSTASK	NetView プログラムで提供されるタスク・ステートメント。このメンバーは変更しないでください。組み込む必要のあるタスク・ステートメントは、すべて直接 CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーに組み込んでください。CNMSTUSR および CxxSTGEN メンバーのタスク・ステートメントにより、CNMSTASK メンバーで提供されるタスク・ステートメントがオーバーライドされます。
CNMSTIDS	Intrusion Detection Services (IDS) ステートメントが含まれています。IDS サポートを使用可能にする場合は、このメンバーを検討してください。
CNMSTTWR	非 NetView タワーからのステートメントを組み込みます。インストールするタワーの資料で特に指示がない限り、このメンバーを編集しないでください。
CNMSTWBM	Web メニュー・ステートメントが含まれています。
CNMSTUSR	CNMSTYLE メンバー内のステートメントをオーバーライドするグローバル (エンタープライズ) 定義ステートメントを組み込むこと

ができます。このメンバーは、CNMSTYLE メンバーをカスタマイズするのに使用します。データ REXX ロジックを使用できます。

注: また、このメンバーの %INCLUDE ステートメントを使用して、独自に選択した他のメンバーを組み込むこともできます。

C&NV2I.STGEN

このメンバーには、データ REXX ロジックも含め、システム固有の定義ステートメントを組み込むことができます。

注: また、このメンバーの %INCLUDE ステートメントを使用して、独自に選択した他のメンバーを組み込むこともできます。

シンボリック変数の使用法

多くの NetView プロセスでは、RODM 名、NetView ドメイン、TCP 名およびネットワーク ID が必要です。CNMSTYLE 処理は、これらの名前のシンボリック変数を設定します。また、SYS1.PARMLIB のメンバー IEASYMxx に、RODM 名、TCP 名、およびネットワーク ID のシステム変数も設定することができます。ネットワーク ID のシステム変数を設定することを選択した場合、それは NetView がその ACB を開いたときに VTAM によって戻される値と同じでなければなりません。

表 54. CNMSTYLE メンバーのシンボリック変数

シンボリック変数	CNMSTYLE ステートメント
RODM 名	RODMname = &CNMRODM. 注: RODM を使用していない場合、このステートメントは無視されます。
NetView ドメイン	DOMAIN=C&NV2I.01 (CNM01 は NetView 製品で提供されているデフォルト) 注: この ID が、VTAM APPL ステートメント上にリストされるアクセス方式制御ブロック (ACB) 名です。
TCP 名	TCPname=&CNMTCPN.
ネットワーク ID	NetID=&CNMNETID.

注:

1. NetView ドメイン ID またはパスワードを CNMPROC (CNMSJ009) プロシージャで指定した場合、CNMSTYLE メンバーの DOMAIN または ACBpassword ステートメントは使用されません。これらは、CNMPROC プロシージャによって渡されるパラメーターがヌルの場合を除き、無視されます。ドメイン・パスワードが CNMPROC プロシージャでも CNMSTYLE メンバーでも指定されていない場合は、ドメイン名がパスワードになります。
2. IEASYMxx に設定されたシステム・シンボリック変数は、すべてのアドレス・スペースに対して使用可能になります。CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーを使用して設定したグローバル変数は、この NetView アドレス・スペースにのみ適用されます。

STYLEVAR の使用法

STYLEVAR は、CNMSTYLE メンバー内の任意の場所で使用できる変数を定義する場合に使用します (ただし、コマンド・フェーズの場合は除きます)。これらの変数を使用して、繰り返しデータの入力プロセスを簡素化することができます。

注:

1. システム・シンボル名は、STYLEVAR 変数名に有効な名前ではありません。
2. STYLEVAR 変数の値に別の STYLEVAR 変数を含めることはできません。

必要な情報

STYLEVAR ステートメント

参照先

CNMSTYLE メンバー内のコメントおよび
「IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニスト
レーション・リファレンス」

NetView コンポーネントの活動化

NetView コンポーネントは、TOWER ステートメントを使用して活動化できます。タワー・ステートメントは、初期化プロセスにおいて、他のほとんどの変数 (例えば、共通グローバル変数) より前に検査されます。このことは、初期化プロセスを条件付きで制御するような場合に便利です。

以下に、デフォルトの TOWER ステートメントの例を示します。

```
TOWER = *SA *AON *MSM *Graphics NPDA NLDM TCPIPCOLLECT
        *AMI *TARA *DVIPA *TEMA *IPMGT *NVSOA DISCOVERY
```

使用上の注意:

1. タワーが使用可能になるのは、その前にアスタリスクが付けられていない場合です。あるタワーを使用可能にするには、そのタワー名の前のアスタリスク (*) を除去します。
2. あるタワーを使用不可にするには、そのタワー名の前にアスタリスクを付けます。
3. TOWER ステートメントが複数ある場合は、最後に検出された TOWER ステートメントが処理されます。変更した TOWER ステートメントは NetView を再始動するまで認識されないことを忘れないことが重要です。

サブタワー・ステートメント (TOWER.subtower) を使用して、タワー内の特定のコンポーネントを使用可能にできます。以下に、サブタワー・ステートメントの例をいくつか示します。

```
TOWER.AON = SNA TCP
TOWER.DISCOVERY = *INTERFACES *TELNET
TOWER.DISCOVERY.INTERFACES = *OSA *HIPERSOCKETS
TOWER.DVIPA = *DVTAD *DVCONN *DVROUT
TOWER.Graphics = SNATM
TOWER.IPMGT = *ACTMON *IDS
TOWER.MSM = ITNM IP OPN TMR
TOWER.TCPIPCOLLECT = TCPCONN PKTS
TOWER.TEMA = *HEALTH *CONNECT *CONINACT *SESSACT *DVDEF *DVTAD *DVCONN
        *SYSPLEX *TELNET *DVROUT *OSA *HIPERSOCKETS
```

使用可能にする NetView 製品に付属のタワーに関連付けられているサブタワー・ステートメントを検討します。あるサブタワー・ステートメントを更新するには、そのサブタワー・ステートメントを CNMSTUSR または CxxSTGEN メンバーにコピー

ーします。ある機能を使用可能にするには、その機能名の前に付けられているアスタリスク (*) を削除します。ある機能を使用不可能にするには、その機能名の前にアスタリスク (*) を追加してください。

タワー・ステートメントとサブタワー・ステートメントを有効にするには、NetView プログラムをリサイクルする必要があります。このために、このステートメントを慎重に見直してください。いずれかのタワーおよびサブタワー・コンポーネントを実装する場合は、インストール・プロセスのこのステップでこの機能を使用可能にすることを考慮してください。

NetView プログラムで提供される以下のタワー・ステートメントを参照してください。

タワー 説明

AMI アプリケーション管理媒介機能を使用可能にします。

AON ネットワーク自動化を使用可能にします (AON コンポーネント)。

サブタワー 説明

SNA SNA 自動化 (AON/SNA)

サブタワー 説明

X25 AON/SNA X.25 サポート

TCP TCP/IP 自動化 (AON/TCP)

サブタワー 説明

IDS Intrusion Detection Services (IDS) サポート

DISCOVERY シスプレックス、z/OS システム、カップリング・ファシリティ、TCP/IP スタック、TCP/IP サブプレックス、および NetView アプリケーションのディスカバリーを使用可能にします。

サブタワー 説明

INTERFACES IP インターフェース情報のディスカバリーを使用可能にします。

サブタワー 説明

OSA OSA チャネルおよびポートのディスカバリーを使用可能にします。

HIPERSOCKETS

HiperSockets の構成情報および状況情報のディスカバリーを使用可能にします。

TELNET Telnet サーバーおよびポートのディスカバリーを使用可能にします。

DVIPA 動的仮想 IP アドレス (DVIPA) 定義と状況データの収集を使用可能にします。

サブタワー 説明

	DVCONN	DVIPA 接続データの収集を使用可能にします。
	DVROUT	DVIPA 経路データおよび分散 DVIPA 接続ルーティング・データの収集を使用可能にします (z/OS Communications Server V1R11 以降が必要です)。
	DVTAD	DVIPA シスプレックス・ディストリビューター、分散 DVIPA ターゲット、分散 DVIPA サーバー正常性統計、および分散 DVIPA 統計 (使用可能になっている場合) の収集を使用可能にします。
	GRAPHICS	NetView 管理コンソールを使用可能にします。
	サブタワー	説明
	SNATM	SNA トポロジー・マネージャー。
	IPMGT	IP 管理を使用可能にします。
		AON TCP サブタワーが使用可能になっている場合は、IPMGT サブタワーを使用可能にしないでください。
	サブタワー	説明
	ACTMON	AON コンポーネント (AON タワー) を使用可能にすることなく、IP リソースの能動的モニタリングを実行します。
	IDS	AON コンポーネント (AON タワー) を使用可能にすることなく、Intrusion Detection の自動化を使用可能にします。
	MSM	マルチシステム・マネージャーを使用可能にします。
	サブタワー	説明
	IP	IP 機能。
	ITNM	IBM Tivoli Network Manager 機能。
	OPN	オープン機能。
	TMR	Tivoli 管理対象リソース機能。
	NLDM	セッション・モニターを使用可能にします。
	NPDA	ハードウェア・モニターを使用可能にします。
	NVSOA	Web サービス・ゲートウェイ 機能を使用可能にします。
	SA	z/OS のシステム自動化を使用可能にします。
	TARA	4700 サポート・ファシリティを使用可能にします。
	TCPIPCOLLECT	
		z/OS Communications Server からの TCP/IP 接続トレース・データおよびパケット・トレース・データの収集を使用可能にします。
	サブタワー	説明
	TCPCONN	TCPCONN START コマンドおよび TCPCONN STOP コマンドを使用した TCP/IP 接続データの収集に必要です。

| PKTS PKTS START コマンドおよび PKTS STOP コマンドを使用した TCP/IPパケット・トレース・データの収集、および OSA パケット・トレース・データの収集に必要です。

TEMA NetView プログラムが Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent と通信できるようにします。

使用上の注意: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent をインストールしない場合は、TEMA タワーを使用可能に設定しないでください。LPAR ごとに 1 つの NetView プログラムについてのみ、TEMA タワーを使用可能にします。

サブタワー 説明

| **CONINACT** 非アクティブ TCP/IP 接続の収集および表示を使用可能にします。

| **CONNACT** アクティブ TCP/IP 接続の収集および表示を使用可能にします。

DVCONN DVIPA 接続の表示を使用可能にします。

DVDEF DVIPA 定義と状況データの表示を使用可能にします。

| **DVROUT** VIPA 経路データおよび分散 DVIPA 接続ルーティング・データの表示を使用可能にします。

DVTAD 分散 DVIPA データの表示を使用可能にします。

| **HEALTH** NetView タスク・データの収集および表示を使用可能にします。

HIPERSOCKETS

HiperSockets の構成情報および状況情報の表示を使用可能にします。(RODM が必要です。)

| **OSA** OSA チャンネルとポートの情報の表示を使用可能にします。(RODM が必要です。)

| **SESSACT** アクティブ・セッションの収集および表示を使用可能にします。

SESSACT サブタワーは、システムにつき 1 つの NetView プログラムでのみサポートされます。

| **SYSPLEX** スタック構成と状況データの表示を使用可能にします。

| **TELNET** Telnet サーバーおよび Telnet サーバー・ポートの情報の表示を使用可能にします。

必要な情報

参照先

AON、ハードウェア・モニター、セッション・モニター、4700 サポート・ファシリティ *IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成

必要な情報	参照先
MultiSystem Manager・サブタワー	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS Installation: Configuring Graphical Components</i>
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agentタワーとサブタワー	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成</i>

セキュリティの設定

SECOPTS ステートメントを使用して、以下を指定できます。

- オペレーターのセキュリティ
- コマンド権限
- 制御権限のスパン
- Web ブラウザーのアクセス

必要な情報	参照先
セキュリティ・オプション	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS セキュリティー・リファレンス</i>
SECOPTS キーワード	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス</i>

NetView プログラムの開始時に自動的に実行するコマンドの指定

NetView プログラムの開始時に自動的に実行するコマンドまたはコマンド・リストを定義するには、CNMSTUSR または CxxSTGEN で auxInitCmd ステートメントを使用します。実行するように指定するコマンドまたはコマンド・リストの数はいくつでも構いません。auxInitCmd キーワードに続く EBCDIC の値によって、コマンドの実行順序が決定されます。

以下に、例を示します。

```
auxInitCmd.A = MSG SYSOP,Auxiliary commands beginning.
auxInitCmd.AC = RESTORE TIMER
```

この場合、MSG SYSOP コマンド (A) は、RESTORE TIMER コマンド (AC) より先に実行されます。

注: これらの AuxInitCmd コマンドは、自動タスクのコマンドより先に実行されません。自動タスクについてのすべてのコマンド (タスク初期コマンド・リストと EXCMD から送信されるコマンドなど) は、キューに入れられ、保留されます。これらはすべての AuxInitCmds の完了後にのみ実行されます。メッセージもキューに入れられます。すべての AuxInitCmd が完了するまで、メッセージに対する自動化の実行依頼もログへの記録も行われません。

必要な情報	参照先
NetView 初期設定で実行するコマンド・リストの作成	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS プログラミング: REXX および NetView コマンド・リスト言語</i>

NetView サブシステム・インターフェースの開始

NetView サブシステム・インターフェース (SSI) を開始するには、CNMSTUSR または CxxSTGEN で SSI.ProcString ステートメントを使用します。

```
SSI.ProcString = CNMPSSI.SS,SUB=MSTR,ARM='*ARM'
```

プロシージャ名 (例えば CNMPSSI) を指定します。NetView プログラムにより、MSGIFAC パラメーターの正しい値、およびオプションで DSIG パラメーターと PPIOPT パラメーターの正しい値が提供されます。また、ご使用のインストール済み環境に必要な追加の開始パラメーター (SUB=MSTR など) も指定できます。

注: SSI.ProcString ステートメントには MSGIFAC、PPIOPT、または DSIG パラメーターは指定しないでください。これらのパラメーターは、NetView プログラムによって処理中に追加される場合があるからです。これらの値を更新するには、MVSPARM.MSGIFAC、SSI.PPI、および SSI.DSIG ステートメントを使用します。

SSI.ProcString ステートメントに *NONE* を指定すると、CNMCSSIR タスクは SSI プロシージャを開始しません。これがデフォルトです。

必要な情報

参照先

CNMPSSI を使用した SSI の開始

SSI CNMSTYLE ステートメント

CNMSTYLE メンバー内のコメントおよび
「IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニスト
レーション・リファレンス」

NetView コンポーネントの初期設定値の指定

一部の NetView コンポーネントの初期設定値は、CNMSTYLE 初期設定メンバーに指定されます。表 55 に、NetView コンポーネントとその基本タスク名、DSIPARM 内の初期化メンバー、および CNMSTYLE ステートメントでの初期設定値の接頭部を示します。

表 55. NetView コンポーネントの初期化

NetView コンポーネント	基本タスク名	初期化メンバー	CNMSTYLE ステートメントでの接頭部
CNM データ転送	domidLUC	DSILUCTD	LUC.*
ホスト取得タスク	DUIDGHB	DUIIGHB	GHB.*
ハードウェア・モニター	BNJDSERV	BNJMBDST	NPDA.*
IP ログ	DSIIPLOG	DSIILGCF	IPLOG.*
LU 6.2 通信	DSIUUDST	DSIUINIT	RMTINIT.*
NetView リソース・マネージャー	AUTONRM	非適用	NRM.*
リソース・ステータス・モニター	CNMTAMEL	DUIISFP DUIIFMEM	TAMEL.*
REXEC サーバー	DSIRXEXC	DSIREXCF	REXEC.*
RSH サーバー	DSIRSH	DSIRSHCF	RSH.*

表 55. NetView コンポーネントの初期化 (続き)

NetView コンポーネント	基本タスク名	初期化メンバー	CNMSTYLE ステートメント での接頭部
セッション・モニター	DSIAMLUT AAUTSKLP	DSIAMLTD AAUPRMLP	NLDM.*
TCP/IP アラート受信側	DSIRTTR	DSIRTTTD	RTT.*
NetView 3270 management console 用の TCP/IP 通信	DSITCPIP	DSITCPCF	MCON.*
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent	AUTONALC	非適用	NACMD.* ¹
ビジュアル BLDVIEWS	AUTOVBV	非適用	VBV.*
XCF サービス	AUTOXCF	非適用	XCF*
Web サーバー・インターフェー ス・タスク	DSIWBTSK	DSIWBMEM	WEB.*
<p>注:</p> <p>1. Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent に関連付けられた NACMD.* ステートメントは、TEMA タワーが使用可能な場合にのみ処理されます。</p>			

必要な情報

参照先

CNMSTYLE ステートメント

IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス

RESTYLE コマンド

IBM Tivoli NetView for z/OS Command Reference Volume 1 (A-N)

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent

IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: *Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent* の構成

アクティブ CNMSTYLE メンバー名のリスト作成

共通グローバル変数 CNMSTYLE.STYLE は、読み取られた CNMSTYLE メンバーの名前に設定されます。アクティブな CNMSTYLE メンバーをリストするには、次のように入力します。

```
QRYGLOBL COMMON VARS=CNMSTYLE.STYLE
```

レポート生成プログラムの使用

CNMSTYLE レポート生成プログラムを使用すると、CNMSTYLE メンバーを分析できます。作成されるレポートは、以下のアクションに使用できます。

- %INCLUDE 構造のリスト。
- CNMSTYLE メンバー内のステートメントの複数オカレンスの分析。これにより、NetView の初期化時に使用される値を判別できます。レポートに複数回リストされているステートメントの場合、初期化に使用されるのは最後にリストされているステートメントです。
- 使用可能になっている CNMSTYLE タワーのリスト。
- 特定の機能についての初期化ステートメントの分析。

CNMSTYLE レポート生成プログラムを実行するには、NETVIEW.V5R4USER.INSTALL データ・セットに入っている CNMSJCRG サンプルを使用します。この INSTALL データ・セットは、インストール時に CNMSJBUP サンプル・ジョブによって作成されたものです。CNMSJCRG サンプルは、NetView アドレス・スペースの外部で実行されるジョブで、TSO 端末モニター・プログラムの下で REXX プログラム CNMECRG を実行します。

CNMSJCRG サンプルは、以下のデータ・セットを必要とします。

STEPLIB

| 現行リリース NETVIEW.V5R4M0.CNMLINK の NetView CNMLINK データ・セット
|

SYSEXEC

現行リリースからの NetView CNMCLST データ・セットの連結データ・セット・リスト。

DSIPARM

| CNMSTYLE メンバーの現行リリース・バージョンを含む連結データ・セット・リスト。データ・セットの連結順序が、NetView 開始プロシージャ CNMPROC で指定されている順序と同じであることを確認してください。
|

CNMPNL1

| 現行リリース NETVIEW.V5R4M0.CNMPNL1 の NetView CNMPNL1 データ・セット
|

DSIWRT

生成されたレポート・メンバーが書き込まれる出力区分データ・セット。レポート生成プログラムの出力は、区分データ・セットのメンバーとして書き込まれます。NetView のデフォルトの命名規則を使用する場合、データ・セット名は NETVIEW.V5R4USER.CNM01.DSILIST となります。

CNMSTYLE レポートは、DSIWRT データ・セットのメンバー CNMCRG に書き込まれます。メンバー CNMCRG がすでに存在する場合は、既存の CNMCRG メンバーのバックアップ・コピーが作成されて、CNMCRGBK と命名されます。メンバー CNMCRGBK がすでに存在する場合は、それが既存の CNMCRG メンバーによって上書きされます。

CNMSJCRG にキーワード・パラメーターを指定できます。それぞれのキーワード・パラメーターと値は、CNMECRG コマンドの直下に、1 行につき 1 組ずつ別々に指定する必要があります。値は 2 行にわたらないようにしてください。1 行に入力されたすべての文字が CNMECRG への入力として解釈されます。同じキーワード・パラメーターを複数回指定した場合は、最初の値が使用されて、後続の指定値はすべて無視されます。入力は、ブランク行または /* のいずれかが検出された時点で終了します。

指定可能なキーワードは以下のとおりです。

TASKS=YES | NO

レポートに CNMSTASK ステートメントを組み込むかどうかを指定します。

YES CNMSTASK メンバーからステートメントを組み込みます。これがデフォルト値です。

NO CNMSTASK ステートメントを組み込みません。

&NV2I=xx

xx のデフォルト値は NM です。無効な値を指定すると、エラー・メッセージが発行され、レポートではデフォルト値 NM が使用されます。英字を使用すると、文字は大文字に変換されます。

&symbolic_name=value

CNMSTYLE メンバーで使用しているシステムまたは NetView シンボリック変数 (&symbolic_name) の値 (value) を指定します。シンボリック・パラメーターは、レポート内で解決されるように CNMECRG に渡す必要があります。

CNMSTYLE レポート作成プログラムは、NetView 定義メンバーを読み取る際に、以下のようなシンボリック変数のサブストリングを参照するシンボリック参照は解決できません。

```
%INCLUDE C&DOMAIN(2:2).STGEN
```

使用上の注意:

1. *symbolic_name* の前にはアンパーサンド (&) を付けます。
2. *symbolic_name* には、オプションで末尾のピリオド (.) を含めることができます。
3. *value* に先行ブランクまたは末尾ブランクがある場合は、単一引用符 (') を使用してください。
4. 次のような値は指定しないでください。すなわち、以下のようにシンボリック変数を含む値、

```
&AAAAA='C&NV2I.01'
```

または、以下のようなシンボリック変数のサブストリングを含む値。

```
&AAAAA='C&DOMAIN(2:2).01'
```

以下に、CNMSJCRG 内の CNMECRG に指定するキーワード・パラメーターの例を示します。

```
CNMECRG
  TASKS=NO
  &DOMAIN=CNM01
  &NV2I=NM
  &CNMTCPN=TCPIP
  &CNMRODM=RODMNAME
  &CNMNETID=NETA
  &MYSYMBL=' A B C '
/*
```

CNMSTYLE レポートには、以下のセクションが含まれています。

1. 一般情報および NetView のすべての機能に関係のある CNMSTYLE ステートメント
2. NetView の特定の機能に関係のある CNMSTYLE ステートメント
3. auxInitCmd ステートメントとユーザー定義ステートメント
4. CNMSTYLE メンバー内のデータ REXX ステートメント

TASKS パラメーターが NO に設定されているので、この例のレポートには CNMSTASK ステートメントは含まれていません。

図 6 に、CNMSTYLE レポートの最初のセクションを示します。レポートのこの部分には、次のような、CNMSTYLE メンバーに関する一般情報が含まれています。

- レポートが作成された日時
- 使用されている &NV2I シンボリック変数値
- CNMSTYLE メンバーによって組み込まれるメンバーのネストされたリスト
- NetView の初期化時に使用可能にされる CNMSTYLE タワーのリスト
- ベースの NetView に適用される CNMSTYLE ステートメントのリスト

```

                                CNMSTYLE REPORT

DATE: 21 Jul 2009
TIME: 14:03:25

&NV21 value: NM

%INCLUDE structure of: CNMSTYLE

    CNMSTYLE
      CNMSTPWD
      CNMSTASK
      CNMSTIDS
      CNMSTTWR
      CNMSTWBM
      CNMSTUSR
      MYINCLUD
      CNMSTGEN

Enabled Towers:  NPDA  NLDM  TCPIPCOLLECT  DISCOVERY

Statements for function: NetView General

Member  Line#  Indicators  Statement
-----
CNMSTYLE  217  Y           DOMAIN = CNM01
CNMSTYLE  304  Y           NetID = NETA
CNMSTYLE  747                    TOWER = *SA *AON *MSM *Graphics NPDA NLDM
                        | TCPIPCOLLECT *AMI *TARA *DVIPA *TEMA *IPMG
                        | *NVSQA DISCOVERY
CNMSTYLE  1589                   CNMI = Yes
CNMSTYLE  582                   SECOPTS.OPERSEC = NETVPW
CNMSTYLE  596                   SECOPTS.SURROGAT = NO
CNMSTYLE  615                   SECOPTS.COMDAUTH = TABLE.CNMSCAT2
CNMSTYLE  626                   SECOPTS.AUTHCHK = SOURCEID
CNMSTYLE  634                   SECOPTS.OPSPAN = NETV
CNMSTYLE  653                   SECOPTS.SPANAUTH = *NONE*
      .
      .
      .

```

図 6. CNMSTYLE レポートの最初のセクション

生成されたレポートに表示される CNMSTYLE ステートメントのフォーマットには、以下のフィールドが含まれています。

Member

ステートメントを含んでいるメンバー名。

Line# メンバー内で CNMSTYLE ステートメントが配置されている行番号。ステートメントが継続ステートメントである場合は、そのステートメントが始まる行の行番号のみがリストされます。

Indicators

ステートメントに関する情報がリストされます。この情報は、次のようにしてフォーマット設定されます。

R CCCCC

ここで、**R** は解決 (Resolve) インディケータを表し、**CCCCC** は条件 (Condition) インディケータを表します。

解決 (Resolve)

レポート生成プログラムによって当該の CNMSTYLE ステートメントが変更されたかどうかを示します。**Y** の指定は、ステートメントが変更されたことを示します。例えば、シンボリック変数が置換された場合や、疑問符 (?) 機能を使用する自動タスク・ステートメントが解決された場合などです。

解決フィールドに値がリストされていない場合、そのステートメントには変更は加えられませんでした。

条件 (Condition)

リストされている CNMSTYLE ステートメントがアクティブになるためには満たされなければならない条件があることを示します (例えば、特定のタワーを使用可能にする必要があるなど)。使用可能にする必要のあるタワーが 1 つのみである場合は、条件フィールドにはその必要なタワー名が設定されます。リストされるのはタワー名の最初の 10 文字です。複数のタワーを使用可能にする必要がある場合か、または満たさなければならない条件がほかにもある場合には、条件フィールドに 4 つのアスタリスク (****) が設定されます。

条件フィールドに値がリストされていない場合は、そのステートメントがアクティブになるための必須条件は特にありません。

Statement

CNMSTYLE ステートメントとその値がリストされます。ステートメントの先頭で検出されたタワー条件とともに、ステートメント内の余分のスペースが除去されていることがあります。CNMSTYLE キーワードまたはその値のどちらかに置換される値を持つステートメントには、さらなる変更が加えられる可能性があります。

パスワードやセキュリティー上重要なその他の値を含む CNMSTYLE キーワードの値はセキュリティー・リスクと識別され、無許可の表示を防ぐために、レポートでは 4 つのアスタリスク (****) としてリストされます。

レポートの 2 番目のセクションには、特定の NetView 機能に関する CNMSTYLE ステートメントがリストされます。例えば、179 ページの図 7 には、ハードウェア・モニター (NPDA) コンポーネントに関するステートメントがリストされています。

ある CNMSTYLE ステートメントが複数の NetView 機能に適用される場合、そのステートメントは適用されるそれぞれの NetView 機能ごとにリストされます。例えば、TOWER ステートメントは、ハードウェア・モニターとセッション・モニターの両方、および他のさまざまな NetView 機能に適用されます。

機能ごとに、最も重要なステートメントが最初にリストされ、その後ろにより重要度の低いステートメントが続きます。レポート内では、NetView 機能はアルファベット順に示されます。

Statements for function: Hardware Monitor (NPDA)

Member	Line#	Indicators	Statement
CNMSTYLE	747		TOWER = *SA *AON *MSM *Graphics NPDA NLDM TCPIP COLLECT *AMI *TARA *DVIPA *TEMA *IPMG *NVS OA DISCOVERY
CNMSTYLE	1701		TASK.BNJMNPD.A.INIT = N
CNMSTYLE	1690		TASK.BNJDSE.RV.INIT = N
CNMSTYLE	2733		NPDA.ALCACHE = WRAPCNT
MYINCLUD	18	NPDA	NPDA.ALCACHE = 500
CNMSTYLE	2749		NPDA.ALERTFWD = SNA-MDS-LOGONLY
CNMSTYLE	2807		NPDA.ALERTLOG = RANDRANG
CNMSTYLE	2783		NPDA.ALRTINFP.RECORD = Yes
CNMSTYLE	2793		NPDA.ALT ALERT = DOMAIN
CNMSTYLE	2864		NPDA.AUTORATE = 1
CNMSTYLE	2701		NPDA.DSRBO = 5
CNMSTYLE	2693		NPDA.DSRBU = 5
CNMSTYLE	2901		NPDA.ERR_RATE = 10 50
CNMSTYLE	2708		NPDA.MACRF = LSR
CNMSTYLE	2758		NPDA.MDSIND = Yes
CNMSTYLE	2686		NPDA.PDDNM = BNJLGPR
CNMSTYLE	2714		NPDA.PNA = No
CNMSTYLE	2873		NPDA.PRELOAD_BER = No
CNMSTYLE	2720		NPDA.REPORTS = OFF
CNMSTUSR	14		NPDA.REPORTS = ON
CNMSTYLE	2687		NPDA.SDDNM = BNJLGSE
CNMSTYLE	2728		NPDA.TECROUTE = IHSATEC
MYINCLUD	17	NPDA	NPDA.W.1 = AL 500
CNMSTYLE	1846		function.autotask.HMONdbMaint = DBAUT02

図 7. NetView 機能に関する情報

レポートの 3 番目のセクションには、180 ページの図 8 に示されているように、auxInitCmd ステートメントとユーザー定義ステートメントがリストされます。auxInitCmd ステートメントは、それらが CNMSTYLE メンバーで検出される順序でリストされます。

ユーザー定義の CNMSTYLE ステートメント下にリストされるステートメントは、特定の NetView 機能に属するステートメントか、またはレポートの最初のセクションの一般的な NetView 情報に属するステートメントとして、CNMSTYLE レポート生成プログラムでは認識されません。例えば、OPAAA01 という名前の自動タスクを、次のように定義できます。

```
%> IF TOWER('NPDA') THEN DO;
function.autotask.MyAutoOp = OPAAA01
%> END;
```

定義した場合、function.autotask.MyAutoOp ステートメントは、ユーザー定義ステートメントとしてリストされます (図 8を参照)。

auxInitCmd Statements

Member	Line#	Indicators	Statement
CNMSTYLE	4633		auxInitCmd.A = MSG SYSOP,Auxiliary commands begin ing.
CNMSTYLE	4636	NLDM	auxInitCmd.SNLDM = STARTCNM NLDM
CNMSTYLE	4637	NPDA	auxInitCmd.SNPDA = STARTCNM NPDA
CNMSTYLE	4638		auxInitCmd.POLICY = EXCMD ?Policy,EZLEANTL
CNMSTYLE	4639	DISCOVERY	auxInitCmd.ZDISC = EXCMD ?Policy,CNMEERSC
MYINCLUD	16	NPDA	auxInitCmd.BB = MSG SYSOP,NPDA will be activated

User-Defined CNMSTYLE Statements

Member	Line#	Indicators	Statement
CNMSTYLE	361		AUTOTASK.?Helper.Console = D761CON
CNMSTYLE	1079		AUTOTASK.?APSERV.Console = *NONE*
CNMSTYLE	1080		AUTOTASK.?APSERV.InitCmd = APSERV xyz
CNMSTYLE	1090		AUTOTASK.?SMF30.Console = *NONE*
CNMSTYLE	1091		AUTOTASK.?SMF30.InitCmd = CNMSMF3R
MYINCLUD	15	NPDA	function.autotask.MyAutoOp = OPAAA01

図 8. auxInitCmd ステートメントとユーザー定義ステートメント

レポートの 4 番目のセクションには、データ REXX ステートメントがリストされます (181 ページの図 9を参照)。レポート処理の間、データ REXX ステートメントは無視されます。レポート内では、これらのステートメントはそれらが CNMSTYLE メンバーで検出される順序でリストされます。レポートには、各データ REXX ステートメントの最初の 63 文字のみが入れられます。どの CNMSTYLE ステートメントがデータ REXX ステートメントの影響を受けるかを理解しやすくするために、IF-THEN ステートメントの影響を受けるデータ REXX ブロックの %DATA 部分内の CNMSTYLE ステートメントもリストされます。

Data REXX Statements

```

Member   Line# Statement
-----
.         .         .
.         .         .
.         .         .

CNMSTTWR 1 /*%LOGIC REXX -----
CNMSTTWR 2 /* Licensed Materials - Property of IBM
CNMSTTWR 3 5697-B82 (C) Copyright IBM Corp. 2001
CNMSTTWR 4 All rights reserved.
CNMSTTWR 5
CNMSTTWR 6 US Government Users Restricted Rights - Use, duplication or
CNMSTTWR 7 disclosure restricted by GSA ADP Schedule Contract with IBM
CNMSTTWR 8 /* The one line "commentary" below is needed because empty memb
CNMSTTWR 9 are treated as being "not found." Appears as I/O error.
CNMSTTWR 10 '* ----- tower member ----- *'
CNMSTTWR 11 IF TOWER('SA') THEN
CNMSTTWR 12 '%INCLUDE AOFSTYLE'

MYINCLUD 1 /*%DATA REXX -----

MYINCLUD 13 %> IF TOWER('NPDA') THEN DO;

MYINCLUD 15 function.autotask.MyAutoOp = OPAAA01
MYINCLUD 16 auxInitCmd.BB = MSG SYSOP,NPDA will be activated
MYINCLUD 17 NPDA.W.1 = AL 500
MYINCLUD 18 NPDA.ALCACHE = 500

MYINCLUD 20 %> END;

CNMSTGEN 1 /*%DATA REXX -----

CNMSTGEN 13 %> IF domain() = 'CNM01' THEN /* Never true! Data REXX runs...
CNMSTGEN 14 %> /* earlier than resolution of system-sym
CNMSTGEN 15 %> 'STYLEMSG = Illustration only. You will never see this.'

```

図9. データ REXX ステートメント

注: 表示されるのは、各データ REXX ステートメントの最初の 63 文字のみです。

以下の戻りコードが、CNMECRG によって設定されます。

- 0** 正常終了。ファイルが DSIWRIT に作成されました。
- 4** マイナー・エラーが検出されました。ファイルが DSIWRIT に作成されました。
- 8** メジャー・エラーが検出されました。ファイルは DSIWRIT に作成されません。

ゼロ以外の戻りコードの場合は、CNMSJCRG ジョブ・ログにエラー・メッセージがある可能性があります。

第 8 章 マイグレーションの検査

この章では、インストールした NetView プログラムをテストするための一連のステップを説明します。これらのステップは、示された順序どおり実行してください。

1. VTAM が開始済みであることを確認します。
2. ジョブ CNMPSSI を使用して、NetView サブシステム・アドレス・スペースを開始します。
3. ジョブ CNMPROC を使用して、NetView プログラムを開始します。

NetView プログラムの追加コピーをこの LPAR で実行し、かつハードウェア・モニターを使用する場合は、システム・コンソールで次のコマンドを入力します。

```
S CNMPROC,PROG=DSIMNT
```

4. コマンド・ファシリティにログオンします。
5. NetView のメインメニューから、**HELP** と入力して NetView ヘルプ機能のメインメニューを表示します。
6. **PF3** を 2 度押してコマンド・ファシリティに移動してから、**help** コマンドを実行してコマンド・ファシリティのヘルプ・メニューを表示します。
7. **4** と入力して、コマンド・リストと、ヘルプが存在するコマンド・リストを表示します。
8. **PF3** を 2 回押してコマンド・ファシリティに戻ってから、**WHO** と入力して、セッションについての情報を表示します。
9. すべてのデータが表示されるまで **Enter** キーを押してから、**BR NETLOGA** と入力してアクティブ・ネットワーク・ログを表示します。
10. **PF3** を押してコマンド・ファシリティに戻ってから、**NPDA** コマンドを実行して、ハードウェア・モニターのメインメニューを表示します。
11. **ALERTSH** コマンドを実行して、ハードウェア・モニター・データベースに記録されたアラートの履歴を表示します。
12. **PF3** を 2 度押してコマンド・ファシリティに戻ってから、**NLDM** コマンドを実行して、セッション・モニターのメインメニューを表示します。
13. **LIST HISTORY LU** コマンドを実行して、論理装置の履歴カル・リストを表示します。
14. **PF3** を 2 度押してコマンド・ファシリティに戻ってから、**LOGOFF** コマンドを実行して、オペレーター・セッションを終了します。

これによって、最低限の機能をもつ NetView プログラムのインストールとマイグレーションが完了します。実動で NetView プログラムを実行するには、以下の処置を検討してください。

- V5R4 モジュールがシステムでアクティブであり、V5R4 VTAMLIB メンバーが VTAM により使用されていることを確認します。このためには、実動で NetView プログラムを実行する前に、CLPA の IPL が必要になる可能性があります。
- 製品 LPAR 用の VSAM を割り振ります。

マイグレーションの検査

- VTAM が開始済みであることを確認します。
- 同じ LPAR で複数の NetView プログラムを実行していた場合には、1 つの NetView プログラムが基本プログラム・オペレーター (PPO) としてセットアップされ、2 番目の NetView が 2 次プログラム・オペレーター (SPO) としてセットアップされていることを確認します。詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* インストール: 追加コンポーネントの構成」で、同じ LPAR 内で複数の NetView プログラムを実行する方法について参照してください。
- ご使用のシステムに必要なチューニングおよびカスタマイズの作業をすべて完了します。詳しくは、表 56 を参照してください。
- システム自動化のために NetView プログラムを使用する場合は、システムの自動化計画を検討し、すべての新しい操作手順でインプリメンテーションの準備ができていることを確認します。

準備したそれぞれの管理タスクごとに、そのタスクが正しく実行されたことを確認するためのテストをします。結果に問題がなければ、完全な実動に向けて NetView プログラムの準備は完了です。

注: 前のリリースの NetView プログラムのもとで実動を再開する場合は、NetView サブシステム・ジョブを取り消し、V5R4 アプリケーションを閉じてください。

表 56. インストール、構成、カスタマイズ、およびチューニングの追加情報

必要な情報	参照先
環境に応じた NetView の更新	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> インストール: 追加コンポーネントの構成
グラフィックス用の NetView の更新	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS Installation: Configuring Graphical Components</i>
インストール・システム出口の書き込み	「 <i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> プログラミング: アセンブラー」または「 <i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> プログラミング PL/I および C」
コマンド・プロセッサの書き込み	「 <i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> プログラミング: アセンブラー」または「 <i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> プログラミング PL/I および C」
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent	<i>IBM Tivoli NetView for z/OS</i> インストール: <i>Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent</i> の構成

第 9 章 グラフィックスのマイグレーション

この章では、NGMF から NetView 管理コンソール へのマイグレーションを行う場合のステップについて説明します。NGMF サポートが組み込まれていた最後の NetView バージョンは、NetView V1R4 でした。NetView V5R4 は、NGMF サーバーへの NETCONV 接続を許可しません。現行の NGMF ユーザーは、NetView 管理コンソールにアップグレードする必要があります。

また本章では、前のレベルの NetView 管理コンソール から NetView V5R4 NetView 管理コンソール へのマイグレーション方法についても説明しています。

NGMF から NetView Management Console へのマイグレーション

マイグレーションは、NGMF グラフィック・データ・サーバーおよびグラフィック・モニター・ワークステーションから、NetView 管理コンソールのワークステーション (コンソールとサーバーの両方) への置換作業で構成されます。ユーザーが NGMF から NetView 管理コンソール にマイグレーションする場合、GMFHS を変更する必要はありません。

マイグレーションに関するその他の考慮事項は以下のとおりです。

- コンテキスト・メニュー・コマンド定義。

これらには、コマンド・プロファイル・エディターのユーザー定義コマンドと、NGMF から NetView 管理コンソール へのユーザー定義のコマンド・ツリー定義が含まれます。NetView プログラムは、これらのコマンド・ツリー定義をマイグレーションするためのユーティリティを提供しています。このユーティリティの詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS NetView 管理コンソールユーザーズ・ガイド*」を参照してください。このセクションには、コマンド・プロファイル・エディターでのユーザー定義のコマンドのマイグレーションに関するヒントも記載されています。

- ビューのカスタマイズ。

ビューのカスタマイズはマイグレーションされません。再度、カスタマイズする必要があります。

- NGMF サーバー・ベースのコマンド出口。

これらのコマンド出口は再コーディングおよび再コンパイルして、NetView 管理コンソール サーバーに再インストールする必要があります。

- NGMF クライアント・ベースのコマンド出口。

これらのコマンド出口は、Java で再作成する必要があります。

NetView 管理コンソールのトポロジー・サーバーおよびコンソールのマイグレーション

NetView 管理コンソールのトポロジー・サーバーおよびコンソールをマイグレーションする前に、NetView V5R4 ホスト・プログラムのマイグレーションを完了してください。V5R4 での新規リソースは、アイコンの代わりに赤の X が表示されません。

NetView V5R4 では、NetView 管理コンソール・トポロジー・コンソールと NetView 管理コンソール・トポロジー・サーバー間のフローが一部変更されたため、前のレベルとの互換性がなくなりました。V5R4 トポロジー・コンソールのコンソールは、V5R4 レベルのサーバーのみと通信し、V5R4 レベルのサーバーは、V5R4 レベルのコンソールのみと通信します。さらに、NetView 管理コンソール用の Java 環境もアップグレードされました。したがって、それぞれのサーバーごとに V5R4 レベルの NetView 管理コンソール・トポロジー・サーバーをインストールし、同時に、そのサーバーと通信するすべてのコンソールに V5R4 レベルの NetView 管理コンソール・トポロジー・コンソールをインストールしなければなりません。

V5R4 では、V5R3 以前のトポロジー・コンソールが IP 接続を使用して NetView ホストと通信できるのは、ホストでの IPv6ENV ステートメントが NONE または MIXED である場合に限りです。LU6.2 接続を使用する場合は、トポロジー・コンソールは引き続き NetView ホストと通信できます。CNMSTYLE 初期設定ステートメントである IPv6ENV ステートメントについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス*」を参照してください。

V5R4 では、Web アプリケーションが提供していた SNMP 機能が Web アプリケーションから除去されているため、NetView 管理コンソールは SNMP 機能を開始しなくなりました。160 ページの『*NetView Web アプリケーション*』を参照してください。SNMP コマンドは、コマンド行から発行できます。

必要な情報

参照先

NetView 管理コンソール トポロジー・コンソールのマイグレーション [egvread1.me](#)

NetView 管理コンソール トポロジー・サーバーのマイグレーション [egvread2.me](#)

付録 A. Tivoli NetView for OS/390 バージョン 1 リリース 4 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 への変更

この付録では、NetView V5R1 リリースでの変更点の要約を示します。また、以下について、新規、変更、および削除された点を示します。

- 191 ページの『ヘルプ・パネル』
- 195 ページの『コマンド・リスト』
- 197 ページの『メッセージ』
- 204 ページの『サンプル』

注: このセクションのリストは、左から右へ英字順で記載されています。

NetView V5R1 での変更点の要約

NetView V5R1 での変更点は、以下のセクションに記述されています。

- 『インストールおよびパッケージの変更』
- 188 ページの『NetView Web アプリケーション』
- 189 ページの『TCP/IP および SNMP 管理』
- 189 ページの『グラフィックスの機能強化』
- 190 ページの『セキュリティの機能強化』
- 191 ページの『その他の機能強化』

インストールおよびパッケージの変更

インストールおよびパッケージ上の変更がいくつかあり、製品の注文、インストール、およびカスタマイズのプロセスが単純化されています。

表 57. インストールおよびパッケージの変更

機能	説明
簡素化されたパッケージ	パッケージ化オプションは、Unattended オプションと Procedural オプションの提供を取り止め、発注可能な 1 つのエンティティに統合されました。これにより、発注とインストールの処理が簡略化され、文書が削減されました。
データ・セットの統合	以下のデータ・セットは、同等の NetView データ・セットにマージされます。 <ul style="list-style-type: none">• AON (SEZL)• RODM (SEKG)

表 57. インストールおよびパッケージの変更 (続き)

機能	説明
CNMSTYLE メンバーの使用法の拡張	<ul style="list-style-type: none"> • 残りの DSIDMN 定義が、CNMSTYLE メンバーにマイグレーションされます。 • ハードウェア・モニター、セッション・モニター、および 4700 サポート機能のタワーが、CNMSTYLE メンバーに含まれます。 • 共通の TCP/IP 定義が、CNMSTYLE メンバーに追加されます。 • MultiSystem Manager 初期化定義 (GETTOPO ステートメントを除く) は、CNMSTYLE メンバーにマイグレーションされます。
正常であるが非ゼロの戻りコードの除去	いくつかの製品インストール手順で、非ゼロ戻りコードが予期される条件が除去されました。
古くなった機能の除去	<p>以下の機能は使用できなくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NetView の有効範囲定義を使用するコマンド・セキュリティ • VTAMLST パラメーター・データ・セットのメンバー内で定義された制御スパン • AON/LAN サポート • APPN アカウンティング・マネージャー • APPN トポロジー・エージェントおよびアカウンティング・エージェント • MultiSystem Manager NetWare および ATM サポート • NMC コマンド・プロファイル・エディターのグラフィカル・ユーザー・インターフェース • NMC トポロジー・コンソールからの Tivoli Inventory の起動 • Windows 95、Windows 98、および OS/2® 向けの NMC および NMC3270 のサポート • OS/390 UNIX システム・サービスからの TCP/IP ディスカバリー・サンプル • カタカナ文字セットのサポート • NVSNMP コマンドの -jsnmp オプション • Java Application Server (JAS) • OS/2 向けのビジュアル BLDVIEWS (VBV) サポート

NetView Web アプリケーション

NetView の Web インターフェースはこのリリースで大幅に拡張されました。拡張機能には、Web 経由で使用可能なさらに多くの管理オプション、および NetView Web ページをユーザーに提供するための外部 Web サーバーの使用が含まれます。

表 58. NetView Web アプリケーション

機能	説明
再設計された Web コンソール	新しいインターフェースによって機能が豊富になり、ヘルプ情報が統合されました。

表 58. NetView Web アプリケーション (続き)

機能	説明
外部 Web サーバーのサポート	WebSphere® Application Server を使用するか、NetView 製品に付属している Java ベースのサーブレット・エンジンを使用すると、業界標準の Java Servlet API 2.2 を活用して、新しい Web ベースの機能をより迅速に提供できます。 WebSphere Application Server または Jetty の構成を簡略化するために Web.xml エディターが含まれています。
Web コンソールのセキュリティー	ブラウザ・ベースのアクセスを使用するとき、NetView ユーザー ID およびパスワードによる認証を通じた RACF ベースのセキュリティー検査が提供されます。

TCP/IP および SNMP 管理

NetView 製品の強力な TCP/IP および SNMP 管理機能に対し、このリリースでも引き続き、さらなる機能強化が加えられました。追加のリソース・タイプを、NetView プログラムで管理できるようになり、いくつかのインターフェースが改善されました。

表 59. TCP/IP および SNMP 管理

機能	説明
TCP/IP トレースの管理	コンポーネントとパケットのトレースを開始および停止し、アクティブなトレースを表示して、トレースの状況を表示します。
TCP/IP スタック管理	接続、接続の詳細などの詳細なスタック情報が提供されます。
動的仮想 IP アドレス (DVIPA) の管理	DVIPA を動的にディスカバーし、構成情報、状況情報、および TCP/IP 接続データを示します。シスプレックス・ディストリビューターおよび関連付けられているターゲット・スタックに関する情報が提供されます。
Linux on zSeries での IP ディスカバリー	AIX システムおよび Windows NT® システム用の Tivoli NetView 上で実行されている MultiSystem Manager TCP/IP エージェントと同等のディスカバリー機能が提供されます。
TCP/IP 接続のモニタリング およびしきい値処理	OS/390 ホストまたは z/OS ホスト上での任意のアプリケーション (任意のソケット) への接続を管理します。TCP/IP を介して接続されているプリンターおよびその他のデバイスを管理できるようにします。
ネイティブ NetView コマンドとしての PING および SNMP コマンド	パフォーマンスが向上し、これらの機能について UNIX システム・サービスを使用する必要がなくなりました。
SNMP サービス	リアルタイムの MIB ポーリング・プログラム/グラフャー、MIB ブラウザー、および SNMP コマンド・ダイアログを NetView Web コンソールを介して使用できます。

グラフィックスの機能強化

NetView 管理コンソールは拡張されて、コンソールおよびサーバーのオペレーティング・システム・プラットフォームに対する新規オプション、および他製品へのイ

インターフェースが提供され、柔軟性も向上しました。

表 60. グラフィックスの機能強化

機能	説明
NetView 管理コンソールの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> • NetView 管理コンソール・サーバーは、Linux on zSeries 上で稼働できます。 • NetView 管理コンソール・サーバーは、カスタマイズ可能な監査証跡を維持します。 • NetView 管理コンソールは、Linux (Intel® システム向け) 上で稼働できます。 • NetView 管理コンソールのサインオンは、LOGON コマンドへのアクセスを制限することで保護できるようになりました。
他の Tivoli 製品との追加の統合機能の提供	<ul style="list-style-type: none"> • NetView 管理コンソールから、コンテキストに合わせて IBM Tivoli Business Systems Manager を起動して、障害のあるネットワークまたはシステム・リソースによって影響を受けるビジネス・システムを見つけます。 • IBM Tivoli Business Systems Manager から NetView 管理コンソールを起動して、ビジネス・システムに影響を与えるネットワーク・リソースおよびシステム・リソースを見つけます。 • IBM Tivoli NetView Performance Monitor for TCP/IP を NetView 管理コンソールから起動します。
NETCONV 機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> • NetView 管理コンソール・トポロジー・サーバーと Tivoli Business Systems Manager タスク・サーバーを同じワークステーション上で実行できます。 • IP NETCONV への非同期接続が可能です。
TCP/IP リソースに対するリソース固有コマンド	コマンド・メニューにリソース固有コマンドを表示します。

セキュリティの機能強化

このリリースでは、監査能力の改善および機密性の機能に対する制御の向上を実現するため、追加のセキュリティ・オプションを用意しています。

表 61. セキュリティの機能強化

機能	説明
NetView 管理コンソール	<ul style="list-style-type: none"> • コマンドとコマンド応答、アクセス済みのビュー、およびその他のアクションに対する監査ログを提供します。 • オペレーター・アクセスの制御
AON	EXCMD セキュリティ検査の AON バイパスを除去します。
ロギング	抑止されたオペレーター・コマンドを自動的にログに記録します。
TSO コマンド	SAF 代理権限に対するサポートを提供します。
コマンド権限の迂回	コマンド・リストのコンテキストに応じたコマンド権限検査を行います。

その他の機能強化

自動化、保守容易性、ネットワーク管理、セッション・モニター、資料、および PIPE に対する機能強化もあります。

表 62. その他の機能強化

機能	説明
自動化の強化	<ul style="list-style-type: none"> 自動化テーブルでの大/小文字混合が可能になりました。 VIEW パネルの非同期更新が可能になりました。 クロスドメイン・アクセスに対する RMTCMD サポート機能により、TIMER コマンドの機能とセキュリティーが向上しました。 E メール・サポートが強化されました。
拡張された保守容易性	<ul style="list-style-type: none"> PPI バッファおよびトレースの診断情報が追加されました。 イベント自動化サービスに問題判別補助プログラムが追加されました。
ネットワーク管理	<ul style="list-style-type: none"> MultiSystem Manager IP ルーターの障害分離機能を提供します。 トラップを複数のホストに転送し、それによってホット・バックアップを使用可能にするための、MultiSystem Manager IP エージェント機能を提供します。 ワークステーションでトラップをフィルターに掛けて、不必要なトラップを NetView ホストに送信しないようにします。正しいトラップを正しいホストに転送することで、帯域幅を節約します。
セッション・モニター	タイムアウトのシナリオとパフォーマンスが向上しました。
資料へのオンライン・アクセス	NetView オペレーター・コンソールで資料を表示するためのサンプルが提供されます。
新しい PIPE ステージおよび PIPE EDIT 命令	追加の PIPE ステージおよび EDIT 命令により、コマンド、メッセージ、およびその他のデータを処理するためのパイプラインの機能が向上しました。

ヘルプ・パネル

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規および削除されたヘルプ・データ・セット・メンバーがリストされています。

- 『新規ヘルプ・パネル』
- 192 ページの『削除されたヘルプ・パネル』

新規ヘルプ・パネル

BNH75
CNM120
EZLH621C
EZLWI700
FKXWB000
FKXWDV03
FKXWIHLF

BNH76
CNM121
EZLH622C
EZLWI710
FKXWB001
FKXWDV04
FKXWIHTP

BNH77
EZLH5501
EZLH623C
FKXH2H21
FKXWDV01
FKXWDV05
FKXWILGC

CNMHEAS
EZLH6005
EZLNDYWH
FKXWBANR
FKXWDV02
FKXWELCM
FKXWILGF

NetView V1R4 からの変更

FKXWINOA	FKXWINOH	FKXWINVC	FKXWI10B
FKXWI100	FKXWI130	FKXWI14A	FKXWI140
FKXWI150	FKXWI160	FKXWI200	FKXWI210
FKXWI220	FKXWPORB	FKXWPORF	FKXWTITL
FKX10	FKX97	IHS019	IHS020

削除されたヘルプ・パネル

CNMKACNA	CNM110	CNM111	CNM112
EUYACDIY	EUYACLIE	EUYACMOY	EUYACQUF
EUYACREE	EUYACSES	EUYACSTP	EUYACSTR
EUYACSTT	EUYACTRE	EUYAOLAN	EUYRERMT
EUYTOINT	EUYTOREE	FKWHCAUQ	FKWHCAU1
FKWHCMDS	FKWHCMD1	FKWHCMD2	FKWHCMD3
FKWHCMD4	FKWHC100	FKWHC101	FKWHC102
FKWHC103	FKWHC104	FKWHD100	FKWHD110
FKWHD120	FKWHD130	FKWHD140	FKWHD141
FKWHD150	FKWHD151	FKWHD152	FKWHD201
FKWHD202	FKWHD203	FKWHLAD3	FKWHLAD4
FKWHLCAR	FKWHLMCP	FKWHLMR1	FKWHLMR2
FKWHLMT1	FKWHLMT2	FKWHLOBC	FKWHLOB1
FKWHLOCC	FKWHLSEL	FKWHLW44	FKWHL100
FKWHL101	FKWHL110	FKWHL111	FKWHL112
FKWHL113	FKWHO100	FKWHO101	FKWHO102
FKWHQUA1	FKWHQUA2	FKWHQUA3	FKWHR100
FKWHR101	FKWHSOVR	FKWHSWI0	FKWHS100
FKWHS110	FKWHS111	FKWHS121	FKWHS122
FKWHS123	FKWHS124	FKWHS125	FKWHS130
FKWHVIEW	FKWHVIE2	FKWHVIE3	FKWHVIE4
FKWH0000	FKWH0001	FKWH0002	FKWH0003
FKWH1000	FKWH1001	FKWH1002	FKWH1010
FKWH1011	FKWH1100	FKWH111A	FKWH111B
FKWH1110	FKWH1111	FKWH1120	FKWH1130
FKWH1140	FKWH1141	FKWH1200	FKWH1210
FKWH1220	FKWH123A	FKWH1230	FKWH1231
FKWH1240	FKWH1250	FKWH1251	FKWH1260
FKWH1261	FKWH127A	FKWH1270	FKWH1271
FKWH1272	FKWH1273	FKWH1274	FKWH1275
FKWH1276	FKWH1277	FKWH1278	FKWH1279
FKWH1280	FKWH1281	FKWH1282	FKWH13SA
FKWH13SE	FKWH13SL	FKWH13S2	FKWH13S3
FKWH13W1	FKWH13W2	FKWH13W3	FKWH13W4
FKWH130A	FKWH1300	FKWH1301	FKWH131A
FKWH131B	FKWH1310	FKWH1311	FKWH1320
FKWH1321	FKWH133A	FKWH1330	FKWH134A
FKWH134B	FKWH1340	FKWH1341	FKWH1342
FKWH1360	FKWH14IN	FKWH140A	FKWH1400
FKWH1401	FKWH141A	FKWH141B	FKWH1410
FKWH1411	FKWH1412	FKWH1413	FKWH1415
FKWH1416	FKWH1417	FKWH1418	FKWH1420
FKWH1430	FKWH144A	FKWH144B	FKWH1440
FKWH1442	FKWH1445	FKWH1447	FKWH1449
FKWH146A	FKWH146B	FKWH1460	FKWH147A
FKWH147B	FKWH1470	FKWH1475	FKWH15A3

FKWH150A	FKWH1500	FKWH151A	FKWH1510
FKWH1511	FKWH1512	FKWH1513	FKWH1514
FKWH152A	FKWH152B	FKWH1520	FKWH1521
FKWH153A	FKWH153B	FKWH1530	FKWH1531
FKWH154A	FKWH1540	FKWH1541	FKWH1542
FKWH1600	FKWH1601	FKWH1610	FKWH1611
FKWH1620	FKWH1630	FKWH1640	FKWH1650
FKWKCAUQ	FKWKCMD5	FKWKCMD1	FKWKCMD2
FKWKCMD3	FKWKC100	FKWKC120	FKWKD100
FKWKD110	FKWKD120	FKWKD130	FKWKD140
FKWKD150	FKWKD201	FKWKD202	FKWKD203
FKWKLAC1	FKWKLAC2	FKWKLAC3	FKWKLAC4
FKWKLAC5	FKWKLAC6	FKWKLAC7	FKWKLAC8
FKWKLAC9	FKWKLAD1	FKWKLAD3	FKWKLAD4
FKWKL AHD	FKWKL AHD	FKWKLBRG	FKWKLBR1
FKWKLBR2	FKWKLBR4	FKWKLBR5	FKWKLBR7
FKWKLBR8	FKWKLBR9	FKWKL BX3	FKWKL BX4
FKWKL BX5	FKWKL BX6	FKWKL BX7	FKWKL BX8
FKWKL BY3	FKWKL BY4	FKWKL BY5	FKWKL BY6
FKWKL BY7	FKWKL BY8	FKWKL CAR	FKWKL CAU
FKWKL CDL	FKWKL CLR	FKWKL DB1	FKWKL DB2
FKWKL DB3	FKWKL DL	FKWKL DL1	FKWKL DL2
FKWKL DL3	FKWKL DL4	FKWKL DL5	FKWKL DL6
FKWKL DQ1	FKWKL DQ2	FKWKL LBR	FKWKL L1
FKWKL L2	FKWKL L3	FKWKL L4	FKWKL L5
FKWKL L6	FKWKL L7	FKWKL L8	FKWKL LCA
FKWKL L1	FKWKL L2	FKWKL L3	FKWKL L4
FKWKL L5	FKWKL L6	FKWKL L1	FKWKL L2
FKWKL L3	FKWKL L4	FKWKL L5	FKWKL L6
FKWKL L7	FKWKL L8	FKWKL L SB	FKWKL L SG
FKWKL L1	FKWKL L2	FKWKL L3	FKWKL L4
FKWKL L5	FKWKL MCP	FKWKL MR	FKWKL MT
FKWKL NC1	FKWKL NC2	FKWKL NQ1	FKWKL NQ2
FKWKL NQ3	FKWKL NQ4	FKWKL NR1	FKWKL NR2
FKWKL NR3	FKWKL NR4	FKWKL NT1	FKWKL NT2
FKWKL NT3	FKWKL NT4	FKWKL NV1	FKWKL NV2
FKWKL NV3	FKWKL NV4	FKWKL NX1	FKWKL NX2
FKWKL NX4	FKWKL NX5	FKWKL NY1	FKWKL NY2
FKWKL NY4	FKWKL NY5	FKWKL OAC	FKWKL OA3
FKWKL OA4	FKWKL OA5	FKWKL OA6	FKWKL OBC
FKWKL OB1	FKWKL OB2	FKWKL OB3	FKWKL OB4
FKWKL OB5	FKWKL OB6	FKWKL OCC	FKWKL OCL
FKWKL OC1	FKWKL OC2	FKWKL OC3	FKWKL OC4
FKWKL PT	FKWKL RTA	FKWKL SEL	FKWKL SE1
FKWKL SE2	FKWKL SE4	FKWKL SE5	FKWKL SE7
FKWKL SE8	FKWKL SE9	FKWKL STD	FKWKL SX3
FKWKL SX4	FKWKL SX5	FKWKL SYN	FKWKL SY3
FKWKL SY4	FKWKL SY5	FKWKL TA1	FKWKL TA2
FKWKL TA3	FKWKL TA4	FKWKL TD1	FKWKL TD2
FKWKL TD3	FKWKL TD4	FKWKL TP1	FKWKL TP2
FKWKL TP3	FKWKL TP4	FKWKL TX1	FKWKL TX2
FKWKL TX3	FKWKL TY1	FKWKL TY2	FKWKL TY3
FKWKL USY	FKWKL VA1	FKWKL VC1	FKWKL VC2
FKWKL VC3	FKWKL VC4	FKWKL VD1	FKWKL VD2
FKWKL VD3	FKWKL VD4	FKWKL VL1	FKWKL VL2

FKW106	FKW107	FKW2LAD1	FKW2LAD3
FKW2LAHD	FKW2LBRG	FKW2LBR1	FKW2LBR2
FKW2LBR3	FKW2LCAU	FKW2LCA1	FKW2LLM2
FKW2LLSB	FKW2LSE1	FKW2LSE3	FKW20
FKW200	FKW201	FKW202	FKW203
FKW204	FKW205	FKW206	FKW27
FKW3LAD1	FKW3LBRG	FKW3LBR1	FKW3LCAU
FKW3LCA1	FKW3LLM2	FKW3LLSB	FKW3LSE1
FKW4LBRG	FKW5LBRG	FKW70	FKW71
FKW72	FKW73	FKW74	FKW75
FKW76	FKW77	FKW78	FKW79
FKW80	FKW81	FKW82	FKW83
FKW84	FKW85	FKW86	FKW87
FKW88	FKW90	FKW909	FKW91
FKW92	FKW93	FKW94	FKW95
FKXIP000	FKXIP100	FKXIP130	FKXIP14A
FKXIP140	FKXIP150	FKXIP160	FKXIP170
FKXIP171	FKXIP172	FKXIP173	FKXIP174
FKXIP175	FKXIP200	FKXIP210	FKXIP220
FLB20	FLB21	FLB22	FLB23
FLB24	FLB25	FLB26	FLB27
FLB28	FLCA00	FLCA01	FLCA02
FLCA07	FLCA10	FLCA11	FLCA12
FLCE00	FLCE02	FLCE03	FLCE04
FLCE05	FLCE10	FLCE15	FLCE16
FLCE20	FLCE21	FLCE22	FLCE23
FLCE24	FLCE25	FLCE26	FLCE30
FLCE35	FLCE40	FLCE41	FLCE42
FLCE43	FLCE44	FLCE45	FLCE50
FLCE55	FLCE60	FLCE65	FLCE66
FLCE67	FLCE68	FLCE69	FLCE80
FLCE81	FLCE82	FLCE90	FLCE91
FLCE92	FLCFA0	FLCF50	FLCF55
FLCF60	FLCF62	FLCF63	FLCF70
FLCF71			

コマンド・リスト

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規および削除されたコマンド・リストがリストされています。

- 『新規コマンド・リスト』
- 196 ページの『削除されたコマンド・リスト』

新規コマンド・リスト

CNMEAUTB	CNMEPING	CNMEPWD	CNMERSYN
CNMESNMP	CNME1037	CNME1056	EZLEIPIL
EZLEIPLR	EZLELROP	EZLERMTS	EZLEWBHP
EZLE5501	FKXEACT3	FKXECMAN	FKXEDCON
FKXEDVM1	FKXEDVPA	FKXEDVPF	FKXEDVPP
FKXEDVPT	FKXEDVPI	FKXEDVP2	FKXEDVP3
FKXEDVST	FKXEDVUX	FKXEGCIP	FKXEGHBA

NetView V1R4 からの変更

FKXEGPLU	FKXEIDST	FKXEIDVF	FKXEIGEN
FKXEIHIC	FKXEIHLP	FKXEILGO	FKXEILOG
FKXEILOS	FKXEIPTR	FKXEISES	FKXEISSF
FKXEITRG	FKXEIWND	FKXEMKCT	FKXENCIP
FKXENCMD	FKXENVDR	FKXESNMP	FKXEV216
FKXEWBIN	FKXEWCN	FKXEWER0	FKXEWITA
FKXEWITB	FKXEWITC	FKXEWITD	FKXEWIT0
FKXEWIT1	FKXEWIT5	FKXEWIT6	FKXEWIT7
FKXEWIT8	FKXEWIU0	FKXEWIU1	FKXEWIU2
FKXEWLOG	FKXEWRSR	FKXEWRTTR	FKXEWRSR
FKXEWSSV	FKXEWSSVU	FKXEW390	FKXEXCIP
FKXEXLAT			

削除されたコマンド・リスト

CNMENV39	CNMEOUTS	CNME1502	CNME7023
FKWCMD5	FKWEAID1	FKWEAID2	FKWEAID3
FKWEAMS1	FKWECAU	FKWECAUC	FKWECAUQ
FKWECMD5	FKWECMD1	FKWECPRT	FKWEC100
FKWEC110	FKWEC120	FKWEDBBR	FKWEDBB2
FKWEDB1A	FKWEDB10	FKWEDB20	FKWEDUP1
FKWEF005	FKWEIADL	FKWEIBRL	FKWEIBRP
FKWEIBR2	FKWEICAL	FKWEICAP	FKWEILMU
FKWEILM1	FKWEIQNT	FKWEISEL	FKWEISLA
FKWEISLC	FKWEISLD	FKWEISLG	FKWEISLL
FKWEISLP	FKWEIVER	FKWELADP	FKWELAD1
FKWELAHD	FKWELAH1	FKWELA01	FKWELA02
FKWELA03	FKWELBDG	FKWELBPP	FKWELBRG
FKWELBRP	FKWELBR1	FKWELCAR	FKWELCAU
FKWELCGL	FKWELCLR	FKWELDG	FKWELDL
FKWELHDC	FKWELLSB	FKWELLS1	FKWELMCP
FKWELMR	FKWELMSP	FKWELMT	FKWELMUP
FKWELMU1	FKWELNAF	FKWELNBF	FKWELNCF
FKWELNSC	FKWELNSF	FKWELOA1	FKWELOA3
FKWELOA4	FKWELOA5	FKWELOBC	FKWELOB3
FKWELOB4	FKWELOB5	FKWELOB6	FKWELOCC
FKWELOC1	FKWELOS1	FKWELPAC	FKWELPBC
FKWELPSS	FKWELPT	FKWELRFR	FKWELROP
FKWELRUN	FKWELR01	FKWELR02	FKWELSCA
FKWELSCB	FKWELSCS	FKWELSEG	FKWELSEL
FKWELSE1	FKWELSLA	FKWELSLB	FKWELSLP
FKWELSL2	FKWELSTD	FKWELSTH	FKWELST1
FKWELTP1	FKWELTRA	FKWELTR1	FKWELUAS
FKWELUBS	FKWELUCS	FKWELUDL	FKWELUFA
FKWELUID	FKWELULI	FKWELULM	FKWELULR
FKWELULS	FKWELUMS	FKWELUSF	FKWELUSS
FKWELUSY	FKWELUS1	FKWELUTL	FKWELUTU
FKWELUUS	FKWELU04	FKWEL00A	FKWEL000
FKWEL110	FKWEMGRR	FKWENETB	FKWENMVT
FKWEO100	FKWEPUNM	FKWERCMD	FKWEROP1
FKWESEGU	FKWESWIT	FKWES10A	FKWES100
FKWES110	FKWES121	FKWES122	FKWES125
FKWES130	FKWES200	FKWES210	FKWETIME
FKWEVIEW	FKWEVIE1	FKWE100A	FKWE1000

FKWE1001	FKWE1100	FKWE1110	FKWE1120
FKWE1130	FKWE1131	FKWE1140	FKWE1150
FKWE1160	FKWE1200	FKWE1210	FKWE1220
FKWE13SL	FKWE13S2	FKWE13S3	FKWE1300
FKWE1310	FKWE1320	FKWE1330	FKWE1340
FKWE1350	FKWE1360	FKWE14BR	FKWE14RF
FKWE1400	FKWE1410	FKWE1420	FKWE1430
FKWE1440	FKWE1450	FKWE1460	FKWE1500
FKWE1600	FKWE1610	FKWE1620	FKWE1630
FKWE1640	FKWE1650	FKWE8501	FKWE8502
FKWWIND2	FKWWIND3	FKXEIPSM	FKXIPHC
FKXIPLOS	FKXIPPTR	FKXIPSES	FKXIPSGD
FKXIPSGR	FKXIPSNG	FKXIPSNM	FKXIPSNS
FKXIPSNW	FKXIPSSF	FKXIPWND	FKXWBINT
FKXWBRSP	FKXWBRTR	FLCACMSM	FLCAEALH
FLCAEALT	FLCAEAUT	FLCAINW	FLCANALH
FLCANAUT	FLCANFSU	FLCANNAU	FLCANREQ
FLCANSER	FLCANVER	FLCARREQ	FLCDJASS

メッセージ

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規、変更、および削除されたメッセージがリストされています。

- 『新規メッセージ』
- 201 ページの『変更されたメッセージ』
- 203 ページの『削除されたメッセージ』

新規メッセージ

BNH757E	SURROGAT クラスのデータ・スペースで問題が発生したため、代理の決定に SAFNODEC 設定が使用されます。
BNH758I	SURROGAT クラスを使用した代理の許可が再開されました。
BNH759E	<i>clist2</i> として呼び出された <i>clist1</i> によって、AUTBYPAS <i>parm</i> が限度を超えました。
BNH760I	<i>name</i> に CMDDEF ステートメントがないか、またはこれはコマンド・プロシージャではありません。
BNH761E	<i>ipStack</i> のソケット・インターフェースの初期化に失敗しました。
BNH763E	PING に IP アドレスまたはホスト名が指定されていません。
BNH764W	ホスト名の解決がタイムアウトになりました。
BNH765I	<i>ipAddress</i> の <i>ipHostname</i> を、長さが <i>length</i> バイトの <i>count</i> のパケットで PING しています。
BNH766I	<i>ipAddress</i> の <i>ipHostname</i> を、長さが <i>length</i> バイトのパケットで無期限に PING しています。
BNH767I	<i>ipAddress</i> から <i>numBytes</i> バイトを受信しました: 順序番号= <i>number</i> (<i>time</i> ms)
BNH768I	PING がタイムアウトになりました。

NetView V1R4 からの変更

BNH769I	<i>pingPackets</i> パケットが送信され、 <i>echoPackets</i> パケットが受信され、 <i>percent %</i> のパケットが失われました。
BNH770I	<i>min</i> から <i>max</i> ミリ秒の往復時間 (平均は <i>avg</i> ミリ秒)
BNH771I	<i>ipAddress</i> での <i>ipHostname</i> の PING の結果は <i>result</i> です。
CNM005I	<i>normal_SNMP_output</i>
CNM006E	<i>SNMP_error</i>
CNM007I	SNMP <i>request request</i> PDU は正常に送信されました。
CNM008W	SNMP <i>request</i> コマンドでエラーが発生しました。RC = <i>rc</i> 。
CNM1200E	機密漏れが発生しました。別のユーザーの信任状を使用しています。
CNM1201E	ブラウザーの IP アドレスは Tivoli NetView for z/OS <i>domain</i> への接続を許可されていません。
CNM1202E	ユーザー名は 1 から 8 文字でなければなりません。 (User name must contain between 1 and 8 characters.)
CNM1203E	パスワード名は 1 から 8 文字でなければなりません。 (Password must contain between 0 and 8 characters.)
CNM1204E	ユーザー名またはパスワードが無効です。 (User name or password is invalid.)
CNM1205E	ユーザー名 <i>name</i> は MIB ブラウザーの使用を許可されていません。
CNM1206E	ユーザー <i>name</i> は SNMP 設定について許可を与えられていません。
CNM1207E	ユーザー <i>name</i> はリアルタイム・ポーリング・プログラムの使用を許可されていません。
CNM1208E	ユーザー <i>name</i> は SNMP <i>command_name</i> コマンドの実行を許可されていません。
CNM1209E	NetView for z/OS ドメイン <i>domain</i> の NetView for z/OS アクセス・サーブレット (FLB_NvServ) を取得できませんでした。
CNM1210E	NetView for z/OS <i>domain</i> にアクセスするための信任状がありません。 (No credentials exists to access NetView for z/OS <i>domain</i> .)
CNM1211E	立ち上げるアプレットを識別するパラメーター ' <i>key</i> ' の値 ' <i>value</i> ' を認識できません。
CNM1212E	立ち上げるアプレットを識別するパラメーター ' <i>key</i> ' がありません。
CNM1213E	セキュリティー検査を行う NetView for z/OS ドメインを識別するパラメーター ' <i>key</i> ' がありません。
CNM1214E	<i>host</i> がポート <i>portnumber</i> での接続を拒否しました。
CNM1215E	<i>host</i> の IP アドレスを解決できません。
CNM1216E	<i>host</i> への経路を見つけることができません。

CNM1217E	<i>host</i> に接続しようとしたましたが、割り込みが発生しました。
CNM1218E	<i>host</i> に接続しようとしたましたが、割り込みが発生しました。 例外: <i>exception</i>
DSI760E	この NetView プログラムの有効なライセンス証明書が見つかりませんでした。 NetView を終了しています。
DSI761I	NetView を終了しています -IBM License Management 呼び出しによって、次の値が戻されました。 戻りコード: <i>retcode</i> 状況コード: <i>status</i> 。
DWO082I	(no text)
DWO978E	CNMSTYLE に URL が定義されていません。
DWO979I	限度に達しました - 出力が切り捨てられました。
EZL003E	リカバリー処理を実行できません。 AON 初期化は完了していません。 関連データ: <i>data</i> 。
EZL222I	表示するデータがありません。
EZL242I	<i>rename</i> で、プログラム <i>program-RUNCMD</i> 再試行カウント制限 <i>number</i> が超過しました。
EZL244E	DSICTMOD RUNCMD タイムアウトが超過しました。 <i>program</i> で、 <i>service point</i> への RUNCMD は失敗しました。
EZL245E	RCMD CORRWAIT タイムアウト <i>seconds</i> 秒が超過しました。 <i>program</i> で、 <i>service point</i> への RUNCMD は失敗しました。
EZL246E	SP <i>spname</i> への RUNCMD が失敗しました - 受信メッセージ <i>msgnum</i> センス・コード <i>sensecode</i> 。
FKX101I	<i>stack_ipaddr</i> : <i>port</i> と <i>client_ipaddr</i> : <i>port</i> の間の接続 <i>conn_id</i> でアイドル時間しきい値を超えました。 ACTION=NOTIFY SP= <i>sp_name</i> POLICY= <i>policy_name</i> 。
FKX102I	<i>stack_ipaddr</i> : <i>port</i> と <i>client_ipaddr</i> : <i>port</i> の間の接続 <i>conn_id</i> でアイドル時間しきい値を超えました。 ACTION=DROP SP= <i>sp_name</i> POLICY= <i>policy_name</i> 。
FKX104I	<i>stack_ipaddr</i> : <i>port</i> と <i>client_ipaddr</i> : <i>port</i> の間の接続 <i>conn_id</i> で最小バイトしきい値を超えました。 ACTION=NOTIFY SP= <i>sp_name</i> POLICY= <i>policy_name</i> 。
FKX105I	<i>stack_ipaddr</i> : <i>port</i> と <i>client_ipaddr</i> : <i>port</i> の間の接続 <i>conn_id</i> で最小バイトしきい値を超えました。 ACTION=DROP SP= <i>sp_name</i> POLICY= <i>policy_name</i> 。
FKX107I	<i>stack_ipaddr</i> : <i>port</i> と <i>client_ipaddr</i> : <i>port</i> の間の接続 <i>conn_id</i> で最大バイトしきい値を超えました。 ACTION=NOTIFY SP= <i>sp_name</i> POLICY= <i>policy_name</i> 。
FKX108I	<i>stack_ipaddr</i> : <i>port</i> と <i>client_ipaddr</i> : <i>port</i> の間の接続 <i>conn_id</i> で最大バイトしきい値を超えました。 ACTION=DROP SP= <i>sp_name</i> POLICY= <i>policy_name</i> 。
FKX510I	IPPORT モニターを停止できません。

NetView V1R4 からの変更

FKX615I	接続が存在していません。
FKX682I	z/OS <i>release</i> ではサポートされていない機能です。
FKX970I	定義されているフィルター基準とセッションが一致しません。
FKX979E	ポリシー定義内の TCP390 ステートメントには UNIXSERV=YES が必要です。
IHS0181E	<i>service</i> は、ソケットを正常に定義するまでリサイクルを続行しません。
IHS0182I	<==現在の <i>service</i> サービス設定==>
IHS0183I	CFG ファイル: <i>cfgfilename</i> (<i>fromtype</i>)
IHS0184I	** サービスがアクティブではありません **
IHS0185I	<i>setting</i> = <i>value</i> (<i>fromtype</i>)
IHS0186I	Filter <i>number</i> スロット:
IHS0187I	<i>slotname</i> = <i>slotvalue</i>
IHS0188I	FilterCache <i>number</i> スロット:
IHS0189I	アダプター・サービスはセキュア・モードで実行されています。
IHS0190E	<i>service</i> : TestMode ファイルにアクセスできません。
IHS0191I	<i>service</i> : ServerLocations の数 (<i>number</i>) が最大数 <i>maximum</i> を超過しました。余分なものは無視されます。
IHS0192I	<i>service</i> : サーバー接続が中断されています。
IHS0193I	<i>service</i> : サーバー接続が再開されました。
IHS0194E	<i>service</i> : キャッシュ・ファイルでファイル・アクセス・エラーが発生しました。
IHS0195E	<i>service</i> : イベントをキャッシュすることができません。イベント・サイズが最大キャッシュ・ファイル・サイズよりも大きくなっています。
IHS0196I	<i>service</i> : ファイル・アクセス・エラーが訂正されました。キャッシングが再開されます。
IHS0197E	<i>service</i> : キャッシュ・ファイルが破壊されています。現在のコンテンツは廃棄されます。
IHS0198E	<i>service</i> : キャッシュ・ファイル内のイベントが適切に終了していません。イベントは廃棄されます。
IHS0199E	<i>service</i> : キャッシュ・ファイル内のイベントがバッファ読み取りに対して大きすぎます。イベントは廃棄されます。
IHS0200I	<i>service</i> : ServerPorts の数 (<i>number</i>) が最大数 <i>maximum</i> を超過しています。余分なものは無視されます。
IHS0201I	<i>service</i> : 少なくとも 1 つの ServerLocation を指定する必要があります。

変更されたメッセージ

BNH064I	DISTRIBUTED ORIGIN ORIGIN ORIGIN
BNH065I	AUTOTASK NETVIEW OPERATOR VERSION TRANSPORT
BNH401E	DB2® インターフェース・モジュール ' <i>module_name</i> ' のロードが失敗しました。異常終了コード = X' <i>abend_code</i> '、理由コード = X' <i>reason_code</i> '。
BNH652I	NetView Resource Manager は「 <i>reason</i> 」のため終了しています。
DSI231I	アクティブな <i>element</i> はありません。
DUI400W	IP 「 <i>ipid:port</i> 」の IP 通信セットアップに失敗しました。NETCONV START コマンドはリジェクトされます。
DUI401I	NETCONV コマンドが正常に処理されました。IP 「 <i>ipid:port</i> 」との通信が開始されました。
DUI402I	IP <i>ipid:port</i> は、 <i>operatorid</i> によってすでに開始されています。条件コード = <i>condcode</i> 。
DUI404E	IP <i>ipid:port</i> の NETCONV START がリジェクトされました。DSIMQS FAILED が RC= <i>retcode</i> で失敗しました。
DUI405E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: TCP/IP は終了しました。
DUI406E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: VTAM TPEND。
DUI407I	IP <i>ipid:port</i> に対して NETCONV START 要求が重複して発行されました。要求は無視されます。
DUI408I	<i>operatorid</i> によって発行された、IP <i>ipid:port</i> に対する NETCONV STOP 要求を処理できませんでした。
DUI409E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: OST が異常終了しました。
DUI410E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: オペレーターがログオフしました。
DUI411E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: CNMTAMEL タスクが終了しています。
DUI412E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: 受信中に致命的エラーが発生しました。
DUI413E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: 送信中に致命的エラーが発生しました。
DUI414E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: 致命的エラーが発生しました。
DUI415E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: 無効なデータを受信しました。
DUI416E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: ワークステーションに致命的エラーが発生しました。

DUI417I	NETCONV コマンドが正常に処理されました。 IP 「 <i>ipid:port</i> 」との通信が停止されました。
DUI419I	IP <i>ipid:port</i> との通信が正常に終了しました。通信サーバーがソケットをクローズしました。
DUI421E	IP <i>ipid:port</i> が、すでに別の状況フォーカル・ポイントと通信中であるか、NMC のサポートされていないレベルで実行中であるか、またはすでにこの状況フォーカル・ポイントと通信中であるため、NETCONV START コマンドが失敗しました。
DUI422E	CNMTAMEL は、ストレージ不足のため IP ' <i>ipid:port</i> ' からデータを受信できませんでした。要求量 = <i>amount</i> バイト。
DUI423E	IP <i>ipid:port</i> との通信が異常終了しました: ワークステーションが応答していません。
DUI424I	オペレーター <i>operatorid</i> は、IP <i>ipid:port</i> のワークステーションと通信しています。
DUI461I	IP <i>ipid:port</i> は作業に使用できません。この IP への要求は打ち切られました。
DUI500E	CNMTAMEL が、IP <i>ipid:port</i> から壊れたデータを受け取りました。
DUI611I	グラフィック・モニター・オペレーター <i>operatorid</i> のオペレーター ID およびパスワードが検査されました。 <i>ipid:port</i> は、このグラフィック・モニターを稼働しているサーバー PWS です。
DUI623E	CNMTAMEL が、IP <i>ipid:port</i> のサーバー PWS に必要な応答を送信するために、 <i>bytes</i> バイトのストレージを割り振ることができません。
DUI625E	ストレージ不足のため、CNMTAMEL は、IP <i>ipid:port</i> のデータ・サーバーにデータ・パケットを送信できません。
DUI627E	MQS 障害のため、CNMTAMEL は、IP <i>ipid:port</i> のデータ・サーバーにデータを送信できませんでした。 タイプ = <i>sesstype</i> 状況 = <i>sessionstat</i> セッション = <i>session</i>
DWO948I	RECEIVER RECEIVER BUFFER QUEUED TOTAL STORAGE RCVR
DWO949I	IDENTITY STATUS LIMIT BUFFERS BUFFERS ALLOCATED ASID
DWO950I	-----
DWO951I	&1 ACTIVE &2 &3 &4 &5 &6
EZL970I	「 <i>target</i> 」のフィルター基準「 <i>filter</i> 」についてタイマーがスケジュールされていません。
EZL971I	「 <i>target</i> 」に対して要求されたタイマーは削除されました。
EZL973I	要求されたタイマー <i>timer</i> は「 <i>target</i> 」に追加されました。
EZL974I	要求されたタイマー <i>timer</i> は「 <i>target</i> 」で変更されました。
EZL975I	要求された障害タイマー <i>timer</i> はすでに「 <i>target</i> 」に存在します。

FLB010E	FLBTOPO は、戻りコード <i>retcode</i> 、異常終了コード <i>abncode</i> 、理由コード <i>rsncode</i> を受け取りました。モジュール ' <i>module</i> ' のロードを試行しています。
FLB534E	TOPOSNA <i>requestparm</i> コマンドに、不正な RODM オブジェクト ID ' <i>rodmbjectid</i> ' が含まれています。
IHS0076I	タスク= <i>task</i> レベル= <i>level</i> IP= <i>iptrace</i>
IHS0094E	<i>service</i> : 初期化が失敗しました。構成ファイルは <i>configfile</i> です。

削除されたメッセージ

AAU971I	BNH180I	BNH191I	BNH193I
BNH201E	BNH204E	BNH216E	BNH260I
BNH292I	BNH320W	BNH325W	BNH332I
BNH746E	CNM1100I	CNM1101E	CNM1102E
CNM1103I	CNM1104I	CNM1105E	CNM1106I
CNM1107I	CNM1108E	CNM1109E	CNM1110E
CNM1111E	CNM1112E	CNM1113E	CNM1114E
CNM1115E	CNM1116E	CNM1117E	CNM1118E
CNM1119E	CNM1120E	CNM1121E	CNM1122I
CNM1123E	CNM1124E	CNM1125E	CNM1126I
DSI088I	DSI181I	DSI182I	DSI183I
DSI211I	DSI212I	DSI218I	DSI796I
DUI543E	DUI544E	FLB200I	FLB201E
FLB202I	FLB204E	FLB205E	FLB206E
FLB207E	FLB208W	FLB209E	FLB210E
FLB211E	FLB212E	FLB213E	FLB214I
FLB215W	FLB216E	FLB217E	FLB218I
FLB219E	FLB220E	FLB221E	FLB222E
FLB223E	FLB224I	FLB226W	FLB227I
FLB228I	FLB229I	FLB230I	FLB231W
FLB232E	FLB233E	FLB234E	FLB235E
FLB236E	FLB237E	FLB238I	FLB239E
FLB243W	FLB244E	FLB245E	FLB247E
FLB248I	FLB250E	FLB251E	FLB252E
FLB253E	FLB260I	FLB261I	FLB262I
FLB263I	FLB264I	FLB265I	FLB266I
FLB267I	FLB268I	FLB269I	FLB270I
FLB271I	FLB272I	FLB273I	FLB274I
FLB275I	FLB276I	FLB277I	FLB278I
FLB279I	FLB280I	FLB281I	FLB282I
FLB283I	FLB284I	FLB285I	FLB287I
FLB428E	FLB510I	FLB511I	FLB512I
FLB513I	FLB514E	FLB515E	FLB518E
FLB519E	FLB522E	FLB523E	FLB526E
FLB527E	FLB530E	FLB531E	FLB535I
FLB536I	FLB569I	FLB570I	FLB571I
FLB572I	FLB573I	FLB574I	FLB575I
FLC123I	FLC124I	FLC125I	FLC127I
FLC128I			

さらに、FKW、FLCA、FLCE、および FLCF のメッセージはすべて削除されました。ただし、以下のメッセージは名前変更されました。

表 63. 名前変更された NetView V5R1 メッセージ ID

V5R1 以前の NetView メッセージ ID	NetView V5R1 メッセージ ID
FKW201I	EZL242I
FKW204I	EZL222I
FKW732E	EZL244E
FKW733E	EZL245E
FKW829E	EZL246E

サンプル

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規サンプルと削除されたサンプルがリストされています。

- 『新規サンプル』
- 『削除されたサンプル』

新規サンプル

CNMSAF2	CNMSBAK1	CNMSCAT2	CNMSPAN2
CNMSRPLY	CNMSHTSP	CNMSURLS	DSIAUTB
DSIAUTBU	DSICMD51	DSIPROFG	DSIW3PRF
FKXSCM	FKXSDVPT	FKXVHTML	FKXWHTML
FLCAINP			

削除されたサンプル

CNM\$\$AMP	CNMIPDCN ¹	CNM\$XBAS	CNM\$XMON
DSICMPRC	DSICMRMT	DSIDMNK	DSISPN
EKG\$1SYS	EKG\$4SYS	EKG\$8SYS	EZL\$5SYS
EZLJSMTP	FKWCFGDL	FKWCFG01	FKWCGLOB
FKWCMD	FKWHELP	FKWDCMD	FKWOPF
FKWTABLE	FKWTREE	FKXCM ²	FKXSNMP ³
FLBGMMPR	FLBSYSDA	FLBS4210	FLBS4211
FLCSAALH	FLCSAINP	FLCSDM6A	FLCSDM6N
FLCSEALH	FLCSEALT	FLCSEAUT	FLCSIATM
FLCSINW	FLCSNALH	FLCSNAUT	FLCSNNAU
IHSDNODE ⁴	IHSDPOLL ⁵	IHSDRESO ⁶	IHSDTEMP ⁷
IHSDVIEW ⁸	IHSMIBS ⁹	IHSPCONF ¹⁰	IHSPJDMS ¹¹
IHSSNMP ¹²	IHSSRVR ¹³		

UNIX システム・サービスのファイル名:

1. ipdiscovery.conf
- | 2. fkxcem
3. fkxsnmp.grp
4. node.def
5. pollobj.def
6. resource.def
7. template.def
8. view.def
9. nv390mibs.def
10. config.properties
11. JdmServerProperties.txt
12. snmp.conf
13. nv390srvr.conf

付録 B. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 への変更

この付録では、NetView V5R2 リリースでの変更点の要約を示します。また、以下について、新規、変更、および削除された点を示します。

- 213 ページの『コマンド・リスト』
- 214 ページの『メッセージ』
- 220 ページの『サンプル』

注: このセクションのリストは、左から右へ英字順で記載されています。

NetView V5R2 での変更点の要約

NetView V5R2 での変更点は、以下のセクションに記述されています。

- 『インストールおよびパッケージの変更』
- 209 ページの『NetView Web アプリケーション』
- 210 ページの『TCP/IP および SNMP 管理』
- 211 ページの『NetView 管理コンソール』
- 211 ページの『セキュリティの機能強化』
- 212 ページの『ユーザビリティの向上』
- 212 ページの『追加変更』

インストールおよびパッケージの変更

インストールおよびパッケージ上の変更がいくつかあり、製品の注文、インストール、およびカスタマイズのプロセスが単純化されています。

表 64. インストールおよびパッケージの変更

機能	説明
CNMSTYLE メンバーへのマイグレーション	CNMSJMIG サンプルを使用して、初期化メンバー・ステートメントを前のリリース (CNME1034 および一部の DSIPARM メンバーを含む) から CNMSTYLE 処理に必要なステートメントにマイグレーションすることができます。新規ステートメントは CNMSTUSR メンバーに配置されません。 また CNMSJMIG サンプルを使用して、DSICMD ステートメントを新規の CNMCMD フォーマットにマイグレーションすることもできます。新規ステートメントは CNMCMDU メンバーに配置されます。

表 64. インストールおよびパッケージの変更 (続き)

機能	説明
CNMSTYLE メンバーのカスタマイズ	CNMSTYLE メンバーのカスタマイズ方法が変更されました。グローバル (エンタープライズ) 変更はすべて、%INCLUDE ステートメントを使用して CNMSTYLE メンバーに含める CNMSTUSR メンバーで行います。システム固有の変更は、%INCLUDE ステートメントを使用して含める CxxSTGEN メンバー内で行います。
CNMSTYLE レポートの作成	CNMSTYLE レポート生成プログラムを使用すると、CNMSTYLE メンバーを分析できます。作成されるレポートを使用すると、以下のタスクを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> • %INCLUDE 構造のリスト。 • CNMSTYLE メンバー内のステートメントの複数オカレンスの分析。 • 使用可能になっている CNMSTYLE タワーのリスト。 • 特定の機能についての初期化ステートメントの分析。
NETCONV セッションの自動開始	CNMSTYLE メンバー内の function.autotask.NetConv ステートメントと TAMEL.CONV ステートメントを使用して、NETCONV セッションを自動的に開始できます。
新規コマンド定義ステートメント (CMDDEF) へのマイグレーション	CNMCMD サンプルは、DSICMD メンバーに置き換わるものです。インストール先定義コマンドは、すべて CNMCMDU メンバーに追加します。CNMSJMIG サンプルを使用すると、DSICMD メンバーをマイグレーションできます。
IEASYMxx でのドメイン ID の設定	VTAM APPL A01APPLS (CNMS0013) サンプルを使用する場合は、SYS1.PARMLIB メンバー IEASYMxx でシステム変数 (&CNMDOMN) を使用してドメイン ID を設定できます。
VSAM クラスターのボリューム通し番号情報の指定	CNMSJ000 ジョブを使用して、インストール中に VSAM クラスターを作成するときに使用されるボリューム通し番号を指定することができます。
ROUTECD E ステートメント	すべての NetView 生成の WTO と WTOR、および WTO コマンドと WTOR コマンドのデフォルトの経路指定を定義する新規 ROUTECDE ステートメントが CNMSTYLE メンバーに追加されました。このパラメーターが処理される前に発行されたすべてのコマンドは、デフォルトの ROUTECDE 値 1 で発行されます。ROUTECD E ステートメントは CNMSTYLE メンバーと以下の NetView プロシージャーに追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> • CNMPSSI (CNMSJ010) • CNMGMFHS (CNMSJH10) • EKGLLOAD • EKGLOADP • EKGXRODM • IHSAEVNT

表 64. インストールおよびパッケージの変更 (続き)

機能	説明
MSGIFAC の新規デフォルト値	MSGIFAC ステートメントのデフォルト値が CNMSTYLE メンバーと CNMPSSI メンバーで SSIEXT に変更されました。z/OS プログラムの将来のリリースで Stage 2 コンソール・リストラクチャリングが含まれると、QUESSI、QSSIAT、および USESSI の各値はサポートされなくなります。

NetView Web アプリケーション

NetView プログラムの Web インターフェースはこのリリースで大幅に拡張されました。拡張には、Web ブラウザーから使用可能なより多くの管理オプションが含まれています。

表 65. NetView Web アプリケーション

機能	説明
IBM WebSphere Application Server - Express™ の組み込みバージョンによる Jetty Web サーバーの置換	IBM WebSphere Application Server - Express の組み込みバージョンは、NetView Web アプリケーションに同梱され、WebSphere 製品がインストール済みでない場合、Web アプリケーション・サーバーとして機能します。
SYSPLEX IP スタック管理	NetView Web アプリケーションを使用して、SYSPLEX TCP/IP スタック情報を管理することができます。
TCP/IP 接続および IP パケット・トレース管理	NetView Web アプリケーションを使用して、ライブおよびヒストリカル TCP/IP 接続を管理し、フォーマット済みの IP パケット・トレースをリアルタイムで表示できます。IBM Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks プログラムによって提供されるパフォーマンス・データも表示できます。
イベント表示	NetView Web アプリケーションを使用して、Common Event Infrastructure データベースにあるイベントを表示できます。
インシデント・レポート	NetView Web アプリケーションを使用して、インシデント管理アプリケーションでインシデント・レポートを開くことができます。
ユーザー・プリファレンスの設定	NetView Web アプリケーションの個々のユーザー・プリファレンスを設定または制御することができます。
タスクへのアクセスの制御	指定された NetView Web アプリケーション・タスクにアクセスできる一連のユーザーを定義することができます。
一貫性のあるユーザー・インターフェース	MIB ブラウザーやリアルタイム・ポーターなどの NetView Web アプリケーション・インターフェースは、標準の Tivoli ユーザー・インターフェースとより一貫性を持っています。
ポートフォリオ・レイアウト	NetView Web アプリケーション・ポートフォリオのレイアウトと階層を制御することができます。また、タスクを追加、削除、または名前変更することができます。

表 65. NetView Web アプリケーション (続き)

機能	説明
追加のポートフォリオ変更	SNMP MIB のロードとアンロード、3270 コンソールの開始、およびプロシージャの起動のタスクがポートフォリオに追加されました。履歴・ログ、通知アクション、SNA セッション・データ、SNMP ビュー、IP コマンドと TCP/IP コマンド、および TCP/IP トレースはポートフォリオから除去されました。

TCP/IP および SNMP 管理

NetView プログラムの強力な TCP/IP および SNMP 管理機能に対し、このリリースでも引き続き、さらなる機能強化が加えられました。追加のリソース・タイプを、NetView プログラムで管理できるようになり、いくつかのインターフェースが改善されました。

表 66. TCP/IP および SNMP 管理

機能	説明
NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent	NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent を使用することで、TCP/IP の可用性データとパフォーマンス・データの両方を単一のユーザー・インターフェースから管理できます。NetView プログラムから TCP/IP 可用性データが提供され、OMEGAMON XE for Mainframe Networks から TCP/IP パフォーマンス・データが提供されます。
Intrusion Detection Services	z/OS Communications Server Intrusion Detection Service と組み合わせて操作することにより、以下の項目に対する自動応答を定義できます。 <ul style="list-style-type: none"> • スキャン • アタック • TCP 接続および UDP 受信キューについてのトラフィック調整 通知ポリシーを使用して、セキュリティー管理者への Eメールの送信、メッセージの発行、アラートまたは Tivoli Enterprise Console [®] イベントの生成、コマンドの発行、または侵入への対応としてのレポートの生成を行えます。
IP アドレス変換のサポート	パケットが 1 つのネットワークから別のネットワークに移動するときに Comprehensive Network Address Translation (Tivoli NetView 7.1.1 以降で使用可能) によって変換される IP アドレスについて、NetView プログラムは、変換されたアドレスと元のアドレスの両方を提供します。
レイヤー 2 サポート	マルチシステム・マネージャー IP エージェントは、IBM Tivoli NetView 製品によってサポートされるレイヤー 2 状況を表すことができます。

表 66. TCP/IP および SNMP 管理 (続き)

機能	説明
IPv6 および SNMPv3 に対するサポート	IPv6 アドレスは、メッセージ、ビュー、およびその他のユーザー・インターフェースで表示されます。IPv6 アドレスは、ping、tracerte、およびその他のコマンドでの入力として受け入れられます。コマンド行、REXX およびコマンド・リスト (認証プロトコルを設定するスイッチ付き)、認証パズフレーズ、および SNMPv3 メッセージで使用されるプライベート・パズフレーズから SNMPv3 認証および暗号化を使用することができます。
マルチシステム・マネージャー IP エージェント機能拡張	新規トラップは、Hot Standby Router Protocol (HSRP) に対するサポートを提供します。
DVIPA サポート	DVIPA 管理に AON は必要なくなりました。DVIPA サポートを使用可能にするためには、CNMSTYLE ステートメントをカスタマイズしてください。

NetView 管理コンソール

NetView 管理コンソールは拡張されて、コンソールおよびサーバーのオペレーティング・システム・プラットフォームに対する新規オプション、および他製品のインターフェースが提供され、柔軟性も向上しました。

表 67. NetView 管理コンソールの機能拡張

機能	説明
NETCONV セッションの自動開始	NetView の初期化中に、ホストの NetView プログラムと NetView 管理コンソール・サーバー間の NETCONV セッションを自動的に開始することができます。
コンソールへの topology console・ログの保管	NetView 管理コンソール・ログを NetView 管理コンソール・サーバーまたはコンソール上のファイルに保管します。
ラベルのカスタマイズ	NetView 管理コンソール上の RODM リソースの Data1、Data2、および Data3 フィールドのラベルをカスタマイズすることができます。また、NetView 管理コンソールのナビゲーション・ツリーのラベルもカスタマイズすることができます。
ダブルクリック・マウス・アクションの定義	NetView 管理コンソール上の実リソースまたは集合リソースに関する情報を表示するためにダブルクリック・マウス・アクションを定義することができます。
SYSPLEX IP スタック管理	NetView 管理コンソールを使用して、SYSPLEX TCP/IP スタック情報を管理することができます。

セキュリティの機能強化

このリリースでは、監査能力の改善および重要機能に対するコントロールの向上を実現するため、追加のセキュリティ・オプションを用意しています。

表 68. セキュリティーの機能強化

機能	説明
TCP/IP 通信のセキュリティー	z/OS Communications Server によって提供される Application-Transparent Transport Layer Security (AT-TLS) サービスに対するサポートが追加されました。これは、NetView プログラムによって提供される暗号化機能の代替機能として、NetView ホストと NetView 管理コンソール・サーバーとの間の通信に対して暗号化を提供します。新規暗号化サポートへの変更を検討してください。

ユーザビリティの向上

このリリースでは、使用可能度を向上させるためのさまざまな機能拡張が提供されています。

表 69. 使用可能度の機能拡張

機能	説明
コマンドを大文字に変換	CMDDEF ステートメントまたは ADDCMD コマンドの FOLDUP パラメーターを使用して、コマンドをコマンド・プロセッサに送信する前に大文字に変換することができます。FOLDUP=Y は、OVERRIDE NETVASIS=YES の指定に優先されます。
例外リストの指定	NLDM データベースから項目をパージするときに例外リストを指定することができます。これは、DBAUTO、DBINIT、DBMAINT、NLDM PURGE、および PURGEDB コマンドに適用されます。
NetView リソース・マネージャー処理に対する自動タスクの指定	CNMSTYLE メンバー内での変更により、NetView 製品で提供される自動オペレーターの名前を変更できます。
CNMPRT サンプルおよび DSIPRT サンプルの出力の制限	開始および終了の日時、または日時の範囲を指定することにより、CNMPRT (CNMSJM04) サンプル および DSIPRT (CNMS6214) サンプルの出力を制限できます。
RODM によってサポートされるオブジェクト数の増加	現在 RODM は約 524,000 個のオブジェクト (理論上の最大限度) をサポートしています。この理論上の限度は、オブジェクトの構成や RODM キャッシュ内のその他の情報に応じて、約 200 万個のオブジェクトまで増加されます。RODM API は変更されません。

追加変更

VTAM コマンドの経路指定、自動化、パフォーマンス、および保守容易性についても変更が加えられました。

表 70. その他の機能強化

機能	説明
VTAM コマンドの明示経路指定および暗黙経路指定	<p>以下の VTAM コマンドの明示経路指定および暗黙経路指定の方法は、サポートされなくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーター・コンソールから入力される VTAM コマンド オペレーター・コンソールから入力される MVS の接頭部が付いた VTAM コマンド PIPE VTAM ステージで発行される VTAM コマンド <p>VTAM コマンドを別の NetView プログラムに送信するには、RMTCMD コマンドまたは ROUTE コマンドを使用します。</p> <p>NPDA DDOMAIN コマンドは、リソース名をサポートしなくなりました。</p>
自動化の強化	<ul style="list-style-type: none"> メッセージ改訂テーブル (MRT) を使用してオリジナルの z/OS ベースのメッセージ (コピーではない) をインターセプトし、それを抑制したり、属性 (色、テキスト、経路コード、および記述子コードなど) を変更したり、メッセージを自動化することができます。 メッセージおよび MSU を相関エンジンに送付し、長時間にわたる複数のイベントを相関させることができます。
パフォーマンスの改善	<ul style="list-style-type: none"> 事前初期化済みの PL/I および C 環境を使用する高水準言語 (HLL) プログラムのパフォーマンスが改善されました。1 次スタックとヒープのエクステント・サイズが 128K に増加し、2 次スタックとヒープのエクステント・サイズが 128K に増加しました。
保守容易性の拡張	<ul style="list-style-type: none"> 対話式問題管理システム (IPCS) の verb 出口 CNMIPCS が、マルチアドレス・スペースで実行されるよう拡張されました。

コマンド・リスト

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規および削除されたコマンド・リストがリストされています。

- 『新規コマンド・リスト』
- 214 ページの『削除されたコマンド・リスト』

新規コマンド・リスト

CNMCMSG	CNMEABND	CNMEAUX	CNMEBCOR
CNMECMNM	CNMECONV	CNMECRG	CNMEBCNV
CNMECST	CNMECSY	CNMECUT	CNMEBC0A
CNMEC01	CNMEC02	CNMEC03	CNMEC05
CNMEC06	CNMEC07	CNMEPRV	CNMEEPAP
CNMEEPST	CNMEEPSY	CNMEERSC	CNMEFPTC
CNMEHTSP	CNMEMIG	CNMENVHB	CNMEPLXI
CNMECACC	CNMECCD	CNMESPAT	CNMEPAU

CNMESPAY	CNMESPIN	CNMESPRO	CNMESPWE
CNMESTMN	CNMETACC	CNMETACI	CNMETACN
CNMETACW	CNMETALW	CNMETAPK	CNMETAPW
CNMETRTE	CNMEWEBM	CNMEXLCH	CNMEZPM1
CNMEZPM2	CNMEZPM3	CNMEZPM4	CNMEZZMG
CNME7200	CNME7201	CNME7203	CNME7205
CNME7210	CNME7211	CNME7212	CNME7213
CNME7221	CNME7225	CNMMONSY	FKXECOLD
FKXECOLS	FKXEDVSR	FKXEGTCN	FKXEGTDT
FKXEGTIF	FKXEGTPF	FKXEGTPT	FKXEGTST
FKXEIDSA	FKXEIDSC	FKXEIDSE	FKXEIDSR
FKXESTCK	FKXETRA6	FKXEVP1X	FKXEVP2X
FKXEVP3X	FKXEWPNG	FKXEWSVM	FKXEWTRA
FKXE221A			

削除されたコマンド・リスト

EZLEIPL	EZLEIPLR	FKXEDCON	FKXEIDST
FKXEIDVF	FKXEIGEN	FKXEIHIC	FKXEIHP
FKXEILGO	FKXEILOG	FKXEILOS	FKXEIPTR
FKXEISES	FKXEISSF	FKXEITRG	FKXEIWND
FKXENVDR	FKXEWBIN	FKXEWCON	FKXEWLOG
FKXEWRSR	FKXEWTRR	FKXEW390	READYRMT

メッセージ

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規、変更、および削除されたメッセージがリストされています。

- 『新規メッセージ』
- 218 ページの『変更されたメッセージ』
- 220 ページの『削除されたメッセージ』

新規メッセージ

AAU927I	<i>modid locid</i> PURGE 例外リストが無効です <i>xx</i>
BNH180I	侵入検出メッセージを受信しました。
BNH193I	SYSLOG ' <i>filename</i> ' をモニター中のエラー
BNH202E	UNIX システム・サービス <i>service</i> が失敗しました。ソケットは閉じられました。
BNH299I	<i>pattern</i> に対する <i>svrc_name</i> キャッシングを使用できません。
BNH541I	lcldate lcltime (gmtdate gmtime) 地方時調整が開始されました。
BNH542I	lcldate lcltime (gmtdate gmtime) 地方時調整が終了しました。
BNH557E	var3 で var1 と var2 エントリーの不一致が検出されました。
BNH648I	<i>member_id</i> は <i>action</i> によってキャッシュから除去されました。
BNH649I	<i>svrc_name</i> によってキャッシュされたメンバーはアクション <i>action_name</i> では検出されませんでした。

BNH738E	コマンドが処理されませんでした。PPI 送信障害。
BNH750I	<i>member_id</i> が <i>task_name</i> によってキャッシュされました。
BNH772I	接続数: <i>numcon</i> , 欠落バッファ: <i>missbuf</i>
BNH773I	パケット数: <i>nump</i> , 欠落バッファ: <i>missbuf</i> , TCPNAME: <i>tname</i>
BNH780I	関連エンジンにイベントを送信できません。
BNH781I	関連エンジンのメッセージを受信しました。
BNH782I	関連イベント <i>event</i> のメッセージ/MSU が見つかりません。
BNH783I	<i>number</i> 個の関連メッセージ/MSUS がページされました。
BNH784I	CORRSERV コマンドが受け入れられました。
BNH785I	関連が失敗しました。DSICORSV に対する MQS が失敗しました。RC = <i>rc</i> 。
BNH786I	イベントしきい値 <i>nn</i> に達しました。
BNH787I	CORRSERV STATUS コマンドの応答データ
BNH788I	<i>command</i> に対するコマンド応答を受信しました。
BNH789I	関連ループが検出されました。メッセージ/MSU が拒否されました。
BNH790I	NetView Resource Agent <i>domain</i> がダウン・レベルです。処理を続行します。
BNH791I	アドレス・ファミリーは <i>family</i> です。
BNH792I	ポート番号は <i>nnn</i> です。
BNH793I	ソケット・タイプは <i>socktype</i> です。
BNH794I	プロトコル番号は <i>nnn</i> です。
BNH795I	有効範囲 ID は <i>scopeid</i> です。
BNH796I	サービス名は <i>service</i> です。
BNH797I	IP アドレス <i>ipaddress</i> の変換が失敗し、RC <i>retcode</i> が戻されました。コマンドの処理は終了されました。
BNH798I	インターフェースが戻されませんでした。
BNH799I	インターフェース名は <i>name</i> です。
BNH800I	インターフェース・アドレスは <i>address</i> です。
BNH801I	インターフェース索引は <i>nnn</i> です。
BNH802I	ソケット <i>nnn</i> の、アドレス・ファミリーは IP アドレス <i>address</i> と互換性がありません。
BNH803I	キーワード <i>keyword1</i> の値 <i>value1</i> が、キーワード <i>keyword2</i> の値 <i>value2</i> と矛盾しています。
BNH804I	NETVIEW TIVOLI ENTERPRISE PORTAL AGENT ' <i>agent_info</i> ' インターフェース初期設定は <i>action</i> です。
BNH805I	NETVIEW TIVOLI ENTERPRISE PORTAL AGENT ' <i>agent_info</i> ' インターフェースが ' <i>reason</i> ' のために終了しています。

NetView V5R1 からの変更

BNH806I	タスク <i>task_name</i> の Take Action コマンド ' <i>command</i> ' を受信しました。
BNH807I	コマンド ' <i>command</i> ' タスク <i>task_name</i> の Take Action コマンド応答が送信されました。
BNH808I	タスク <i>task_name</i> の Take Action コマンド ' <i>command</i> ' が失敗しました。
BNH809I	ドメイン <i>domain</i> の DVIPA データが使用できません。
BNH810I	<i>target</i> への IP 経路をトレースしています。最大ホップ <i>hops</i> 。
BNH811I	<i>hop: addr (name) tlms t2ms t3ms...tnms</i>
BNH812I	<i>task_name</i> に対して発行された <i>command</i> が状況 <i>code</i> で完了しました。
BNH816I	シスプレックス IP スタック・マネージャーの初期化が完了しました。
BNH817I	シスプレックス IP スタック・マネージャーの初期化を開始しています。
BNH818I	シスプレックス IP スタック・マネージャーがオペレーター要求により終了しました。
BNH819E	シスプレックス IP スタック・マネージャーは、 <i>key</i> の処理中に認識されないデータを受信しました。
BNH820E	無効な IP アドレス <i>ipaddr</i> が指定されています。
BNH821I	AT-TLS 接続状況: X' <i>connection-status</i> '
BNH822I	AT-TLS ポリシー状況: X' <i>policy-status</i> '
BNH823I	AT-TLS 暗号化プロトコル: X' <i>protocol</i> '
BNH829E	AT-TLS ポリシー X' <i>policy-status</i> ' はサポートされていません。
BNH830I	この環境では、1 つ以上の出力順がサポートされていません
BNH831I	NetView Tivoli Enterprise Portal Agent 接続の表示 (DISPLAY OF NETVIEW TIVOLI ENTERPRISE PORTAL AGENT CONNECTIONS)
BNH832I	タスク 状況 TCP/IP ソース ポート IP ホスト (TASK STATUS TCP/IP SOURCE PORT IP HOST)
BNH833I	名前 名前 名前 アドレス 名前 (NAME NAME NAME ADDRESS NAME)
BNH834I	<i>insert1 insert2 insert3 insert4 insert5 insert6 insert7</i>
BNH835I	NetView Tivoli Enterprise Portal ユーザー ID の表示
BNH836I	TIVOLI ENTERPRISE PORTAL ユーザー ID NETVIEW オペレーター ID
BNH837I	<i>insert1 insert2</i>
BNH875I	COMMON_BASE_EVENT。タイプ: <i>type</i> MSG: <i>msg</i>

BNH876E	テンプレート・タグ <i>tag</i> 処理エラーが行 <i>linenumber</i> で発生しました。理由: <i>cde</i>
BNH883I	CBE テンプレート <i>template</i> が見つかりません。
BNH884I	CBE テンプレート・メンバー <i>member</i> が正常にロードされました。
BNH885I	CBE テンプレートがロードされていません。
BNH886I	CBE テンプレート <i>template</i> が見つかりました。内容は次の通りです:
BNH887I	無効な CBE テンプレート名 <i>template</i> が指定されました。
CNM012I	<i>task_name</i> によりロードされた <i>type</i> の改訂テーブル <i>table_name</i> は、ロードされた <i>date time</i> 以降に <i>count</i> のオブジェクトを検査しました。
CNM014I	改訂テーブル・レポートが以下に続きます:
CNM015I	UPON または UPON-GROUP の合計ヒット数: <i>number</i>
CNM594I	一致が見つかりませんでした。LBFINDMX を超えました。続行するには、RFIND を入力してください。
CNM597I	最大エラー件数を超えました。
DSI047E	<i>operation</i> が失敗しました: <i>tower</i> が使用可能ではありません。
DSI500I	<i>object</i> が再始動されました。
DSI891I	デフォルト・メンバーを使用しています - <i>member</i> 。
DSI892I	<i>keyword</i> キーワードにデフォルト値 <i>value</i> を使用しています。
DSI893E	コマンド <i>cmd_name</i> は RC = <i>rc</i> で失敗しました: <i>command</i> 。
DSI894E	メンバー <i>member_name</i> にアンマッチのコメント区切りがありません。
DSI895E	メンバー <i>member_name</i> の行 <i>line_no</i> にアンマッチの引用符があります。
DSI896E	<i>utility</i> が RC = <i>rc</i> で完了しました。
DSI897E	DDNAME <i>ddname</i> のデータ・セットが見つかりませんでした。
DSI898E	DDNAME <i>ddname</i> でメンバー <i>member_name</i> が見つかりませんでした。
DWO083I	<i>text</i>
DWO084E	コマンド <i>command</i> のキーワード <i>keyword</i> に指定された値 <i>value</i> が正しくありません。長すぎます。
DWO085E	「MEM-」の後にメンバー名を付けずに、MODFILT キーワードに値「MEM-」が指定されました。
DWO086I	<i>ddname</i> のメンバー <i>member</i> に MODFILT フィルター項目が含まれていません。

DWO087E	<i>ddname</i> のメンバー <i>member</i> に、不正な MODFILT フィルター項目「MEM-badmem」が含まれています。メンバーのネストは許可されていません。
DWO088E	<i>ddname</i> のメンバー <i>member</i> を処理しているときにエラーが検出されました。
DWO089I	<i>type</i> は現在デコードされません。トレース・レコードが続きます。
EKG1927E	<i>jobname</i> 経路コード・オプションの JCL EXEC ステートメント・パラメーターが無効です。
EZL230E	ファイル <i>name</i> のステートメント <i>entry</i> に必要なパラメーター <i>parm</i> がありません。
EZL442I	インフォーム・ログ・メンバーが定義されていません。
EZL478E	インフォーム・ログ・メンバー <i>member_name</i> に無効なデータが含まれています。
EZL479I	インフォーム・ログ・メンバー <i>member_name</i> に項目がありません。
EZL510I	<i>restype resname</i> は使用不可であると報告されましたが、現在は使用可能です (<i>reporter</i> による報告)。
EZL710I	1 つ以上の <i>policy_type policy_name</i> キーワードが見つかりました。
FKX300I	IDS イベントが受け取られました : DIPADDR= <i>dest_ip_addr</i> 、SIPADDR= <i>src_ip_addr</i> 、CORRELATOR= <i>nnnn</i> 、MEMBER= <i>member_name</i>
FKX301I	スタック <i>stackname</i> で、時間間隔 <i>interval</i> 中に、IDS イベントしきい値である <i>nnn</i> 個のイベントに達しました。
FKX303I	検出された IDS イベントに不明の <i>probeid</i> が含まれています。
FKX305I	宛先 IP アドレス <i>dest_ip_addr</i> で IDS イベントを検出しましたが、既知の TCP/IP スタックに関連付けることができませんでした。
FKV655I	リソース <i>cpname</i> に関連したディレクトリー情報を使用できません。

変更されたメッセージ

AAU130I	要求されたトレース機能は、USR または USRP オプションを指定した GTF の開始を保留しています。
AAU270I	BEFORE 句または PEXLST パラメーターに関する構文エラー
BNH197E	外部ログに書き込めません。CMDDEF ステートメント DSIELDAT が欠落しています
BNH642I	予期しないエラーのため、 <i>requestname</i> 表示が終了しました。
BNH681I	ドメイン タスク 通信 IP ホスト
BNH682I	名前 名前 モード アドレス 名前
BNH684I	<i>domain taskname mode ipaddress hostname</i>

BNH760I	<i>name</i> に CMDDEF ステートメントがないか、またはこれはコマンド・プロシージャーではありません。
BNH763E	<i>command</i> に IP アドレスまたはホスト名が指定されていません。
CNM008W	SNMP <i>request</i> コマンドでエラーが発生しました。
CNM330E	<i>command : parm</i> パラメーターが欠落しているか、正しくありません。
CNM516E	「 <i>name</i> 」 <i>type</i> に指定された値は、 <i>ddname</i> メンバー <i>member_name</i> では長すぎます。
CNM518E	「 <i>name</i> 」 <i>type</i> に、無効なヌルの引用符付きストリングが指定されました。
CNM552I	このオペレーターには MVS コンソールが割り当てられていません。
CNM567I	MVS コンソールを使用できません - 後でやり直してください。
CNM569I	MVS コンソールが解放されました。
DSI141I	<i>macro</i> が失敗しました。レジスター 15 = X' <i>code</i> '、レジスター 0 = X' <i>code</i> '、LU 名 = <i>luname extra extra</i> 。
DSI590I	<i>module</i> の CMDDEF ステートメントがない可能性があります。
DUI373E	<i>task</i> からのプログラム間インターフェース要求の NetView サブシステムは使用できません。
DUI400W	IP 「 <i>ipid:port</i> 」の IP 通信セットアップに失敗しました。NETCONV START コマンドはリジェクトされます。
DUI401I	NETCONV コマンドが正常に処理されました。IP 「 <i>ipid:port</i> 」との通信が開始されました。
DUI402I	IP ' <i>ipid:port</i> ' は、 <i>operatorid</i> によってすでに開始されています。条件コード = <i>condcode</i> 。
DUI404E	IP ' <i>ipid:port</i> ' の NETCONV START がリジェクトされました。DSIMQS FAILED が RC= <i>retcode</i> で失敗しました。
DUI405E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: TCP/IP は終了しました。
DUI406E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: VTAM TPEND。
DUI407I	IP ' <i>ipid:port</i> ' に対して NETCONV START 要求が重複して発行されました。要求は無視されます。
DUI408I	<i>operatorid</i> によって発行された、IP ' <i>ipid:port</i> ' に対する NETCONV STOP 要求を処理できませんでした。
DUI409E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: OST が異常終了しました。
DUI410E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: オペレーターがログオフしました。
DUI411E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: CNMTAMEL タスクが終了しています。

DUI412E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: 受信中に致命的エラーが発生しました。
DUI413E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: 送信中に致命的エラーが発生しました。
DUI414E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: 致命的エラーが発生しました。
DUI415E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: 無効なデータを受信しました。
DUI416E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: ワークステーションに致命的エラーが発生しました。
DUI417I	NETCONV コマンドが正常に処理されました。 IP 「 <i>ipid:port</i> 」との通信が停止されました。
DUI419I	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が正常に終了しました。通信サーバーがソケットをクローズしました。
DUI421E	IP ' <i>ipid:port</i> ' が、すでに別の状況フォーカル・ポイントと通信中であるか、NMC のサポートされていないレベルで実行中であるか、またはすでにこの状況フォーカル・ポイントと通信中であるため、NETCONV START コマンドが失敗しました。
DUI422E	CNMTAMEL は、ストレージ不足のため IP ' <i>ipid:port</i> ' からデータを受信できませんでした。要求量 = <i>amount</i> バイト。
DUI423E	IP ' <i>ipid:port</i> ' との通信が異常終了しました: ワークステーションが応答していません。
DUI424I	オペレーター <i>operatorid</i> は、IP ' <i>ipid:port</i> ' のワークステーションと通信しています。
DUI4022A	GMFHS 初期化チェックポイント・パラメーター <i>keyword</i> が無効であるか、矛盾しています
DUI4030E	GMFHS 初期化パラメーターに RODMNAME がありません。 GMFHS 初期化パラメーター <i>parameter_name</i> の値が無効であるか、許容限界値内にありません
DWO339I	<i>command</i> コマンドが失敗しました。タスク 「 <i>task</i> 」は、すでにコンソール 「 <i>console</i> 」 を獲得しています。

削除されたメッセージ

CNM907I DSI629I

サンプル

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規サンプルと削除されたサンプルがリストされています。

- 221 ページの『新規サンプル』
- 221 ページの『削除されたサンプル』

新規サンプル

CNMCMD	CNMCMDO	CNMCMDU	CNMCMENT
CNMCMSYS	CNMCRGI1	CNMCRGI2	CNMPOLCY
CNMSCBEA	CNMSCBET	CNMSCM	CNMSEPTL
CNMSJCRG	CNMSJI10	CNMSJMIG	CNMSJZCE
CNMSMRT1	CNMSMSGT	CNMSTCPC	CNMSTIDS
CNMSTUSR	CNMSTWBM	DSITCONM	DSIZCECF
DSIZCETB	EZLCMENT	EZLSI300	EZLSI301
FKVCMNT	FKXCMENT	IHSCRPRP ¹	IHSJLOGP ²
IHSRTDTD ³	IHSTLS00 ⁴	IHSTLS01 ⁵	IHSUASJZ ⁶
IHSUSCMP ⁷	IHSZRLES ⁸		

UNIX システム・サービスのファイル名:

1. correlator.properties
2. corJlog.properties
3. rule.dtd
4. znetview_at-tls_readme.txt
5. znetview_at-tls_example.tar
6. UserActionSample.java
7. usercomp.sh
8. znvrules.xml

削除されたサンプル

CNMSHTSP	CNMSI201	CNMSI301	CNMSI601
CNMSJI00	CNMSJI07	CNMSJI12	CNMSJI18
CNMSJI21	CNMSJI23	CNMSJI24	CNMSURLS
DSICMD	DSICMDU	DSICMENT	DSICMSYS
EKGSID03	EKGSII02	EKGSJ004	EZLCMD
EZLJ1ALC	EZLSID01	EZLSI201	EZLSJ006
EZLSJ008	EZLSJ100	FKVCMD	FKXCMD
FKXVHTML	FKXWHTML		

付録 C. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 への変更

この付録では、NetView V5R3 リリースでの変更点の要約を示します。また、以下について、新規、変更、および削除された点を示します。

- 225 ページの『コマンド・リスト』
- 226 ページの『メッセージ』
- 228 ページの『サンプル』

注: このセクションのリストは、左から右へ英字順で記載されています。

NetView V5R3 での変更点の要約

NetView V5R3 での変更点は、以下のセクションに記述されています。

- 『ネットワークングおよび自動化』
- 224 ページの『ユーザビリティの向上』
- 225 ページの『エンタープライズ統合』
- 225 ページの『保守容易性』

ネットワークングおよび自動化

表 71. ネットワークングおよび自動化の変更点

機能	説明
セッション・モニター (NLDM)	<ul style="list-style-type: none">• ユーザー選択のリソースをパススルーするセッション (Enterprise Extender (EE) セッションなど) を選択できる機能• フォーマット済み PIU SNA メッセージ単位の注釈付きの表示
Enterprise Extender (EE) のサポート	指定されたリソースに Enterprise Extender (EE) が接続されているかどうかを判別し、接続されている場合には、RTP パイプ、TCID、IP アドレス、および伝送グループ数に関する追加情報を表示できるように、DIS コマンドが更新されました。また、DIS コマンドを使用して、リソースの TRACERTE および EEDIAG 分析を行うこともできます。
フォーマット済みパケット・トレース	トレースされた IP パケットをプロトコル (例えば、TCP、UDP、および OSPF) でフィルター処理します。
選択された MVS コマンド応答のシステム・ロギングの抑止	NetView オペレーターが所有するコンソールを指定した MVS コマンド (NetView または他のメッセージ・トラフィックから発行) に対する応答を、システム・ログに送るかどうかを指定します。

表 71. ネットワーキングおよび自動化の変更点 (続き)

機能	説明
動的パイプ	PIPE PERSIST ステージに新規オプションが提供され、コマンドからの中間出力を処理できるようになります。これにより、非同期の相関済みメッセージが戻される間に、REXX プロシージャを実行できます。
拡張 IP 接続管理	アクティブ IP 接続に関する追加情報を使用できます。
IP 接続経由の RMTCMD の機能拡張	リモート NetView ホストとローカル NetView ホストとの間の RMTCMD 接続がユーザー指定の時間に渡って失われると、RMTCMD 接続は終了します。この場合、次の RMTCMD 要求で接続を再確立できます。
追加の TCP/IP 接続データ	アクティブ TCP/IP 接続データが Tivoli Enterprise Portal で使用できるようになりました。
DVIPA データ	NetView 3270 コンソールから DVIPA データが使用可能になり、Tivoli Enterprise Portal のデータに機能拡張が行われました。
REXX/CLIST の許可検査	NetView プログラムは、権限検査を行う前に、REXX/CLIST が存在することを確認します。これにより、無効なコマンドが入力された場合に、誤ってセキュリティー違反を起こす可能性を防止します。
Identify Hung Listeners	時々、NETSTAT コマンドで、ポートが接続を拒否しても、表面上は正常に見えることがあります。この新機能では、重要なポートのモニターと、停止したポートの自動リカバリーを行うことができます。
IPv6 を完全にサポート可能	コマンド、コンポーネント、およびサービスで、IPv6 アドレッシングをサポートできるようになりました。
SNMP トラップ	トラップからアラート、アラートからトラップの変換が、基本 NetView 機能として使用できるようになり、SNMPv2c と SNMPv3 をサポートします。NetView プログラムでイベント/自動化サービス (E/AS) を使用することは不要になりました。

ユーザビリティの向上

表 72. ユーザビリティの向上

機能	説明
NetView 管理コンソール (NMC) と RODM	メインフレーム TCP/IP ホストは、分散 TCP/IP ホストとは区別されたアイコンを使用して、NMC に強調表示されます。「リソース・プロパティ」ウィンドウの「その他のデータ」フィールドには、シスプレックス名や SNA 名などの、メインフレーム TCP/IP ホストに関する追加の z/OS 情報が含まれています。
ポリシー・ファイル内の重複ステートメントの識別	CNMEDUPS コマンドを使用すると、重複ステートメントを検索する対象のポリシー・ファイルを指定できます。必要であれば、重複を除去できます。

エンタープライズ統合

表 73. エンタープライズ統合の機能拡張

機能	説明
IBM Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent	サンプル・データおよびリアルタイム・データを使用して、Tivoli Enterprise Portal からネットワークを管理するために使用できる情報を提供します。データにより、状態とエキスパート・アドバイス、およびヒストリカル・データを使用することによるネットワークの傾向を使用して、ネットワーク・リソースおよび障害に関する情報が提供されます。 NetView、VTAM、および z/OS コマンドを Tivoli Enterprise Portal から直接発行して、即時表示およびトラブルシューティング機能を提供できます。NetView for z/OS Enterprise Management Agent を使用すると、選択された z/OS OMEGAMON XE エージェントへの製品間リンクを使用して、可用性とパフォーマンスの両方のデータを Tivoli Enterprise Portal から管理できるようになります。
CMDB サポート	TCP/IP リソースおよび関係に関する情報を NetView for z/OS RODM データ・キャッシュから抽出して、管理対象リソース情報を IBM Tivoli Change and Configuration Management Database (CCMDB) に送信するディスカバリー・ライブラリー・アダプター (DLA) を提供します。管理対象リソース情報は CCMDB で、他の管理製品に使用できます。
APSERV コマンド・インターフェース	許可プログラム (クライアント) が、適切に設定されたユーザー名で NetView または MVS コマンドを実行して、結果をログに記録できるようになります。

保守容易性

表 74. 保守容易性

機能	説明
AON CLISTS は、未コンパイル REXX として出荷されます。	NetView プログラムの前のリリースでは、AON CLIST は、コンパイル済みの REXX として CNMCLST データ・セット内に含まれていました。NetView for z/OS V5R3 では、未コンパイル状態の REXX として含まれています。AON 機能は変更されていません。

コマンド・リスト

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規および削除されたコマンド・リストがリストされています。

- 226 ページの『新規コマンド・リスト』
- 226 ページの『削除されたコマンド・リスト』

新規コマンド・リスト

CNMDLAQ	CNMDLAR	CNMEAPCS	CNMECKPT
CNMEDUPS	CNMETSTL	CNME1038	CNME7204
CNME8200	CNME8202	CNME8203	CNME8204
CNME8205	CNME8210	CNME8211	CNME8212
CNME8213	CNME8221	CNME8225	CNME8230
CNME8240	CNMFTP	FKXEDVPI	FKXEDVP4

削除されたコマンド・リスト

V5R3 のコマンド・リストは削除されていません。

メッセージ

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規、変更、および削除されたメッセージがリストされています。

- 『新規メッセージ』
- 227 ページの『変更されたメッセージ』
- 228 ページの『削除されたメッセージ』

新規メッセージ

AAU148I	フォーマット設定された RU は使用できません。
BNH533I	<i>data</i>
BNH775I	接続数: <i>numcon</i>
BNH838W	ホスト <i>host</i> のポート <i>portnum</i> が応答しません。
BNH839I	ホスト <i>host</i> のポート <i>portnum</i> はアクティブです。
BNH840W	IPPORTMON 処理時にソケット・エラーが発生しました。
BNH841E	<i>parm</i> パラメーターが IPPORTMON 定義から欠落しています。
BNH842I	IPPORTMON 定義が見つかりません。
BNH843I	ファイル <i>file</i> に重複項目は見つかりませんでした。
BNH844W	ファイル <i>file</i> に重複項目があります。
BNH845I	スタック数: <i>numstack</i>
BNH846I	DVIPA 定義数: <i>numdvipa</i>
BNH847I	DVIPA シスプレックス・ディストリビューター数: <i>numdist</i>
BNH848I	DVIPA ディストリビューター・ターゲット数: <i>numtargs</i> (NUMBER OF DVIPA DISTRIBUTOR TARGETS: <i>numtargs</i>)
BNH849I	DVIPA 接続数: <i>numconns</i>
BNH850I	ポート数: <i>numports</i> (NUMBER OF PORTS: <i>numports</i>)
BNH851I	サブノード <i>subnode</i> にハートビートがありません。サブノードを登録解除します
BNH852I	コマンド・オペランドがありません。

BNH853I	コマンドが不明: <i>command</i>
BNH854I	NetView Enterprise Management Agent のシャットダウンまたは停止が要求されました。
BNH855E	NetView Enterprise Management Agent の初期化エラー。
BNH856I	NetView Enterprise Management Agent が正常に初期化されました。
BNH857I	プログラム間インターフェース <i>ppi_type ppi_name</i>
BNH858I	NetView Enterprise Management Agent プログラム間インターフェースが <i>status</i> です。
BNH859I	NetView Enterprise Management Agent 通信層トレースを現在実行中です。タイプ: <i>trace_types</i>
BNH860W	NetView Enterprise Management Agent が PPI 受信側 <i>receiver</i> の初期化に失敗しました。RC: <i>return_code</i>
BNH877I	NetView Enterprise Management Agent インターフェースが作動可能です。
BNH878I	NetView Enterprise Management Agent インターフェースが終了しました。
BNH879I	NetView Enterprise Management Agent <i>domain</i> サブノードがアクティブです。
BNH880I	NetView Enterprise Management Agent <i>domain</i> サブノードが非アクティブです。
BNH881I	サブタワー <i>subtower_name</i> のデータ収集が失敗しました。理由 ' <i>reason_code</i> '
BNH882I	ワークスペース <i>workspace</i> のデータが切り捨てられました。最大行サイズを超過しました。
BNH888I	NetView Enterprise Management Agent 接続の表示
BNH889I	タスク 状況 ソース 宛先 PPI LCL PPI
BNH890I	名前 名前 受信側 受信側
BNH891I	データ収集間隔 <i>interval_name</i> がデフォルトの <i>interval</i> に設定されました。
BNH892I	データ収集統計の表示
CNM016W	<i>trname</i> よる伝送が失敗しました。詳しくは、 <i>logfile</i> を参照してください。
FKX518I	ポリシーがロードされないため、IPMGT を開始できません。
FKX519I	AONTCP タワーがアクティブです。IPMGT の初期化が終了しました。

変更されたメッセージ

BNH066I	<i>taskid o_netview o_opid VxRy N/A transport</i>
BNH804I	' <i>intfc_name</i> ' ' <i>intfc_qual</i> ' インターフェース初期設定は <i>action</i> です。

NetView V5R2 からの変更

BNH805I	' <i>intfc_name</i> ' ' <i>intfc_qual</i> ' インターフェースが ' <i>reason</i> ' のために終了しています。
DSI461A	SRCLU = <i>srclu</i> では、APPLID = <i>applid</i> 、SENSE = X' <i>sense</i> ' からのセッションを受け入れることができません。
DWO575I	センス X' <i>sensecode</i> ' により <i>netid.luname</i> で <i>session_type</i> が終了しました。
DWO746I	<i>process</i> が失敗しました。プログラム間インターフェース要求タイプは <i>request_type</i> 、戻りコードは <i>retcode</i> です。

削除されたメッセージ

BNH067I CNM710I CNM713I CNM722E

サンプル

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規サンプルと削除されたサンプルがリストされています。

- 『新規サンプル』
- 『削除されたサンプル』

新規サンプル

CNMSDVIP	CNMSDVPC	CNMSEMAA	CNMSJEMA
CNMSPLEX	CNMSSTAC	CNMSTARG	CNMSTATE
CNMTRAPI	DSIPROFN		

削除されたサンプル

FKXSCM FLCSINF

付録 D. Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3 から Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 4 への変更

NetView V5R4 リリースの変更点の要約については、1 ページの『第 1 章 NetView V5R4 プログラムでの新機能、変更された機能、または削除された機能』を参照してください。この付録では、以下について、新規、変更、または削除された点を示します。

- 『コマンド・リスト』
- 230 ページの『メッセージ』
- 234 ページの『サンプル』
- 234 ページの『コマンドの変更点』

注: このセクションのリストは、左から右へ英字順で記載されています。

この付録では、以下のコンポーネントの変更点も示します。

- Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent。237 ページの『Enterprise Management Agent の変更点』を参照してください。
- Tivoli Common Reporting を使用したレポート。244 ページの『Tivoli Common Reporting を使用したレポートの変更点』を参照してください。

コマンド・リスト

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規および削除されたコマンド・リストがリストされています。

- 『新規コマンド・リスト』
- 230 ページの『削除されたコマンド・リスト』

新規コマンド・リスト

CNME8206	CNME8207	CNME8208	CNME8214
CNME8215	CNME8216	CNME8231	CNME8232
CNME8233	CNME8235	CNME8236	CNME8237
CNME8238	CNME8250	CNME8251	CNME8252
CNME8253	CNME8260	CNME8261	CNME8265
CNMEDCTN	CNMEDRCL	CNMEDVSV	CNMEEPTN
CNMEESYD	CNMEQRDM	CNMERVNA	CNMESOKS
CNMESPTO	CNMESPUR	CNMEVCPY	CNMEXCON
CNMEEXPRC	FKXE221B	FKXE2A23	FKXE2A24
FKXE2A30	FKXE2A33	FKXE2A34	FKXEACTION
FKXEACTION	FKXEAIDF	FKXECOLT	FKXECSF
FKXEDVP7	FKXEDVP9	FKXEDVPC	FKXEDVDP
FKXEDVPS	FKXEIPMI	FKXETMON	FKXETRO1
FKXETRO2	FKXETRS1	FKXETRS2	FLCAALRT
FLCAIPIP	FLCAPAUT	FLCAPNET	FLCAPNMC
FLCAPTRP	FLCAPVER		

削除されたコマンド・リスト

CNME7200	CNME7205	CNME7210	CNME7211
CNME7212	CNME7213	CNME7221	CNME7225
CNME8201	CNMETAPK	FLCAILNM	FLCALADP
FLCALALH	FLCALAUT	FLCALBRG	FLCALCAU
FLCALSEG	FLCALVER		

メッセージ

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規、変更、および削除されたメッセージがリストされています。

- 『新規メッセージ』
- 232 ページの『変更されたメッセージ』
- 233 ページの『削除されたメッセージ』

新規メッセージ

BNH067I	グループ <i>group_name</i> 内の <i>scope</i> のマスターが <i>new_master</i> に設定されました。以前のマスター = <i>previous_master</i> 、理由 = <i>reason_code</i>
BNH325I	テーブルが <i>opid</i> により <i>date time</i> にロードされました。
BNH332I	<i>ssiName</i> の場合、 <i>nn</i> 改訂変数があります。
BNH495I	NETVIEW アプリケーション数: <i>numnvapp</i>
BNH496I	Telnet サーバー数: <i>numsvrs</i>
BNH497I	Telnet サーバー・ポート数: <i>numports</i>
BNH498I	インターフェース数: <i>numintf</i>
BNH558E	<i>aliases</i> を使用して <i>name</i> に接続できません。
BNH559E	コマンド <i>cmd</i> が失敗しました。理由= <i>reason_code</i>
BNH560I	<i>taskname</i> のKEEP状況
BNH587I	<i>scope</i> のマスター <i>master_name</i> がグループ <i>group_name</i> でアクティブです。引き継ぎは許可されていません。
BNH588I	グループ <i>group_name</i> 内の <i>scope</i> のマスターがアクティブになるのを待機しています。
BNH589I	グループ <i>group_name</i> のメンバー <i>member_name</i> の状況が変更されます。新規の状況= <i>status</i> 以前の状況= <i>status</i>
BNH590I	グループ <i>group_name</i> 内の <i>member_name</i> から XCF メッセージを受信しました。 <i>message</i>
BNH591I	<i>alias</i> を使用して <i>name</i> に接続しました。
BNH592I	メンバー <i>member_name</i> がグループ <i>group_name</i> に参加しました。
BNH593I	メンバー <i>member_name</i> がグループ <i>group_name</i> を脱退しました。

	BNH594I	PLEXNAMEグループ メンバー システム 状況 役割 ランクDURフラグ バージョン タイム・スタンプ トークン
	BNH596E	SRB 出口 <i>exit</i> がコード <i>abend_code</i> で異常終了しました
	BNH597I	OSA ポート数: <i>numosa</i>
	BNH598I	HiperSocketsインターフェースの数: <i>numhiper</i>
	BNH754I	グループ <i>group_name</i> のメンバー <i>member_name</i> が状態フィールドを更新しました。 直前の値= <i>previous_value</i> 新しい値= <i>new_value</i>
	BNH776I	<i>P/M stack ident subtype sdata</i>
	BNH813I	分散 DVIPA ターゲット数: <i>numtargs</i>
	BNH814I	アプリケーション・サーバー数: <i>numserv</i>
	BNH815I	分散 DVIPA 接続経路の数: <i>numroutes</i>
	BNH824I	VIPA 経路の数: <i>numvipa</i>
	BNH861I	分散DVIPAの統計ロギング情報
	BNH862I	<i>object</i> が <i>location</i> で見つかりました。
	BNH863I	NetView Web サービス情報の表示
	BNH864I	サーバー <i>soap_server</i> が見つかりません
	BNH865I	サーバーの障害
	BNH866I	クライアント障害
	BNH867I	分散 DVIPA 統計レコードの数: <i>numrecords</i>
	BNH868I	<i>command</i> でネットワーク管理インターフェースからエラーを受け取りました: <i>return_code reason_code stack_name</i>
	BNH874I	SMF レコードを受け取りました: <i>sdata</i>
	BNH893I	NetView Web サービス <i>svr_name</i> は VOST <i>vost_name</i> で開始しています。
	BNH894I	NetView Web サービス <i>svr_name function status</i>
	BNH895I	NetView Web サービス <i>svr_name</i> は操作可能です。ポート <i>port_number</i> で listen しています。
	BNH896E	変数 <i>variable_name</i> を設定するときの NetView Web サービス・サーバー「 <i>svr_name</i> 」のエラー、RC= <i>rc</i> 、エラー= <i>error_string</i>
	BNH897I	NetView Web サービス・サーバー <i>svr_name</i> が終了しました。
	BNH898E	<i>reason_text rc</i> が原因で NetView Web サービス <i>svr_name</i> の初期化が失敗しました。
	BNH899I	サーバー名 状況
	CNM017E	コマンド <i>cmd</i> がアクション ' <i>missingAction</i> ' を行わずに終了しました
	CNM018E	' <i>function</i> ' が ' <i>owner</i> ' によって排他使用されています。
	DWO755W	キーワード <i>kywd</i> を使用することは、推奨されていません。
	FKX530I	このリソース・タイプに対するコマンドはありません。

	FKX918I	要求された基準を満たすパケットはありません。
	FKX919I	リモート・ドメインからパケットにアクセスできません - <i>domain_name</i> EZLERGWY RC = <i>return_code</i>
	IHS0024E	<i>service: request</i> が失敗しました。エラー番号は <i>number</i> です。
	IHS0025I	<i>service:</i> イベントの否定応答制限を超過しました。イベントは廃棄 されます。
	IHS0026I	<i>service:</i> IP アドレス <i>ipaddress</i> のサーバーとの接続が閉じられまし た。
	IHS0029I	<i>service:</i> 現在の <i>ServerLocation</i> は、ロケーション <i>location</i> 、アドレス <i>address</i> 、ポート <i>port</i> です。
	IHS0121I	<i>service:</i> バックアップ・サーバー接続のリセットが正常に行われま した。

変更されたメッセージ

以下に示すメッセージは、NetView V5R4 リリースで、次のうち 1 種類以上の変更
が加えられています。

- メッセージ・テキストの変更。
- メッセージ変数の挿入値の変更。
- 複数行のオペレーター宛メッセージ (MLWTO) で示される情報の変更。

NetView プログラムによるメッセージの表示方法の具体的な詳細については、オン
ライン・メッセージ・ヘルプを参照してください。

	BNH804I	' <i>intfc_name</i> ' ' <i>intfc_qual</i> ' インターフェース初期設定は <i>action</i> です。
	BNH805I	&ssq; <i>intfc_name</i> &ssq; &ssq; <i>intfc_qual</i> &ssq; インターフェースが ' <i>reason</i> ' <i>rc</i> のために終了しています。
	BNH812I	<i>task_name</i> に対して発行された <i>command</i> が状況 <i>code</i> で完了しま した。
	BNH834I	<i>insert1 insert2 insert3 insert4 insert5</i>
	BNH567I	<i>module_name</i> で NETVIEW MVS コマンド出口の終了が要求されま した。
	BNH772I	接続数: <i>numcon</i> , 欠落バッファ: <i>missbuf</i>
	BNH845I	スタック数: <i>numstack</i>
	BNH846I	DVIPA 定義数: <i>numdvipa</i>
	BNH847I	DVIPA シスプレックス・ディストリビューター数: <i>numdist</i>
	BNH849I	DVIPA 接続数: <i>numconns</i>
	CNM012I	<i>task_name</i> によりロードされた <i>type</i> の改訂テーブル <i>table_name</i> は、ロードされた <i>date time</i> 以降に <i>count</i> のオブジェクトを検査し ました。
	CNM1221I	「ユーザー・プリファレンス」タスクのすべての値を、NetView プ

ログラムで提供される値に置き換えるには「了解」をクリックし、デフォルト値復元要求を無視するには「取り消し」をクリックしてください。

DWO854I	<i>object</i> がアクティブです。
EKGV8053E	ブランクのユーザー・パスワードまたはパスワード・フレーズは、指定されたユーザー ID では無効です。
EKGV9015E	ブランクのユーザー・パスワードまたはパスワード・フレーズは、指定されたユーザー ID では無効です。
IHS0001E	<i>errorcode parm1 parm2 parm3</i>
IHS0076I	タスク= <i>task</i> レベル= <i>level</i> IP= <i>iptrace</i>
IHS0118I	<i>adapter</i> タスクは終了しました。
IHS0122I	<i>adapter</i> タスクはすでに開始されているか、または開始処理中です。
IHS0123I	<i>adapter</i> タスクはすでに停止しているか、または停止中です。
IHS0124I	<i>adapter</i> タスクの初期化が完了しました。
IHS0143I	<i>service status addinfo</i>
IHS0147I	<i>task qcount sent recvd</i>
IHS0182I	<==現在の <i>service</i> サービス設定==>

注: BNH847I メッセージは、ターゲット XCF アドレスではなく、ローカル XCF アドレスを返すように変更されました。

削除されたメッセージ

BNH831I	BNH832I	BNH833I	BNH848I
BNH850I	CNM241I	CNM242I	CNM244I
CNM245I	CNM560I	CNM561I	CNM565I
CNM566I	CNM1205E	CNM1206E	CNM1207E
CNM1208E	CNM1268E	CNM1269I	CNM1270I
CNM1274I	CNM1275I	CNM1304E	CNM1305E
CNM1306E	CNM1307I	CNM1308I	CNM1311I
CNM1312I	CNM1314I	CNM1315I	CNM1319I
CNM1320E	CNM1321E	CNM1322E	CNM1323E
CNM1324E	CNM1325I	CNM1326I	CNM1327I
CNM1328I	CNM1329I	CNM1330E	CNM1331E
CNM1332E	CNM1400I	CNM1401I	CNM1402I
CNM1403I	CNM1404I	CNM1406I	CNM1407I
CNM1408I	CNM1409I	CNM1410I	CNM1413E
CNM1414E	CNM1416E	CNM1417E	CNM1418I
CNM1420E	CNM1421E	CNM1422E	CNM1423E
CNM1424E	CNM1425E	CNM1426E	CNM1427E
CNM1428E	CNM1429E	CNM1430E	DUI545E
DWO112I	DWO113I	DWO114I	DWO623I
FLC004E	FLC005I	FLC007E	FLC009I
FLC067E			

サンプル

このセクションには、マイグレーションの考慮事項に関連する新規サンプルと削除されたサンプルがリストされています。

- 『新規サンプル』
- 『削除されたサンプル』

新規サンプル

CNMIPMGT	CNMSALRT	CNMSCRT1	CNMSDCA
CNMSDDCR	CNMSDVCG	CNMSDVDS	CNMSDVPH
CNMSDVST	CNMSDVTP	CNMSHIPR	CNMSIFST
CNMSJTLS	CNMSMF3A	CNMSMF3E	CNMSMF3F
CNMSMF3R	CNMSMSIP	CNMSNVST	CNMSOSAP
CNMSRVAR	CNMSRVMC	CNMSMON	CNMSTNST
CNMSTPST	CNMSVPRT	CNMSXCFA	EKG51100
EKG61100	FKXIPMTB	FKXOPFIP	FKXSCM
FLCSPIP	FLCSOX02	FLCSPAUT	IHSABCDS
IHSABCFG	IHSANCFG	IHSANFMT	

削除されたサンプル

CNMSJEMA	CNMSJI04	CNMSJI05	CNMSJIE1
CNMSJIE2	CNMSJIE3	CNMSJIE4	CNMSJK61
CNMSJKVW	FLCSDM6L	FLCSILNM	FLCSLALH
FLCSLAUT			

コマンドの変更点

このセクションでは、マイグレーションで考慮するために、新規、変更、および削除されたコマンドのリストを示します。

- 『新規のコマンド』
- 235 ページの 『変更されたコマンド』
- 236 ページの 『削除されたコマンド』

新規のコマンド

表 75 に、マイグレーション時に検討する新規のコマンドを示します。

表 75. 新規コマンドのリスト

コマンド	説明
CNMEDRCL	指定した NetView ドメインでの DVIPA データ収集を開始します。
COLLCTL	自動タスクで一定の時間間隔を使用するときの、NetView プログラムによるデータの収集を制御します。
DVIPDDCR	分散 DVIPA 接続経路指定情報を収集します。
DVIPHLTH	分散 DVIPA サーバー・ヘルス情報を収集します。
GETTOPO	IBM Tivoli Network Manager リソースのトポロジーおよび状況を収集します。
ITNMDETAIL	

表 75. 新規コマンドのリスト (続き)

コマンド	説明
GETTOPO ITNMONLY	マルチシステム・マネージャー IBM Tivoli Network Manager エージェントの状況を収集します。
GETTOPO ITNMRES	マルチシステム・マネージャー IBM Tivoli Network Manager エージェントとリソースの状況を収集します。
HIPERSOC	Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent を使用して、3270 コンソールまたは Tivoli Enterprise Portal から HiperSockets アダプター情報を表示します。
IFSTAT	TCP/IP スタック・インターフェース情報を収集します。 CNMSIFST サンプルを使用して、収集された情報を表示できます。
NVSTAT	この NetView プログラムに認識されている NetView ドメインについての構成情報および状況情報を収集します。CNMSNVST サンプルを使用して、収集された情報を表示できます。
OSAPORT	Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent を使用して、3270 コンソールまたは Tivoli Enterprise Portal から OSA のチャンネル情報およびポート情報を表示します。
PIPE XCFMSG	XCF メッセージを送信および受信します。
PIPE XCQUERY	グループ・メンバーの XCF データを取得します。
PIPE XCFTABLE	XCF グループの状態フィールド情報の取得および設定を行います。
PLEXCTL	NetView プログラムが参加している DSIPLXnn グループでの NetView プログラムのランクを変更します。この NetView プログラムがグループ・マスターである場合は、別の NetView プログラムがシスプレックス・グループ内でマスターの役割を果たすことを、マスター NetView プログラム許可するかどうかを制御する目的にも、このコマンドを使用できます。
REISSUE	改訂済みのコマンドを発行するか抑止するかを指定します。このコマンドは、MVS コマンド改訂機能に対して使用されます。
RESETSRV	アダプター・サービスの接続をリセットします。
REVISE	REVISMSG コマンドを置換し拡張します。
SETRVAR	改訂編集スクリプトからアクセスできる変数名と値のテーブルを作成します。
TELNSTAT	Telnet サーバーについての構成情報および状況情報を収集します。
TNPTSTAT	Telnet サーバー・ポートについての構成情報および状況情報を収集します。
VIPAROUT	VIPA 経路についての状況情報を収集します。

変更されたコマンド

以下のコマンドは変更されました。

- ALERTC - TASK キーワード
- CLOSE
- DISPLAY (E/AS) - 構文に変更はありません。出力に 2 つの新規タスク (確認済みメッセージ・アダプターおよび確認済みアラート・アダプター) の情報を含めることができるようになりました。
- DVIPCONN
- DVIPPLEX

NetView V5R3 からの変更

- DVIPSTAT (SYSNAME の除去)
- DVIPTARG
- ENDTASK
- IPTRACE
- INITNRM
- INITSTM - AUTOTASK キーワードに新規のデフォルト値 (AUTOAON) を設定
- LIST (NCCF)
- MESSAGEC - TASK キーワード
- MVSPING
- NACMD - NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent サポートが除去されました。 NACMD コマンドに関連付けられているコマンド・リストが、CNME7200 から CNME8200 に変更されました。
- NACTL - NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent サポートが除去されました。
- OUTPUT (E/AS) - 構文に変更はありません。出力に 2 つの新規タスク (確認済みメッセージ・アダプターおよび確認済みアラート・アダプター) の情報を含めることができるようになりました。
- QRYKEEP - 保持名として LOCAL または GLOBAL を追加
- RECYCLE (E/AS)
- RESETSRV (E/AS)
- RESTYLE
- RMTCMD
- SETTINGS (E/AS)
- STACSTAT
- START (E/AS)
- START (NCCF)
- STOP (E/AS)
- STOP (NCCF)
- STOPNA - NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent サポートが除去されました。
- TRACE (E/AS)

削除されたコマンド

以下のコマンドは削除されました。

- ADAPTER (CNME8501)
- BRIDGE (CNME8503)
- GETTOPO LNMADP、LNMBRG および LNMCAU
- GETTOPO LNMRES および LNMONLY
- GETTOPO LNMSEG
- LAN (CNME8500)
- NALBRW (CNME7205)
- NAEDVPT (CNME7210)
- NAEDVP1 (CNME7211)
- NAEDVP2 (CNME7212)
- NAEDVP3 (CNME7213)
- NASESMG (CNME7221)
- NATPCON (CNME7225)
- PATH (CNME8507)

- QNETWORK (CNME8505)
- RESETLAN (CNME8508)
- SEGMENT (CNME8506)

Enterprise Management Agent の変更点

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent バージョン 5 リリース 4 で変更された内容は次のとおりです。

- シスプレックス内で使用可能になっている NetView アプリケーションをモニターするための新規ワークスペースおよび新規属性グループが 1 つずつ追加されました。
- シスプレックス内で使用可能になっている Telnet サーバーおよび Telnet サーバー・ポートの構成および状況をモニターするための 1 つの新規ワークスペースおよび 2 つの新規属性グループが追加されました。
- 分散 DVIPA ターゲット上に存在するすべてのアプリケーション・サーバーのヘルス統計をモニターするための 5 つの新規ワークスペースおよび 1 つの新規属性グループが追加されました。
- 分散 DVIPA 接続経路指定をモニターするための新規ワークスペースおよび新規属性グループが 1 つずつ追加されました。
- VIPA 経路をモニターするための新規ワークスペースおよび新規属性グループが 1 つずつ追加されました。
- OSA-Express2 10 ギガビット・アダプターおよび OSA-Express3 アダプターのチャンネルおよびポート構成データをモニターするための新規ワークスペースおよび新規属性グループが 1 つずつ追加されました。
- HiperSockets インターフェースの構成および状況をモニターするための新規ワークスペースおよび新規属性グループが 1 つずつ追加されました。
- V5R4 Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent で新規であるか変更されているすべての照会およびワークスペースには、照会およびワークスペースの説明に修飾子 (V540) が含まれています。V5R4 より前の製品の一部であった照会およびワークスペースには、修飾子はありません。照会およびワークスペースのバージョン、リリース、およびモディフィケーション・レベルの ID は、V5R4 で始まります。
- IBM Tivoli Monitoring V6.2 には、整数属性に対して定義される ENUM 値を英数字順ではなく数値順にソートできる新しい SORTBYINTERNAL オプションが用意されています。ENUM 値が定義されているすべての Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent 整数属性は、新しい SORTBYINTERNAL オプションで更新されます。
- 新機能をサポートするために、新規のシチュエーションおよびアクション実行コマンド、および選択された NetView for z/OS ワークスペースから IBM Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks ワークスペースまでの追加のダイナミック・リンクが提供されています。
- デフォルトでは、すべてのシチュエーションが自動的に開始されないため、手動で実行を開始する必要があります。V5R3 の NetView for z/OS Enterprise Management Agent で提供されていた一部のシチュエーションは、始動時に実行可能になっていました。NetView for z/OS V5R4 では、始動時に配布され、実行可能になるシチュエーションはありません。この変更により、製品で提供されてい

るシチュエーションの配布に関連する初期の処理オーバーヘッドが削減されます。 NetView for z/OS Enterprise Management Agent で提供されているシチュエーションをテンプレートや出発点として使用することにより、モニタリングの必要性を満たすためにカスタマイズするシチュエーションを判断できます。シチュエーションの作成または変更については、「*IBM Tivoli Monitoring ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。以下のシチュエーションは、NetView for z/OS V5R3 では自動的に開始されていましたが、NetView for z/OS V5R4 では自動的に開始されなくなりました。

- NAS_NVTask_CPU_Util_Crit
- NAS_NVTask_Input_Msg_Rate_Crit
- NAS_NVTask_IO_Rate_Crit
- NAS_NVTask_Msg_Queue_Crit
- NAS_NVTask_Output_Mst_Rate_Crit
- NAS_NVTask_Storage_Crit

- NAS_DVIPA_Number_of_Connections シチュエーションは、シチュエーション式の属性が非推奨の属性グループに属しているため、V5R4 では適用できなくなりました。V5R4 では、新規のシチュエーション NAS_DVIPA_Targ_Active_Conns が同様の機能を提供します。
- NAS_DVIPA_Server_Accept_Percent シチュエーションは、シチュエーション式の属性が非推奨の属性グループに属しているため、V5R4 では適用できなくなりました。V5R4 では、新規のシチュエーション NAS_DVIPA_Target_Serv_Resp_Rate が同様の機能を提供します。
- 新規のシチュエーションは、以下のとおりです。
 - NAS_DVIPA_Abnorm_Trans_Percent
 - NAS_DVIPA_Active_Target_Stacks
 - NAS_DVIPA_Bytes_Received
 - NAS_DVIPA_Bytes_Sent
 - NAS_DVIPA_Pct_Seg_Retran
 - NAS_DVIPA_Port_Health_Percent
 - NAS_DVIPA_Targ_Active_Conns
 - NAS_DVIPA_Targ_Delta_Conns
 - NAS_DVIPA_Targ_Listening_Srvrs
 - NAS_DVIPA_Target_Serv_Resp_Rate
 - NAS_DVIPA_WLM_Weight
 - NAS_NVApp_Status
 - NAS_NVApp_Total_CPU
 - NAS_NVApp_Total_Storage
 - NAS_Telnet_Active_Ports
 - NAS_Telnet_Configured_Ports
 - NAS_Telnet_SP_Port_Status
 - NAS_Telnet_SP_Server_Status
- 以下の属性グループは推奨されなくなりました。
 - NA DVIPA ディストリビューター・ターゲット
 - ポート別 NA DVIPA ワークロード
 - NA 非アクティブ・セッション・カウント
 - NA 非アクティブ・セッション・データ

- 表 76 に、新規のワークスペースと、関連の属性グループ (1 つまたは複数) を示します。

表 76. 新規のワークスペース

ワークスペース	属性グループ
アプリケーション・インスタンス DVIPA	DVIPA 定義および状況
分散 DVIPA 接続経路指定	分散 DVIPA 接続経路指定
分散 DVIPA サーバー・ヘルス	分散 DVIPA サーバー・ヘルス
分散 DVIPA サーバー・ヘルス詳細	分散 DVIPA サーバー・ヘルス
分散 DVIPA ターゲット	分散 DVIPA ターゲット
正常でない分散 DVIPA サーバー	分散 DVIPA サーバー・ヘルス
DVIPA スタック要約	DVIPA 定義および状況 DVIPA シスプレックス・ディストリビューター 分散 DVIPA ターゲット
DVIPA ワークロード	分散 DVIPA ターゲット
フィルターに掛けられた分散 DVIPA サーバー・ヘルス	分散 DVIPA サーバー・ヘルス
フィルターに掛けられた分散 DVIPA ターゲット	分散 DVIPA ターゲット
フィルターに掛けられた正常でない分散 DVIPA サーバー	分散 DVIPA サーバー・ヘルス
フィルターに掛けられた DVIPA シスプレックス・ディストリビューター	DVIPA シスプレックス・ディストリビューター
フィルターに掛けられた Telnet サーバー構成および状況	Telnet サーバー Telnet サーバー・ポート
HiperSockets 構成および状況	HiperSockets 構成および状況
NetView アプリケーション	NetView アプリケーション
OSA チャンネルおよびポート	OSA チャンネルおよびポート
スタック定義 DVIPA	DVIPA 定義および状況
Telnet サーバー構成および状況	Telnet サーバー Telnet サーバー・ポート
VIPA 経路	VIPA 経路

- 表 77 に、既存のワークスペースに対する変更点を示します。

表 77. ワークスペースの変更点

ワークスペース	変更点
DVIPA ディストリビューター・ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> • 「DVIPA ディストリビューター・ターゲット」ワークスペースは、ナビゲーター・ビューの「DVIPA ディストリビューター・ターゲット」項目にあるデフォルトのワークスペースではなくなりました。「DVIPA ディストリビューター・ターゲット」ワークスペースおよび「NA DVIPA ディストリビューター・ターゲット」属性グループは、両方とも推奨されていません。 • ナビゲーター・ビューの DVIPA ディストリビューター・ターゲット項目にある新しいデフォルト・ワークスペースは、「分散 DVIPA ターゲット」ワークスペースです。

表 77. ワークスペースの変更点 (続き)

ワークスペース	変更点
DVIPA 接続	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - アドレス・スペース ID - AT-TLS 暗号 - AT-TLS 接続状況 - AT-TLS パートナー・ユーザー ID - AT-TLS ポリシー状況 - AT-TLS セキュリティー・タイプ - AT-TLS SSL プロトコル - バイト・レート - 受信バイト数 - 送信バイト数 - 送受信バイト数 - 接続開始時刻 - 接続状態 - 現行送信ウィンドウ・サイズ - DDVIPA - インターフェース名 - 最新アクティビティー・リモート・タイム・スタンプ - 最新アクティビティー・タイム・スタンプ - 最新タイム・スタンプ・エージ - 最大送信ウィンドウ・サイズ - 重複 ACK 数 - 受動または能動オープン - セグメント再送 % - 受信セグメント数 - 再送セグメント数 - 送信セグメント数 - 送受信セグメント数 - シスプレックス名 - TCB アドレス - TCPIP ジョブ名 - Telnet ログモード - Telnet プロトコル - Telnet ユーザー・クライアント名 - 合計セグメント数 - 合計受信セグメント数 - 合計再送セグメント数 - 合計送信セグメント数 - zOS イメージ名 - zOS リリース・レベル • 「セグメント再送 % >= 3」棒グラフ・ビューが、「合計バイト数 = 0」テーブル・ビューに置き換わります。 • 「DVIPA 接続要約」テーブル・ビューと「セグメント再送 % >= 3」棒グラフ・ビューの照会では、表示用に取得できる対象行をフィルターに掛けるために、「バイト・レート」属性が使用されます。デフォルトのフィルターが原因で、一部の接続が表示されない場合があります。照会を変更して、表示できる接続数をデフォルトのフィルターの場合よりも多くするか少なくすることができません。 • TCPIP 接続データ・リンクは推奨されていません。 • 新規の条件付きリンクが追加されました。分散 DVIPA 接続経路指定は、「DVIPA」および「DVIPA ポート」をリンク属性として使用して、「分散 DVIPA 接続経路指定」ワークスペースにリンクします。このリンクが使用可能になるのは、接続が分散 DVIPA で、かつ zOS V1R11 以降のシステムで接続が検出された場合に限られます。
DVIPA 定義および状況	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - アプリケーション・サーバー名 - 活動化時刻 • 既存の「収集時刻」属性のキャプションが「更新時刻」に変更されました。

表 77. ワークスペースの変更点 (続き)

ワークスペース	変更点
DVIPA シスプレックス・ディストリビューター	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 構成済みターゲット・スタック - DESTIP ALL - ILWEIGHTING - インターフェース名 - 移動性 - PROCTYPE CP - PROCTYPE zAAP - PROCTYPE zIIP - PROCXCOST zAAP - PROCXCOST zIIP - ランク - 状況 - zOS リリース・レベル • 既存の「ターゲット・スタック数」属性のキャプションが「アクティブ・ターゲット・スタック」に変更されました。 • 既存の「リスニング・サーバー数」のキャプションが「リスニング・サーバー」に変更されました。 • 既存の「収集時刻」属性のキャプションが「更新時刻」に変更されました。 • 既存の「分散方式」属性に以下の値が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> - weightedActive (4) - TargetControlled (5) • 「DVIPA のシスプレックス DVIPA ターゲット・スタック」棒グラフ・ビューは「DVIPA のターゲット・スタック」棒グラフに名前変更されました。 Y 軸の名前が「ターゲット・スタック」から「アクティブ・ターゲット・スタック」に変更されました。 • シスプレックス内の各分散 DVIPA について、リスニング・サーバー数のスナップショットを表示するために「DVIPA のリスニング・サーバー」棒グラフが追加されました。 • DVIPA 分散ターゲット数リンクは推奨されません。新しいリンクである分散 DVIPA ターゲットが定義されました。 • 以下の条件付きリンクが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> - 分散 DVIPA 接続経路指定リンクが使用可能になるのは、z/OS V1R11 以降のシステムでシスプレックス・ディストリビューターが検出された場合に限られます。 - VIPA 経路リンクが使用可能になるのは、z/OS V1R11 以降のシステムでシスプレックス・ディストリビューターが検出された場合に限られます。
ポート別 DVIPA ワークロード	<ul style="list-style-type: none"> • 「ポート別 DVIPA ワークロード」ワークスペースおよび「NA DVIPA ディストリビューター・ターゲット」属性グループは推奨されていません。 選択された分散 DVIPA ターゲットを表示するため、新規のワークスペースである「DVIPA ワークロード」が用意されています。

表 77. ワークスペースの変更点 (続き)

ワークスペース	変更点
フィルターに掛けられた DVIPA 接続	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - アドレス・スペース ID - AT-TLS 暗号 - AT-TLS 接続状況 - AT-TLS パートナー・ユーザー ID - AT-TLS ポリシー状況 - AT-TLS セキュリティー・タイプ - AT-TLS SSL プロトコル - バイト・レート - 受信バイト数 - 送信バイト数 - 送受信バイト数 - 接続開始時刻 - 接続状態 - 現行送信ウィンドウ・サイズ - DDVIPA - インターフェース名 - 最新アクティビティー・リモート・タイム・スタンプ - 最新アクティビティー・タイム・スタンプ - 最新タイム・スタンプ・エージ - 最大送信ウィンドウ・サイズ - 重複 ACK 数 - 受動または能動オープン - セグメント再送 % - 受信セグメント数 - 再送セグメント数 - 送信セグメント数 - 送受信セグメント数 - シスプレックス名 - TCB アドレス - TCPIP ジョブ名 - Telnet ログモード - Telnet プロトコル - Telnet ユーザー・クライアント名 - 合計セグメント数 - 合計受信セグメント数 - 合計再送セグメント数 - 合計送信セグメント数 - zOS イメージ名 - zOS リリース・レベル • 「セグメント再送 % >= 3」棒グラフ・ビューが、「合計バイト数 = 0」テーブル・ビューに置き換わります。 • 新規の条件付きリンクが追加されました。分散 DVIPA 接続経路指定は、「DVIPA」および「DVIPA ポート」をリンク属性として使用して、「分散 DVIPA 接続経路指定」ワークスペースにリンクします。このリンクが使用可能になるのは、接続が分散 DVIPA で、かつ z/OS V1R11 以降のシステムで接続が検出された場合に限られます。
フィルターに掛けられた DVIPA 定義および状況	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - アプリケーション・サーバー名 - 活動化時刻 • 既存の「収集時刻」属性のキャプションが「更新時刻」に変更されました。
フィルターに掛けられた DVIPA ディストリビューター・ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> • 「フィルターに掛けられた DVIPA ディストリビューター・ターゲット」ワークスペースおよび「NA DVIPA ディストリビューター・ターゲット」属性グループは、推奨されません。フィルターに掛けられた分散 DVIPA ターゲットを表示するため、新規のワークスペースである「フィルターに掛けられた分散 DVIPA ターゲット」が用意されています。

表 77. ワークスペースの変更点 (続き)

ワークスペース	変更点
フィルターに掛けられた非アクティブ TCPIP 接続データ	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - AT-TLS 接続状況 - AT-TLS ポリシー状況 - 終了理由コード - 受動または能動オープン - サービスの種類
非アクティブ TCPIP 接続データ	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - AT-TLS 接続状況 - AT-TLS ポリシー状況 - 終了理由コード - 受動または能動オープン - サービスの種類
NetView タスク	<ul style="list-style-type: none"> • 「NetView タスク」ワークスペースは、ナビゲーター・ビューの NetView ヘルス項目にあるデフォルト・ワークスペースではなくなりました。 NetView ヘルス・ナビゲーター項目からこのワークスペースに引き続きアクセスするには、「NetView ヘルス」を選択して右クリックし、「ワークスペース」をクリックしてから、「NetView タスク」をクリックします。「NetView アプリケーション」ワークスペース内のリンクからも「NetView タスク」ワークスペースにアクセスできます。
スタック構成および状況	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の属性が追加されます。 <ul style="list-style-type: none"> - IP アドレス - IPSecV6 対応 - セグメンテーション・オフロード使用可能 - ソース VIPA 使用可能 - ソース VIPAV6 使用可能 - シスプレックス WLM ポーリング間隔 - TCP スタック・ソース VIPA 使用可能 - TCP スタック・ソース VIPAV6 使用可能 - VTAM XCF グループ - zIIP IP セキュリティ使用可能 • DVIPA 定義および状況リンクは推奨されていません。以下のリンクが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> - DVIPA スタック要約 (デフォルト・リンク) - Telnet サーバー構成および状況

- 新規のアクション実行コマンドは以下のとおりです。
 - すべての NetView タスク状況のリスト
 - Telnet サーバー・ポートの静止
 - Telnet サーバー・ポートの再開
 - アプリケーション・インスタンス DVIPA の表示
 - 分散 DVIPA 接続経路指定の表示
 - 分散 DVIPA サーバー・ヘルスの表示
 - HiperSockets 構成および状況の表示
 - NetView アプリケーションの表示
 - NetView リソース使用状況の表示
 - OSA チャネルおよびポートの表示
 - スタック定義 DVIPA の表示
 - すべてのタスクの TASKMON データの表示
 - すべてのタスクの TASKUTIL データの表示
 - Telnet サーバー構成および状況の表示
 - Telnet サーバー・ポート構成および状況の表示
 - VIPA 経路の表示

NetView V5R3 からの変更

- 表 78 に、既存のアクション実行コマンドに対する変更点を示します。

表 78. アクション実行コマンドの変更

アクション実行名	V5R3 アクション実行コマンド	V5R4 アクション実行コマンド
NetView タスクのリスト	List KNAHEA.Task_Name	List Task=KNAHEA.Task_Name
DVIPA 接続の表示	CNMSDVPC DVIPA=dvipa PORT=dvipaport TARGETXCF=xcfaddr SERVERJOBNAME=(jobname)	CNMSDVPC DVIPA=dvipa PORT=dvipaport SERVERJOBNAME=(jobname) MAXRECS=maxrecls
DVIPA 定義および状況の表示	CNMSDVIP DVIPA=dvipa SYSNAME=tcpsk	CNMSDVIP DVIPA=dvipa DISPLAY=DEFSTAT
スタック構成および状況の表示	CNMSSTAC STACK=jobname SYSNAME=zosimage	CNMSSTAC STACK=jobname

Tivoli Common Reporting を使用したレポートの変更点

Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent には、Tivoli Common Reporting と組み合わせて使用する事前定義済みのレポート一式が用意されています。このレポートに対して、以下の変更が行われました。

- DVIPA ワークロード・レポートが推奨されなくなりました。
- 新規のレポートである分散 DVIPA サーバー・ヘルスは、Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent アプリケーション CD の REPORTS ディレクトリにあります。

レポートについて詳しくは、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agent の構成*」を参照してください。

付録 E. SEC=BY が必要ない AON CMDDEF ステートメント

SEC=BY キーワードは、後続のコマンドの AON CMDDEF ステートメントから除去することができます。ご使用の AON コマンド・セキュリティー定義を検討して、ご使用の環境においてこのキーワードを除去することが適切かどうかを判断してください。リストされている %INCLUDE メンバーには、NetView V5R4 プログラム用の CMDDEF ステートメントが含まれます。

CNMCMMENT

このセクションでは、SEC=BY キーワードが除去されたコマンド定義をリストします。CMDDEF ステートメントは %INCLUDE メンバー CNMCMMENT に含まれています。

EZLEASLN	EZLENFRM	EZLERGWY	EZLE1900
----------	----------	----------	----------

EZLCMMENT

このセクションでは、SEC=BY キーワードが除去されたコマンド定義をリストします。CMDDEF ステートメントは %INCLUDE メンバー EZLCMMENT に含まれています。

EZLALOG	EZLASTS	EZLAUST	EZLE1CDL
EZLE1CNT	EZLE1DAL	EZLE1DOM	EZLE1FUL
EZLE1FWD	EZLE1GXC	EZLE1GXD	EZLE1GXE
EZLE1I01	EZLE1I02	EZLE1I03	EZLE1I04
EZLE1I05	EZLE1I06	EZLE1I07	EZLE1I08
EZLE1ICK	EZLE1IGT	EZLE1IMN	EZLE1INT
EZLE1ITF	EZLE1IXD	EZLE1IXL	EZLE1NTF
EZLE1RGT	EZLE1RNT	EZLE1RSP	EZLE1RTN
EZLE1RUD	EZLE1RUR	EZLE1RUT	EZLE1RUU
EZLE1RUX	EZLE1TMX	EZLE1UFW	EZLE1XMN
EZLE1XTF	EZLE4110	EZLE4120	EZLE7110
EZLE7210	EZLE8110	EZLE8120	EZLE8410
EZLE8611	EZLE8612	EZLEAAGD	EZLEAAIC
EZLEAANV	EZLEAAT1	EZLEAAT2	EZLEAAT3
EZLEAAT4	EZLEAAT5	EZLEAAT6	EZLEAAT8
EZLEAAT9	EZLEAATR	EZLEAATS	EZLEAC10
EZLEAC11	EZLEACG0	EZLEACG1	EZLEACG2
EZLEACG3	EZLEACG4	EZLEACG5	EZLEACG6
EZLEACG7	EZLEACG8	EZLEACG9	EZLEACGA
EZLEACGL	EZLEACGT	EZLEACKT	EZLEACNT
EZLEACST	EZLEACSX	EZLEACT1	EZLEACT2
EZLEADLY	EZLEAEXI	EZLEAFST	EZLEAGEN
EZLEAGN1	EZLEAGRN	EZLEAHED	EZLEAINL
EZLEAINT	EZLEAIOP	EZLEAIPL	EZLEAIRP
EZLEAISM	EZLEAJUL	EZLEALCL	EZLEALD1
EZLEALDR	EZLEALFL	EZLEALIC	EZLEALRS
EZLEALSW	EZLEANTL	EZLEARCY	EZLEARFR

SEC=BY が必要ない AON CMDDEF ステートメント

EZLEARST	EZLEASAO	EZLEASCD	EZLEASCN
EZLEASTK	EZLEASTM	EZLEATDS	EZLEATRC
EZLEATST	EZLEAU01	EZLEAU02	EZLEAU03
EZLEAUCG	EZLEAUCL	EZLEAUS1	EZLEAUSF
EZLEAUST	EZLEAX00	EZLEAX01	EZLEBELG
EZLECAUT	EZLECHAU	EZLECHGF	EZLECTHR
EZLEDAN1	EZLEDTSK	EZLEDUTL	EZLEF001
EZLEF003	EZLEF004	EZLEF009	EZLEF00B
EZLEF00D	EZLEFAIL	EZLEGTID	EZLEHBLD
EZLEHRCY	EZLEICGS	EZLEICGV	EZLEIDNT
EZLEITWR	EZLELSTH	EZLEMCOL	EZLEMSU
EZLENDET	EZLENPS2	EZLEOIVT	EZLEOPER
EZLEPAR	EZLEPDEL	EZLEPDIS	EZLEPCY
EZLERAIP	EZLERCMD	EZLERECV	EZLERMSU
EZLERNGE	EZLEROUT	EZLESLCT	EZLESNTX
EZLESRMD	EZLESTOP	EZLESTRT	EZLEVACT
EZLEVIEW	EZLEVINA	EZLEVMOV	EZLEW001
EZLEW002	EZLEXIT7	EZLIPLDT	EZLSACAF
EZLSATHR	EZLSAU07	EZLSCMOD	EZLSHNDE
EZLSMSU	EZLSNHLP	EZLSPIPS	EZLSTMEM
EZLSUSER	EZLSX001		

FKVCMNT

このセクションでは、SEC=BY キーワードが除去されたコマンド定義をリストします。CMDDEF ステートメントは %INCLUDE メンバー FKVCMNT に含まれています。

EZLENCH1	EZLENCH2	EZLENCH3	EZLENCH4
FKVASNB	FKVE095A	FKVE1100	FKVE1101
FKVE1102	FKVE1103	FKVE1104	FKVE1110
FKVE1200	FKVE1300	FKVE1310	FKVE1320
FKVE1330	FKVE2100	FKVE270I	FKVE284A
FKVE285I	FKVE380I	FKVE464I	FKVE530I
FKVE88II	FKVE897I	FKVEA0IC	FKVEA200
FKVEA210	FKVEA410	FKVEADMP	FKVEAID1
FKVEAID2	FKVEAID3	FKVEAID4	FKVEAID5
FKVEAID6	FKVEAID7	FKVEAID8	FKVEAID9
FKVEAIDA	FKVEAIDB	FKVEAIDC	FKVEAIDD
FKVEAIDE	FKVEAIDF	FKVEAIDG	FKVEAIDH
FKVEAIDI	FKVEAIDJ	FKVEAIDK	FKVEAMS1
FKVEARLD	FKVECAPL	FKVECGBG	FKVECGCA
FKVECGCC	FKVECGCD	FKVECGDA	FKVECGDB
FKVECGDC	FKVECGDD	FKVECGDE	FKVECGDF
FKVECGDG	FKVECGEA	FKVECGEB	FKVECGEC
FKVECGED	FKVECGFD	FKVECGFF	FKVECGFG
FKVECGFH	FKVECGHA	FKVECGHB	FKVECGHD
FKVECHCM	FKVECHIN	FKVECHRP	FKVECHSG
FKVECHSR	FKVECNCP	FKVEDETL	FKVEF005
FKVEINIT	FKVEOG01	FKVEOG02	FKVEOG03
FKVEOG04	FKVEOG05	FKVEOG06	FKVEOG07
FKVEOG08	FKVEOG09	FKVEOI00	FKVEOPFI
FKVEOSEC	FKVERDIS	FKVETGSW	FKVEX74E
FKVEX74X	FKVEXACT	FKVEXCDB	FKVEXCON

FKVEXDIS
FKVEXTRKFKVEXINA
FKVSSNBU

FKVEXMCH

FKVEXRES

FKXCMENT

このセクションでは、SEC=BY キーワードが除去されたコマンド定義をリストします。CMDDEF ステートメントは %INCLUDE メンバー FKXCMENT に含まれています。

FKXEACT2
FKXEALRT
FKXEGTID
FKXEOTHR
FKXWIND2FKXE Aid1
FKXEAMS1
FKXEHNDE
FKXEPINGFKXE Aid2
FKXECATV
FKXEINIT
FKXESVPTFKXE AIDA
FKXEDDFP
FKXENSTH
FKXWIND1

付録 F. CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーへのマイグレーション

DSIPARM データ・セットの CNMSTYLE メンバーは、NetView の初期設定時に使用されます。CNMSTYLE メンバーおよびその従属メンバーは、前の NetView プログラムのリリースにおける CNME1034 コマンド・リストおよび一部の DSIPARM 定義ステートメントで実行されていた初期化に置き換わるものです。

DSIPARM データ・セットの CNMCMD メンバーには、コマンド定義が含まれています。CNMCMD メンバーは、DSICMD メンバーに置き換わるものです。

NETVIEW.V5R4USER.INSTALL データ・セットの CNMSJMIG サンプルは、CNMEMIG コマンド・リストを使用して、CNME1034 コマンド・リストおよび DSIPARM の各ステートメントを新規の CNMSTYLE フォーマットに変換するのを支援します。このサンプルで、TSO 端末モニター・プログラムの下で稼働する JCL が提供されます。CNMSJMIG サンプルは、CNMSTYLE ステートメントを作成します。ほとんどの場合、CNMSJMIG サンプルは既存の初期化ステートメントを、同等の設定を行うことができるステートメントに変換します。生成されたステートメントを確認して、必要な設定がこれらのステートメントによって行われることを確認してから、それらのステートメントをインストール済み環境で使用可能にしてください。また CNMSJMIG サンプルを使用して、DSICMD ファイルを新規 CNMCMD フォーマットにマイグレーションすることもできます。

CNMEMIG コマンド・リストは、使用者によって CNMSJMIG サンプルに、&DOMAIN シンボリック変数などのシステム・シンボリック置換の情報が指定されたときに、この置換を行います。ただし、CNMEMIG コマンド・リストでは、データ REXX を正しく解釈できません。このため、CNMEMIG コマンド・リストを実行して DSIPARM 定義を新規の CNMSTYLE フォーマットおよび CNMCMD フォーマットにマイグレーションする前に、DSIPARM 定義 (または DSIPARM 定義に含まれているすべてのメンバー) に、データ REXX が含まれていないことを確認してください。データ REXX が含まれないように DSIPARM メンバーを変換するには、マイグレーションする元の NetView プログラムで次のパイプを実行します。

```
PIPE < member INCL | > 'altparms(member)'
```

ここで、*altparms* は、変換後の DSIPARM メンバーが格納される代替 DSIPARM データ・セットで、*member* は、変換の対象となる DSIPARM メンバーです。その後、この代替データ・セットを、OLDPARM データ・セット連結の 1 番目のデータ・セットとして CNMSJMIG サンプルに指定します。現行の設定を保持するために、上記の PIPE コマンドを、マイグレーション元の NetView プログラムで実行することが重要です。

注: SA タワーがアクティブ状態でない場合か、付属の CNMCMDx メンバーが使用される場合は不要ですが、CNMCMD にはデータ REXX も含まれているので、この同じプロシージャを CNMCMD に対して実行できます。

サンプル CNMSJMIG には以下のデータ・セットが必要です。

CNMSTYLE および CNMCMD へのマイグレーション

DSIPARM

現行リリース・バージョンの CNMSTYLE メンバーおよび CNMCMD メンバーを含む連結データ・セット・リスト。

OLDPARM

マイグレーション元のリリースの NetView 定義を含む連結データ・セット・リスト。

OLDCLD

マイグレーション元のリリースのコマンド・リスト (CNME1034 および CNME1054) を含む連結データ・セット・リスト。マイグレーション元のリリースでこれらのメンバーを名前変更した場合は、ツールがカスタマイズを検出できるように、メンバーのコピーを CNME1034 および CNME1054 という名前で OLDCLD 連結に配置してください。

DSIWRIT

変換された CNMSTYLE ステートメントと中間出力ファイルを含む連結出力データ・セット・リスト。

CNMSJMIG サンプルは、DSIWRIT によって指定された出力データ・セットに以下のメンバーを作成します。

CNMSTMIG

COMPARE オプションが指定されると、このメンバーが作成され、既存の V5R4 CNMSTYLE とは異なる、変換された CNMSTYLE ステートメントが入ります。それは、DSIWRIT DD ステートメントによって指定された最初のデータ・セットに入れられます。

ステートメントは列 3 から開始され、最初の 2 つの列はブランクになります。列 1 は、UPDATE オプションが指定されたときにどのステートメントが CNMSTUSR メンバーにコピーされるかを指定するために予約されています。このメンバーには、セクション見出しも含まれています。見出しには、CNMSTYLE ステートメントの派生元であるパラメーター・メンバーの名前が含まれます。セクション内のすべての CNMSTYLE ステートメントは、同じパラメーター・メンバーから作成されます。

CNMCMMIG

COMPARE オプションが指定されると、このメンバーが作成され、既存の V5R4 CNMCMD ステートメントとは異なる、変換された CNMCMD ステートメントが入ります。それは、DSIWRIT DD ステートメントによって指定された最初のデータ・セットに入れられます。

ステートメントは列 3 から開始され、最初の 2 つの列はブランクになります。列 1 は、UPDATE オプションが指定されたときにどのステートメントが CNMCMDU にコピーされるかを指定するために予約されています。

CNMSTUSR

UPDATE オプションが指定されると、変換された CNMSTYLE ステートメントがこのメンバーに追加されます。CNMSTMIG メンバーにある、列 1 に非ブランク文字でマークが付けられたステートメントのみが追加されます。更新が行われたときのタイム・スタンプが入ったコメント行も含まれます。

CNMSTUSR メンバーを含む最初の DSIWRIT データ・セットが使用され
ます。CNMSTUSR メンバーが連結内のどのデータ・セットでも検出され
ない場合は、DSIWRIT DD ステートメントによって指定された最初の
データ・セットに新規のメンバーが作成されます。

注: 初期化ステートメントを評価するために、CNMSJCRG サンプルを使用
して CNMSTYLE メンバーのレポートを作成できます。詳しくは、
163 ページの『第 7 章 NetView の開始の準備』を参照してください。

CNMCMDU

UPDATE オプションが指定されると、変換された CNMCMD ステートメン
トがこのメンバーに追加されます。CNMCMIG メンバーにある、列 1 に
非ブランク文字でマークが付けられたステートメントのみが付加されま
す。更新が行われたときのタイム・スタンプが入ったコメント行も組み込ま
れます。

CNMCMDU メンバーを含む最初の DSIWRIT データ・セットが使用されま
す。CNMCMDU メンバーが連結内のどのデータ・セットでも検出され
ない場合は、DSIWRIT DD ステートメントによって指定された最初の
データ・セットに新規のメンバーが作成されます。

以下のキーワード・パラメーターを、CNMSJMIG サンプルの CNMEMIG コマ
ンドに指定します。

NETVREL=VxRx

マイグレーション元のリリースを指定します。

- V2R4
- V3R1
- V1R1
- V1R2
- V1R3
- V1R4
- V5R1

FUNCTION=COMPARE | UPDATE

実行する処理ステップを指定します。

COMPARE

マイグレーション元のリリースのパラメーターおよびコマンド・メン
バーを、現行の CNMSTYLE または DSICMD 値と比較します。
マイグレーション済みのステートメントは、CNMSTMIG サンプル
または CNMCMIG サンプルに配置されます。省略された場合、
FUNCTION=COMPARE がデフォルトです。

UPDATE

列 1 に文字が入っているすべてのステートメントを CNMSTMIG
メンバーから CNMSTUSR メンバーに移動し、列 1 に文字が入っ
ているすべてのステートメントを CNMCMIG メンバーから
CNMCMDU メンバーに移動します。

FILES=CNMSTYLE | CNMCMD | BOTH

マイグレーションされる定義を指定します。

CNMSTYLE および CNMCMD へのマイグレーション

CNMSTYLE

パラメーター定義および初期化ステートメントを CNMSTUSR メンバーにマイグレーションすることを示します。

CNMCMD

コマンド定義を CNMCMDU メンバーにマイグレーションすることを示します。

BOTH CNMSTYLE メンバーと CNMCMD メンバーの両方を示します。

&symbolic_name=value

OLDPARM および OLDCLD によって指定されたデータ・セットで 사용되는システムまたは NetView シンボリック変数を示します (例: &DOMAIN=CNM01)。

シンボリック変数 &NV2I は、指定されない場合、デフォルトで値 NM になります。

注: CNMEMIG コマンド・リストのどのパラメーター・フィールドでもスペースを使用しないでください。

以下の戻りコードが、CNMEMIG によって設定されます。

- 0 正常終了。ファイルが DSIWRIT に作成されました。
- 4 マイナー・エラーが検出されました。ファイルが DSIWRIT に作成されました。
- 8 メジャー・エラーが検出されました。ファイルは DSIWRIT に作成されません。

ゼロ以外の戻りコードの場合は、CNMSJMIG ジョブ・ログにエラー・メッセージがある可能性があります。

253 ページの表 79 は、CNMSTYLE または CNMCMD ステートメントに変換された、前の NetView リリースの DSIPARM ステートメントを示しています。

253 ページの表 79 はまた、CNME1034 内のどのコマンドが CNMSTYLE ステートメントに変換されたかも示しています。CNMSTYLE ステートメントに変換されていないコマンドを CNME1034 に追加している可能性があります。これらのコマンドをどのようにして NetView V5R4 初期化フローに組み込むかを検討してください。1 つの方法は、これらの未変換のコマンドでコマンド・リスト・メンバーを作成し、CNMSTYLE auxInitCmd ステートメントを使用してこのコマンド・リストを呼び出すというものです。auxInitCmd ステートメントについては、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス*」を参照してください。

表 79. DSIPARM メンバー・ステートメント

DSIPARM メンバー	DSIPARM 制御ステートメント	CNMSTYLE または CNMCMD ステートメント
AAUPRLMP	DSTINIT DSRBO	NLDM.DSRBO
	DSTINIT MACRF	NLDM.MACRF
	DSTINIT PDDNM	NLDM.PDDNM
	DSTINIT SDDNM	NLDM.SDDNM
	INITMOD AAUCPEX AUTHROM	NLDM.AUTHDOM.X
	INITMOD AAUINLDM AMLUTDLY	NLDM.AMLUTDLY
	INITMOD AAUINLDM AUTHORIZ	NLDM.AUTHORIZ.X
	INITMOD AAUINLDM BUFTYPE	NLDM.OTHER
	INITMOD AAUINLDM CDTIME	NLDM.CDTIME
	INITMOD AAUINLDM DRDELAY	NLDM.DRDELAY
	INITMOD AAUINLDM ERCOUNT	NLDM.ERCOUNT
	INITMOD AAUINLDM FCTIME	NLDM.FCTIME
	INITMOD AAUINLDM KEEPDISC	NLDM.KEEPDISC
	INITMOD AAUINLDM KEEPMEM	NLDM.KEEPMEM
	INITMOD AAUINLDM KEEPPIU	NLDM.KEEPPIU
	INITMOD AAUINLDM KEEPRTM	NLDM.KEEPRTM
	INITMOD AAUINLDM KEEPSSESS	NLDM.KEEPSSESS
	INITMOD AAUINLDM LOG	NLDM.LOG
	INITMOD AAUINLDM LUCOUNT	NLDM.LUCOUNT
	INITMOD AAUINLDM MAXEND	NLDM.MAXEND
	INITMOD AAUINLDM NETID	NLDM.NETID
	INITMOD AAUINLDM PERFMEM	NLDM.PERFMEM
	INITMOD AAUINLDM PURGE	NLDM.PURGE
	INITMOD AAUINLDM RTDASD	NLDM.RTDASD
	INITMOD AAUINLDM RTM	NLDM.RTM
	INITMOD AAUINLDM RTMDISP	NLDM.RTMDISP
	INITMOD AAUINLDM SAW	NLDM.SAW
	INITMOD AAUINLDM TRACEGW	NLDM.TRACEGW
	INITMOD AAUINLDM TRACELU	NLDM.TRACELU
	INITMOD AAUINLDM TRACESC	NLDM.TRACESC

CNMSTYLE および CNMCMD へのマイグレーション

表 79. DSIPARM メンバー・ステートメント (続き)

DSIPARM メンバー	DSIPARM 制御ステートメント	CNMSTYLE または CNMCMD ステートメント
BNJMBDST	ALCACHE	NPDA.ALCACHE
	ALERTLOG	NPDA.ALERTLOG
	ALRTINFP	NPDA.ALRTINFP.RECORD
	ALT_ALERT	NPDA.ALT_ALERT
	AUTORATE	NPDA.AUTORATE
	DSTINIT DSRBO	NPDA.DSRBO
	DSTINIT DSRBU	NPDA.DSRBU
	DSTINIT FUNCT	CNMI
	DSTINIT MACRF	NPDA.MACRF
	DSTINIT PDDNM	NPDA.PDDNM
	DSTINIT PPASS	NPDA.PPASS
	DSTINIT SDDNM	NPDA.SDDNM
	DSTINIT SPASS	NPDA.SPASS
	DSTINIT XITCI	NPDA.PNA
	DSTINIT XITCO	NPDA.PNA
	ERR_RATE	NPDA.ERR_RATE
	IHTHRESH	NPDA.IHTHRESH
	LQTHRESH	NPDA.LQTHRESH
	PRELOAD	NPDA.PRELOAD_BER
	R	NPDA.R.X
	RATE	NPDA.RATE
REPORTS	NPDA.REPORTS	
TECROUTE	NPDA.TECROUTE	
W	NPDA.W.X	

表 79. DSIPARM メンバー・ステートメント (続き)

DSIPARM メンバー	DSIPARM 制御ステートメント	CNMSTYLE または CNMCMD ステートメント
CNME1034¹	ASSIGN CCDEF MEMBER CNMOPDSPREFIX DUIFHNAM DUIFHPRC EKGHNAM EKGHPRC EVERY HLENV CHANGE HLENV CHANGE HLENV CHANGE HLENV CHANGE HLENV CHANGE IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT IDLEOFF INIT MEMSTORE MEMSTORE NETV DEFAULTS ROUTE = SMFVPD TRANSMMSG MEMBER	ASSIGN.OPGROUP.GROUP CCDEF OpDsPrefix COMMON.DUIFHNAM COMMON.DUIFHPRC COMMON.EKGHNAM COMMON.EKGHPRC memStore.frequency HLENV.TYPE.CRITENV5 HLENV.TYPE.DEFAULT HLENV.TYPE.PHEAP HLENV.TYPE.PSTACK HLENV.TYPE.REGENVS function.autotask.idleoff idleparms.exceptAuto idleparms.exceptLU idleparms.exceptNNT idleparms.exceptOP idleparms.exceptRmtCmd idleparms.frequency idleparms.idlemin memStore.minhits memStore.stgLimit DEFAULTS.CMD function.autotask.memStore COMMON.SMFVPD transMember
CNME1034²	&DUIFHNAM &DUIFHPRC &EKGHNAM &EKGHPRC &SMFVPD ASSIGN CCDEF MEMBER DEFAULTS CMD TRANSMMSG MEMBER	COMMON.DUIFHNAM COMMON.DUIFHPRC COMMON.EKGHNAM COMMON.EKGHPRC COMMON.SMFVPD ASSIGN.OPGROUP.GROUP CCDEF DEFAULTS.CMD transMember
CNME1054	exlist.0	memStore.never
DSIAMLTD	CDRMDEF DSTINIT FUNCT	NLDM.CDRMDEF.X NPDA.RETRY

CNMSTYLE および CNMCMD へのマイグレーション

表 79. DSIPARM メンバー・ステートメント (続き)

DSIPARM メンバー	DSIPARM 制御ステートメント	CNMSTYLE または CNMCMD ステートメント
DSICMD	CMDMDL CMDSYN COMNTESC ECHO END IGNRLSUP MOD PARTSYN PARSE RES SEC TYPE	CMDDEF.MDLNAME.MOD CMDDEF.MDLNAME.CMDSYN マイグレーションされていない CMDDEF.MDLNAME.ECHO マイグレーションされていない CMDDEF.MDLNAME.IGNRLSUP CMDDEF.MDLNAME.MODNAME CMDDEF.MDLNAME.PARMSYN.PARMNAME CMDDEF.MDLNAME.PARSE CMDDEF.MDLNAME.RES CMDDEF.MDLNAME.SEC CMDDEF.MDLNAME.TYPE
DSIDMNB	MOD	SSIname
DSIDMNK	ALERTFWD DB2RRS HARDCOPY LOADEXIT MAXABEND MAXLOGON MVSPARM DEFAULT= MVSPARM MIGRATE= MVSPARM MSGIFAC= NCCFID DOMAINID= NCCFID SUPPCHAR= OPTIONS AUTHCHK= OPTIONS CMDAUTH= OPTIONS OPERSEC= OPTIONS OPSPAN OPTIONS SPANAUTH OPTIONS WEBAUTH RRD TRANSTBL MOD VTAMCP USE=	NPDA.ALERTFWD DB2SEC HARDCOPY LOADEXIT. DEFAULTS.MAXABEND DEFAULTS.MAXLOGON MVSPARM.DEFAUTH MVSPARM.MIGRATE MVSPARM.MSGIFAC DOMAIN SUPPCHAR SECOPT.AUTHCHK SECOPT.CMDAUTH SECOPT.OPERSEC SECOPT.OPSPAN SECOPT.SPANAUTH SECOPT.WEBAUTH RRD. TRANSTBL VTAMCP.USE
DSILGCF	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME
DSILUCTD	CNMAUTH CTL= CNMTARG LU "DSTINIT FUNCT=OTHER,PERSIST=" MAXSESS	LUC.CTL LUC.CNMTARG.X LUC.PERSIST LUC.MAXSESS
DSIREXCF	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME
DSIRSHCF	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME

表 79. DSIPARM メンバー・ステートメント (続き)

DSIPARM メンバー	DSIPARM 制御ステートメント	CNMSTYLE または CNMCMD ステートメント
DSIRTTTD	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME
DSITBL01	CMD('DBFULL NLDM 'MESSAGE) CMD('DBFULL NLDM 'MESSAGE) CMD('SAVECMD')	function.atutask.SMONdbMaint function.autotask.HMONdbMaint funtion.autotask.SAVECMD
DSITPCPF	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME
DSIUINIT	RMTSECUR SAFREFSH	RMTINIT.SECOPT RMTINIT.SAFrefresh
DSIWBMEM	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME
DUIFPMEM	PORT SOCKETS TCPANAME	PORT SOCKETS TCPANAME
DUIIGHB	TCPANAME	GHB.TCPANAME
EZLCFG01	WAIT XDOM	COMMON.WAITTIME COMMON.XDOMTIME
FKXEICMD	Default_Server_Name Default_Stack_Name	TCPserver TCPname
FLCSAINP	DEF_NETW_VIEW EXCEPTION_VIEW_FILE RODMCMDRETRY RODMINT RODMNAME RODMRETRY TCPNAME TN3270_FILE	(MSM)COMMON.FLC_DEF_NETW_VIEW (MSM)COMMON.FLC_EXCEPTION_VIEW (MSM)COMMON.FLC_RODMCMDRETRY (MSM)COMMON.FLC_RODMINT (MSM)COMMON.FLC_RODMNAME (MSM)COMMON.FLC_RODMRETRY (MSM)COMMON.FLC_TCPNAME (MSM)COMMON.FLC_TN3270_FILE

注:

1. REXX バージョン
2. 前の REXX バージョン (NetView V1R2 以前)

CNMSTYLE および CNMCMD へのマイグレーション

付録 G. IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの違い

IP アドレスを指定する場合、以下の形式を使用することができます。

- 小数点付き 10 進数形式 (*d.d.d.d*) の IPv4 アドレス。ここで、それぞれの *d* は 0 から 255 までの 10 進数です。IPv4 アドレスは、4 つの 8 ビット・パーツに分かれた、32 ビット・アドレスです。各パーツは、同等の 10 進数に変換され、パーツはピリオドで区切られます。以下に、IPv4 アドレスの例を示します。

13.1.68.3
129.144.52.38

- コロン付き 16 進形式 (*h:h:h:h:h:h:h:h*) の IPv6 アドレス。ここで、それぞれの *h* は 16 進値 (0-FFFF) です。IPv6 アドレスは、8 つの 16 ビット・パーツに区切られた、128 ビットのアドレスです。各パーツは、16 進数に変換され、パーツはコロンで区切られます。先行ゼロは必要ありませんが、アドレスが圧縮されていないかぎり、各パーツは少なくとも 1 つの数表示を持っている必要があります。以下に、コロンで区切られた 16 進形式の IPv6 アドレスの例を示します。

FEDC:BA98:7654:3210:FEDC:BA98:7654:3210
1080:0:0:0:8:800:200C:417A

- 混合形式 (*h:h:h:h:h:h:d.d.d.d*) の IPv4 互換の IPv6 アドレス、または IPv4 マップされた IPv6 アドレス。ここで、*h* は 16 進値で、アドレスの 6 つの上位 16 ビット・パーツごとに 1 つで、*d* は 10 進値で、アドレスの 4 つの下位 8 ビット・パーツごとに 1 つです (標準の IPv4 表記)。この形式は、IPv4 と IPv6 両方のアドレスを使用する環境で有用です。以下に、このアドレスの例を示します。

0:0:0:0:0:0:13.1.68.3 (IPv4 互換の IPv6 アドレス)
0:0:0:0:0:FFFF:129.144.52.38 (IPv4 マップの IPv6 アドレス)

注:

1. IPv4 マップの IPv6 アドレスでは、先頭の 5 つの *h* の値はゼロ (0) で、6 つの *h* の値は X'FFFF' でなければなりません。
2. IPv4 互換の IPv6 アドレスでは、6 つすべての *h* の値がゼロでなければなりません。

ゼロ・ビットを含む IPv6 アドレス、IPv4 互換の IPv6 アドレス、および IPv4 マップの IPv6 アドレスは、圧縮することができます。値 `::` を、複数の連続するゼロの代用に使用することができます。`::` はアドレス内で 1 回のみ使用でき、アドレスの先行ゼロまたは後続ゼロを圧縮するために使用することができます。以下に IPv6 アドレス、その圧縮表記、および要旨の例を示します。

1080:0:0:0:8:800:200C:417A	1080::8:800:200C:417A	unicast
FF01:0:0:0:0:0:101	FF01::101	multicast
0:0:0:0:0:0:1	::1	loopback
0:0:0:0:0:0:0	::	unspecified

IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの違い

0:0:0:0:0:0:13.1.68.3	::13.1.68.3	IPv4-compatible
0:0:0:0:0:0:FFFF:129.144.52.38	::FFFF:129.144.52.38	IPv4-mapped

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒242-8502
神奈川県大和市下鶴間1623番14号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
2Z4A/101
11400 Burnet Road
Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

プログラミング・インターフェース

本書の情報は、Tivoli NetView for z/OS のプログラミング・インターフェースとして使用されることを意図して記述されたものではありません。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アクセシビリティー xviii
アドレス・スペース、増加 17
イベント/自動化サービス 22, 66, 100, 126, 153
インストール
 複数の NetView リリース 12
 MVS システムに関する考慮事項 15
 NetView
 前の NetView 管理コンソール レベルからのマイグレーション 186
 NGMF から NetView 管理コンソール へのマイグレーション 185
 Procedural のマイグレーション 37
 Unattended のマイグレーション 37
 V1R4 からのマイグレーション 35, 187
 V5R1 からのマイグレーション 77, 207
 V5R2 からのマイグレーション 109, 223
 V5R3 からのマイグレーション 135, 229
エンタープライズ統合 6, 225
オンライン資料
 アクセス xviii

[カ行]

開始プロシージャ 163
カタログ、ユーザーの定義 23
環境変数、表記 xx
規則
 書体 xx
区分データ・セット
 ロード
 新規インストール 25
 割り振り 24
グラフィックス
 機能強化 189, 211
 マイグレーション 185
研修
 Tivoli 技術研修を参照 xviii
研修、Tivoli 技術 xviii
検証
 マイグレーション 183
コマンド
 V5R3 の変更点 234
コマンド定義ステートメント
 SEC=BY 245

コマンド出口、MVS 19
コマンド・ツリー定義、マイグレーション 185
コマンド・プロファイル・エディター、マイグレーション 185
コマンド・リスト
 V1R4 の変更 195
 V5R1 の変更 213
 V5R2 の変更点 225
 V5R3 の変更点 229
固有 ID、NetView の割り当て 167
コンソール ID
 V1R4 74
 V5R1 108
 V5R2 133
 V5R3 162

[サ行]

サブエリア、変更 24
サブシステム・アプリケーション・プロシージャ、変更 163
サンプル
 V1R4 38, 204
 V5R1 79, 220
 V5R2 110, 228
 V5R3 136, 234
システム変数
 初期化メンバー 21
 ユーザー定義 18
 IEASYMxx 16
 V1R4 71
 V5R1 105
シスプレックス管理およびシステム管理 5
自動化 1, 223
自動リスタート・マネージャー 17
書体の規則 xx
資料 xiii
 オンライン・アクセス xviii
 注文 xviii
新規、機能 1
新規機能、NetView 1
シンボリック変数
 CNMSTYLE 167
 V1R4 71
 V5R1 105
ストレージ
 キー 19
制御ファイル 30
セカンダリ・サブシステム、定義 17
セッション・モニター
 SMF ログ・レコード 20
関連エンジン 22

[タ行]

大/小文字混合パスワード
V1R4 74
V5R1 107
データ REXX
V1R4 72
データ・スペース 20
定義
NetView
ドメイン 167
VSAM クラスター 26
ディレクトリー名、表記 xx
出口、MVS コマンド 19
トポロジー・サーバーのマイグレーション 186
ドメイン
定義 167
変更 24

[ナ行]

ネットワークング 223
ネットワーク ID
名前、指定 16

[ハ行]

ハードウェア要件およびソフトウェア要件 11
ハードウェア・モニター
SMF ログ・レコード 20
配布テープ 11
パス名、表記 xx
パスワード・フレーズのサポート
V1R4 74
V5R1 107
V5R2 131, 132
V5R3 161
パッケージ 187, 207
表記
環境変数 xx
書体 xx
パス名 xx
ブック
資料を参照 xiii
ブラウザ
V1R4 69
V5R1 103
プログラム・プロパティ・テーブル 19
ヘルプ・パネル、変更点
V1R4 191
変数の表記 xx
ポリシー定義 30

[マ行]

マイグレーション
概要 11
前のリリース 11
NetView V1R4 35
NetView V5R1 77
NetView V5R2 109
NetView V5R3 135
マニュアル
資料を参照 xiii, xviii
マニュアルのご注文 xviii
メッセージ、変更点
V1R4 197
V5R1 214
V5R2 226
V5R3 230
メッセージ検索ツール、LookAt xvii

[ヤ行]

ユーザー・カタログ、定義 23
ユーザー・カタログを定義するための RELATE 値 23
ユーザビリティの向上 224

[ラ行]

ライブラリーの変更点 9
ロード、サンプルでの区分データ・セットの
新規インストール 25

[ワ行]

ワークロード・マネージャー 17, 21
割り振り
データ・セット 24
VSAM クラスター 26

A

A01APPLS
V1R4 43
V5R1 83
V5R2 114
V5R3 140
V5R4 140
AAUPRMLP
V1R4 44
AOF CMD0 27
AON
制御ファイル 30
ポリシー定義 30
マイグレーションに関する考慮事項 27
STATMON 30
System Automation/390、アドレス・スペース 21

AON (続き)
TCP390 ステートメント 30
tower ステートメント 30
APAR 26
APF 許可 15
ASID 17
at-tls 構成ファイル 156

B

BNJMBDST
V1R4 44

C

CNMCLST 24
CNMCMD ステートメント、マイグレーション 249
CNMCMNT
V5R2 115
V5R3 141
CNMCMSSYS
V5R2 115
V5R3 141
CNMDVIPP 24
CNMDVIPS 24
CNMEALUS
V1R4 45
V5R1 84
V5R2 115
V5R3 141
CNMEMSUS
V1R4 45
V5R1 84
V5R2 116
V5R3 141
CNMGMFHS 29
V1R4 65
V5R1 99
V5R2 125
V5R3 153
CNMIPMGT 141
CNMLINK 15
CNMNET
V1R4 44
V5R1 84
V5R2 115
V5R3 140
CNMPOLCY
V5R2 117
V5R3 141
CNMPROC 163
開始プロシージャ 163
V1R4 45
V5R1 85
V5R2 118

CNMPROC (続き)
V5R3 142
CNMPSSI
開始プロシージャ 163
V1R4 48
V5R1 87
V5R2 118
V5R3 143
CNMS0013 16
V1R4 43
V5R1 83
V5R2 114
V5R3 140
CNMS002 16
CNMS0031 16
CNMS0113 16
CNMSAF2
V5R1 87
V5R2 116
V5R3 143
CNMSAMP ライブラリー 25
CNMSCAT2
V5R1 89
V5R2 117
V5R3 144
CNMSIHSA
V1R4 48
V5R1 89
V5R2 119
V5R3 146
CNMSJ000 24
CNMSJ001 23
CNMSJ002 24
CNMSJ003 25
CNMSJ004 26, 29
V1R4 64
V5R1 99
V5R2 125
CNMSJ008 15
V1R4 44
CNMSJ009 15, 163
NetView の開始 163
V1R4 45
CNMSJ010 15
パラメーター 163
V1R4 48
V5R1 87
V5R2 118
V5R3 143
CNMSJ032 サンプル 22
CNMSJ032 ジョブ 22
CNMSJBUP 23
CNMSJH10
V1R4 65
V5R1 99
V5R2 125

CNMSJH10 (続き)

V5R3 153

CNMSJH12

V1R4 66

V5R1 100

V5R2 125

V5R3 153

CNMSJM12 21

CNMSJZCE 22

CNMSMF3E サンプル

V1R4 60, 97, 151

V5R2 124

CNMSMF3E 出口 18

CNMSTNXT

V1R4 52

V5R1 92

V5R2 120

V5R3 147

CNMSTPWD

ACB パスワード 167

CNMSTWBM

V5R3 148

CNMSTYLE

概要 165

命名規則 165

メンバー名 174

NetView ドメイン 167

RODM 名 167

V1R4 49

V5R1 90

V5R2 119

V5R3 146

&CNMRODM 167

&NV2I 165

CNMSTYLE ステートメント、マイグレーション 249

D

DSIAMLTD

V1R4 53

DSIAUTB

V5R1 92

V5R2 120

V5R3 148

DSICCDEF

V1R4 53

DSICMD

V1R4 53

V5R1 92

DSICMDS 関数 32

DSICMENT

SEC=BY 245

V1R4 54

V5R1 93

DSICMSYS

V1R4 53, 54

DSICMSYS (続き)

V5R1 93

DSICTMOD

V1R4 54

DSIDMN

V1R4 55

DSIILGCF

V1R4 55

DSILUCTD

V1R4 55

DSIOPF

V1R4 55

V5R1 94

V5R2 121

V5R3 148

DSIOPFU

V1R4 58

V5R1 95

V5R2 122

V5R3 150

DSIQTSKI 29

DSIREXCF

V1R4 58

DSIRSHCF

V1R4 58

DSIRTTTD

V1R4 59

DSIRVCEX 19

DSIRXPRM

V1R4 59

DSISPN

V1R4 59

DSITBL01

V1R4 59

V5R1 96

V5R2 123

V5R3 150

DSITPCPF

V1R4 60

DSITCPRF

V1R4 61

DSIW3PRF

V5R1 97

V5R2 124

DSIWBMEM

V1R4 61

DSIZVLSR

V1R4 61

V5R1 97

V5R2 124

V5R3 151

DUIFPMEM

V1R4 61

V5R1 97

DUIGINIT 29

V1R4 66

DUIGINIT (続き)
V5R1 100
DUIIGHB
V1R4 61
DVIPA
分散、統計 24
DVIPA サポート 211
V5R1 105

E

EKGCUST 29
EKGLOADP
V1R4 63
V5R1 98
V5R2 124
V5R3 152
EKGS1101
V1R4 64
V5R1 99
V5R2 125
EKGXRODM 29
V1R4 64
V5R1 99
V5R2 125
V5R3 152
EZLCMD
V1R4 54
V5R1 93
EZLCMENT
SEC=BY 245
V5R3 151

F

FKVCMNT
SEC=BY 246
FKWOPF
V1R4 56
FKXCFG01
V1R4 62
V5R1 97
FKXCMD
V1R4 54
V5R1 93
FKXCMENT
SEC=BY 247
V5R3 152
FKXOPFIP
V1R4 58
V5R1 95
V5R2 122
V5R3 150
FLBSYSDA
V1R4 62

FLCSAINP 30
V1R4 62
FLCSPAUT 139

G

GMFHS
マイグレーションに関する考慮事項 29
SCHEDxx 更新 19
Graphical Enterprise オプション 37

H

HTML ファイル、マイグレーション 32

I

ICF カタログ 23
IEAAPFxx メンバー 15
IEAIPSxx 16
IEASYMxx メンバー 16
IEASYSxx メンバー 17
IEFACTRT 出口 18
IEFSSNxx メンバー 17
IEFUSI 出口 20
IHSABCDs
V1R4 43
V5R3 139
IHSABCFG
V1R4 43
V5R1 83
V5R2 114
V5R3 139
IHSAECFG 30
IHSAEVNT 22
V1R4 66
V5R1 101
V5R2 126
V5R3 153
IHSAINIT
V1R4 67
V5R1 102
V5R2 127
V5R3 154
IHSANCFG
V1R4 43
V5R1 83
V5R2 114
V5R3 139
IHSANFMT
V1R4 43
V5R1 83
V5R2 114
V5R3 140
IKJTSOxx メンバー、更新 17

INGCMD 27
INITSTM コマンド 31
IP 管理 2
IP バージョン 6 サポート 259
 V5R2 131
IPv4 と IPv6 アドレス 259
IPv6 サポート
 V5R2 131
ISTIECCE ロード・モジュール 12

L

LNKLSTxx メンバー、更新 18
LOADxx メンバー 18
LookAt メッセージ検索ツール xvii
LPA (リンク・バック域)
 作成 19
 バージョンアップ可能な作成 19
LPALIB 19
LPALST 19
LPALSTxx ステートメント 19

M

MIB コレクション 22
MultiSystem Manager
 マイグレーションに関する考慮事項 29
MVS
 コマンド出口 19
 セカンダリー・サブシステム、定義 17
 ワークロード管理 21
 ASID 値、変更 17
 IEAAPFxx 15, 16
 IEAIPSxx 16
 IEFSSNxx 17
 IEFSYMxx 16
 IEFSYSxx 17
 IKJTSOxx 17
 LNKLSTxx 18
 LOADxx 18
 LPALSTxx 19
 PROGxx 15, 16
 RSVNONR 値、変更 17
 SCHEDxx 19
 SMFPRMxx 20
MVS コマンド管理
 V1R4 73
 V5R1 106
 V5R2 131
 V5R3 160

N

NetView
 アドレス・スペース、増加 17

NetView (続き)
 エイリアス名 23
 開始プロシージャ 163
 稼働 183
 サブシステム名 17
 システム変数 16
 準備 23
 初期化 165
 新規機能 1
 シンボル、設定 167
 ドメインの定義 167
 マイグレーション検査 183
 ライブラリー、許可 15
 CNMSTYLE 165
 GMFHS インストール 28
 ID 167
 RODM インストール 28
 SCHEDxx 更新 19
V1R4
 イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点
 66
 コマンド・リストの変更点 195
 サンプル 38, 204
 ヘルプ・パネルの変更点 191
 メッセージの変更点 197
 リソース・マネージャーのマイグレーション 69
 GMFHS アドレス・スペースの変更点 65
 NetView アドレス・スペースの変更点 44
 UNIX システム・サービスの変更 69
 VTAM アドレス・スペースの変更点 43
V5R1 187
 イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点
 100
 コマンド・リストの変更点 213
 サンプル 79, 220
 メッセージの変更点 214
 リソース・マネージャーのマイグレーション 104
 GMFHS アドレス・スペースの変更点 99
 NetView アドレス・スペースの変更点 84
 UNIX システム・サービスの変更 104
 VTAM アドレス・スペースの変更点 83
V5R2 207
 イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点
 126
 コマンド・リストの変更点 225
 サンプル 110, 228
 メッセージの変更点 226
 GMFHS アドレス・スペースの変更点 125
 NetView アドレス・スペースの変更点 115
 UNIX システム・サービスの変更 128
 VTAM アドレス・スペースの変更点 114
V5R3 223
 イベント/自動化サービス・アドレス・スペースの変更点
 153
 コマンドの変更点 234
 コマンド・リストの変更点 229

NetView (続き)
V5R3 (続き)
 サンプル 136, 234
 メッセージの変更点 230
 NetView アドレス・スペースの変更点 141
 UNIX システム・サービスの変更 156
V5R4
 GMFHS アドレス・スペースの変更点 152
 VTAM アドレス・スペースの変更点 140
NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal Agent バージョン
 5.2.0 130, 157
NetView for z/OS Tivoli Enterprise Portal V6.1 Agent 130, 158
NetView Web アプリケーション
 V5R1 105
 V5R2 131
 V5R3 160
NetView Web サーバー、マイグレーション 32
NetView Web サービス
 データのソース、マイグレーション 32
 PDS、マイグレーション 32
NetView エージェント
 V5R2 129
 V5R3 159
NetView 管理コンソール
 コンソールのマイグレーション 186
 トポロジー・サーバーのマイグレーション 186
 マイグレーションに関する考慮事項 29
 NGMF からのマイグレーション 185
 V5R3 160
 Web アプリケーションの SNMP 機能 160, 186
NetView データ・セットの ALIAS 名 23
NetView リソース・マネージャーのマイグレーション
 V1R4 69
 V5R1 104
NGMF
 マイグレーションに関する考慮事項 185

P

Procedural マイグレーション 37
PROGxx メンバー 15

R

REXX 21
REXX 環境 15
RKANMOD データ・セット 15
RKANMODL データ・セット 15
RKANMODU データ・セット 15
RODM
 サブシステム名 17
 名前、指定 16
 マイグレーションに関する考慮事項 29
 SCHEDxx 更新 19
RODM 機能 28

RODM チェックポイント・データ・セット 64, 99
V5R2 125

S

SCHEDxx ステートメント 19
SCNMLNK1 15
SCNMLPA1 12, 15
SEAGALT 16
SEAGLPA 16
SIEALNKE データ・セット 16
SIXMLOD1 データ・セット 16
SMF タイプ 30 レコードの自動化
 V1R4 60, 97, 151
 V5R2 124
SMF レコード 20
SMFPRMxx 20
SMP/E 形式 11
SNA トポロジー・マネージャー
 マイグレーションに関する考慮事項 29
SNMP
 管理 189, 210
STEPLIB 15
STYLEVAR
 変数 168
SYS1.LPALIB 19
SYS1.PARMLIB 17, 18
SYSDEF ステートメント 16
SYSPLEX IP スタック・マネージャー 31
System Automation
 マイグレーションに関する考慮事項 27

T

TCP390 ステートメント 30
TCP/IP
 アプリケーション名、指定 16
 管理 189, 210
TCP/IP 管理
 V1R4 73
 V5R1 106
Tivoli Enterprise Portal
 NetView エージェント 129, 158, 159
Tivoli NetView for z/OS Enterprise Management Agent 159
Tivoli 技術研修 xviii
Tivoli ソフトウェア・インフォメーション・センター xviii

U

Unattended マイグレーション 37
UNIX システム・サービス 21, 69, 156
 V1R4 69
 V5R1 104
 V5R2 128

V

V5R2 データ・モデル 31

V5R3 データ・モデル 31

VIEW コマンド 28

VSAM

割り振り 26

VTAM

開始プロシージャ 15

APPL メジャー・ノード 24

W

Web アプリケーション 131, 160, 188, 209

Web サービス・ゲートウェイ 2, 16, 32

Web サービス・サーバー、マイグレーション 32

WLM 21

Y

Yahoo でのユーザー・グループ、NetView xix

Yahoo ユーザー・グループ、NetView xix

Z

zmvsoatx.htm 70, 104, 129, 156

zmvsoa.htm 70, 104, 129, 156, 157

zmvwsdl1.wsdl 70, 105, 129, 156, 157

zmvwsdl2.wsdl 70, 105, 129, 156, 157

zmvwsdl.wsdl 70, 105, 129, 156, 157

z/OS 出口ルーチン 20

[特殊文字]

&CNMDOMN 16

&CNMNETID 21, 71, 105

&CNMRODM 21, 71, 105

&CNMTCPN 21, 71, 105



ファイル番号: S370/4300/30XX-50
プログラム番号: 5697-ENV

Printed in Japan

SC88-9320-03



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21